令和９年度

宮城県公立高等学校入学者選抜

選抜方法等一覧

令和８年５月

宮 城 県 教 育 委 員 会

仙 台 市 教 育 委 員 会

石 巻 市 教 育 委 員 会

目　次

		ページ
令和9年度入試制度の概要		2
選抜方法等の例・見方		7

【全日制課程】

1	白石	9
2	白石蔵王キャンパス	13
3	白石工業	15
4	村田	25
5	大河原産業	27
6	大河原産業川崎校	36
7	柴田	38
8	角田	42
9	伊具	44
10	名取	46
11	名取北	50
12	亘理	52
13	宮城農業	58
14	仙台第一	67
15	仙台二華	69
16	仙台三桜	71
17	仙台向山	73
18	仙台南	77
19	仙台西	79
20	仙台東	81
21	宮城工業	85
22	仙台工業	97
23	仙台第二	107
24	仙台第三	109
25	宮城第一	113
26	広瀬ideal　※ideal選抜実施	118
27	泉	120
28	泉松陵	124
29	泉館山	126
30	宮城野	128
31	仙台	132
32	仙台商業	135
33	塩釜	138
34	多賀城	142
35	松島	146
36	利府	150
37	黒川	154
38	富谷	162
39	古川	164
40	古川黎明	166
41	岩出山	168
42	中新田	170
43	加美農業	172
44	古川工業	178
45	大崎創成	188
46	涌谷	190
47	小牛田農林	192
48	佐沼	197
49	登米	199
50	登米総合産業	201
51	築館	213
52	築館一迫商業キャンパス	215
53	岩ヶ崎	217
54	迫桜	219
55	石巻	221
56	石巻好文館	223
57	石巻西	225
58	石巻北	227
59	宮城水産	229
60	石巻工業	235
61	石巻商業	245
62	桜坂	247
63	気仙沼	250
64	南三陸　※連携型選抜含む	252
65	本吉響	258
66	気仙沼向洋	260

【定時制課程】

1	白石七ヶ宿校	266
2	名取	268
3	仙台工業	270
4	古川工業	274
5	佐沼	278
6	石巻北飯野川校	280
7	気仙沼	282
8	第二工業	284
9	貞山	288
10	田尻さくら	291
11	東松島	294
12	仙台大志	298

【全国募集選抜】

1	中新田	302
2	南三陸	304

【通信制課程】

1	美田園	308

選抜方法等一覧　310

注）　仙台青陵中等教育学校の後期課程については、募集を行わないため、掲載しておりません。

令和９年度入試制度の概要

第一次募集の概要

出願希望調査

○調査期間　令和９年１月１２日（火）～１４日（木）　※予定
○調査内容　県内公立高等学校の入学を希望する中学校３年生について、希望する高等学校ごとに第１希望の生徒数を調査し、その結果を公表します。
※出願希望調査で希望した高校とは別の高校に出願することは可能です。

出　願

○出願受付　令和９年２月９日（火）～１６日（火）　※予定
○すべての受験生が希望する高校に出願し、受験することができます。
※出願できる高校は１人１校とし、課程及び学科・コースについても一つに限ります。
※複数の学科・コースを併置し、第２志望を認めている高校を志願する場合、当該校の他の学科・コースを第２志望とすることができます。

本試験

○検査日　令和９年３月３日（水）
○検査内容
■学力検査 … 国語、数学、社会、英語、理科を全員共通で実施します。（各教科５０分）
■面接、実技、作文 … 学校によっては、面接や実技や作文を実施します。
※実技については、体育や美術に関する学科で実施します。
※面接、実技、作文を実施する場合、検査日が２日間になる場合があります。

追試験

○検査日　令和９年３月９日（火）
○やむを得ない事由で、本試験を受験できなかった受験生を対象に実施します。
○検査内容は、本試験に準じます。

合　否　判　定

○共通選抜と特色選抜の２通りの選抜方法で合否を判定します。
○最初にどちらかの選抜方法で合否判定を行い、その後、最初の選抜方法で合格圏内に入らなかった受験生を対象に、もう一方の選抜方法で合否判定を行います。
※受験生が共通選抜か特色選抜かを選ぶ必要はありません。
※広瀬ideal高等学校では、特色選抜に代えてideal選抜を実施します。
○共通選抜と特色選抜の選抜順序については、各高校が定めます。

合格発表　令和９年３月１５日（月）

第二次募集の概要

※第一次募集の合格者が定員に満たない学校で実施します。

出　願

○実施校公表　※予定
令和９年３月１５日（月）
午後３時　県高校教育課ＨＰ
○出願受付　※予定
令和９年３月１６日（火）
～３月１８日（木）
※第一次募集で合格した場合は、第二次募集には出願できません。

検査内容

○検査日　※予定
令和９年３月１９日（金）
○面接、実技、作文、学力検査のいずれか１つ以上を実施する場合があります。
○学力検査を実施する場合は、国語、数学、英語から１教科以上実施します。

選抜方法

○調査書のみ、又は調査書に面接、実技、作文、学力検査のうち、実施した検査を加えて総合的に選抜します。

合格発表　※予定
令和９年３月１９日（金）
又は２３日（火）

共通選抜と特色選抜について

共通選抜

学力検査点と調査書点の相関図を基に、その両方の満点により近い者を上位として、上位の者から審査し、共通選抜の募集人数分を選抜します。

■学力検査点（500点満点）
国語、数学、社会、英語、理科の学力検査点（各教科100点満点）の合計点

■調査書点（195点満点）
国語、数学、社会、英語、理科については、３年間の評定の合計
音楽、美術、保健体育、技術家庭については、３年間の評定の合計×２倍
} 合計195点

■学力検査点と調査書点の比重
相関図での学力検査点と調査書点の比重は、次の５つの組合せの中から、各高校が学校・学科ごとに設定します。

	学力検査重視		同等	調査書重視	
学力検査：調査書	７：３	６：４	５：５	４：６	３：７



■実技等の評価
体育や美術に関する学科では、実技の評価を選抜資料に加える場合があります。

特色選抜

特色選抜では、学力検査点、調査書点及び面接、実技、作文の得点を合計し、その合計点を基に、調査書の記載事項も用いて総合的に審査し、選抜します。なお、特色選抜の審査対象者は、特色選抜の選抜人数の120%から200%までの間で、各高校が定めます。

■学力検査点
国語、数学、社会、英語、理科の学力検査点の得点を、各高校が教科ごとに定めた倍率によって算出し合計します。
【算出方法】「各教科の得点×倍率」の計

■調査書点
各教科・各学年の評定を、各高校が定めた倍率を用いて算出します。
【算出方法】「各教科の『各学年の評定×倍率』」の合計

■面接・実技・作文
面接、実技、作文の配点については、各高校が定めます。

算　出　例

例①【審査対象者】
（例）特色選抜で選抜する20人の120%の範囲に含まれる者　→　審査対象者24人

例②【学力検査点】
（例）国語、数学、社会、理科･･･得点を1.0倍にする
英語･･･････････････････得点を2.0倍にする

国語	数学	社会	英語	理科	合計
100	100	100	200	100	600

例③【調査書点】
（例）国語、数学、社会、英語、理科･････全学年の評定を2.0倍にする
音楽、美術、保健体育、技術家庭････全学年の評定を4.0倍にする

	国語	数学	社会	英語	理科	音楽	美術	保体	技家	
１年	10	10	10	10	10	20	20	20	20	
２年	10	10	10	10	10	20	20	20	20	
３年	10	10	10	10	10	20	20	20	20	合計
計	30	30	30	30	30	60	60	60	60	390

idealスクールにおける選抜について

広瀬ideal高等学校では令和９年度入試よりidealスクールにおける選抜を実施します。

idealスクールにおける選抜においては、特色選抜に代わるideal選抜及び共通選抜で選抜する。ideal選抜では、面接重視方式、調査書重視方式及び学力検査重視方式の３つの方式で選抜を行う。

○　ideal選抜

■学力検査点

国語、数学、社会、英語及び理科の学力検査の得点の合計点とする。

■調査書点

調査書の各教科・各学年の評定を合計して算出する。

■面接点

面接の形式は、個人面接とし、面接は、志願者が提出した志願理由書を参考に実施する。
高校で評価基準を定め、評価を行う。

■ 選抜方法

面接重視方式、調査書重視方式、学力検査重視方式の３方式によって選抜を行う。

【面接重視方式】

学力検査点及び調査書点を用いず、面接点を基に、調査書の記載事項も用いて総合的に審査し、選抜する。

【調査書重視方式】

学力検査点を用いず、調査書点と面接の結果を基に、調査書の記載事項も用いて総合的に審査し、選抜する。

【学力検査重視方式】

調査書点を用いず、学力検査点と面接の結果を基に、調査書の記載事項も用いて総合的に審査し、選抜する。

連携型選抜について

連携型高等学校（南三陸高等学校）は、連携型中学校（南三陸町立志津川中学校、同歌津中学校）からの志願者を対象とした連携型選抜を実施します。検査内容は第一次募集に準じます。

○出願資格

連携型選抜に出願できる者は、次の条件を全て満たし、連携型中学校の校長が認めた者とする。

１　令和９年３月に連携型中学校を卒業する見込みの者であること。
２　連携型高等学校、学科を志願する動機や理由が明白で適切であること。
３　連携型高等学校、学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
４　中学校生活を意欲的に送り、入学後も学校生活を意欲的に送る意志があること。

社会人特別選抜について

定時制課程において実施する学校があります。

全国募集選抜について

中新田高等学校と南三陸高等学校では令和５年度入試より全国募集選抜を実施しています。

〇出願資格

全国募集選抜に出願できる者は、宮城県公立高等学校入学者選抜要項で別に定める出願資格に加え、次の(1)～(3)をすべて満たす者とする。

(1) 全国募集実施高等学校が所在する市町村及び地域での学びに関心があり、志願先の全国募集実施高等学校への志願理由が明確であること。
(2) 志願者及び保護者が宮城県外に居住していること。
(3) 志願者が志願先の全国募集実施高等学校への入学期日までに、宮城県内に居住する予定であること。

〇選抜方法（中新田高等学校）

調査書、５教科の学力検査に加え、以下の１～４により面接を実施します。

１　形態　個人面接
２　時間　１０分程度
３　内容　アドミッション・ポリシー及び志願理由書の内容について
４　観点　(1)　意欲　　35点
　　(2)　表現力　　20点
　　(3)　判断力　　20点

〇選抜方法（南三陸高等学校）

調査書、５教科の学力検査に加え、以下の１～４により面接を実施します。

１　形態　個人面接
２　時間　１０分程度
３　内容　(1)　志望動機
　　(2)　中学校での活動状況
　　(3)　高校生活への意欲
　　(4)　志願理由書の内容について
　　(5)　その他
４　観点　(1)　態度
　　(2)　表現力等

選抜方法等

選抜方法の例・見方

1				
学校名	宮城県けやき高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	320人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	2	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	3	商業科

共通選抜

募集人数	4	192 人（募集定員の　60　％）
学力検査:調査書	5	6 ： 4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	6	128 人（募集定員の　40　％）

7 配点		合計
1 調査書	195 点	
国語、数学、社会、英語、理科	： 全学年の評定を１．０倍にする。	
音楽、美術、保健体育、技術家庭	： 全学年の評定を２．０倍にする。	
2 学力検査	500 点	695 点
国語、数学、社会、英語、理科	： 得点を１．０倍にする。	
3 面接	3段階評価（A～C）	

8 選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２８人の１２０％に含まれる者（１５３人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査する。

9 面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 １日目に実施	1 形態：集団面接 2 時間：１５分程度 3 内容：（１）志願理由　（２）高校での学習について （３）中学校での活動状況　（４）その他 4 観点：（１）態度　（２）表現力等

10 社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

11 配点		合計
1 調査書	225 点	
国語、数学、英語	： 全学年の評定を１．０倍にする。	
社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭	： 全学年の評定を２．０倍にする。	
2 学力検査	300 点	575 点
国語、数学、英語	： 各教科１００点満点	
3 面接	50 点	
1 形態：集団面接 2 時間：１５分程度 3 内容：（１）志願理由　（２）高校での学習について （３）中学校での活動状況　（４）その他 4 観点：（１）態度　（２）表現力等		

12 選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

1 「学校名」、「課程」、「学科（コース・部）」、「募集定員」

高校の基本情報を記載しています。

2 「選抜順序」

第一次募集の選抜を行う際、“共通選抜”と“特色選抜”のどちらの選抜方法を先に行うのかを記載しています。６ページの例では、“共通選抜”の選抜方法で合否判定を行った後に、“特色選抜”の選抜方法で合否判定を行う、ということを示しています。

3 「第２志望とすることができる学科・コース」

出願時に他の学科・コース・部を第２志望として認めている場合、第２志望とすることができる学科・コース・部を記載しています。

なお、第２志望を設定していない場合、「なし」と記載してあります。

4 「共通選抜の募集人数と割合」

共通選抜の選抜人数と、括弧内に募集定員に対する割合を記載しています。

なお、併設型中高一貫校である仙台二華高校と古川黎明高校では、併設中学校からの入学予定者１０５人を除いた人数で設定しています。

5 「学力検査：調査書」

共通選抜における、学力検査点と調査書点の重視の仕方について、次の５つの組合せの中から設定しています。

	学力検査重視		同等	調査書重視	
学力検査：調査書	７：３	６：４	５：５	４：６	３：７

6 「特色選抜の募集人数と割合」

特色選抜の選抜人数と、括弧内に募集定員に対する割合を記載しています。

なお、併設型中高一貫校である仙台二華高校と古川黎明高校では、併設中学校からの入学予定者１０５名を除いた人数で設定しています。

7 「特色選抜の配点」

１　調査書：調査書点の満点と各教科の学年ごとの評定を何倍するのか、という倍率が記載されています。

２　学力検査：学力検査点の満点と、各教科を何倍するのか、という倍率が記載されています。

３　面接・実技・作文：面接、実技、作文を実施する場合、実施する検査とその配点を記載しています。

8 「特色選抜の選抜方法」

特色選抜での審査対象者となる範囲と選抜方法について記載しています。

9 「面接・実技・作文のうち実施するもの」

第一次募集の選抜において、面接・実技・作文を実施する場合、どの検査を実施するのかを記載しています。実施しない場合には「なし」と記載しています。また、実施する場合、検査の「形態」、「時間」、「内容」、「観点」及び何日目に実施するかについて記載しています。

※　何日目に実施するかについては、実施日を事前に定めている学校のみ記載。

10 「社会人特別選抜」　※定時制課程のみ

社会人特別選抜の実施の有無、実施内容を記載しています。

11 「第二次募集の配点」

１　調査書：調査書点の満点と各教科の学年ごとの評定を実際に何倍するのか、という倍率が記載されています。

２　学力検査：学力検査を実施する場合、合計点及び実施する教科とその満点について記載しています。

３　面接・実技・作文：面接、実技、作文を実施する場合、実施する検査とその配点、及び実施する検査の「形態」、「時間」、「内容」、「観点」について記載しています。

12 「第二次募集の選抜方法」

第二次募集の選抜方法について記載しています。

宮城県白石高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県白石高等学校は，「志操凛風，進取創造，自彊不息」を校訓とし，地域の関係諸機関と連携しながら社会と関わる教育活動を通じ，心身ともに健全で，地域社会及び国家に貢献するとともにグローバルな視点に立って社会をリードできる有為な人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

仙南地区の進学拠点校として，将来地域社会及びグローバル社会のリーダーとなり得るための資質・能力を育成します。

○ 幅広く深い知識と教養を身につけ，それを活かして自らの将来を切り拓くことができる力を育成します。

○ 生涯にわたり知的探究心をもって主体的に学び続け，他者と協力しながら広い視野をもって社会に貢献できる力を育成します。

○ 健全な自己肯定感の獲得と他者を尊重する精神の涵養を図り，多様な価値観を尊重しながら他者とよりよい社会をつくりだすことができる力を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

進学重視型の単位制で多彩な選択科目を設定し，生徒の興味関心，能力，適性，個々の進路希望に対応した教育課程とします。

○ 主体的・対話的な学びを効果的に組み合わせて，「基礎知識・スキル」と「思考力・表現力」の育成を目指した授業づくりを推進します。

○ ＳＤＧｓの精神を生かした教科横断的な学びと「M＆Ｔタイム」（総合的な探究の時間）における課題研究の充実を図るとともに，四者連携協定（白石市・東北地方財務局・宮城県中小企業家同友会・本校）や大学との連携を強化し，地域社会と積極的に関わる機会を創出します。

○ よりよい人間関係形成，社会参画，自己実現を図ることができるような，特色ある学校行事等の特別活動及び部活動を実施します。

○ ３年間を見通した進路指導計画「自彊不息プロジェクト」や，難関大学に挑戦する生徒を支援する「チームＳＣ１」の取組により，生徒一人一人を大切にするきめ細やかな進路指導を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○ 向学心旺盛で，日々の授業を大切にし，入学後，高い探究心をもって勉学に取り組むことができる生徒。

○ ５教科の学習成績が優秀で，特に国語，数学，英語の学習成績が優秀である生徒。

○ 特別活動（学級活動，生徒会活動，学校行事等），スポーツ活動，文化活動，社会活動，ボランティア活動等において，集団を率いる能力や顕著な実績がある生徒。

学校名	宮城県白石高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	192 人（募集定員の　80　％　）
学力検査：調査書	7　：　3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	48 人（募集定員の　20　％　）

配点

1　調査書　270 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　770　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４８人の１２０％の範囲に含まれる者（５７人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活 動の記録などの資料）も用いて総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　3段階評価（A～C）
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：志望動機等
4　観点：態度、意志等

合計　525　点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県白石高等学校［全日制課程（看護科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県白石高等学校は，「志操凛風，進取創造，自彊不息」を校訓とし，地域の関係諸機関と連携しながら社会と関わる教育活動を通じ，心身ともに健全で，地域社会及び国家に貢献するとともにグローバルな視点に立って社会をリードできる有為な人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

県内唯一の５年一貫教育による看護師養成教育機関として，地域の保健・医療・福祉の充実発展に貢献するための資質・能力を育成します。

○ 幅広く深い知識と教養を身につけ，それを活かして自らの将来を切り拓くことができる力を育成します。

○ 生涯にわたり知的探究心をもって主体的に学び続け，他者と協力しながら広い視野をもって社会に貢献できる力を育成します。

○ 健全な自己肯定感の獲得と他者を尊重する精神の涵養を図り，多様な価値観を尊重しながら他者とよりよい社会をつくりだすことができる力を育成します。

○ 一般教養と専門教養の双方をバランス良く兼ね備え，地域医療に積極的に貢献できる力を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

高校課程及び専攻科の５年一貫教育により，基礎から応用さらに実践的な学びを通して，看護師国家試験受験資格を得るとともに，社会のニーズに対応すべく豊かな人間性を身につけられる教育課程とします。

○ 主体的・対話的な学びを効果的に組み合わせて，「基礎知識・スキル」と「思考力・表現力」の育成を目指した授業づくりを推進します。

○ ＳＤＧｓの精神を生かした教科横断的な学びと「M＆Ｔタイム」（総合的な探究の時間）における課題研究の充実を図るとともに，四者連携協定（白石市・東北地方財務局・宮城県中小企業家同友会・本校）や大学との連携を強化し，地域社会と積極的に関わる機会を創出します。

○ よりよい人間関係形成，社会参画，自己実現を図ることができるような，特色ある学校行事等の特別活動及び部活動を実施します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○ 看護師志望の意志が明確で，５年一貫教育の看護師養成を理解している生徒。

○ 看護師は人と関わる仕事であることを理解し，他者への関心をもち，思いやりをもって他者と関わり，繋がりがもてる生徒。

○ ５教科の学習成績が優秀で，特に国語，数学，英語の学習成績が優秀である生徒。

○ 特別活動（学級活動，生徒会活動，学校行事等），スポーツ活動，文化活動，社会活動，ボランティア活動等において，集団を率いる能力や顕著な実績がある生徒。

学校名	宮城県白石高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	看護科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科

共通選抜

募集人数	28 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	7　：　3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	12 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　270 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする 3　面接　3段階評価（A～C）	合計 770　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２人の１２０％の範囲に含まれる者（１４人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：集団面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)看護師について (3)中学校での活動状況　(4)その他 4　観点：(1)態度　(2)意志等

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　3段階評価（A～C） 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：志望動機等 4　観点：態度、意志等	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県白石高等学校　蔵王キャンパス［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県白石高等学校蔵王キャンパスは、「自立、創造、友愛」をキャンパス校訓とし、３年間のキャリア教育の中で、地域の市町村や地元企業、地元の中学校との連携等の社会と関わる教育活動を通して地域理解と課題解決能力の向上を図り、卒業後、高い志と他を敬愛する心をもって、地域社会に貢献できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○心豊かで心身ともにたくましく、自ら学ぼうとする自己研鑽力を育成します。
○主体的に問題を解決する能力を身に付け、自己の夢に向かって果敢に挑戦する行動力・実践力を育成します。
○高い志をもち、他を敬愛する心をもって、地域社会に貢献できる人間力を育成します。

＜自 己 研 鑽 力＞ひたむきさ、謙虚さ、主体性
＜行動力・実践力＞他と連携・協働し、自らの思いを実現させる力
＜人　　間　　力＞自分だけではなく他者をも最大限に尊重し、地域社会の活性化に貢献する力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○生徒の多様な進路の実現に応じることのできる教育課程の編成を行います。
→大学進学や就職等、卒業後の進路に結びつく多様で柔軟なカリキュラムを提供します。
○教科等横断的な学びや地域と協働した学びにより、探究的な学びを進めます。
→各教科での学びを地域社会の理解につなげ、地域が抱える問題を自分事として捉え、解決策を探究し、改善に向けて関係機関等と協働します。
○ティームティーチングの授業や多様な選択科目の設定、全授業におけるユニバーサルデザイン化により、個に応じた学びを実現します。
→希望進路だけではなく、個の特性に応じた授業を展開し、学習に対する細やかな支援を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○地域社会に貢献し、かつ支えようとする強い意思と高い志をもつ生徒
○基本的な学習習慣が身に付いており、本校での様々な活動に真剣に取り組む意思のある生徒
○希望進路の実現に向けて継続的に努力し、最後まで諦めずに挑戦し続ける生徒
○日々の授業を大切にし、落ち着いて学習活動に取り組む生徒
○規範意識が高く、ルールに基づいて学校生活を送る生徒

学校名	宮城県白石高等学校蔵王キャンパス	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	4　：　6

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は４：６とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）

配点

1　調査書　270 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

3　面接　100 点

合計　870 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１２０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路希望　(4)その他 4　観点：(1)態度　１０点　(2)表現力等　９０点

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１０分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　595 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県白石工業高等学校［全日制課程（機械科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県白石工業高等学校は，「誠実」を校訓とし，３年間の継続的なキャリア教育を通して，地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導の場を提供し，各学科に関する専門知識及び技術の習得を支援しながら，資格取得にも挑戦し，地域産業を担うものづくり人材を育成します。また，教育課程内外の多くの活動の場において，積極的に地域社会に参画し，地域に根ざし，地域に貢献できる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○主体的に学び続け，社会の有為な形成者として積極的に社会参画する人間力を育成します。

○地域社会の発展及び創造のために産業界で役立つ技術力・実践力を育成します。

○課題を見つけ出す力と課題の解決に必要な思考力・探究力を育成します。

〈人間力〉誠実，正しい判断，責任感，創造性，自他理解の姿勢

〈技術力・実践力〉社会に貢献できる専門性，知識と技術の確かな連動による実行力

〈探究力〉観察力，情報収集力と科学的分析力，課題を解決し改善する力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○ものづくり人材を育成するため専門教科を重視します。

→専門教科の座学では専門知識を身に付け，実習などの実技科目では社会で役立つ技術力を習得します。

○教科等横断的な学びやキャリア教育を通じて課題解決に必要な思考力・探究力を養います。

→地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導，インターンシップ，課題研究における教科等横断的な取り組みから，自ら課題を発見し，その解決策を模索します。

○習熟度別授業やＴＴ指導，選択科目を設定し，生徒の希望する多様な進路を実現するために，個に応じた学びを支援します。

→生徒の理解度に合わせた習熟度別学習やＴＴ指導体制によるきめ細やかな指導を実施し，大学進学希望者に向けては選択科目の設定を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○工業やものづくりに興味があり，機械を用いた作品製作や機械の設計デザインに関心をもっている生徒

○機械に関する専門知識及び技術・技能を習得し，機械関連分野への就職や工業系分野への進学を目指している生徒

○あいさつや身だしなみといった，社会人に求められる生活習慣を確立し，３年間の学習活動や，志望学科の専門性を活かした資格の取得に積極的に取り組む意欲がある生徒

○部活動（運動部・文化部），学校行事，ボランティア活動等に積極的に取り組んだ実績があり，入学後も前向きに取り組む意欲をもつ生徒

学校名	宮城県白石工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	機械科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	電気科、工業化学科、建築科、設備工業科

共通選抜

募集人数	48 人（募集定員の　60　％）
学力検査：調査書	6 ： 4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	32 人（募集定員の　40　％）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３２人の１５０％の範囲に含まれる者（４８人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　135 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　4段階評価（A～D）
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)その他
4　観点：(1)態度　(2)表現力等

合計　435 点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県白石工業高等学校［全日制課程（電気科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県白石工業高等学校は，「誠実」を校訓とし，３年間の継続的なキャリア教育を通して，地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導の場を提供し，各学科に関する専門知識及び技術の習得を支援しながら，資格取得にも挑戦し，地域産業を担うものづくり人材を育成します。また，教育課程内外の多くの活動の場において，積極的に地域社会に参画し，地域に根ざし，地域に貢献できる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○主体的に学び続け，社会の有為な形成者として積極的に社会参画する人間力を育成します。

○地域社会の発展及び創造のために産業界で役立つ技術力・実践力を育成します。

○課題を見つけ出す力と課題の解決に必要な思考力・探究力を育成します。

〈人間力〉誠実，正しい判断，責任感，創造性，自他理解の姿勢

〈技術力・実践力〉社会に貢献できる専門性，知識と技術の確かな連動による実行力

〈探究力〉観察力，情報収集力と科学的分析力，課題を解決し改善する力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○ものづくり人材を育成するため専門教科を重視します。

→専門教科の座学では専門知識を身に付け，実習などの実技科目では社会で役立つ技術力を習得します。

○教科等横断的な学びやキャリア教育を通じて課題解決に必要な思考力・探究力を養います。

→地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導，インターンシップ，課題研究における教科等横断的な取り組みから，自ら課題を発見し，その解決策を模索します。

○習熟度別授業やＴＴ指導，選択科目を設定し，生徒の希望する多様な進路を実現するために，個に応じた学びを支援します。

→生徒の理解度に合わせた習熟度別学習やＴＴ指導体制によるきめ細やかな指導を実施し，大学進学希望者に向けては選択科目の設定を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○工業やものづくりに興味があり，電気・電子・情報に関心をもっている生徒

○電気に関する専門知識及び技術・技能を習得し，電気関連分野への就職や工業系分野への進学を目指している生徒

○あいさつや身だしなみといった，社会人に求められる生活習慣を確立し，３年間の学習活動や，志望学科の専門性を活かした資格の取得に積極的に取り組む意欲がある生徒

○部活動（運動部・文化部），学校行事，ボランティア活動等に積極的に取り組んだ実績があり，入学後も前向きに取り組む意欲をもつ生徒

学校名	宮城県白石工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	電気科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科、工業化学科、建築科、設備工業科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１５０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　135 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　4段階評価（A～D）
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)その他
4　観点：(1)態度　(2)表現力等

合計　435　点

選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県白石工業高等学校［全日制課程（工業化学科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県白石工業高等学校は，「誠実」を校訓とし，３年間の継続的なキャリア教育を通して，地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導の場を提供し，各学科に関する専門知識及び技術の習得を支援しながら，資格取得にも挑戦し，地域産業を担うものづくり人材を育成します。また，教育課程内外の多くの活動の場において，積極的に地域社会に参画し，地域に根ざし，地域に貢献できる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○主体的に学び続け，社会の有為な形成者として積極的に社会参画する人間力を育成します。

○地域社会の発展及び創造のために産業界で役立つ技術力・実践力を育成します。

○課題を見つけ出す力と課題の解決に必要な思考力・探究力を育成します。

〈人間力〉誠実，正しい判断，責任感，創造性，自他理解の姿勢

〈技術力・実践力〉社会に貢献できる専門性，知識と技術の確かな連動による実行力

〈探究力〉観察力，情報収集力と科学的分析力，課題を解決し改善する力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○ものづくり人材を育成するため専門教科を重視します。

→専門教科の座学では専門知識を身に付け，実習などの実技科目では社会で役立つ技術力を習得します。

○教科等横断的な学びやキャリア教育を通じて課題解決に必要な思考力・探究力を養います。

→地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導，インターンシップ，課題研究における教科等横断的な取り組みから，自ら課題を発見し，その解決策を模索します。

○習熟度別授業やＴＴ指導，選択科目を設定し，生徒の希望する多様な進路を実現するために，個に応じた学びを支援します。

→生徒の理解度に合わせた習熟度別学習やＴＴ指導体制によるきめ細やかな指導を実施し，大学進学希望者に向けては選択科目の設定を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○工業やものづくりに興味があり，地球環境や化学の実験に関心をもっている生徒

○化学に関する専門知識及び技術・技能を習得し，化学関連分野への就職や工業系分野への進学を目指している生徒

○あいさつや身だしなみといった，社会人に求められる生活習慣を確立し，３年間の学習活動や，志望学科の専門性を活かした資格の取得に積極的に取り組む意欲がある生徒

○部活動（運動部・文化部），学校行事，ボランティア活動等に積極的に取り組んだ実績があり，入学後も前向きに取り組む意欲をもつ生徒

学校名	宮城県白石工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	工業化学科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電気科、建築科、設備工業科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％　）

配点

1　調査書　390 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする

音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１５０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　135 点

国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする

社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　300 点

国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　4段階評価（A～D）

1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)その他
4　観点：(1)態度　(2)表現力等

合計　435 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県白石工業高等学校［全日制課程（建築科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県白石工業高等学校は，「誠実」を校訓とし，３年間の継続的なキャリア教育を通して，地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導の場を提供し，各学科に関する専門知識及び技術の習得を支援しながら，資格取得にも挑戦し，地域産業を担うものづくり人材を育成します。また，教育課程内外の多くの活動の場において，積極的に地域社会に参画し，地域に根ざし，地域に貢献できる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○主体的に学び続け，社会の有為な形成者として積極的に社会参画する人間力を育成します。

○地域社会の発展及び創造のために産業界で役立つ技術力・実践力を育成します。

○課題を見つけ出す力と課題の解決に必要な思考力・探究力を育成します。

〈人間力〉誠実，正しい判断，責任感，創造性，自他理解の姿勢

〈技術力・実践力〉社会に貢献できる専門性，知識と技術の確かな連動による実行力

〈探究力〉観察力，情報収集力と科学的分析力，課題を解決し改善する力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○ものづくり人材を育成するため専門教科を重視します。

→専門教科の座学では専門知識を身に付け，実習などの実技科目では社会で役立つ技術力を習得します。

○教科等横断的な学びやキャリア教育を通じて課題解決に必要な思考力・探究力を養います。

→地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導，インターンシップ，課題研究における教科等横断的な取り組みから，自ら課題を発見し，その解決策を模索します。

○習熟度別授業やＴＴ指導，選択科目を設定し，生徒の希望する多様な進路を実現するために，個に応じた学びを支援します。

→生徒の理解度に合わせた習熟度別学習やＴＴ指導体制によるきめ細やかな指導を実施し，大学進学希望者に向けては選択科目の設定を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○工業やものづくりに興味があり，木工・建築模型等の作品製作や設計デザイン等に関心をもっている生徒

○建築に関する専門知識及び技術・技能を習得し，建築関連分野への就職や工業系分野への進学を目指している生徒

○あいさつや身だしなみといった，社会人に求められる生活習慣を確立し，３年間の学習活動や，志望学科の専門性を活かした資格の取得に積極的に取り組む意欲がある生徒

○部活動（運動部・文化部），学校行事，ボランティア活動等に積極的に取り組んだ実績があり，入学後も前向きに取り組む意欲をもつ生徒

学校名	宮城県白石工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	建築科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電気科、工業化学科、設備工業科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１５０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　135 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　4段階評価（A～D）
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)その他
4　観点：(1)態度　(2)表現力等

合計　435 点

選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県白石工業高等学校［全日制課程（設備工業科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県白石工業高等学校は，「誠実」を校訓とし，３年間の継続的なキャリア教育を通して，地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導の場を提供し，各学科に関する専門知識及び技術の習得を支援しながら，資格取得にも挑戦し，地域産業を担うものづくり人材を育成します。また，教育課程内外の多くの活動の場において，積極的に地域社会に参画し，地域に根ざし，地域に貢献できる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○主体的に学び続け，社会の有為な形成者として積極的に社会参画する人間力を育成します。

○地域社会の発展及び創造のために産業界で役立つ技術力・実践力を育成します。

○課題を見つけ出す力と課題の解決に必要な思考力・探究力を育成します。

〈人間力〉誠実，正しい判断，責任感，創造性，自他理解の姿勢

〈技術力・実践力〉社会に貢献できる専門性，知識と技術の確かな連動による実行力

〈探究力〉観察力，情報収集力と科学的分析力，課題を解決し改善する力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○ものづくり人材を育成するため専門教科を重視します。

→専門教科の座学では専門知識を身に付け，実習などの実技科目では社会で役立つ技術力を習得します。

○教科等横断的な学びやキャリア教育を通じて課題解決に必要な思考力・探究力を養います。

→地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導，インターンシップ，課題研究における教科等横断的な取り組みから，自ら課題を発見し，その解決策を模索します。

○習熟度別授業やＴＴ指導，選択科目を設定し，生徒の希望する多様な進路を実現するために，個に応じた学びを支援します。

→生徒の理解度に合わせた習熟度別学習やＴＴ指導体制によるきめ細やかな指導を実施し，大学進学希望者に向けては選択科目の設定を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○工業やものづくりに興味があり，空気調和設備（冷暖房・換気），衛生設備（給排水），防災設備（消火），電気設備等の建築設備に関心をもっている生徒

○設備に関する専門知識及び技術・技能を習得し，設備関連分野への就職や工業系分野への進学を目指している生徒

○あいさつや身だしなみといった，社会人に求められる生活習慣を確立し，３年間の学習活動や，志望学科の専門性を活かした資格の取得に積極的に取り組む意欲がある生徒

○部活動（運動部・文化部），学校行事，ボランティア活動等に積極的に取り組んだ実績があり，入学後も前向きに取り組む意欲をもつ生徒

学校名	宮城県白石工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	設備工業科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電気科、工業化学科、建築科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％）
学力検査：調査書	6 ： 4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１５０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　135 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　4段階評価（A～D）
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)その他
4　観点：(1)態度　(2)表現力等

合計　435 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県村田高等学校［全日制課程（総合学科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県村田高等学校は，「誠意，勤労，識見，気魄，協和」を校訓とし，町内唯一の高校として，地域社会との相互交流を深め協働するとともに，キャリア教育を深化させた教育活動を展開することで，地域を中心に広く社会に貢献できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○知・徳・体の調和のとれた幅広い力量を備え，夢と志をもって社会や地域の発展に貢献できる生徒を育成します。

（１）主体的に考えて行動できる力を持ち，自らの夢や希望の実現を図れる生徒を育成します。

（２）歴史や文化および規範を尊重する心と責任感や思いやりの心を持った生徒を育成します。

（３）健康な体を持ち，基本的な生活習慣を身につけた生徒を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○きめ細かい学習支援により，確かな基礎学力の向上を目指します。

→特に理解度の差が大きい教科等において，少人数での授業や学び直しなどを実施し，基礎基本の定着を図ります。

○幅広い選択科目を設定して，生徒の個に応じた学習を支援します。

→県内初の総合学科として，従前の設備等を活かしながら，多岐にわたる生徒の進路希望に対応できる柔軟な教育課程を実現します。

○地域と連携した学びの機会を設定し，望ましい社会観，職業観等を養います。

→各種講話，ボランティア活動，インターンシップ等を通して，地域社会との繋がりを実感させるとともに，社会性の育成を目指します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校の教育目標を理解し，それに沿って積極的に努力する意欲のある生徒

○学習活動，ＨＲ活動，部活動，行事等に主体的に取り組み，役割を果たそうとする生徒

○中学校で高い学習意欲を持ち，努力を続けてきた生徒

○中学校で部活動，ボランティア活動等にしっかりと取り組みながら，学習と両立させてきた生徒

○自己の向上のために，資格取得等に意欲的に挑戦しようとする志の高い生徒

学校名	宮城県村田高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	総合学科	募集定員	120人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	60 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	60 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 890　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する６０人の１２０％の範囲に含まれる者（７２人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　75 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)高校での活動意欲　(4)進路希望　(5)その他 4　観点：(1)態度　２５点　(2)表現力等　５０点	合計 600　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県大河原産業高等学校［全日制課程（農業科学科（食農科学科））］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県大河原産業高等学校は，「自立貢献」を校訓とし，社会の様々な変化に適切に対応する柔軟性と，他者を敬愛し，他者との協働を通して新たな価値を生み出す創造性を育みます。また，地域や他学科との連携・協働による取組や実習，フィールドワークを中心とした実践的な取組を通して，地域の良さを理解し，地域社会を支え地域に貢献する有為な人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

1　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

（１）基礎学力（社会人として必要とされる基礎的な学力）
（２）学び続ける力（常に学んでいこうとする力）
（３）自分や周囲の人々を肯定する力（ありのままの自分をかけがえのない存在として認める力，周囲の人々の良いところを見つけ，その存在を認める力）
（４）考え抜く力（様々な課題に対して主体的に粘り強く考える力）
（５）協働する力（他者を尊重しながら協働して物事に取り組む力）
（６）社会で通用する実践力（野菜や果樹に関する基礎・基本や技術を確実に身に付け，将来，各専門分野の学びを地域や社会で活用することのできる力）

2　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

（１）基礎学力の着実な定着を目指し，各科目においてきめ細やかな指導を行います。
（２）野菜や果樹の栽培と活用などの専門的な学びを基礎から発展まで十分に深めることができるような科目を設定，配置するとともに，主体的な学びにつながるような授業を展開します。
（３）地域や社会貢献の実現に向けた，多様な希望進路へ対応できる教科・科目を設定します。
（４）他分野の科目が履修できるよう，総合選択科目を設定します。
（５）総合的な探究の時間を柱とした学科間での連携や地域との協働を通じて，地域の新たな価値の創造につながる，開かれた教育課程の実現を目指します。
（６）各科目及び各種教育活動において地域の教育資源等を積極的に活用します。

3　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

（１）専門分野における教育に強い興味と関心を持ち，意欲的に学習に取り組む生徒
（２）野菜や果樹の栽培と活用に関する学習に意義と価値を見いだし，将来各専門分野で地域や社会に貢献しようとする意欲のある生徒
（３）仲間と協働して新しい学校づくりに主体的に取り組む意欲のある生徒
（４）基本的な生活習慣が身に付いており，本校における様々な活動に積極的に取り組む生徒
（５）中学校における学習，部活動，生徒会活動，校外活動などに積極的に取り組み努力してきた生徒

宮城県大河原産業高等学校［全日制課程（農業科学科（環境科学科））］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県大河原産業高等学校は，「自立貢献」を校訓とし，社会の様々な変化に適切に対応する柔軟性と，他者を敬愛し，他者との協働を通して新たな価値を生み出す創造性を育みます。また，地域や他学科との連携・協働による取組や実習，フィールドワークを中心とした実践的な取組を通して，地域の良さを理解し，地域社会を支え地域に貢献する有為な人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

1　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

（１）基礎学力（社会人として必要とされる基礎的な学力）
（２）学び続ける力（常に学んでいこうとする力）
（３）自分や周囲の人々を肯定する力（ありのままの自分をかけがえのない存在として認める力，周囲の人々の良いところを見つけ，その存在を認める力）
（４）考え抜く力（様々な課題に対して主体的に粘り強く考える力）
（５）協働する力（他者を尊重しながら協働して物事に取り組む力）
（６）社会で通用する実践力（草花やきのこなどの栽培及び林業や造園などに関する基礎・基本や技術を確実に身に付け，将来，各専門分野の学びを地域や社会で活用することのできる力）

2　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

（１）基礎学力の着実な定着を目指し，各科目においてきめ細やかな指導を行います。
（２）草花やきのこの栽培，林業，造園に関する知識や技術などの専門的な学びを基礎から発展まで十分に深めることができるような科目を設定，配置するとともに，主体的な学びにつながるような授業を展開します。
（３）地域や社会貢献の実現に向けた，多様な希望進路へ対応できる教科・科目を設定します。
（４）他分野の科目が履修できるよう，総合選択科目を設定します。
（５）総合的な探究の時間を柱とした学科間での連携や地域との協働を通じて，地域の新たな価値の創造につながる，開かれた教育課程の実現を目指します。
（６）各科目及び各種教育活動において地域の教育資源等を積極的に活用します。

3　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

（１）専門分野における教育に強い興味と関心を持ち，意欲的に学習に取り組む生徒
（２）森林生態系や林業，草花の栽培と活用や造園に関する学習に意義と価値を見いだし，将来各専門分野で地域や社会に貢献しようとする意欲のある生徒
（３）仲間と協働して新しい学校づくりに主体的に取り組む意欲のある生徒
（４）基本的な生活習慣が身に付いており，本校における様々な活動に積極的に取り組む生徒
（５）中学校における学習，部活動，生徒会活動，校外活動などに積極的に取り組み努力してきた生徒

学校名	宮城県大河原産業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	農業科学科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	企画デザイン科、総合ビジネス科

共通選抜

募集人数	48 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	32 人（募集定員の　40　％　）

配点

1　調査書　390 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする

音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３２人の１２０％の範囲に含まれる者（３８人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点

国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする

社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点

国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県大河原産業高等学校［全日制課程（企画デザイン科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県大河原産業高等学校は，「自立貢献」を校訓とし，社会の様々な変化に適切に対応する柔軟性と，他者を敬愛し，他者との協働を通して新たな価値を生み出す創造性を育みます。また，地域や他学科との連携・協働による取組や実習，フィールドワークを中心とした実践的な取組を通して，地域の良さを理解し，地域社会を支え地域に貢献する有為な人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

1　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

（１）基礎学力（社会人として必要とされる基礎的な学力）
（２）学び続ける力（常に学んでいこうとする力）
（３）自分や周囲の人々を肯定する力（ありのままの自分をかけがえのない存在として認める力，周囲の人々の良いところを見つけ，その存在を認める力）
（４）考え抜く力（様々な課題に対して主体的に粘り強く考える力）
（５）協働する力（他者を尊重しながら協働して物事に取り組む力）
（６）社会で通用する実践力（デザインに関する基礎・基本や技術を確実に身に付け，将来，地域を商業の視点でデザインし，地域に貢献することのできる力）

2　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

（１）基礎学力の着実な定着を目指し，各科目においてきめ細やかな指導を行います。
（２）ＣＧデザインやブランディングなどの専門的な学びを基礎から発展まで十分に深めることができるような科目を設定，配置するとともに，主体的な学びにつながるような授業を展開します。
（３）地域や社会貢献の実現に向けた，多様な希望進路へ対応できる教科・科目を設定します。
（４）他分野の科目が履修できるよう，総合選択科目を設定します。
（５）総合的な探究の時間を柱とした学科間での連携や地域との協働を通じて，地域の新たな価値の創造につながる，開かれた教育課程の実現を目指します。
（６）各科目及び各種教育活動において地域の教育資源等を積極的に活用します。

3　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

（１）専門分野における教育に強い興味と関心を持ち，意欲的に学習に取り組む生徒
（２）よりよい地域の実現に向けた商品開発やイベント企画などに興味があり，将来，地域や社会に貢献しようとする意欲のある生徒
（３）仲間と協働して新しい学校づくりに主体的に取り組む意欲のある生徒
（４）基本的な生活習慣が身に付いており，本校における様々な活動に積極的に取り組む生徒
（５）中学校における学習，部活動，生徒会活動，校外活動などに積極的に取り組み努力してきた生徒

学校名	宮城県大河原産業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	企画デザイン科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業科学科、総合ビジネス科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１２０％の範囲に含まれる者（１９人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県大河原産業高等学校［全日制課程（総合ﾋﾞｼﾞﾈｽ科（流通ﾋﾞｼﾞﾈｽ科））］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県大河原産業高等学校は，「自立貢献」を校訓とし，社会の様々な変化に適切に対応する柔軟性と，他者を敬愛し，他者との協働を通して新たな価値を生み出す創造性を育みます。また，地域や他学科との連携・協働による取組や実習，フィールドワークを中心とした実践的な取組を通して，地域の良さを理解し，地域社会を支え地域に貢献する有為な人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

1　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

（１）基礎学力（社会人として必要とされる基礎的な学力）
（２）学び続ける力（常に学んでいこうとする力）
（３）自分や周囲の人々を肯定する力（ありのままの自分をかけがえのない存在として認める力，周囲の人々の良いところを見つけ，その存在を認める力）
（４）考え抜く力（様々な課題に対して主体的に粘り強く考える力）
（５）協働する力（他者を尊重しながら協働して物事に取り組む力）
（６）社会で通用する実践力（流通ビジネスに関する基礎・基本や技術を確実に身に付け，将来，地域や社会における様々なビジネス活動に活用することのできる力）

2　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

（１）基礎学力の着実な定着を目指し，各科目においてきめ細やかな指導を行います。
（２）販売の知識やコミュニケーション技術など流通ビジネスに関する専門的な学びを基礎から発展まで十分に深めることができるような科目を設定，配置するとともに，主体的な学びにつながるような授業を展開します。
（３）地域や社会貢献の実現に向けた，多様な希望進路へ対応できる教科・科目を設定します。
（４）他分野の科目が履修できるよう，総合選択科目を設定します。
（５）総合的な探究の時間を柱とした学科間での連携や地域との協働を通じて，地域の新たな価値の創造につながる，開かれた教育課程の実現を目指します。
（６）各科目及び各種教育活動において地域の教育資源等を積極的に活用します。

3　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

（１）専門分野における教育に強い興味と関心を持ち，意欲的に学習に取り組む生徒
（２）販売に関する知識やコミュニケーション技術など流通ビジネスに関する学習に意義と価値を見いだし，将来各専門分野で地域や社会に貢献しようとする意欲のある生徒
（３）仲間と協働して新しい学校づくりに主体的に取り組む意欲のある生徒
（４）基本的な生活習慣が身に付いており，本校における様々な活動に積極的に取り組む生徒
（５）中学校における学習，部活動，生徒会活動，校外活動などに積極的に取り組み努力してきた生徒

宮城県大河原産業高等学校［全日制課程（総合ﾋﾞｼﾞﾈｽ科（情報ﾋﾞｼﾞﾈｽ科））］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県大河原産業高等学校は，「自立貢献」を校訓とし，社会の様々な変化に適切に対応する柔軟性と，他者を敬愛し，他者との協働を通して新たな価値を生み出す創造性を育みます。また，地域や他学科との連携・協働による取組や実習，フィールドワークを中心とした実践的な取組を通して，地域の良さを理解し，地域社会を支え地域に貢献する有為な人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

1　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

（１）基礎学力（社会人として必要とされる基礎的な学力）
（２）学び続ける力（常に学んでいこうとする力）
（３）自分や周囲の人々を肯定する力（ありのままの自分をかけがえのない存在として認める力，周囲の人々の良いところを見つけ，その存在を認める力）
（４）考え抜く力（様々な課題に対して主体的に粘り強く考える力）
（５）協働する力（他者を尊重しながら協働して物事に取り組む力）
（６）社会で通用する実践力（情報ビジネスに関する基礎・基本や技術を確実に身に付け，将来，地域や社会においてコンピュータを合理的に活用することのできる力）

2　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

（１）基礎学力の着実な定着を目指し，各科目においてきめ細やかな指導を行います。
（２）ネットワークやプログラミング，情報システムなど情報ビジネスに関する専門的な学びを基礎から発展まで十分に深めることができるような科目を設定，配置するとともに，主体的な学びにつながるような授業を展開します。
（３）地域や社会貢献の実現に向けた，多様な希望進路へ対応できる教科・科目を設定します。
（４）他分野の科目が履修できるよう，総合選択科目を設定します。
（５）総合的な探究の時間を柱とした学科間での連携や地域との協働を通じて，地域の新たな価値の創造につながる，開かれた教育課程の実現を目指します。
（６）各科目及び各種教育活動において地域の教育資源等を積極的に活用します。

3　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

（１）専門分野における教育に強い興味と関心を持ち，意欲的に学習に取り組む生徒
（２）ネットワークやプログラミング，情報システムなど情報ビジネスに関する学習に意義と価値を見いだし，将来各専門分野で地域や社会に貢献しようとする意欲のある生徒
（３）仲間と協働して新しい学校づくりに主体的に取り組む意欲のある生徒
（４）基本的な生活習慣が身に付いており，本校における様々な活動に積極的に取り組む生徒
（５）中学校における学習，部活動，生徒会活動，校外活動などに積極的に取り組み努力してきた生徒

宮城県大河原産業高等学校［全日制課程（総合ﾋﾞｼﾞﾈｽ科（会計ﾋﾞｼﾞﾈｽ科））］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県大河原産業高等学校は，「自立貢献」を校訓とし，社会の様々な変化に適切に対応する柔軟性と，他者を敬愛し，他者との協働を通して新たな価値を生み出す創造性を育みます。また，地域や他学科との連携・協働による取組や実習，フィールドワークを中心とした実践的な取組を通して，地域の良さを理解し，地域社会を支え地域に貢献する有為な人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

1　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

（１）基礎学力（社会人として必要とされる基礎的な学力）
（２）学び続ける力（常に学んでいこうとする力）
（３）自分や周囲の人々を肯定する力（ありのままの自分をかけがえのない存在として認める力，周囲の人々の良いところを見つけ，その存在を認める力）
（４）考え抜く力（様々な課題に対して主体的に粘り強く考える力）
（５）協働する力（他者を尊重しながら協働して物事に取り組む力）
（６）社会で通用する実践力（会計ビジネスに関する基礎・基本や技術を確実に身に付け，将来，地域や社会において経理や事務職として活躍することのできる力）

2　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

（１）基礎学力の着実な定着を目指し，各科目においてきめ細やかな指導を行います。
（２）企業における会計処理や経営分析など，会計ビジネスに関する専門的な学びを基礎から発展まで十分に深めることができるような科目を設定，配置するとともに，主体的な学びにつながるような授業を展開します。
（３）地域や社会貢献の実現に向けた，多様な希望進路へ対応できる教科・科目を設定します。
（４）他分野の科目が履修できるよう，総合選択科目を設定します。
（５）総合的な探究の時間を柱とした学科間での連携や地域との協働を通じて，地域の新たな価値の創造につながる，開かれた教育課程の実現を目指します。
（６）各科目及び各種教育活動において地域の教育資源等を積極的に活用します。

3　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

（１）専門分野における教育に強い興味と関心を持ち，意欲的に学習に取り組む生徒
（２）企業における会計処理や経営分析など，会計ビジネスに関する学習に意義と価値を見いだし，将来各専門分野で地域や社会に貢献しようとする意欲のある生徒
（３）仲間と協働して新しい学校づくりに主体的に取り組む意欲のある生徒
（４）基本的な生活習慣が身に付いており，本校における様々な活動に積極的に取り組む生徒
（５）中学校における学習，部活動，生徒会活動，校外活動などに積極的に取り組み努力してきた生徒

学校名	宮城県大河原産業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	総合ビジネス科	募集定員	120人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業科学科、企画デザイン科

共通選抜

募集人数	72 人（募集定員の　60　％）
学力検査：調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	48 人（募集定員の　40　％）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４８人の１２０％の範囲に含まれる者（５７人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県大河原産業高等学校　川崎校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県大河原産業高等学校川崎校は、「自立貢献」を校訓とし、21 世紀を生きる国際的視野に立ち、社会の発展に寄与できる知・徳・体を兼ね備えた人材を育成します。また、地域と連携した特別活動やボランティア活動等への生徒の積極的な参加を促進し、教育課程内外の活動を通して地域社会と協働する中で地域に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○自他の命を大切にし、高い志と思いやりの心をもつ、心身共に健やかな人間を育成します。
○自ら学び自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育成します。
○様々な体験活動を通じ、人との交流の大切さを実感させ、倫理観、規範意識を育成します。
○勤労と責任を重んじ、地域社会の発展に寄与する人間を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○習熟度別授業の設定や少人数指導を通して、個に応じた学びを実現します。
→理解度に差が生じやすい教科を中心に習熟度別授業（基礎基本・発展）を実施し、基礎基本の定着を基にした学力の向上を図ります。
○多様な進路希望に対応できる選択科目を設定し、進路目標の実現を目指します。
→大学進学から就職まで、進路希望に応じた科目設定により進路目標を達成します。
○横断的な学習や総合的な探究活動を通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成します。
→地域と川崎校が連携し、地域の特性や教育資源を活かした学習活動を推進します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校で学ぼうとする理由が明確で、自主・自立の精神で何事にも意欲的に取り組む生徒
○基礎・基本的学力の向上を目指し、継続的に努力できる生徒
○日々の授業を基礎として、地域と協働する探究的学習活動に積極的に取り組む生徒
○基本的な生活習慣が身に付いており、豊かな人間性を磨くために部活動や特別活動に積極的に取り組む生徒
○ボランティア活動に参加した実績があり、入学後も積極的に地域社会に貢献する意志のある生徒

学校名	宮城県大河原産業高等学校川崎校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする
- 得点を１．０倍にする　：

3　面接　75 点

合計　800 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１５０％の範囲に含まれる者（３０人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路志望　(4)その他 4　観点：(1)態度　１５点　(2)表現力　１５点　(3)判断力　１５点 (4)協調性　１５点　(5)責任感　１５点

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　75 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１５分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　600 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県柴田高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県柴田高等学校は，「自立・敬愛，英知・創造，忍耐・強靭」を校訓とし，体育科を有する学校として，スポーツを通じ或いは身近に感じ，近隣の小・中学校との交流を積極的に行い，地域に根ざし，地域社会の期待に「応える」人材を育成します。また，キャリア形成の一環として，柴田町等が主催する地域貢献活動・ボランティア活動等に取り組み，仙台大学との高大連携等も含め，地域とともにある学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

優れた徳性，高い知性，強健な身体と強い意志を備え，未来を開拓する創造力と実践力に富み，次代を担うことのできる骨太の人材を，スポーツを通じ（或いは，身近に感じて）育成します。

（１）礼節を重んじ，人と愛情を持って接し，積極的に自己啓発に努める人材
（２）弛まぬ努力により，学力を伸長させるとともに幅広い教養を身につけ，創造力に富む人材
（３）心身の鍛練により，強健な身体と不屈の強靭な精神力を持つ人材

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

大学・短期大学・看護医療系をはじめとする各種専門学校への進学，民間企業・公務員等への就職等，あらゆる進路に対応できる十分な学力と思考力を身につけさせます。

（１）義務教育段階の学習を踏まえ，系統的な学習指導を通じた確かな基礎学力
（２）授業評価・研究を踏まえ，不断の授業改善から，主体的で深い学びを実現する授業
（３）希望進路実現のための個別の学習指導

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

学業と部活動共に精励し，個々の「夢実現」を体現するため，基礎・基本の知識・技能習得と学力の伸長を図り，社会に貢献しようとする生徒を期待します。

（１）強い意欲を持って文武両道を実践し，自分の夢の実現に挑む生徒
（２）規律ある学校生活を送り，豊かな人間性を育むために不断の努力を惜しまない生徒
（３）進路について明確な目標を持ち，その実現に向かって日々を大切にする生徒
（４）生徒会活動・校外活動で優れた能力を発揮し，入学後も継続して何事にも意欲的に取り組む高い志を有している生徒

学校名	宮城県柴田高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	120人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	96 人（募集定員の　80　％）
学力検査：調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　20　％）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 695　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の１５０％の範囲に含まれる者（３６人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　255 点 国語　：　全学年の評定を１．０倍にする 数学、社会、理科、英語、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　200 点 国語　：　得点を２．０倍にする 3　面接　200 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路希望　(4)その他 4　観点：(1)表現力等　２００点	合計 655　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県柴田高等学校［全日制課程（体育科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県柴田高等学校は，「自立・敬愛，英知・創造，忍耐・強靭」を校訓とし，体育科を有する学校として，スポーツを通じ或いは身近に感じ，近隣の小・中学校との交流を積極的に行い，地域に根ざし，地域社会の期待に「応える」人材を育成します。また，キャリア形成の一環として，柴田町等が主催する地域貢献活動・ボランティア活動等に取り組み，仙台大学との高大連携等も含め，地域とともにある学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

優れた徳性，高い知性，強健な身体と強い意志を備え，未来を開拓する創造力と実践力に富み，次代を担うことのできる骨太の人材を，スポーツを通じ（或いは，身近に感じて）育成します。

（１）礼節を重んじ，人と愛情を持って接し，積極的に自己啓発に努める人材
（２）弛まぬ努力により，学力を伸長させるとともに幅広い教養を身につけ，創造力に富む人材
（３）心身の鍛練により，強健な身体と不屈の強靭な精神力を持つ人材

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

大学・短期大学・看護医療系をはじめとする各種専門学校への進学，民間企業・公務員等への就職等，あらゆる進路に対応できる十分な学力と思考力を身につけさせます。

（１）義務教育段階の学習を踏まえ，系統的な学習指導を通じた確かな基礎学力
（２）授業評価・研究を踏まえ，不断の授業改善から，主体的で深い学びを実現する授業
（３）希望進路実現のための個別の学習指導

体育専門科目（２５単位）を履修し，高度な運動技能・知識を習得し，体育・スポーツの推進に寄与する資質・能力を育みます。

（１）全国レベルを意識した競技力の向上
（２）体育・スポーツ全般を通した全人的教育

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

学業と部活動共に精励し，個々の「夢実現」を体現するため，基礎・基本の知識・技能習得と学力の伸長を図り，社会に貢献しようとする生徒を期待します。また，体育科では，優れた競技実績を挙げるための不屈の努力に挑む生徒を求めます。

（１）強い意欲を持って文武両道を実践し，自分の夢の実現に挑む生徒
（２）規律ある学校生活を送り，豊かな人間性を育むために不断の努力を惜しまない生徒
（３）進路について明確な目標を持ち，その実現に向かって日々を大切にする生徒
（４）生徒会活動・校外活動で優れた能力を発揮し，入学後も継続して何事にも意欲的に取り組む高い志を有している生徒

スポーツ活動において特に優れた能力を発揮するとともに顕著な実績を挙げ，入学後も継続活動への確固たる意思を有する生徒を求めます。

学校名	宮城県柴田高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	体育科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査：調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　125 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．２５倍にする

3　実技　320 点

合計　640 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書及び実技の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の１３０％の範囲に含まれる者（４６人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び実技の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	実技 ※２日目に実施	1　形態：個人実技 2　時間：１５分程度 3　内容：(1)専攻実技種目に関する運動能力　(2)その他 4　観点：技能・体力、態度を総合的に評価する

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　255 点
- 国語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 数学、社会、理科、英語、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　200 点
- 国語　：　得点を２．０倍にする

3　実技　320 点
- 1　形態：個人実技
- 2　時間：１５分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　775 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県角田高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県角田高等学校は，伊具地区で唯一の普通科の高校で，「質実剛健，自他敬愛」を校訓とし，地域からの期待に応え，積極的に地域の問題に取り組み，地域に貢献できる人材を育成します。文武両道を追求して自己の心身の鍛練に日夜努力する一方，「総合的な探究の時間」やボランティア活動や地域イベントへの参加によって積極的に地域と関わるなど，地域と連携しながら地域の問題に関わりつつ生徒自身の成長を地域と共に育んでいく学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

本校の使命は，「人格の陶冶を図り，生涯にわたって学び続ける力を養い，地域社会のみならず日本や世界で活躍できる人材を育成する」ことです。それに基づいて本校では以下の「理想とする角高生」とそれに対応した「本校で育てる６つの力」を育成することを目指します。

「理想とする角高生」	「本校で育てる６つの力」
１　自ら志を抱く生徒	１　志す力
２　失敗を恐れず粘り強く続ける生徒	２　挑む力
３　自らの考えを適切に表現できる生徒	３　伝える力
４　地域を愛し関わる生徒	４　関わる力
５　国際的な視野を持つ生徒	５　認める力
６　角田高校に誇りを持つ生徒	６　創る力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

本校では，地域の期待に応えるため，国公立大学から就職まで多岐にわたる進路希望を持つ生徒が入学してきます。そのため「進学重視型単位制」課程を実施し，すべての生徒に対する夢の実現をサポートするために以下の取り組みを実施します。

・「角高夢 Project（総合的な探究の時間）」を中心に地域と連携しながら探究的なキャリア教育活動を行います。このような活動を通して自分と社会の結びつきを意識し，自己理解を深め，職業選択を通して将来の理想像を描く機会を持てるようにします。

・多岐に渡る進路希望を実現するため習熟度別授業や特色ある学校設定科目を設定し，少人数教育の利点を生かした手厚い指導を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

本校が育成を目指す資質・能力や地域から期待されている役割に基づいて以下のような意欲のある生徒を求めます。

・主体的に地域社会や国際社会に関わりをもちながら，社会貢献に強い意欲をもつ生徒

・理想的な自分となるために，何事にも積極的に取り組み，新しいことに挑戦しようとする生徒

・挨拶や自己規律など基本的生活習慣が身に付いており，周りの信頼を得るための努力を惜しまない生徒

・目的をもって日々の学校生活に向き合い，学習と部活動の両立のため一生懸命に取り組む生徒

・日々の授業を大切にし，社会に出ても通用するような基礎学力を有している生徒

学校名	宮城県角田高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	160人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	144 人（募集定員の　90　％）
学力検査：調査書	6 ： 4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　10　％）	
配点	1　調査書　270 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 770　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１２０％の範囲に含まれる者（１９人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県伊具高等学校［全日制課程（総合学科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県伊具高等学校は，「質実剛健，穏健着実」を校訓とし，愉しみを持って学習し，自主的・自律的に活動できる責任感のある人材を育成します。生徒一人一人を生かした教育活動を通して，自らの志を達成するための確かな学力を身につけ，地域社会の将来を託すにふさわしい，「生きる智恵」にあふれた人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

総合学科の特色を活かし，生徒一人ひとりの人間性と社会性を育成し，希望進路１００％を目指します。

○基本的な生活習慣を養成し，社会人としての資質・能力を育成します。
○キャリア教育を組織的に推進し，勤労観・職業観を育成します。
○学校行事・部活動・地域連携活動を通して主体性と協調性を育成します。
○安心して学校生活が送れるよう，安全教育を推進し，安全安心な社会づくりに貢献する心を育てます。
○グローバル化・情報化に対応した能力を育て，地域社会に貢献できる人材を育成します。
○諸活動をとおして，社会の一員としての自覚を持った豊かな人間性の涵養を図ります。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

普通教科と専門教科の両方を重視します。

○普通教科では，基礎学力の定着を図り，希望進路達成できる学力を身につけます。
○専門教科では，地域産業や時代のニーズに対応ができる知識や技術を身につけます。

〈農学系列〉生産物や自然環境に関する専門科目を学び，知識と技術を身につけ農学系への就職または進学を目指します。

〈機械系列〉機械・電気・情報に関する専門科目を学び，知識と技術を身につけ工業系への就職または進学を目指します。

〈情報系列〉情報処理やビジネスに関する専門科目を学び，知識と技術を身につけ情報・経済系への就職または進学を目指します。

〈福祉系列〉社会と家庭生活において課題を解決する力を身につけるための専門科目を学び，知識や技術を身につけ，福祉・家政系への就職または進学を目指します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

本校は以下のような生徒を求めます。

○本校で学ぶ理由が明確である生徒
○基本的な生活習慣が身についており，豊かな人間性を磨くために努力できる生徒
○進路実現に向かって継続的に努力し，積極的にインターンシップ等の体験活動に取り組もうとする生徒
○何事にも真剣に取り組み，日々の授業を大事にする生徒
○部活動，校外でのスポーツ活動または文化活動で優れた能力を有し，入学後も継続して活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県伊具高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	総合学科	募集定員	120人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	60 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	60 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする 3　面接　105 点	合計 800　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する６０人の１２０％の範囲に含まれる者（７２人）を対象として行う。 ・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：集団面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路について　(4)その他 4　観点：(1)態度　２５点　(2)表現力等　８０点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　4段階評価（A～D） 1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県名取高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県名取高等学校全日制課程は，「真善美への感動と実践」を校訓とし，生徒の自己理解と社会認識を深め，積極的な学習を奨揚します。また，公徳心を涵養し，規律を重んずる習慣を養い，情操豊かで心身ともに健康な人材を育成します。人格の完成をめざし，地域社会および国家社会の有為な人材を育成し，発展に貢献できる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○　確かな学力，豊かな心，健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育成します。

○　基本的生活習慣の確立を図り，正しい倫理観，規範意識と自他を尊重する精神を育成します。

○　望ましい職業観・勤労観を醸成し，主体的に自己の生き方を考え，行動する態度を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○　共通科目に加え，多様な進路希望に対応する選択科目での学びを通して，基礎学力を涵養し社会で「生きる力」を醸成します。

○　地域社会と連携を図りながらキャリア教育を推進し，生徒が自己理解を深め主体的に学ぶ姿勢を育みます。

○　主体的・対話的で深い学びや教科等横断的な学びを軸に，地域社会が抱える諸課題について考察し，探究的な学びを深めます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

次に該当する生徒を求めます。

○　本校で学ぼうとする理由が明確で，学校生活に意欲的に臨む生徒。

○　基本的な生活習慣が身に付いており，豊かな人間性を磨くために努力できる生徒。

○　自分の将来に明確な目標をもち，その実現のために積極的に学習に取り組もうとする生徒。

○　部活動，校外でのスポーツ活動・文化活動で優れた能力を有し，継続して活動する意欲ある生徒。

学校名	宮城県名取高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	192 人（募集定員の　80　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	48 人（募集定員の　20　％　）	
配点	1　調査書　330 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を３．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 830　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４８人の１５０％の範囲に含まれる者（７２人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　3段階評価（A～C） 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)その他 4　観点：(1)関心・意欲　(2)態度　(3)表現力等	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県名取高等学校［全日制課程（家政科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県名取高等学校全日制課程は，「真善美への感動と実践」を校訓とし，生徒の自己理解と社会認識を深め，積極的な学習を奨揚します。また，公徳心を涵養し，規律を重んずる習慣を養い，情操豊かで心身ともに健康な人材を育成します。人格の完成をめざし，地域社会および国家社会の有為な人材を育成し，発展に貢献できる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○　確かな学力，豊かな心，健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育成します。

○　基本的生活習慣の確立を図り，正しい倫理観，規範意識と自他を尊重する精神を育成します。

○　望ましい職業観・勤労観を醸成し，主体的に自己の生き方を考え，行動する態度を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○　共通科目に加え，多様な進路希望に対応する選択科目での学びを通して，基礎学力を涵養し社会で「生きる力」を醸成します。

○　地域社会と連携を図りながらキャリア教育を推進し，生徒が自己理解を深め主体的に学ぶ姿勢を育みます。

○　主体的・対話的で深い学びや教科等横断的な学びを軸に，地域社会が抱える諸課題について考察し，探究的な学びを深めます。

○　食物系列，被服系列，保育・福祉系列のいずれかを選択し，専門分野の学びを深めながら問題解決能力を高め，より高い専門性を身に付けます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

次に該当する生徒を求めます。

○　本校で学ぼうとする理由が明確で，学校生活に意欲的に臨む生徒。

○　基本的な生活習慣が身に付いており，豊かな人間性を磨くために努力できる生徒。

○　自分の将来に明確な目標をもち，その実現のために積極的に学習に取り組もうとする生徒。

○　部活動，校外でのスポーツ活動・文化活動で優れた能力を有し，継続して活動する意欲ある生徒。

○　「技術・家庭」の教科に強い興味関心をもち，特に食物・被服・保育・福祉といった生活産業の担い手を目指し，大学またはその他の上級学校への進学や関連産業への就職を希望し，夢を実現しようとする意欲ある生徒。

学校名	宮城県名取高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	家政科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科

共通選抜

募集人数	28 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	12 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　345 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育　：　全学年の評定を３．０倍にする 技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 845　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２人の１５０％の範囲に含まれる者（１８人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　3段階評価（A～C） 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)その他 4　観点：(1)関心・意欲　(2)態度　(3)表現力等	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県名取北高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県名取北高等学校は，「人間愛，創造，貢献」を校訓とし，３年間の学校生活を通して豊かな人格を備え，積極的に自己開発に努める人材を育成します。教育課程内外の活動を通じて地域社会について学ぶことにより，生徒自身が地域社会における課題と自己の役割を認識し，地域に貢献する生徒を育てる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○互いに認め合い尊重し合える人間関係を構築し，多様な生き方を互いに尊重し合える寛容さを持つ生徒を育成します。

○生徒一人一人が主体的に人生を生きることができるように，自分自身で考え，探究しつづけていく生徒を育成します。

○協働的な学びをとおして，社会の課題に向き合い，地域社会に貢献できる生徒を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○１年次は共通履修とし（芸術科目のみ選択），２年次以降は文系・理系の類型に分かれ，自己実現を図るための学習活動を行います。

→基礎・基本を重視し，基礎学力の伸長を図ります。生徒間の理解度の差が大きい科目においては，少人数授業を実施します。

○多様な選択科目を設定し，生徒が自分に適した学習プランを設計できる，個別最適な学びを実現します。

→国公立大学進学から就職まで，生徒の多岐にわたる進路希望を実現するための多様な選択群を設定します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校への入学を強く希望し，自己の様々な可能性に挑戦し，自己開発に取り組み，自己の将来像を考えてその希望に向かって努力を継続できる生徒。

○希望する進路に向かって，平常の授業を大切にし，特に国語・数学・英語の３教科において優秀な成績を収めた生徒。

○入学後３年間，部活動や校外の諸活動に継続して取り組むことができる生徒。

○学校行事，生徒会活動，各種検定試験等に積極的に参加しようとする意欲のある生徒。

学校名	宮城県名取北高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	216 人（募集定員の　90　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　10　％　）

配点

1　調査書　180 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　680　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の１５０％の範囲に含まれる者（３６人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525　点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県亘理高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県亘理高等学校は、「質実剛健、勤勉力行」を校訓とし、「真理の探究」、「人格の陶冶」及び「職業観の育成」を目標に、高い知性と徳性並びに健康な身体を有し、人間を尊重し平和を愛する心を持つ、自主性に富んだ実行力のある人材を育成します。また、生徒には特別活動やボランティア活動等への積極的な参加を促し、教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画することで、地域に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○生涯にわたり主体的に学び続け、積極的に社会参画する人間力を育成します。
○教養豊かな社会人・職業人としての資質を育成します。
○社会の課題を自ら発見する力と課題解決のための科学的な思考力や探究心を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科と専門教科の両方を重視します。
→１学年で普通科目の指導に重点を置き、多様な進路目標達成のための基礎的な学力を養います。２学年からはさらに商業、農業といった専門学科の学びを取り入れた３類型（普通類型、ビジネスキャリア類型、園芸類型）を設置することで、就職にも進学にも強い人材を育成する科目を設定します。
○教科等横断的な学びや地域と協働した学びにより、探究的な学びを進めます。
→地元企業や行政等と連携し、地域社会の活性化について教科等横断的に取り組み、その方法を自ら考え、解決策を模索します。
○少人数の授業や多様な選択科目を設定し、個に適した学びを実現します。
→生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に少人数授業を実施するとともに、多岐にわたる生徒の進路希望・興味・関心に対応する多様な選択科目の設定を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本学科で学ぼうとする理由が明確で、自主・自立の精神で学校生活に意欲的に臨む生徒
○基本的な生活習慣が身に付いており、豊かな人間性を磨くために努力できる生徒
○進路実現に向かって継続的に努力し、積極的にインターンシップ等の体験活動に取り組もうとする生徒
○何事にも真剣に取り組み、日々の授業を大事にする生徒
○部活動や校外活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県亘理高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	40 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	40 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする 3　面接　4段階評価（A～D）	合計 695　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する40人の１５０％の範囲に含まれる者（６０人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：集団面接（５人程度で編成したグループごと） 2　時間：２５分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路　(4)その他 4　観点：(1)態度　(2)表現力等

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　195 点 国語、数学、英語、社会、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　4段階評価（A～D） 1　形態：集団面接（５人程度で編成したグループごと） 2　時間：２５分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 495　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県亘理高等学校［全日制課程（食品科学科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県亘理高等学校は、「質実剛健、勤勉力行」を校訓とし、「真理の探究」、「人格の陶冶」及び「職業観の育成」を目標に、高い知性と徳性並びに健康な身体を有し、人間を尊重し平和を愛する心を持つ、自主性に富んだ実行力のある人材を育成します。また、生徒には特別活動やボランティア活動等への積極的な参加を促し、教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画することで、地域に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○食品に対する知識・技術の習得をとおして、これらに関わる業務に従事する能力と態度を育成します。
○農産加工、農業等地域産業の担い手となる人間力を育成します。
○社会の課題を自ら発見する力と課題解決のための科学的な思考力や探究心を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科と専門教科の両方を重視します。
　→普通教科では社会で生きる基礎力を、専門教科では確実な技術力を養います。
○教科等横断的な学びや地域と協働した学びにより、探究的な学びを進めます。
　→地元企業や行政等と連携し、地域社会の活性化について教科等横断的に取り組み、その方法を自ら考え、解決策を模索します。
○少人数の授業や多様な選択科目を設定し、個に適した学びを実現します。
　→生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に少人数授業を実施するとともに、多岐にわたる生徒の進路希望・興味・関心に対応する多様な選択科目の設定を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本学科で学ぼうとする理由が明確で、自主・自立の精神で学校生活に意欲的に臨む生徒
○基本的な生活習慣が身に付いており、豊かな人間性を磨くために努力できる生徒
○進路実現に向かって継続的に努力し、積極的にインターンシップ等の体験活動に取り組もうとする生徒
○何事にも真剣に取り組み、日々の授業を大事にする生徒
○部活動や校外活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県亘理高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	食品科学科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする 3　面接　4段階評価（A～D）	合計 695　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１５０％の範囲に含まれる者（３０人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：集団面接（５人程度で編成したグループごと） 2　時間：２５分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路　(4)その他 4　観点：(1)態度　(2)表現力等

社会人特別選抜

無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　195 点 国語、数学、英語、社会、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　4段階評価（A～D） 1　形態：集団面接（５人程度で編成したグループごと） 2　時間：２５分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 495　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県亘理高等学校［全日制課程（家政科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県亘理高等学校は，「質実剛健，勤勉力行」を校訓とし，「真理の探究」，「人格の陶冶」及び「職業観の育成」を目標に，高い知性と徳性並びに健康な身体を有し，人間を尊重し平和を愛する心を持つ，自主性に富んだ実行力のある人材を育成します。また，生徒には特別活動やボランティア活動等への積極的な参加を促し，教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画することで，地域に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○生活の質の向上と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育成します。
○家政学の知識と技術を身に付け，地域の生活・福祉の向上に貢献できる志豊かな人間力を育成します。
○社会の課題を自ら発見する力と課題解決のための科学的な思考力や探究心を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科と専門教科の両方を重視します。
　→普通教科では社会で生きる基礎力を，専門教科では確実な技術力を養います。
○教科等横断的な学びや地域と協働した学びにより，探究的な学びを進めます。
　→地元企業や行政等と連携し，地域社会の活性化について教科等横断的に取り組み，その方法を自ら考え，解決策を模索します。
○少人数の授業や多様な選択科目を設定し，個に適した学びを実現します。
　→生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に少人数授業を実施するとともに，多岐にわたる生徒の進路希望・興味・関心に対応する多様な選択科目の設定を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本学科で学ぼうとする理由が明確で，自主・自立の精神で学校生活に意欲的に臨む生徒
○基本的な生活習慣が身に付いており，豊かな人間性を磨くために努力できる生徒
○進路実現に向かって継続的に努力し，積極的にインターンシップ等の体験活動に取り組もうとする生徒
○何事にも真剣に取り組み，日々の授業を大事にする生徒
○部活動や校外活動で優れた能力を有し，入学後も継続して活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県亘理高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	家政科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする 3　面接　4段階評価（A～D）	合計 695　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１５０％の範囲に含まれる者（３０人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：集団面接（５人程度で編成したグループごと） 2　時間：２５分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路　(4)その他 4　観点：(1)態度　(2)表現力等

社会人特別選抜

無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　195 点 国語、数学、英語、社会、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　4段階評価（A～D） 1　形態：集団面接（５人程度で編成したグループごと） 2　時間：２５分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 495　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県農業高等学校［全日制課程（農業科)］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県農業高等学校は,「自啓（自らの力で自らの道をひらく)」を校訓とし，３年間の教育を通して，自然を愛し，心身ともに健康でたくましい人材を育成します。また，宮城県の農業教育の中核を担う学校として，農業のキャリア教育を推進するとともに，都市近郊の農業高校として役割を模索し，地域社会の発展に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○志を明確にして達成する学力を身に付けます。
○農業の体系的・系統的な理解及び関連する技術を育成します。
○農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む人材を育成します。
○職業人としての規範意識や倫理観が身に付いた人材を育成します。

＜豊かな心＞命を大切にする,協調の心,健全な人間関係，地域への貢献
＜確かな学力＞基礎基本の定着,健康の保持増進,コミュニケーション能力の向上
＜専門教育の充実＞自律的な能力と態度,官民と連携した学習

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科と農業教科などの学習を通して豊かな人格の形成と生きる力の育成を図り,将来,地域社会を担う有為な社会人の育成を目指します。
○教科等横断的な学びや地域社会と協働した学びにより,探究的な学びを進めます。
→探究的な学びから地域の資源を発見・活用する策を模索します。
○ICT を活用したスマート農業や農場 HACCP の取り組みによる学びを実現します。
→GPS を活用した自動運転技術等による作物生産や，安心・安全な畜産物生産に関する学習を実施すると共に，農業生産者としての責任感を身に付けます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○志望動機が明確であり,意欲的に農業学習・学校生活に取り組む生徒。
○基本的生活習慣が身に付いており，豊かな人間性を磨くために努力し,互いにコミュニケーション能力を高められる生徒。
○本校の目標である校訓「自啓」を理解し,進路実現に向かって継続的に努力できる生徒。
○中学校３年間続けてきたスポーツ的活動,文化的活動を高校入学後も継続して活動する意欲のある生徒。
○農作物の栽培または家畜の飼育及び農業経営に関する学習に強い興味・関心があり,将来の農業の担い手・地域の担い手や農業関係等への進学・就職を目指している生徒。

宮城県農業高等学校［全日制課程（園芸科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県農業高等学校は，「自啓（自らの力で自らの道をひらく）」を校訓とし，３年間の教育を通して，自然を愛し，心身ともに健康でたくましい人材を育成します。また，宮城県の農業教育の中核を担う学校として，農業のキャリア教育を推進するとともに，都市近郊の農業高校として役割を模索し，地域社会の発展に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○志を明確にして達成する学力を身に付けます。
○園芸の体系的・系統的な理解及び関連する技術を育成します。
○園芸の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む人材を育成します。
○職業人としての規範意識や倫理観が身に付いた人材を育成します。

＜豊かな心＞命を大切にする，協調の心，健全な人間関係，地域への貢献
＜確かな学力＞基礎基本の定着，健康の保持増進，コミュニケーション能力の向上
＜専門教育の充実＞自律的な能力と態度，官民と連携した学習

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科と農業教科などの学習を通して豊かな人格の形成と生きる力の育成を図り，将来，地域社会を担う有為な社会人の育成を目指します。
○教科等横断的な学びや地域社会と協働した学びにより，探究的な学びを進めます。
→探究的な学びから地域の資源を発見・活用する策を模索します。
○都市型近郊農業の立地を生かし，最先端の技術を含めた園芸に関する深い専門性を持つ地域社会のリーダーを育てます。
→地域社会に根ざす安心・安全な農産物生産を行うための認証制度（GAP 等）のしくみを学び，バイオ技術を含む最先端の園芸技術や地域資源の有効利用・開発のための企業連携実習を行い，社会に求められる人材を育成します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○志望動機が明確であり，意欲的に農業学習・学校生活に取り組む生徒。
○基本的生活習慣が身に付いており，豊かな人間性を磨くために努力し，互いにコミュニケーション能力を高められる生徒。
○本校の目標である校訓「自啓」を理解し，進路実現に向かって継続的に努力できる生徒。
○中学校３年間続けてきたスポーツ的活動，文化的活動を高校入学後も継続して活動する意欲のある生徒。
○農作物の栽培または家畜の飼育及び農業経営に関する学習に強い興味・関心があり，将来の農業の担い手・地域の担い手や農業関係等への進学・就職を目指している生徒。

学校名	宮城県農業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	農業科・園芸科	募集定員	120人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業機械科、食品化学科、生活科

共通選抜

募集人数	96 人（募集定員の　80　％ ）
学力検査：調査書	５ ： ５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　20　％ ）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

3　面接　225 点

合計　670 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の１５０％の範囲に含まれる者（３６人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接（※２日目に実施）	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)学習への興味関心　(4)農業学習への心構え　(5)将来の希望進路　(6)その他 4　観点：(1)意欲・関心・態度　９０点　(2)責任感・規範意識　４５点　(3)協調性・適応性　４５点　(4)表現力・理解力　４５点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　225 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１５分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　750 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県農業高等学校［全日制課程（農業機械科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県農業高等学校は，「自啓（自らの力で自らの道をひらく）」を校訓とし，３年間の教育を通して，自然を愛し，心身ともに健康でたくましい人材を育成します。また，宮城県の農業教育の中核を担う学校として，農業のキャリア教育を推進するとともに，都市近郊の農業高校として役割を模索し，地域社会の発展に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○志を明確にして達成する学力を身に付けます。
○農業機械の体系的・系統的な理解及び関連する技術を育成します。
○農業機械の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む人材を育成します。
○職業人としての規範意識や倫理観が身に付いた人材を育成します。

＜豊かな心＞命を大切にする，協調の心，健全な人間関係，地域への貢献
＜確かな学力＞基礎基本の定着，健康の保持増進，コミュニケーション能力の向上
＜専門教育の充実＞自律的な能力と態度，官民と連携した学習

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科と農業教科・工業教科などの学習を通して豊かな人格の形成と生きる力の育成を図り，将来，地域社会を担う有為な社会人の育成を目指します。
○教科等横断的な学びや地域社会と協働した学びにより，探究的な学びを進めます。
→探究的な学びから地域の資源を発見・活用する策を模索します。
○ものづくりに必要な基礎知識や技術を「５Ｓ（整理・整頓・清潔・清掃・躾）」のきめ細やかな指導が整った授業環境から体得し，責任感の強い，社会に有為な人材を育成します。
→農業機械・工作機械を使用した専門的な実習や多くの資格取得指導の中から，農業機械分野における「実践力」を身に付けます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○志望動機が明確であり，意欲的に農業学習・学校生活に取り組む生徒。
○基本的生活習慣が身に付いており豊かな人間性を磨くために努力し，互いにコミュニケーション能力を高められる生徒。
○本校の目標である校訓「自啓」を理解し，進路実現に向かって継続的に努力できる生徒。
○中学校３年間続けてきたスポーツ的活動，文化的活動を高校入学後も継続して活動する意欲のある生徒。
○農作物の栽培または家畜の飼育及び農業経営に関する学習に強い興味・関心があり，将来の農業の担い手や農業関係等への進学・就職を目指している生徒。

学校名	宮城県農業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	農業機械科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業科・園芸科、食品化学科、生活科

共通選抜

募集人数	32 人（募集定員の　80　％ ）
学力検査：調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	8 人（募集定員の　20　％ ）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

3　面接　225 点

合計　670 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する８人の１５０%の範囲に含まれる者（１２人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)学習への興味関心 (4)農業学習への心構え　(5)将来の希望進路　(6)その他 4　観点：(1)意欲・関心・態度　９０点　(2)責任感・規範意識　４５点 (3)協調性・適応性　４５点　(4)表現力・理解力　４５点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　225 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１５分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　750 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県農業高等学校［全日制課程（食品化学科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県農業高等学校は,「自啓（自らの力で自らの道をひらく）」を校訓とし，３年間の教育を通して，自然を愛し，心身ともに健康でたくましい人材を育成します。また，宮城県の農業教育の中核を担う学校として，農業のキャリア教育を推進するとともに，都市近郊の農業高校として役割を模索し，地域社会の発展に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○志を明確にして達成する学力を身に付けます。
○食品の特性や加工の体系的・系統的な理解及び関連する技術を育成します。
○食品の特性や加工についての振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む人材を育成します。
○職業人としての規範意識や倫理観が身に付いた人材を育成します。

＜豊かな心＞命を大切にする, 協調の心, 健全な人間関係，地域への貢献
＜確かな学力＞基礎基本の定着, 健康の保持増進, コミュニケーション能力の向上
＜専門教育の充実＞自律的な能力と態度, 官民と連携した学習

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科と農業教科などの学習を通して豊かな人格の形成と生きる力の育成を図り, 将来, 地域社会を担う有為な社会人の育成を目指します。
○教科等横断的な学びや地域社会と協働した学びにより, 探究的な学びを進めます。
→探究的な学びから地域の資源を発見・活用する策を模索します。
○食品に強い関心を持ち主体的に学習・実習に取り組む事で，社会に必要とされる人材の育成を目指します。
→安全・安心な食品を製造するために食品製造実習で「責任感」を体得します。
グループ学習を実施し，きめ細やかな指導を実験で行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○志望動機が明確であり, 意欲的に農業学習・学校生活に取り組む生徒。
○基本的生活習慣が身に付いており豊かな人間性を磨くために努力し, 互いにコミュニケーション能力を高められる生徒。
○本校の目標である校訓「自啓」を理解し, 進路実現に向かって継続的に努力できる生徒。
○中学校３年間続けてきたスポーツ的活動, 文化的活動を高校入学後も継続して活動する意欲のある生徒。
○食品の特性や加工の原理に関する学習に強い興味・関心があり, 将来の農業の担い手・地域の担い手や食品関係等への進学・就職を目指している生徒。

学校名	宮城県農業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	食品化学科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業科・園芸科、農業機械科、生活科

共通選抜

募集人数	32 人（募集定員の　80　％）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	8 人（募集定員の　20　％）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

3　面接　225 点

合計　670 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する８人の１５０%の範囲に含まれる者（１２人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)学習への興味関心 (4)農業学習への心構え　(5)将来の希望進路　(6)その他 4　観点：(1)意欲・関心・態度　９０点　(2)責任感・規範意識　４５点 (3)協調性・適応性　４５点　(4)表現力・理解力　４５点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　225 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１５分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　750 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県農業高等学校［全日制課程（生活科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県農業高等学校は,「自啓（自らの力で自らの道をひらく）」を校訓とし，３年間の教育を通して，自然を愛し，心身ともに健康でたくましい人材を育成します。また，宮城県の農業教育の中核を担う学校として，農業のキャリア教育を推進するとともに，都市近郊の農業高校として役割を模索し，地域社会の発展に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○志を明確にして達成する学力を身に付けます。
○農業及び家庭の体系的・系統的な理解及び関連する技術を育成します。
○農業及び家庭の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む人材を育成します。
○職業人としての規範意識や倫理観が身に付いた人材を育成します。

＜豊かな心＞命を大切にする, 協調の心, 健全な人間関係，地域への貢献
＜確かな学力＞基礎基本の定着, 健康の保持増進, コミュニケーション能力の向上
＜専門教育の充実＞自律的な能力と態度, 官民と連携した学習

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科と農業教科･家庭教科などの学習を通して豊かな人格の形成と生きる力の育成を図り, 将来, 地域社会を担う有為な社会人の育成を目指します。
○教科等横断的な学びや地域社会と協働した学びにより, 探究的な学びを進めます。
→探究的な学びから地域の資源を発見・活用する策を模索します。
○人とのふれあいや福祉･保育･調理の実習を通して心豊かな社会生活を営む能力を育て，教養豊かで有能な人材を育てます。
→福祉・保育・調理の資質と能力を高めるため，資格取得や企業と連携した授業，幼稚園児との交流授業を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○志望動機が明確であり, 意欲的に農業学習・家庭科の学習・学校生活に取り組む生徒。
○基本的生活習慣が身に付いており豊かな人間性を磨くために努力し, 互いにコミュニケーション能力を高められる生徒。
○本校の目標である校訓「自啓」を理解し, 進路実現に向かって継続的に努力できる生徒。
○中学校３年間続けてきたスポーツ的活動, 文化的活動を高校入学後も継続して活動する意欲のある生徒。
○農業及び家庭科目に関する学習に強い興味・関心があり, 生活科の学習を通して学んだ事を将来の進路（進学・就職）へつなげることができる生徒。

学校名	宮城県農業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	生活科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業科・園芸科、農業機械科、食品化学科

共通選抜

募集人数	32 人（募集定員の　80　％）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	8 人（募集定員の　20　％）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

3　面接　225 点

合計　670 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する８人の１５０%の範囲に含まれる者（１２人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接（※２日目に実施）	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)学習への興味関心 (4)農業学習への心構え　(5)将来の希望進路　(6)その他 4　観点：(1)意欲・関心・態度　９０点　(2)責任感・規範意識　４５点 (3)協調性・適応性　４５点　(4)表現力・理解力　４５点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　225 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１５分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　750 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県仙台第一高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

県内初の尋常中学校として 1892（明治 25）年に創立した宮城県仙台第一高等学校は，校訓「自重献身（自重以テ己ヲ律シ　献身以テ公二奉ス）」，標語「自発能動　以亮天功」のもと，社会に対する健全な批判力を持ち，自主自立の精神に充ちた，心身ともに健康な，国家及び社会の有為な形成者となる生徒の育成を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

自主自立の精神に充ちた，社会に貢献できるリーダー的資質として，特に次の１～４の力や態度を身に付けさせます。

１　深い知識・教養と柔軟な思考力，判断力，表現力
２　幅広い視野と問題発見力，問題解決力
３　社会に対する健全な批判力
４　他者理解を積極的に行い，受容しようとする態度

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

自主自立の精神に充ちた，社会に貢献できるリーダー的資質を身に付けさせるため，特に次の１～４に留意し，教育活動を行います。

１　生徒の自主的・自発的に活動する時間を尊重し，自ら成長しようとする力の育成
２　学習意欲を喚起し，幅広く深い知識・技能を習得させ，それを活用する場面を作ることで，主体的・対話的で深い学びの実現
３　学習活動，部活動，特別活動，校外活動等で，社会と主体的に関わる姿勢と，他者との協働性の育成
４　生徒のキャリア指向の多様化に対応する，個に応じた学びの充実

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

高校生活のあらゆる場面で自己の可能性を追求しながら，豊かな人間性を磨いていこうとする，次の１～４の全てに当てはまる生徒を求めます。

１　極めて優秀な学力を有し，学問の本質を探究する意欲にあふれた生徒
２　幅広い知識または優れた技能を有し，主体的な学習者として，継続的に日々努力できる生徒
３　課題の解決や発信に積極的で，よりよい社会の構築にむけて理想を実現しようとする高い志を有する生徒
４　部活動，特別活動，校外活動等で中心的な役割を担った生徒，または優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県仙台第一高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	320人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	288 人（募集定員の　90　％）
学力検査：調査書	7 ： 3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	32 人（募集定員の　10　％）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　695　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３２人の２００％の範囲に含まれる者（６４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、英語、社会、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　55 点
- 1　形態　個人面接
- 2　時間　１５分程度
- 3　内容　(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)将来の進路志望　(4)口頭試問
- 4　観点　(1)態度　１５点　(2)表現力　１５点　(3)理解力　２５点

合計　550　点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県仙台二華高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県仙台二華高等学校は，「進取創造，至誠貢献」を校訓とし，豊かな心と高い知性をもち，進取の気風と創造性にあふれ，社会のリーダーとして，わが国や世界の発展に貢献できる人材を育成します。また，３年間の全人教育活動を通して，次世代の国際社会に通じるグローバル人材の育成を目指すとともに，国際的な課題研究の取り組みや，国際バカロレアの理念にもある多様な文化の理解と尊重の精神を通じて，地域社会や日本，世界に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

〇豊かで高い知性を養い，主体的・創造的に学ぶ生徒を育成します。
〇礼節と品性を尊び，心豊かで包容力をもつ個性あふれる生徒を育成します。
〇真理と正義を愛し，未来を切り拓き世界に貢献できる生徒を育成します。
〇健やかな心身を育み，国際社会の中でたくましく生き抜く生徒を育成します。
〇より良い，より平和な世界を築くことに貢献し，知識，探究心，思いやりに富んだ生徒を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

〇教科等横断的な学びや地域等と協働した学びにより，探究的な学びを進めます。
→地域社会や日本，世界が抱える諸課題についての教科等横断的な取り組みや，本物に触れる体験を通して，学ぶ意義や自分の在り方，生き方等を考えることで，学習意欲の向上につなげていきます。
〇単位制による多様な選択科目の設定や，国際バカロレア類型におけるディプロマ・プログラム科目の設定など，個に適した学びを実現します。
→生徒の思考の時間を十分に確保した生徒主体の授業を実施し，生涯にわたって学び続ける力を育成するとともに，国内のみならず海外の大学進学など多岐にわたる生徒の進路希望を実現する多様な選択科目の設定や類型の設定を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

〇身に付けた知識を活用し，学び合い高め合える生徒
〇強い意志と高い志をもち，目的に向かって着実に努力できる生徒
〇学業成績・人物ともに特に優れている生徒
〇部活動において顕著な成果を収めている生徒
〇校外のスポーツ・文化・芸術活動において高い評価を得ている生徒
〇生徒会活動・ボランティア活動において，指導的役割を果たし，高い評価を得ている生徒
〇地域貢献や国際交流に関わる活動実績があり，今後も積極的に取り組もうとする生徒

学校名	宮城県仙台二華高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	101 人（募集定員の　75　％）
学力検査：調査書	6 ： 4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	34 人（募集定員の　25　％）	
配点	1　調査書　270 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 770　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３４人の１３０％の範囲に含まれる者（４４人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

※募集定員には、併設型中学校（仙台二華中学校）からの入学予定者105人を含む。

宮城県仙台三桜高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県仙台三桜高等学校は，「自律，聡明，敬愛」を校訓とし，意欲に溢れ，人間性豊かで知性ある人間を育てます。歴史と伝統を重んじ，未来に向かって視線を高く保ち，自らの目標に向かう心を育てます。他者を思いやる心を涵養し，課題解決能力に優れ，いかなる困難にも打ち克ち，地域社会の発展に貢献できる人材を育成します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○豊かな個性と進取の気風をもち，広く社会に貢献できる人物を育成します。
○高い知識と技能の習得に努め，力強く自己実現を志す人物を育成します。
○他者への思いやりに満ち，心身ともに健康な人物を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○１，２年次は基礎教科に重点を置いた授業を展開します。
　→自己実現に必要な土台となる知識や技能を身に付けるために，着実な基礎学力の向上に取り組みます。
○探究活動を通して，新しい時代に求められる学びの力を養います。
　→地域社会と協働する中で課題発見力と解決力を身に付け，主体的な学びに繋がるような探究活動を実施します。
○希望進路の実現に向けた，習熟度別・少人数授業を展開し，多様な選択科目を設置します。
　→２年次から習熟度別の学習を進めることで，より効果的な学力向上を図ります。また，３年次は選択科目を多く設定することで，一人一人の進路希望の実現に向けた学びをサポートします。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○夢や高い志をもち，自己実現や社会貢献に必要な知識と技能を身に付けるための努力を継続的に行える生徒
○人を思いやる心と広い視野をもち，困難の克服や課題の解決に向けて，他者と協働しながら積極的に取り組める生徒
○部活動，特別活動など学校生活の場で，リーダーシップを発揮できる生徒
○日々の授業に真摯に取り組み，特に国語・数学・英語の成績に秀でている生徒
○部活動，特別活動，校外活動で意欲的に活動し，実績がある生徒

学校名	宮城県仙台三桜高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	280人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	224 人（募集定員の　80　％ ）
学力検査：調査書	6 ： 4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	56 人（募集定員の　20　％ ）

配点

1　調査書　270 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　800 点
- 国語、数学、英語　：　得点を２．０倍にする
- 社会、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　1070 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する５６人の１５０％の範囲に含まれる者（８４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県仙台向山高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県仙台向山高等学校は，「自律，和敬」を校訓とし，授業，学校行事，部活動，そして教育活動の根幹を支える総合的な探究の時間（向陵プラーニング）などさまざまな教育活動を系統的，効果的に組み立て，日々の取り組みの中で生徒一人ひとりが未来を切り拓く力を育みます。深い自己理解と社会に参画する意識を礎に，地域社会の問題解決と発展に貢献し，より豊かな社会を作る人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

１　「自律・和敬」の精神を重んじ，個性と創造性の豊かな人間を育てる。
２　意欲的に学習する習慣を養い，知性と教養の豊かな人間を育てる。
３　自己の言動に責任をもち，他を思いやり協力する心の豊かな人間を育てる。
４　心と体の健康を増進し，たくましく生き抜く実践力の豊かな人間を育てる。

「知性・教養の豊かさ」（知識・理解）：受け取る力・伝える力
「心の豊かさ」（学びに向かう力）：より高みを目指す力
「実践力の豊かさ」（思考・判断・表現）：考える力・見通す力・生み出す力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

知徳体のバランスの取れた人間性を育み，その上に豊かな個性と創造性を確立することを目的として，その基本となる必修基礎科目を可能な限り１年次に配置します。その上で生徒の進路希望を考慮し，大学入試等に十分対応するため２年次から類型（文系・理系）を設け，専門的な教科・科目を適切に配置して個に応じた科目選択を可能にするとともに，学びを深め，生きる力を育むための総合的な探究の時間や特別活動の取り組み等にも配慮した教育課程を編成します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

１　大学への進学意識が明確で，将来について深く考え，自己を高め社会に貢献する意欲を持つ生徒
２　学習活動をはじめ，特別活動やスポーツ・文化活動に対して協調性をもって主体的に取り組む意欲を持つ生徒
３　学習成績が優秀で，特に探究活動に高い意欲を持つ生徒

学校名	宮城県仙台向山高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	160人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	理数科

共通選抜

募集人数	112 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	48 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 695　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４８人の１２０％の範囲に含まれる者（５７人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県仙台向山高等学校［全日制課程（理数科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県仙台向山高等学校は，「自律，和敬」を校訓とし，授業，学校行事，部活動，そして教育活動の根幹を支える総合的な探究の時間（向陵プラーニング）などさまざまな教育活動を系統的，効果的に組み立て，日々の取り組みの中で生徒一人ひとりが未来を切り拓く力を育みます。深い自己理解と社会に参画する意識を礎に，地域社会の問題解決と発展に貢献し，より豊かな社会を作る人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

１　「自律・和敬」の精神を重んじ，個性と創造性の豊かな人間を育てる。
２　意欲的に学習する習慣を養い，知性と教養の豊かな人間を育てる。
３　自己の言動に責任をもち，他を思いやり協力する心の豊かな人間を育てる。
４　心と体の健康を増進し，たくましく生き抜く実践力の豊かな人間を育てる。

「知性・教養の豊かさ」（知識・理解）：受け取る力・伝える力
「心の豊かさ」（学びに向かう力）：より高みを目指す力
「実践力の豊かさ」（思考・判断・表現）：考える力・見通す力・生み出す力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

知徳体のバランスの取れた人間性を育み，その上に豊かな個性と創造性を確立することを目的として，その基本となる必修基礎科目を可能な限り１年次に配置します。さらに，１年次に様々な実践や経験の機会と理数探究基礎を設け，それらを２年次の理数探究において協働的な探究活動として深めさせます。また，理数科目におけるより専門的な知識・技能の習得とその活用・応用の方法の体得を促す教育課程を編成します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

１　大学への進学意識が明確で，将来について深く考え，自己を高め社会に貢献する意欲を持つ生徒
２　学習活動をはじめ，特別活動やスポーツ・文化活動に対して協調性をもって主体的に取り組む意欲を持つ生徒
３　学習成績が優秀で，特に理数科目の成績に秀で，かつ理数分野に強い関心を持ち，探究活動に高い意欲を持つ生徒

学校名	宮城県仙台向山高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	理数科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科

共通選抜

募集人数	28 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	12 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　225 点 国語、社会、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　700 点 国語、社会、英語　：　得点を１．０倍にする 数学、理科　：　得点を２．０倍にする	合計 925　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２人の１２０％の範囲に含まれる者（１４人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県仙台南高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県仙台南高等学校は，「英知，調和，自律」を校訓とし，社会のさまざまな場面において，積極的にリーダーシップを発揮して社会に貢献できる，知・徳・体のバランスが取れた人材を育成します。大学そして社会に出てからも主体的に学び続ける力を育成し，生徒自ら考える場面を提供することで，実践力・総合力を高めていける学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○日常の学習を通して知的判断力を磨き，各自が状況の変化に対応できる英知を身に付けた生徒を育成します。

○豊かな情操と寛容さを備え，バランスのとれた，円満な人格の形成をめざす生徒を育てます。

○自己の欲求を適切に調整し，自ら積極的に環境に対応できる，自主・自律的な生徒を育成します。

〈知性の開発・陶冶〉知的判断力，状況の変化に対応できる英知

〈調和的人間の育成〉豊かな情操と寛容，人格的バランス

〈自律的態度の涵養〉自己管理能力，自主自律の精神

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○進路達成のための確かな学力の獲得を目指します。

→4 年制国公立大学進学を目安とし，基礎力から応用力まで一貫して身に付くカリキュラムを編成します。

○発達段階に応じた適切な科目，単位数を学年に配置します。

→高校生活全体のバランスを鑑み，弾力的な教育課程を編成します。

○地域の課題，自ら発見した課題に探究的に取り組む学びを実現します。

→総合的な探究の時間において，「地域課題プログラム」「課題研究プログラム」を中心とした探究活動を展開します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○日々の学習をとおして，思考力・判断力を磨き，状況の変化に柔軟に対応できる高い知性を身に付けようと努力する生徒

○豊かな情操と寛容性を備え，知・徳・体のバランスの取れた人間としての成長を目指し切磋琢磨することのできる生徒

○自らの将来について具体的な目標をもち，その実現のために学習や部活動，特別活動等に主体的・意欲的に取り組む意志のある生徒

○自ら課題を発見し，その解決のために，他者と協働しながら継続的に探求しようとする生徒

○地域に対する感謝の気持ちをもつとともに，積極的に地域・社会に貢献しようとする生徒

学校名	宮城県仙台南高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	280人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	224 人（募集定員の　80　％ ）
学力検査：調査書	6 ： 4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	56 人（募集定員の　20　％ ）	
配点	1　調査書　135 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 635　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する５６人の２００％の範囲に含まれる者（１１２人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　50 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路希望　(4)その他 4　観点：(1)態度　２０点　(2)表現力等　３０点	合計 575　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県仙台西高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県仙台西高等学校は，「英知，敬愛，自律」を校訓とし，国際社会や地域社会に貢献できる柔軟で粘り強い心身と豊かな個性を育成します。学問を鍛えみがくことは当然のこと，生徒には特別活動や部活動，ボランティア活動等に取り組める環境等を構築して地域社会に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○豊かな創造性と柔軟な思考力を備えた視野の広い人間を育てる。
○自然との親しみを通して生きる力を養い，能動的で魅力あふれる人間を育てる。
○自律的な生活態度を育てるとともに，他とよく協調し，責任感の強い人間を育てる。
＜課題と向き合う力＞知力，課題発見力，論理的思考力，課題解決力
＜他者と向き合う力＞原因分析力，受信力，協働力
＜自分と向き合う力＞学力，メタ認知力，発信力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

幅広い知識と教養を身につけさせ，生徒の生きる力を育むことができることを目指しています。また，生徒の多様な興味や進路希望等に対応可能な学習活動ができるように活力のある学びを進めます。

１年生では生徒の自己発見をしていくために偏りのない学習ができるよう基礎・基本的な知識や技能を主体的に習得できる学びを，２，３年生では自己の進路・適性等に応じた選択科目を設定し個に適した学びをそれぞれ実現します。

そのなかで，現代社会や地域社会の抱える諸課題を協働して解決するための教科等横断的な思考や探究的な学びを進めます。その実施においては，生徒の理解度を高めるために教科によって習熟度別の授業を実施するとともに学校独自の選択科目を設定して個々の適性を活かす進路につながる授業を実施します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

本校は，多様な興味や進路希望等に対応可能な学習活動ができる学校です。基本的な生活習慣の定着や家庭学習の習慣化及び特別活動等へ積極的に参加するように努めることにより，豊かな創造性や生きる力，自律的な生活態度を育成することを目指します。

本校では，学習活動や特別活動，部活動等で牽引役となるような，次の１～３の全てに当てはまり，かつ４～６のいずれかに当てはまる生徒を求めます。

１　あいさつの習慣が身についており，時間を守って行動できる生徒
２　人の意見をよく聞き，他者を思いやることのできる生徒
３　目標をもって自主学習を継続し，自ら課題を解決しようとする生徒
４　上級学校への進学を目指す高い学力を有する生徒
５　ボランティア活動や校外活動等で，意欲をもって継続的に活動した経験をもつ生徒
６　部活動や特別活動等でリーダーシップを発揮して積極的に活動した生徒，またはそれらの活動で優れた能力や実績をもつ生徒

学校名	宮城県仙台西高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	216 人（募集定員の　90　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　10　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 695　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の２００％の範囲に含まれる者（４８人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　3段階評価（A～C） 1　形態　個人面接 2　時間　１５分程度 3　内容　(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路希望　(4)その他 4　観点　(1)主体性　(2)表現力　(3)判断力	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県仙台東高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県仙台東高等学校は，「進取創造，自主自律，誠実協和，強健不撓」を校訓とし，進展する国際社会の中で，広い視野と高い識見をもち，心身ともに健康で積極的に自己実現を図り，将来国家・社会及び世界のために貢献できる人材を育成します。また，学習活動と特別活動を両立しながら，世界や地域社会に関心をもち，地域貢献できる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○グローバルな視野をもち，自主自律の精神及び創造的な考え方を身に付け，多様な価値観を理解して他者と協働しながら問題を解決していく姿勢を育て，地域から世界まで見据えながら様々な場面で社会に貢献できる力を育成します。

○一人一人が志を抱いて希望する進路を実現していくために，基本的な知識・技能の確実な習得を図り，学んだことを活用して自ら考える「確かな学力」を育成します。

＜人間力＞自主自律，公正さ，責任感，誠実さ，勤勉性，他者理解と協働性

＜確かな学力＞創造的な思考力・判断力・表現力，変化する社会へ適応できる柔軟な対応力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○２年次より類型に分かれ，３年次では多様な選択科目を設定し，希望する進路実現に適した学びを実現します。

→普通教科では「確かな学力」に必要な基礎的・基本的な知識・技能を養いながら，思考力，判断力，表現力の向上を図ります。

○教科等横断的な学びや地域と協働した学びにより，探究的な学びを深めます。

→国際理解を深め，世界や地域社会の諸課題について教科等横断的に取り組み，自分が将来関わる地域の抱える課題を自ら設定し，その解決策を考察し，自らの考えを表現できる姿勢を養います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○基本的な生活習慣が身に付いており，自主自律の精神を身に付けようとする生徒

○国際理解・異文化理解に関心をもち，多様な価値観を理解しながら，他者と協働して国際社会や地域に貢献する意欲のある生徒

○部活動，特別活動，校外活動に積極的に取り組んだ実績があり，入学後も様々な活動に意欲をもって取り組もうとする生徒

○５教科の学習成績が優良で，特に国語・数学・英語の学習成績が優秀である生徒

学校名	宮城県仙台東高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	200人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	英語科

共通選抜

募集人数	100 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	7　：　3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	100 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　700 点 国語、数学、英語　：　得点を１．５倍にする 社会、理科　：　得点を１．２５倍にする	合計 895　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１００人の１２０％の範囲に含まれる者（１２０人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県仙台東高等学校［全日制課程（英語科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県仙台東高等学校は，「進取創造，自主自律，誠実協和，強健不撓」を校訓とし，進展する国際社会の中で，広い視野と高い識見をもち，心身ともに健康で積極的に自己実現を図り，将来国家・社会及び世界のために貢献できる人材を育成します。また，学習活動と特別活動を両立しながら，世界や地域社会に関心をもち，地域貢献できる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○グローバルな視野をもち，自主自律の精神及び創造的な考え方を身に付け，多様な価値観を理解して他者と協働しながら問題を解決していく姿勢を育て，地域から世界まで見据えながら様々な場面で社会に貢献できる力を育成します。

○一人一人が志を抱いて希望する進路を実現していくために，基本的な知識・技能の確実な習得を図り，学んだことを活用して自ら考える「確かな学力」を育成します。

○日本人のアイデンティティや他国の文化を理解する姿勢と，相互の違いを理解した上で，世界の人々と積極的にコミュニケーションが行える能力を，英語教育を通して養い，国際的視野をもって世界に通用する人材を育成します。

＜人間力＞自主自律，公正さ，責任感，誠実さ，勤勉性

＜確かな学力＞創造的な思考力・判断力・表現力，変化する社会へ適応できる柔軟な対応力

＜コミュニケーション力＞他者を理解し，コミュニケーションをとりながら他者と協働して取り組む姿勢

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科と専門教科の両方を重視します。

→普通教科では「確かな学力」に必要な基礎的・基本的な知識・技能を，専門教科では高い英語のコミュニケーション能力を養います。

○教科等横断的な学びや地域と協働した学びにより，探究的な学びを深めます。

→国際理解を深め，世界や地域社会の諸課題について教科等横断的に取り組み，自分が将来関わる地域の抱える課題を自ら設定し，その解決策を考察し，自らの考えを表現できる姿勢を養います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○英語の基礎的能力が身に付いており，コミュニケーション能力を高め，グローバルマインドをもって様々な場面で社会に貢献する意欲のある生徒

○基本的な生活習慣が身に付いており，自主自律の精神を身に付けようとする生徒

○国際理解・異文化理解に関心をもち，多様な価値観を理解しながら，他者と協働して国際社会や地域に貢献する意欲のある生徒

○部活動，特別活動，校外活動に積極的に取り組んだ実績があり，入学後も様々な活動に意欲をもって取り組もうとする生徒

○５教科の学習成績が優良で，特に英語の学習成績が優秀である生徒

学校名	宮城県仙台東高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	英語科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	7　：　3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　700 点 英語　：　得点を２．０倍にする 国語、数学、社会、理科　：　得点を１．２５倍にする	合計 895　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１２０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県工業高等学校［全日制課程（機械科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県工業高等学校は，「誠実，節度，創造」を校訓とし，県内の工業教育を牽引する工業高校として，確かな学力と高い専門性を習得させるとともに，グローバル化が一層進展する社会や超スマート社会（Society5.0）に対応するために必要な資質・能力を育成します。“もの（技術）づくり，ひと（人材）づくり，ゆめ（未来）づくり”をキャッチフレーズに，グローバルな視野を持ち，ものづくり産業で活躍できる人材を育成することで，地域社会に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○礼儀正しく，何事にも真心をもって，根気強く主体的に取り組む姿勢を育成します。＜誠実な生徒＞

○自らの行動に責任をもち，思いやりと協調性をもって活躍する資質を育成します。＜節度ある生徒＞

○高い志と向上心をもち，意欲的に課題解決と自己の確立に努める能力を育成します。＜創造的な生徒＞

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通科目と工業科目を両輪とした確かな学力を育成します。

→普通科目では工業科目を学ぶ上で核となる基礎力を，工業科目では技術の進展に対応した実践的な知識と技術を養います。

○地域と協働した学びや教科横断的な学びをもとに，探究的な学びへとつなげていきます。

→みやぎクラフトマン 21 事業を通じて，大学や産業界と協働しながら教科横断的な学習に取り組み，各工業分野が抱える課題を自ら設定し，習得した知識と技術をもとに解決する方法を模索します。

○各学科の特色ある学びや多様な選択科目を通じて，個に応じた学びを実現します。

→「県工スタンダードＡＢＣ」に定めた指標を基に，個に対する学習支援を段階的に行い，各学科の専門的な知識・技術の習得に主体的に取り組めるようにします。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○機械工業及びこれに関する諸分野に興味・関心があり，学習活動に意欲的に取り組む生徒

○基本的な生活習慣が身に付いており，何事にも真剣に取り組み，日々の学習を大事にする生徒

○自己の進路実現のために継続的に努力できる生徒

○日頃の学習に併せて機械科の専門性を生かした資格取得や特別活動にも積極的に取り組む生徒

○部活動，特別活動，校外活動等で優れた能力や顕著な実績がある生徒

○部活動や特別活動等でのリーダーの経験がある生徒

学校名	宮城県工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	機械科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	電子機械科、電気科、化学工業科、インテリア科、情報技術科

共通選抜

募集人数	56 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　30　％　）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　695　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の１３５％の範囲に含まれる者（３２人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525　点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県工業高等学校［全日制課程（電子機械科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県工業高等学校は，「誠実，節度，創造」を校訓とし，県内の工業教育を牽引する工業高校として，確かな学力と高い専門性を習得させるとともに，グローバル化が一層進展する社会や超スマート社会（Society5.0）に対応するために必要な資質・能力を育成します。“もの（技術）づくり，ひと（人材）づくり，ゆめ（未来）づくり”をキャッチフレーズに，グローバルな視野を持ち，ものづくり産業で活躍できる人材を育成することで，地域社会に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○礼儀正しく，何事にも真心をもって，根気強く主体的に取り組む姿勢を育成します。＜誠実な生徒＞

○自らの行動に責任をもち，思いやりと協調性をもって活躍する資質を育成します。＜節度ある生徒＞

○高い志と向上心をもち，意欲的に課題解決と自己の確立に努める能力を育成します。＜創造的な生徒＞

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通科目と工業科目を両輪とした確かな学力を育成します。

→普通科目では工業科目を学ぶ上で核となる基礎力を，工業科目では技術の進展に対応した実践的な知識と技術を養います。

○地域と協働した学びや教科横断的な学びをもとに，探究的な学びへとつなげていきます。

→みやぎクラフトマン 21 事業を通じて，大学や産業界と協働しながら教科横断的な学習に取り組み，各工業分野が抱える課題を自ら設定し，習得した知識と技術をもとに解決する方法を模索します。

○各学科の特色ある学びや多様な選択科目を通じて，個に応じた学びを実現します。

→「県工スタンダードＡＢＣ」に定めた指標を基に，個に対する学習支援を段階的に行い，各学科の専門的な知識・技術の習得に主体的に取り組めるようにします。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○メカトロニクス工業及びこれに関する諸分野に興味・関心があり，学習活動に意欲的に取り組む生徒

○基本的な生活習慣が身に付いており，何事にも真剣に取り組み，日々の学習を大事にする生徒

○自己の進路実現のために継続的に努力できる生徒

○日頃の学習に併せて電子機械科の専門性を生かした資格取得や特別活動にも積極的に取り組む生徒

○部活動，特別活動，校外活動等で優れた能力や顕著な実績がある生徒

○部活動や特別活動等でのリーダーの経験がある生徒

学校名	宮城県工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	電子機械科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電気科、化学工業科、インテリア科、情報技術科

共通選抜

募集人数	28 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	12 人（募集定員の　30　％　）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　695　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２人の１３５％の範囲に含まれる者（１６人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525　点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県工業高等学校［全日制課程（電気科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県工業高等学校は，「誠実，節度，創造」を校訓とし，県内の工業教育を牽引する工業高校として，確かな学力と高い専門性を習得させるとともに，グローバル化が一層進展する社会や超スマート社会（Society5.0）に対応するために必要な資質・能力を育成します。“もの（技術）づくり，ひと（人材）づくり，ゆめ（未来）づくり”をキャッチフレーズに，グローバルな視野を持ち，ものづくり産業で活躍できる人材を育成することで，地域社会に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○礼儀正しく，何事にも真心をもって，根気強く主体的に取り組む姿勢を育成します。＜誠実な生徒＞

○自らの行動に責任をもち，思いやりと協調性をもって活躍する資質を育成します。＜節度ある生徒＞

○高い志と向上心をもち，意欲的に課題解決と自己の確立に努める能力を育成します。＜創造的な生徒＞

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通科目と工業科目を両輪とした確かな学力を育成します。

→普通科目では工業科目を学ぶ上で核となる基礎力を，工業科目では技術の進展に対応した実践的な知識と技術を養います。

○地域と協働した学びや教科横断的な学びをもとに，探究的な学びへとつなげていきます。

→みやぎクラフトマン 21 事業を通じて，大学や産業界と協働しながら教科横断的な学習に取り組み，各工業分野が抱える課題を自ら設定し，習得した知識と技術をもとに解決する方法を模索します。

○各学科の特色ある学びや多様な選択科目を通じて，個に応じた学びを実現します。

→「県工スタンダードＡＢＣ」に定めた指標を基に，個に対する学習支援を段階的に行い，各学科の専門的な知識・技術の習得に主体的に取り組めるようにします。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○電気機器製造業，電気事業・電気工事及びその他電気関係の諸分野に興味・関心があり，学習活動に意欲的に取り組む生徒

○基本的な生活習慣が身に付いており，何事にも真剣に取り組み，日々の学習を大事にする生徒

○自己の進路実現のために継続的に努力できる生徒

○日頃の学習に併せて電気科の専門性を生かした資格取得や特別活動にも積極的に取り組む生徒

○部活動，特別活動，校外活動等で優れた能力や顕著な実績がある生徒

○部活動や特別活動等でのリーダーの経験がある生徒

学校名	宮城県工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	電気科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電子機械科、化学工業科、インテリア科、情報技術科

共通選抜

募集人数	28 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	12 人（募集定員の　30　％　）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　695　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２人の１３５％の範囲に含まれる者（１６人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525　点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県工業高等学校［全日制課程（情報技術科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県工業高等学校は，「誠実，節度，創造」を校訓とし，県内の工業教育を牽引する工業高校として，確かな学力と高い専門性を習得させるとともに，グローバル化が一層進展する社会や超スマート社会（Society5.0）に対応するために必要な資質・能力を育成します。“もの（技術）づくり，ひと（人材）づくり，ゆめ（未来）づくり”をキャッチフレーズに，グローバルな視野を持ち，ものづくり産業で活躍できる人材を育成することで，地域社会に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○礼儀正しく，何事にも真心をもって，根気強く主体的に取り組む姿勢を育成します。＜誠実な生徒＞

○自らの行動に責任をもち，思いやりと協調性をもって活躍する資質を育成します。＜節度ある生徒＞

○高い志と向上心をもち，意欲的に課題解決と自己の確立に努める能力を育成します。＜創造的な生徒＞

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通科目と工業科目を両輪とした確かな学力を育成します。

→普通科目では工業科目を学ぶ上で核となる基礎力を，工業科目では技術の進展に対応した実践的な知識と技術を養います。

○地域と協働した学びや教科横断的な学びをもとに，探究的な学びへとつなげていきます。

→みやぎクラフトマン 21 事業を通じて，大学や産業界と協働しながら教科横断的な学習に取り組み，各工業分野が抱える課題を自ら設定し，習得した知識と技術をもとに解決する方法を模索します。

○各学科の特色ある学びや多様な選択科目を通じて，個に応じた学びを実現します。

→「県工スタンダードＡＢＣ」に定めた指標を基に，個に対する学習支援を段階的に行い，各学科の専門的な知識・技術の習得に主体的に取り組めるようにします。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○コンピュータシステムの設計・開発やコンピュータを利用する分野に興味・関心があり，学習活動に意欲的に取り組む生徒

○基本的な生活習慣が身に付いており，何事にも真剣に取り組み，日々の学習を大事にする生徒

○自己の進路実現のために継続的に努力できる生徒

○日頃の学習に併せて情報技術科の専門性を生かした資格取得や特別活動にも積極的に取り組む生徒

○部活動，特別活動，校外活動等で優れた能力や顕著な実績がある生徒

○部活動や特別活動等でのリーダーの経験がある生徒

学校名	宮城県工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	情報技術科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電子機械科、電気科、化学工業科、インテリア科

共通選抜

募集人数	28 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	12 人（募集定員の　30　％　）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　695　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２人の１３５％の範囲に含まれる者（１６人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525　点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県工業高等学校［全日制課程（化学工業科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県工業高等学校は，「誠実，節度，創造」を校訓とし，県内の工業教育を牽引する工業高校として，確かな学力と高い専門性を習得させるとともに，グローバル化が一層進展する社会や超スマート社会（Society5.0）に対応するために必要な資質・能力を育成します。“もの（技術）づくり，ひと（人材）づくり，ゆめ（未来）づくり”をキャッチフレーズに，グローバルな視野を持ち，ものづくり産業で活躍できる人材を育成することで，地域社会に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○礼儀正しく，何事にも真心をもって，根気強く主体的に取り組む姿勢を育成します。＜誠実な生徒＞

○自らの行動に責任をもち，思いやりと協調性をもって活躍する資質を育成します。＜節度ある生徒＞

○高い志と向上心をもち，意欲的に課題解決と自己の確立に努める能力を育成します。＜創造的な生徒＞

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通科目と工業科目を両輪とした確かな学力を育成します。

→普通科目では工業科目を学ぶ上で核となる基礎力を，工業科目では技術の進展に対応した実践的な知識と技術を養います。

○地域と協働した学びや教科横断的な学びをもとに，探究的な学びへとつなげていきます。

→みやぎクラフトマン 21 事業を通じて，大学や産業界と協働しながら教科横断的な学習に取り組み，各工業分野が抱える課題を自ら設定し，習得した知識と技術をもとに解決する方法を模索します。

○各学科の特色ある学びや多様な選択科目を通じて，個に応じた学びを実現します。

→「県工スタンダードＡＢＣ」に定めた指標を基に，個に対する学習支援を段階的に行い，各学科の専門的な知識・技術の習得に主体的に取り組めるようにします。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○化学工業，環境及びこれらに関する諸分野に興味・関心があり，学習活動に意欲的に取り組む生徒

○基本的な生活習慣が身に付いており，何事にも真剣に取り組み，日々の学習を大事にする生徒

○自己の進路実現のために継続的に努力できる生徒

○日頃の学習に併せて化学工業科の専門性を生かした資格取得や特別活動にも積極的に取り組む生徒

○部活動，特別活動，校外活動等で優れた能力や顕著な実績がある生徒

○部活動や特別活動等でのリーダーの経験がある生徒

学校名	宮城県工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	化学工業科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電子機械科、電気科、インテリア科、情報技術科

共通選抜

募集人数	28 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	12 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 695　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２人の１３５％の範囲に含まれる者（１６人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県工業高等学校［全日制課程（インテリア科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県工業高等学校は，「誠実，節度，創造」を校訓とし，県内の工業教育を牽引する工業高校として，確かな学力と高い専門性を習得させるとともに，グローバル化が一層進展する社会や超スマート社会（Society5.0）に対応するために必要な資質・能力を育成します。“もの（技術）づくり，ひと（人材）づくり，ゆめ（未来）づくり”をキャッチフレーズに，グローバルな視野を持ち，ものづくり産業で活躍できる人材を育成することで，地域社会に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○礼儀正しく，何事にも真心をもって，根気強く主体的に取り組む姿勢を育成します。＜誠実な生徒＞

○自らの行動に責任をもち，思いやりと協調性をもって活躍する資質を育成します。＜節度ある生徒＞

○高い志と向上心をもち，意欲的に課題解決と自己の確立に努める能力を育成します。＜創造的な生徒＞

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通科目と工業科目を両輪とした確かな学力を育成します。

→普通科目では工業科目を学ぶ上で核となる基礎力を，工業科目では技術の進展に対応した実践的な知識と技術を養います。

○地域と協働した学びや教科横断的な学びをもとに，探究的な学びへとつなげていきます。

→みやぎクラフトマン 21 事業を通じて，大学や産業界と協働しながら教科横断的な学習に取り組み，各工業分野が抱える課題を自ら設定し，習得した知識と技術をもとに解決する方法を模索します。

○各学科の特色ある学びや多様な選択科目を通じて，個に応じた学びを実現します。

→「県工スタンダードＡＢＣ」に定めた指標を基に，個に対する学習支援を段階的に行い，各学科の専門的な知識・技術の習得に主体的に取り組めるようにします。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○デザイン技術・インテリア施工，建築設計等の諸分野に興味・関心があり，学習活動に意欲的に取り組む生徒

○基本的な生活習慣が身に付いており，何事にも真剣に取り組み，日々の学習を大事にする生徒

○自己の進路実現のために継続的に努力できる生徒

○日頃の学習に併せてインテリア科の専門性を生かした資格取得や特別活動にも積極的に取り組む生徒

○部活動，特別活動，校外活動等で優れた能力や顕著な実績がある生徒

○部活動や特別活動等でのリーダーの経験がある生徒

学校名	宮城県工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	インテリア科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電子機械科、電気科、化学工業科、情報技術科

共通選抜

募集人数	28 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	12 人（募集定員の　30　％　）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　695　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２人の１３５％の範囲に含まれる者（１６人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525　点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

仙台市立仙台工業高等学校［全日制課程（建築科)］のスクール・ポリシー

◎仙台市立仙台工業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針:（「仙台市教育構想 2026」より）

○工業教育の基礎・基本の充実や資格取得の推進を図るとともに、地域や産業界との連携によるデュアルシステムを通じ、実践的な技能・技術の獲得と確かな職業観の醸成に取り組みます。「デュアルシステム」: 若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせて実施することにより若者を一人前の職業人に育てる仕組み。

学校教育目標：

○AI にはできない「考える力」と「新しいものを生む力」を身に付け、自分の技術で未来の社会を切り拓いていく人を育てます。

○ものづくりの楽しさと最先端の技術を基礎から学び、中学校や企業から信頼される「選ばれ続ける工業高校」として、未来のプロフェッショナルを送り出します。

１　グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

建築科では、社会で信頼される技術者として必要な責任感や正しい判断力（倫理観）を身に付けた生徒の育成を目指します。

○基礎からしっかりと技術を身に付け、変化する社会にも対応できる力

○課題を自ら見つけ、主体的に考えて解決していく力

○社会との関わりの中で、学び続けながら成長していく力

２　カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

基礎を大切にしながら、最先端の技術で社会とつながる学びを行います。

○自分の部屋から未来の街まで、みんなが快適に過ごせる空間をデザインする「センス」と「技術」を磨きます。基礎からステップアップし、実際にカタチにする力を身につけます。

○デジタル技術や最新の設計ソフト（BIM）を使いこなし、プロの現場で役立つ最先端の実践的な技術を身につけます。

○学校や地域の困りごとを解決する「課題研究」に取り組みます。学科の枠をこえて仲間と協力し、社会で通用するチームワークや伝える力を身につけます。

○プロの技術者から直接教わったり、企業での職業体験やコンテストに挑戦したりすることで、将来の夢をより確かなものにしていきます。

３　アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

○建物やデザインに興味を持ち、その仕組みや役割への理解を深めながら、専門的な技術や資格の習得を目指し、将来は街づくりを通して社会に積極的に貢献しようとする意欲のある生徒を求めています。

○主体的に考えて判断し、仲間との協働の中で、積極的に課題の解決に取り組むとともに、困難を自ら乗り越え、粘り強く最後までやり遂げようとする意欲と責任感を備えた生徒を求めています。

学校名	仙台市立仙台工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	建築科	募集定員	30人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電気科、土木科、情報科

共通選抜

募集人数	18 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	12 人（募集定員の　40　％　）	
配点	1　調査書　292.5 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．５倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を３．０倍にする 2　学力検査　250 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする	合計 542.5　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２人の２００％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　75 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望理由　(2)進路希望　(3)入学後の学習や部活動 4　観点：(1)態度　２５点　(2)表現力　２５点 (3)関心・意欲　２５点	合計 600　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

仙台市立仙台工業高等学校［全日制課程（機械科)］のスクール・ポリシー

◎仙台市立仙台工業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針:（「仙台市教育構想 2026」より）

○工業教育の基礎・基本の充実や資格取得の推進を図るとともに、地域や産業界との連携によるデュアルシステムを通じ、実践的な技能・技術の獲得と確かな職業観の醸成に取り組みます。「デュアルシステム」: 若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせて実施することにより若者を一人前の職業人に育てる仕組み。

学校教育目標：

○AI にはできない「考える力」と「新しいものを生む力」を身に付け、自分の技術で未来の社会を切り拓いていく人を育てます。

○ものづくりの楽しさと最先端の技術を基礎から学び、中学校や企業から信頼される「選ばれ続ける工業高校」として、未来のプロフェッショナルを送り出します。

１　グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

機械科では、社会で信頼される技術者として必要な責任感や正しい判断力（倫理観）を身に付けた生徒の育成を目指します。

○基礎からしっかりと技術を身に付け、変化する社会にも対応できる力

○課題を自ら見つけ、主体的に考えて解決していく力

○社会との関わりの中で、学び続けながら成長していく力

２　カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

○「ものづくり分野」とその自動化・省力化に欠かせない「メカトロニクス分野」の知識と先端技術を学びます。

○「ものづくり分野」では、機械加工、溶接、鋳造・鍛造、工作法、設計、製図等を学びます。

○「メカトロニクス分野」では、コンピュータ制御、シーケンス制御、ロボット制御、電気・電子等を学びます。

○３年次には、ものづくり分野である「機械系」とメカトロニクス分野である「制御系」に分かれて学ぶことで、更に知識と技術を深め、産業界におけるそれぞれの分野において活躍できるエンジニアを目指します。

３　アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

○自動車やロボットをはじめとする機械の仕組み、ものづくりや専門的な学びに関心を持ち、自己の成長を目指し努力を惜しまない生徒を求めています。

○主体的に考えて判断し、仲間との協働の中で、積極的に課題の解決に取り組むとともに、困難を自ら乗り越え､粘り強く最後までやり遂げようとする意欲と責任感を備えた生徒を求めています。

学校名	仙台市立仙台工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	機械科	募集定員	60人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	建築科、電気科、土木科、情報科

共通選抜

募集人数	36 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　40　％　）	
配点	1　調査書　292.5 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．５倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を３．０倍にする 2　学力検査　250 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする	合計 542.5　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の２００％の範囲に含まれる者（４８人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　75 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望理由　(2)進路希望　(3)入学後の学習や部活動 4　観点：(1)態度　２５点　(2)表現力　２５点 (3)関心・意欲　２５点	合計 600　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

仙台市立仙台工業高等学校［全日制課程（電気科)］のスクール・ポリシー

◎仙台市立仙台工業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針:（「仙台市教育構想 2026」より）

○工業教育の基礎・基本の充実や資格取得の推進を図るとともに、地域や産業界との連携によるデュアルシステムを通じ、実践的な技能・技術の獲得と確かな職業観の醸成に取り組みます。「デュアルシステム」: 若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせて実施することにより若者を一人前の職業人に育てる仕組み。

学校教育目標：

○AI にはできない「考える力」と「新しいものを生む力」を身に付け、自分の技術で未来の社会を切り拓いていく人を育てます。

○ものづくりの楽しさと最先端の技術を基礎から学び、中学校や企業から信頼される「選ばれ続ける工業高校」として、未来のプロフェッショナルを送り出します。

１　グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

電気科では、社会で信頼される技術者として必要な責任感や正しい判断力（倫理観）を身に付けた生徒の育成を目指します。

○基礎からしっかりと技術を身に付け、変化する社会にも対応できる力

○課題を自ら見つけ、主体的に考えて解決していく力

○社会との関わりの中で、学び続けながら成長していく力

２　カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

○電気の基本から産業界で求められる専門知識までを体系的に学び、地元企業と連携した実習を通して、プロとして活躍するための確かな実践力を身につけます。

○生活に欠かせない電気に関する国家資格を取得し、人々の暮らしを支え、社会の安全を守るために必要な知識・技能をしっかりと習得します。

○プログラミングや電子回路、半導体、ＡＩ（人工知能）など、これからのデジタル社会を支える最先端のテクノロジーを学び、次世代のエンジニアとして活躍できるスキルを自分のものにします。

○企業や大学と連携し、プロから直接教わる授業や職場体験を行います。現場のリアルな空気に触れることで、教室だけでは得られない「生きた技術」を学びます。

○難関資格への挑戦や、ものづくりコンテスト（電気工事部門）などへの出場を通じて、自分の限界に挑戦します。仲間と切磋琢磨しながら、学びをより高いレベルへと引き上げます。

３　アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

○電気エネルギーや最新の電子回路、電気工事などのものづくりや専門的な学びに興味や関心を持ち、自己の成長を目指して努力を継続できる姿勢を重視します。将来は「電気の力」で暮らしを豊かにしたいという生徒を求めています。

○主体的に考えて判断し、仲間との協働の中で、積極的に課題の解決に取り組むとともに、困難を自ら乗り越え、粘り強く最後までやり遂げようとする意欲と責任感を備えた生徒を求めています。

学校名	仙台市立仙台工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	電気科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	建築科、機械科、土木科、情報科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％　）	
配点	1　調査書　292.5 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．５倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を３．０倍にする 2　学力検査　250 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする	合計 542.5　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の２００％の範囲に含まれる者（３２人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　75 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望理由　(2)進路希望　(3)入学後の学習や部活動 4　観点：(1)態度　２５点　(2)表現力　２５点 (3)関心・意欲　２５点	合計 600　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

仙台市立仙台工業高等学校［全日制課程（土木科)］のスクール・ポリシー

◎仙台市立仙台工業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針:（「仙台市教育構想 2026」より）

○工業教育の基礎・基本の充実や資格取得の推進を図るとともに、地域や産業界との連携によるデュアルシステムを通じ、実践的な技能・技術の獲得と確かな職業観の醸成に取り組みます。「デュアルシステム」：若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせて実施することにより若者を一人前の職業人に育てる仕組み。

学校教育目標：

○AI にはできない「考える力」と「新しいものを生む力」を身に付け、自分の技術で未来の社会を切り拓いていく人を育てます。

○ものづくりの楽しさと最先端の技術を基礎から学び、中学校や企業から信頼される「選ばれ続ける工業高校」として、未来のプロフェッショナルを送り出します。

１　グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

土木科では、社会で信頼される技術者として必要な責任感や正しい判断力（倫理観）を身に付けた生徒の育成を目指します。

○基礎からしっかりと技術を身に付け、変化する社会にも対応できる力

○課題を自ら見つけ、主体的に考えて解決していく力

○社会との関わりの中で、学び続けながら成長していく力

２　カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

土木に必要な基礎から最先端技術まで、街を創る「実践的な学び」を行います。

○基礎力と専門性の習得： 測量や施工の基本から、インフラを支え災害に強い街を創る高度な専門知識と技能までを幅広く身に付けます。

○最先端技術とキャリア形成： 企業や大学との連携、現場見学やインターンシップを通じて「生きた技術」に触れ、自分に適した進路を見に付けます。

○果敢な挑戦と実践：測量士補試験・２級土木施工管理技士試験やコンテストへの挑戦、課題研究でのものづくりを通じ、仲間と切磋琢磨しながら技術力を高めます。

○社会を生き抜く人間力の育成： 現場で不可欠なチームワークや「プレゼン能力」を磨き、技術力と共に社会で活躍できる総合的な人間力を育てます。

３　アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

○街づくりへの情熱と、暮らしを守る意欲がある生徒 地図に残る仕事や最新技術に興味を持ち、インフラ整備を通じて人々の命と暮らしを守りたいと願う生徒。

○主体的に考えて判断し、仲間との協働の中で、積極的に課題の解決に取り組むとともに、困難を自ら乗り越え､粘り強く最後までやり遂げようとする意欲と責任感を備えた生徒を求めています。

学校名	仙台市立仙台工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	土木科	募集定員	30人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	建築科、機械科、電気科、情報科

共通選抜

募集人数	18 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	12 人（募集定員の　40　％　）

配点

1　調査書　292.5 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．５倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を３．０倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

合計　542.5 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２人の２００％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　75 点
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望理由　(2)進路希望　(3)入学後の学習や部活動
4　観点：(1)態度　２５点　(2)表現力　２５点
(3)関心・意欲　２５点

合計　600 点

選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

仙台市立仙台工業高等学校［全日制課程（情報科)］のスクール・ポリシー

◎仙台市立仙台工業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針:（「仙台市教育構想 2026」より）

○工業教育の基礎・基本の充実や資格取得の推進を図るとともに、地域や産業界との連携によるデュアルシステムを通じ、実践的な技能・技術の獲得と確かな職業観の醸成に取り組みます。「デュアルシステム」: 若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせて実施することにより若者を一人前の職業人に育てる仕組み。

学校教育目標：

○AI にはできない「考える力」と「新しいものを生む力」を身に付け、自分の技術で未来の社会を切り拓いていく人を育てます。

○ものづくりの楽しさと最先端の技術を基礎から学び、中学校や企業から信頼される「選ばれ続ける工業高校」として、未来のプロフェッショナルを送り出します。

１　グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

情報科では、社会で信頼される技術者として必要な責任感や正しい判断力（倫理観）を身に付けた生徒の育成を目指します。

○基礎からしっかりと技術を身に付け、変化する社会にも対応できる力

○課題を自ら見つけ、主体的に考えて解決していく力

○社会との関わりの中で、学び続けながら成長していく力

２　カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

○プログラミングやネットワークなどの基礎から、AI・DX などの最新技術までを体系的に学習します。企業や大学と連携した実習や開発体験を通して、社会で役立つ実践的な IT 技術や問題解決力を身に付けます。

○資格取得やプログラミングコンテストへの挑戦を通して、専門的な知識と技能を高めます。また、「フリーアクティビティ」などの探究活動では、自分の興味・関心に応じた研究やものづくりに取り組み、仲間と協力しながら主体的に学びを深めます。

○企業の専門家によるサポートやプレゼンテーション活動を通して、自分の考えを論理的に伝える力やコミュニケーション能力を育成します。IT 技術だけでなく、社会で必要となる協働する力やキャリアを考える力を養い、将来の進路実現につなげていきます。

３　アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

○プログラミングや AI などの新しい技術に興味を持ち、ものづくりや専門的な学びに積極的に取り組みながら、自己の成長を目指して努力を継続できる姿勢を重視します。

○主体的に考えて判断し、仲間との協働の中で、積極的に課題の解決に取り組むとともに、困難を自ら乗り越え、粘り強く最後までやり遂げようとする意欲と責任感を備えた生徒を求めています。

学校名	仙台市立仙台工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	情報科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	建築科、機械科、電気科、土木科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％　）	
配点	1　調査書　292.5 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．５倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を３．０倍にする 2　学力検査　250 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする	合計 542.5　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の２００％の範囲に含まれる者（３２人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　75 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望理由　(2)進路希望　(3)入学後の学習や部活動 4　観点：(1)態度　２５点　(2)表現力　２５点 (3)関心・意欲　２５点	合計 600　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県仙台第二高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県仙台第二高等学校は，「至誠業に励み 雄大剛健の風を養い ともに敬愛切磋を怠らず」という教育目標のもと，真摯な姿勢でものごとに対処できる，度量の大きく心豊かな人物，そして，自ら主体的に行動して社会に貢献し，世界をリードできる人材を育成します。生徒には，学業のみならず，特別活動や校外活動等への積極的・主体的な取り組みを促し，教育課程内外の活動を通じて，社会の未来を担うべき人材としての資質･能力を高めることにより，地域社会の期待に応える学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○人格の錬磨と自主・自律の精神の伸長を図り，将来を切り開く人間力を育成します。

〈人間力〉高い志をもち，切磋琢磨しながら自らの心身を鍛え，主体的に課題や困難に挑戦する力

○豊かな感性と情操の涵養を図り，リーダーシップを発揮しながら，豊かな社会を協働的に創造していく力を育成します。

〈協働的創造力〉幅広い見識と探究心を持ち，自他を尊重して他者との信頼関係を構築し，協働しながら，新しい価値を創造する力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○幅広い教養と確かな学力を身につけることを重視します。

→「授業第一主義」のもと，生徒の主体的な学習態度を育成するとともに，教員が継続的な授業改善に取り組みます。

○主体的に自らの進路を選択し，進路実現を可能とするための探究的な学びを重視します。

→関係機関と連携しながら「本物」に触れる機会を提供し，幅広い視野に立って，自己や社会の将来のあり方を模索し，探究する学びを進めます。

○多様な選択科目を設定，生徒個々の関心や進路希望に応じた学びを実現します。

→２年次から地理・歴史や理科において選択科目を設定し，３年次では多様な進路希望に応じたより深い学びを進めます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○社会に貢献するために心身の錬磨を図り，他者と信頼関係を築いて，リーダーシップを発揮できる生徒

○思考力・表現力に優れ，自主・自律の精神に富み，世界の状況を見通す視点を身に付けようとする生徒

○中学時代に，学業において極めて優秀な成績を収め，確かな目標をもち上級学校へ進学することを希望する生徒

○中学時代に，部活動や校外でのスポーツ活動，文化的活動に，積極的に参加したか，または優れた実績がある生徒

学校名	宮城県仙台第二高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	320人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	288 人（募集定員の　90　％）
学力検査：調査書	7 ： 3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	32 人（募集定員の　10　％）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 695　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３２人の２００％の範囲に含まれる者（６４人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県仙台第三高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県仙台第三高等学校は，「心身の健康，真・善・美（広く調和のとれた教養）の追求，愛と知の稔り（感謝と自他尊重の精神および知的態度）」を建学の精神とし，逞しく豊かな人間性や深く探究する態度を身につけ，よりよき未来を創出できる人材を育成します。これまでのＳＳＨ（スーパーサイエンスハイスクール）の学習を継続・発展させ，地域の大学・研究機関・企業と連携し，持続可能な実習フィールドの開発と利活用に取り組むとともに，地域青少年の科学リテラシー向上に寄与する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

本校では「建学の精神」に基づき，以下の６つの「資質・能力」を育成します。

① 自己管理力：心身の健康を維持するために，健全な生活習慣を身につけ，様々な壁を柔軟に乗り越えるしなやかさを持つ。

② 信頼構築力：相手の立場をおもいやり，尊重し，互いに信頼関係を築くことができる。

③ 自己研鑽力：人類が築き上げてきた真理を重んじ，それを教養として身につけることを通して，自らの資質・能力を高めようとする。

④ 課題突破力：困難な課題に立ち向かい，解決するために，個人の資質を高め，チーム一丸となる実力を持つ。

⑤ 未来デザイン力：未知なるものに立ち向かうために，自己の可能性や周囲の可能性を信じ，能動的に知性を高め行動していく。

⑥ 社会牽引力：他者理解力・思考力など総合的な判断力をもって，集団を牽引し，社会貢献し，共生して生きていくこと。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

科学技術を活用できる人材を育成するため，数学，情報，倫理などを含めた教科融合科目を設定し，統計処理に必要なデータ分析を経験するとともに，社会倫理と社会貢献について学習します。特に科学的な探究活動では，ESD や SDGs など身近な社会問題のテーマを設定し，産官との連携，ユネスコスクールのネットワークを生かした国際交流と共同研究により，得られた課題の解決策を提案します。これらを学ぶことで，新たな課題を提示し科学技術を有効に活用できる人材を育成します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○主体性を持って様々なことに取り組み，自律的・能動的に高校生活を送る生徒

○基礎学力が身についており，学習に対して強い意識を持ち続ける生徒

○社会的問題や哲学的課題などを，広い視野をもって捉え，総合的な判断ができる生徒

○論理性の高い自己の意見をもちつつ，多様な人々と協調し，問題発見・解決に向かう生徒

○部活動や生徒会活動に積極的に取り組み，高いレベルでの文武両道を達成できる生徒

学校名	宮城県仙台第三高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	192 人（募集定員の　80　％）
学力検査：調査書	7 ： 3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	48 人（募集定員の　20　％）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　750 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．５倍にする

合計　945 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４８人の２００％の範囲に含まれる者（９６人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県仙台第三高等学校［全日制課程（理数科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県仙台第三高等学校は，「心身の健康，真・善・美（広く調和のとれた教養）の追求，愛と知の稔り（感謝と自他尊重の精神および知的態度）」を建学の精神とし，逞しく豊かな人間性や深く探究する態度を身につけ，よりよき未来を創出できる人材を育成します。これまでのＳＳＨ（スーパーサイエンスハイスクール）の学習を継続・発展させ，地域の大学・研究機関・企業と連携し，持続可能な実習フィールドの開発と利活用に取り組むとともに，地域青少年の科学リテラシー向上に寄与する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

本校では「建学の精神」に基づき，以下の６つの「資質・能力」を育成します。

① 自己管理力：心身の健康を維持するために，健全な生活習慣を身につけ，様々な壁を柔軟に乗り越えるしなやかさを持つ。

② 信頼構築力：相手の立場をおもいやり，尊重し，互いに信頼関係を築くことができる。

③ 自己研鑽力：人類が築き上げてきた真理を重んじ，それを教養として身につけることを通して，自らの資質・能力を高めようとする。

④ 課題突破力：困難な課題に立ち向かい，解決するために，個人の資質を高め，チーム一丸となる実力を持つ。

⑤ 未来デザイン力：未知なるものに立ち向かうために，自己の可能性や周囲の可能性を信じ，能動的に知性を高め行動していく。

⑥ 社会牽引力：他者理解力・思考力など総合的な判断力をもって，集団を牽引し，社会貢献し，共生して生きていくこと。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

発見・発明型の科学技術人材を育成するため，数学，理科，英語に重点を置いた科目に加えて，情報，倫理，芸術などを含めた教科融合科目を設定し，仮説と実験・調査などの必要なデータ分析を経験するとともに，研究倫理や先端研究での社会貢献について学習します。特に科学的な探究活動では，大学や研究機関と連携して研究を進め，得られた研究成果をコンテストや学会で国内外に発表します。これらを学ぶことで，基礎研究を充実拡大し新しい科学技術を生み出す人材を育成します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○主体性を持って様々なことに取り組み，自律的・能動的に高校生活を送る生徒
○基礎学力が身についており，学習に対して強い意識を持ち続ける生徒
○数学，理科の分野について，高い関心と適性をもち，強い探究意欲を有する生徒
○課題解決のために，粘り強く対象に取り組む生徒
○部活動や生徒会活動に積極的に取り組み，高いレベルでの文武両道を達成できる生徒

学校名	宮城県仙台第三高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	理数科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科

共通選抜

募集人数	56 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	7　：　3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　850 点 国語、社会、英語　：　得点を１．５倍にする 数学、理科　：　得点を２．０倍にする	合計 1045　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の２００％の範囲に含まれる者（４８人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県宮城第一高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県宮城第一高等学校は，積極的な姿勢で自らを成長させる「自主自律」の理念のもと，高い知性と豊かな創造性を身に付け，相手の立場に敬意を払いつつ自己の責任を果たす，リーダーとして社会の発展に貢献しうる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○異なったものの見方・感じ方，価値観をもつ他者を理解し，寛容の精神をもって，対話的に課題解決に取り組むことのできる協働性を育成します。

○未知の状況や逆境に直面しても，洞察や気づきの中から，新たな見方・考え方を創出し，未来を切り拓くことのできる知性と創造性を育成します。

○困難にあっても簡単に挫けることのない，自らの規範の上に確立された実践力と健全な批判力を持った，たくましくしなやかな人間性を育成します。

○自ら問いを発して常に物事の本質を捉えようとし，自らの考えを論理的･効果的に，自らの言葉で表現し発信する力を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○海外を含む高等教育機関へ進学できる学力と学びに向かう力の育成を重視します。

→授業をはじめとして，深く幅広い確かな知識とそれをさまざまな場面で活用できる力を，自律的に身に付けられるように支援する教育活動を実践します。

○社会における多様性を理解すること，他と協働することを重視します。

→授業での対話的な学びや，特別活動での望ましい集団活動を通じて，多様性を承認し他者を尊重する精神を育む教育活動を実践します。

○知的好奇心と探究へ向かう心，チャレンジ精神，失敗からも立ち直る力の育成を重視します。

→授業や探究活動の中で，知識の伝達にとどまらず，社会の様々な課題に関心を持ち，生徒が自ら律し自ら学び，深く学問を追究していくことを支援する教育活動を実践します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校の一員として自己の責任を果たすとともに，自ら判断する力をもち，　向上心と積極的態度をもって高校生活をデザインできる生徒

○基本的な生活習慣が確立されており，学習活動及び特別活動に自主的・自発的に取り組み，入学後もリーダーシップを発揮できる生徒

○４年制大学への進学等，将来について明確な目標をもち，その実現のために入学後も学習活動に取り組む生徒

○あらゆる学問分野に興味をもち，これまで学んだことを様々な事象に結び付けて考えることができる生徒

学校名	宮城県宮城第一高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	200人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	180 人（募集定員の　90　％）
学力検査：調査書	7 ： 3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　10　％）

配点

1　調査書　270 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　770 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の２００％の範囲に含まれる者（４０人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県宮城第一高等学校［全日制課程（国際探究科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県宮城第一高等学校は，積極的な姿勢で自らを成長させる「自主自律」の理念のもと，高い知性と豊かな創造性を身に付け，相手の立場に敬意を払いつつ自己の責任を果たす，リーダーとして社会の発展に貢献しうる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○異なったものの見方・感じ方，価値観をもつ他者を理解し，寛容の精神をもって，対話的に課題解決に取り組むことのできる協働性を育成します。
○未知の状況や逆境に直面しても，洞察や気づきの中から，新たな見方・考え方を創出し，未来を切り拓くことのできる知性と創造性を育成します。
○困難にあっても簡単に挫けることのない，自らの規範の上に確立された実践力と健全な批判力を持った，たくましくしなやかな人間性を育成します。
○自ら問いを発して常に物事の本質を捉えようとし，自らの考えを論理的･効果的に，自らの言葉で表現し発信する力を育成します。
○高いコミュニケーション能力・英語活用能力をもって，世界的視野で様々な事象について深く考える力と，多様な人やものとつながることのできる国際協調性を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○海外を含む高等教育機関へ進学できる学力と学びに向かう力の育成を重視します。
→授業をはじめとして，深く幅広い確かな知識とそれをさまざまな場面で活用できる力を，自律的に身に付けられるように支援する教育活動を実践します。
○社会における多様性を理解すること，他と協働することを重視します。
→授業での対話的な学びや，特別活動での望ましい集団活動を通じて，多様性を承認し他者を尊重する精神を育む教育活動を実践します。
○高い英語活用能力と国際的な視野の育成を重視します。
→学校設定教科「国際」の各科目，探究基礎，国際探究，探究発表，秋桜探究学を中心として，高度な探究活動を実践します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校の一員として自己の責任を果たすとともに，自ら判断する力をもち，向上心と積極的態度をもって高校生活をデザインできる生徒
○自ら課題を設定し，その解決のために高度な探究活動に取り組み，新たな価値や知を創出していく力を伸ばしたい生徒
○国内外の大学への進学等，将来について明確な目標をもち，その実現のために意欲的に学習活動に取り組む強い意志のある生徒
○人文社会科学・自然科学の学問領域に高い興味関心をもち，さらに学域横断的な学びを通して視野を広げる意欲のある生徒

宮城県宮城第一高等学校［全日制課程（理数探究科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県宮城第一高等学校は，積極的な姿勢で自らを成長させる「自主自律」の理念のもと，高い知性と豊かな創造性を身に付け，相手の立場に敬意を払いつつ自己の責任を果たす，リーダーとして社会の発展に貢献しうる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○異なったものの見方・感じ方，価値観をもつ他者を理解し，寛容の精神をもって，対話的に課題解決に取り組むことのできる協働性を育成します。
○未知の状況や逆境に直面しても，洞察や気づきの中から，新たな見方・考え方を創出し，未来を切り拓くことのできる知性と創造性を育成します。
○困難にあっても簡単に挫けることのない，自らの規範の上に確立された実践力と健全な批判力を持った，たくましくしなやかな人間性を育成します。
○自ら問いを発して常に物事の本質を捉えようとし，自らの考えを論理的･効果的に，自らの言葉で表現し発信する力を育成します。
○情報活用能力や英語活用能力をもって，理数領域を中心としつつ，分野や教科の枠を超えた深い思考力を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○海外を含む高等教育機関へ進学できる学力と学びに向かう力の育成を重視します。
→授業をはじめとして，深く幅広い確かな知識とそれをさまざまな場面で活用できる力を，自律的に身に付けられるように支援する教育活動を実践します。
○社会における多様性を理解すること，他と協働することを重視します。
→授業での対話的な学びや，特別活動での望ましい集団活動を通じて，多様性を承認し他者を尊重する精神を育む教育活動を実践します。
○理数的な能力・教科横断的な能力の育成を重視します。
→理数科の専門科目，探究基礎，理数探究，探究発表，秋桜探究学を中心として，高度な探究活動を実践します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校の一員として自己の責任を果たすとともに，自ら判断する力をもち，向上心と積極的態度をもって高校生活をデザインできる生徒
○自ら課題を設定し，その解決のために高度な探究活動に取り組み，新たな価値や知を創出していく力を伸ばしたい生徒
○国内外の大学への進学等，将来について明確な目標をもち，その実現のために意欲的に学習活動に取り組む強い意志のある生徒
○人文社会科学・自然科学の学問領域に高い興味関心をもち，さらに学域横断的な学びを通して視野を広げる意欲のある生徒

学校名	宮城県宮城第一高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	国際探究科・理数探究科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科

共通選抜

募集人数	72 人（募集定員の　90　％　）
学力検査：調査書	7　：　3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	8 人（募集定員の　10　％　）	
配点	1　調査書　180 点 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする 国語、数学、英語　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　1000 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を２．０倍にする	合計 1180　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する８人の２００％の範囲に含まれる者（１６人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県広瀬 ideal 高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県広瀬 ideal 高等学校は、急激に変化する社会の中で多様化している生徒の興味・関心や進路希望に対応するため、また、学校生活や学習に困難さを抱える生徒を含む、多様な入学動機や学習歴を持つ生徒の学び直し等の課題に対応するため、学習面、情動面双方で個別最適化の視点を重視し、個に応じた多様な学びを提供するとともに、学習者中心の支援を行います。これにより、生徒の自律的な学びを実現し、自己の特性を生かしながら社会と調和して行動する、社会的に自立できる力を育成します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

次のような「自律的学習者として必要な資質・能力」及び「社会的自立に必要な資質・能力」の育成を目指します。

○学習面、生活面双方での、自己効力感及び自己有用感
○基礎的基本的な知識及び技能と、それらを適切に活用できる思考力、判断力、表現力
○よりよく問題を解決するために、自ら課題を見出し、主体的に考え、判断し、行動しようとする力
○学びの在り方を自らが選択し、自律的に取り組み、自分の生活をデザインする、自身で判断し決定する力
○他と協調し社会を形成していくという自覚と、多様性理解・自他尊重に支えられた協働する力
○変化する社会の中で困難に直面しても、自分らしく前向きに対応できる力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○学年の区分を設けず、必履修科目を含む 74 単位以上の単位修得で卒業することができる教育課程とします。
○自身の生活スタイル、興味・関心、適性、進路希望等に応じて、生徒が主体的に教科・科目や学習時間帯を選択できる、柔軟な教育課程とします。
○ＩＣＴを活用した学習や授業により、個別最適な学びの実践を図ります。
○学び直しに対応した科目、習熟度別科目、将来の社会的自立に有用な実践的な学校設定科目等を設定します。
○単位制高等学校としての多様な科目の設置に加え、様々な学校外の学修を卒業に必要な単位として認定する、多様な学びの実現を図ります。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○大学進学等の進路希望を実現するために、自分で計画しながら学びたい生徒
○多様な選択肢の中から、興味関心や適性に合わせ自己決定し、柔軟に学びたい生徒
○芸術活動やスポーツ活動等のために、自由な時間を持ちながら学びたい生徒
○集団生活が苦手だったり、対人関係等で不安を感じたりしているが、自分のペースで学びたい生徒
○学ぶ意欲を持っており、基礎から学び直しをしたい生徒

学校名	宮城県広瀬ideal高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	200人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	ideal選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	20 人 （募集定員の　10　％ ）
学力検査:調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

ideal選抜

募集人数	180 人 （募集定員の　90　％ ）

配点

全ての志願者について、意欲を多面的に見るために個人面接を行い、以下の方式により総合的に選抜する。

	面接	調査書	学力検査	合計
面接重視方式	100点	ー	ー	100点
調査書重視方式	27点 *1	135点 *2	ー	162点
学力検査重視方式	100点	ー	500点 *3	600点

*1　１００点満点を２７点満点に圧縮する。

*2　全学年・全教科の評定を１．０倍にする。

*3　全教科の得点を１．０倍にする。

選抜方法

・面接重視方式は、面接の得点を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料。以下同じ）も用いて総合的に審査し、選抜する。

・調査書重視方式は、調査書点と面接の得点を基に、調査書の記載事項も用いて総合的に審査し、選抜する。

・学力検査重視方式は、学力検査点と面接の得点を基に、調査書の記載事項も用いて総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：出願時に提出する志願理由書を基に、以下の質問を行う。 (1)あなた自身について　(2)志望動機について (3)入学後の生活について　(4)その他 4　観点：(1)意欲・目的意識56点　(2)自己理解30点　(3)学校理解14点

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書

評定は用いない

2　学力検査　　**75 点**

国語、数学、英語

3　面接　　**100 点**

1　形態：個人面接
2　時間：15分程度
3　内容：第一次募集と同じ
4　観点：第一次募集と同じ

合計

175　点

選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県泉高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県泉高等学校は，「明朗進取，自重敬愛，勤勉奉仕」を校訓とし，多様な教育活動を通して，生徒一人ひとりの学力向上と個性や能力の伸長を図り，知・徳・体の調和のとれた，社会に貢献できる有為な人材を育成します。また，英語科を有する学校として将来国際社会で活躍できるような資質や能力を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○　本校は「積極挑戦し未来を切り開く生徒～多様な経験から主体性を育む」をスクールアイデンティティとしています。高校生活の中で様々なことに「挑戦」し，多様な「経験」を積み重ねることで，自らの高い志で成長する自己伸長力を育成し，高校卒業後も自らの力で成長し続ける人材の育成を目指します。

○　積極挑戦し未来を切り開く力を育成するために，教育活動全体をとおして，具体的に次の６つの資質・能力を育成することを目指します。

①　主体性	②協働性	③表現力・発信力
④　課題設定力・問題解決力	⑤探究心	⑥自己肯定感

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

本校の教育課程は，大学進学にとどまらず，多様な進路希望をもつ生徒の積極挑戦を後押しできるよう編成されています。

○　基礎基本の定着，生徒の個に応じた多様な学びを大切にします。

○　協働的学びの実現のため，クラス，学科の枠を超えて選択できる教科・科目を設定しています。

○　教科横断的な学びを促進できるよう，教科・科目の履修時期に配慮しています。

○　柔軟な進路選択に対応して選べる選択教科・科目を設定しています。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○　基本的な学習習慣や生活習慣を確実に身に付けている生徒。

○　多様化する社会の変化に対応し，将来積極的に社会に貢献しようとする生徒。

○　卒業後の明確な目標をもち，積極的に学習活動に取り組む生徒。

○　入学後の探究的な学びを深めるための基礎学力が身に付いている生徒。

○　部活動，特別活動や校外の活動に対して積極的に取り組む意欲のある生徒。

学校名	宮城県泉高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	200人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	英語科

共通選抜

募集人数	180 人（募集定員の　90　％　）
学力検査：調査書	7　：　3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　10　％　）	
配点	1　調査書　270 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　650 点 社会、理科　：　得点を１．０倍にする 国語、数学、英語　：　得点を１．５倍にする	合計 920　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１５０％の範囲に含まれる者（３０人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県泉高等学校［全日制課程（英語科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県泉高等学校は，「明朗進取，自重敬愛，勤勉奉仕」を校訓とし，多様な教育活動を通して，生徒一人ひとりの学力向上と個性や能力の伸長を図り，知・徳・体の調和のとれた，社会に貢献できる有為な人材を育成します。また，英語科を有する学校として将来国際社会で活躍できるような資質や能力を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○　本校は「積極挑戦し未来を切り開く生徒～多様な経験から主体性を育む」をスクールアイデンティティとしています。高校生活の中で様々なことに「挑戦」し，多様な「経験」を積み重ねることで，自らの高い志で成長する自己伸長力を育成し，高校卒業後も自らの力で成長し続ける人材の育成を目指します。

○　積極挑戦し未来を切り開く力を育成するために，教育活動全体をとおして，普通科と同様の６つに，さらに２つを加えた８つの資質・能力を育成することを目指します。

①主体性　②協働性　③表現力・発信力　④課題設定力・問題解決力　⑤探究心
⑥自己肯定感　⑦英語による発信力　⑧多様な価値観・考え方を受け入れる柔軟性

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

本校英語科の教育課程は，大学進学や英語力の向上にとどまらず，将来国際社会で活躍したいという希望をもつ生徒の積極挑戦を後押しできるよう編成されています。

○　基礎基本の定着，生徒の個に応じた多様な学びを大切にします。

○　聞く，話す，といった実際のコミュニケーションの場面で必要な英語運用能力を向上できるように，英語専門科目の総合英語，エッセイライティング，ディベート・ディスカッションを３年間で２５単位設定しています。

○　国内外に向けて自分の考えを発信できる力を育成するとともに，その基礎として必要な教養を身に付けられるよう，英語以外の教科もバランス良く学べるように教科・科目を設定しています。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○　基本的な学習習慣や生活習慣を確実に身に付けている生徒。

○　英語学習に自主的・主体的に取り組む生徒。

○　多様化する社会の変化に対応し，将来積極的に国内外で貢献しようとする生徒。

○　卒業後の明確な目標をもち，積極的に学習活動に取り組む生徒。

○　入学後の探究的な学びを深めるための基礎学力が身に付いている生徒。

○　部活動，特別活動や校外の活動に対して積極的に取り組む意欲のある生徒。

学校名	宮城県泉高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	英語科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科

共通選抜

募集人数	32 人（募集定員の　80　％ ）
学力検査：調査書	7 ： 3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	8 人（募集定員の　20　％ ）

配点

1　調査書　270 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする

音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　700 点

社会、理科　：　得点を１．０倍にする

国語、数学　：　得点を１．５倍にする

英語　：　得点を２．０倍にする

合計　970 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する８人の２００％の範囲に含まれる者（１６人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点

国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする

社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点

国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県泉松陵高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県泉松陵高等学校は，「自律・啓発，友愛・協調，堅忍・不撓」の校訓のもと，広く国際的な視野をもち，我が国に貢献しうる人物の育成を目指します。また，地域に根ざしたボランティア活動の推進と，地域貢献による生徒の人格形成を促進し，学校・保護者・地域の三位一体となった充実した教育活動を実践しながら，地域社会に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

知・情・意の調和ある発達を図り，心身ともに健全で，個性豊かな人間を育てることを目指します。

１　自己を律し，能力を高め向上させる生徒の育成
２　他を思いやり，互いに助け合い，社会に貢献する生徒の育成
３　我慢強く耐え忍び，困難にあってもくじけない心を持つ生徒の育成
４　自国と他国の文化や風習を深く理解し，国際的に活躍できる生徒の育成

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

本校では普通教科を幅広く学ばせ，将来の希望進路実現をサポートする学校として，生徒のニーズに応じた細やかな学習指導を行うとともに，多様な進路選択に対応できる教育環境を整備しています。また，令和２年度より落ち着いた学習環境で，集中して学習に取り組み，学力を伸張できるよう，「特別進学クラス」を創設し，より深化した学びを実現します。

【１　国公立大学進学を目指せるカリキュラムの設定】

全員が共通科目を履修する１年次では基礎学力の定着に重点を置き，２年次においては地歴や理科科目を進路希望に応じて選択学習します。３年次は文系・理系・看護系等に細分化した教育課程のもと，自らの進路目標に向かって主体的・能動的に学習に励める自立した学習者を育成します。

【２　習熟度別で，よりわかりやすい授業の展開】

国語・英語・数学で少人数制授業を実施し，個に適した学びを実現します。

【３　基礎学力の定着を図るための継続的・体系的な指導の実践】

日々の学習内容の定着度を確認する Power-up Time Test（PT テスト）を活用し，こまめに振り返ることで，効果的に集中して学習に取り組み，既習知識を活用する環境を設定する他，長期休業期間を中心に課外学習や学習合宿を行い，学習内容の定着を図ります。

【４　台湾５大学との連携協定により，国際的に活躍できる人材輩出を目指す支援体制】

激動し，予測不可能な社会の変化に対応できる活力あふれる人材を育成します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

本校は，進学を目指す普通科高校です。勉学・部活動・生徒会活動・ボランティア活動等に関わり，入学後も自主的・自律的・意欲的に取り組む人材育成に努めることから，以下の生徒を求めています。

１　本校で学ぼうとする理由が明確で，目的意識の高い生徒
２　学習活動に意欲的に取り組み，学習習慣が身についている生徒
３　基本的な生活習慣が身についており，主体性・協調性・誠実性に富み，礼節をわきまえた生徒
４　自己の将来について明確な目標を持ち，その実現に向け，継続的に根気強く努力できる生徒
５　部活動・生徒会活動・ボランティア活動等に率先して取り組み，継続して意欲的に活動する生徒

学校名	宮城県泉松陵高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	180 人（募集定員の　75　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	60 人（募集定員の　25　％　）

配点

1　調査書　390 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする

音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する６０人の１５０％の範囲に含まれる者（９０人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点

国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする

社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点

国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県泉館山高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県泉館山高等学校は，仙台市泉区長命ケ丘に立地する全日制普通科の高校として，創立以来，進路指導に重点を置きつつ高度な普通教育を施し，また地域の小中学校や各種団体とのつながりを重視している高校です。

そして，泉館山高等学校は，「豊かな情操と道徳性ならびに国際的視野を備えた，心身ともに健康で実践力に富む人間」を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

本校は，「自律，敬愛，貢献」を校訓とし，様々な変化が起こると予想される未来社会を見据え，自ら課題を見出し，主体的に解決する姿勢を備え，地域社会や国際社会の創造に貢献できる人間を育成する学校を目指しています。

本校においては，次のような資質・能力を育成します。

○自主自律の実践力と公正な判断力を持つこと
○自他の人格を尊重し，相互に信頼し，協力し合える豊かな愛情を持つこと
○社会において果たすべき自己の使命を自覚し，広い視野をもって社会の進展に貢献すること
○心身ともに健康で，何事にも誠実で自律的に行動できること
○豊かな情操と協調性をもって，より良い社会を形成しようとすること
○高い志を持ち，自己の向上に努め，生涯にわたって意欲的に学び続けること
○「自分と向き合う力」「相手と向き合う力」「社会と向き合う力」を身に付けること

そのために，本校の教育活動を通して，生徒に以下の力（「館高力」）を養成します。

①言語力（言葉を通じて考えを深める力）　②対話力（相手と対等な立場で対話する力）
③情報分析力（現状を正確に把握する力）　④思考力（筋道を立てて考える力）
⑤判断力（物事を正しく認識し評価する力）⑥発信力（考えをまとめ表現し周囲に伝える力）
⑦実践力（自律的に行動を起こす力）　⑧協働力（相手を敬い目的のために共に働く力）
⑨課題解決力（課題解決のために，自らの行動を必要に応じて修正する力）

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎基本の確立を目指すため，必履修科目は１年次にできるだけ多く設定します。
○２年次からは文系と理系に分かれ，進路希望達成のために必要な科目の単位数を増やして設置します。
○「館高力」の養成と「自律的に学びに向かう力」の涵養のために，総合的な探究の時間の充実に加えて，探究的な内容を含む学校設定科目を設置します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○校内外の様々な活動に主体的に関わろうとする意欲がある生徒
○４年制大学への進学等を目指して学習活動に意欲的に取り組む生徒
○本校の一員として自他の人格を尊重し，相互に信頼し合い，良好な人間関係を築く生徒
○学習活動，特別活動，部活動等にバランス良く取り組む生徒

学校名	宮城県泉館山高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	216 人（募集定員の　90　％　）
学力検査：調査書	7　：　3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　10　％　）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　695　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の２００％の範囲に含まれる者（４８人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525　点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県宮城野高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県宮城野高等学校は，創造的自由の精神を重んじ，自他の「しあわせ」のために，画一的な考えに縛られることなく，高度な未来デザイン力をもって未来社会を構想し，その実現のために主体的・自主的に探究し，行動できる人材を育成します。生徒には，デザインの発想を課題解決に生かす「デザイン思考」を身に付けさせ，教育課程内外の活動において繰り返し活用・実践することを促し，自由な発想で社会に貢献する人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

＜未来デザイン力＞　「デザイン思考」について学び，自分の得意や個性を生かして，社会に貢献し，よりよい未来社会を創造する力を育成します。
＜自己教育力＞　社会の変化にいち早く対応し，自ら学びに向かう力，正解のない問題に対して，他者との対話を繰り返しながら，粘り強く立ち向かう力を育成します。
＜共生と奉仕の精神＞　他者を尊重しながら，自他を「しあわせ」にする企画力を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○自らの進路を切り拓く確かな学力と知的探究心の育成を重視します。
　→　大学等への進学を視野に入れた授業においても，ICT の活用や探究的な学びなど，時代に求められる新たな学びのあり方を模索・追求していきます。
○個性を生かして社会へ貢献する力を身に付ける探究活動を実践します。
　→　「デザイン思考」や「探究スキル」を身に付けるとともに，多様な探究手法の中から，自らの得意や個性に応じたものを選んで行う探究活動を推進します。
○教科・領域横断型の学校設定科目を設定し，多角的に物事を洞察する力を養います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校の校風に共感し，高い目標を掲げ，自主的・自律的に学び，自己の進路実現のために継続的に努力することができる生徒
○本校普通科の教育課程に適応しうる確かな学力を備えている生徒
○本校の一員として自覚をもち，自主的ボランティアによる生徒企画行事や自治活動，校外での社会貢献活動などに積極的に参加しようという意欲を有する生徒
○現代社会の諸課題に対して興味・関心をもち，その本質に迫ろうとする探究心と，他者との対話をとおして多角的な視点を獲得し，課題解決の方策を構想しようとする意欲を有する生徒
○互いの個性を尊重し，相手の立場を考えて他者とのコミュニケーションを図ることができる生徒

学校名	宮城県宮城野高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	200人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	140 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	7　：　3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	60 人（募集定員の　30　％　）

配点

1　調査書　232.5 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．５倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　750 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．５倍にする

合計　982.5 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する６０人の１２０％の範囲に含まれる者（７２人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県宮城野高等学校［全日制課程（美術科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県宮城野高等学校は，創造的自由の精神を重んじ，自他の「しあわせ」のために，画一的な考えに縛られることなく，高度な未来デザイン力をもって未来社会を構想し，その実現のために主体的・自主的に探究し，行動できる人材を育成します。生徒には，デザインの発想を課題解決に生かす「デザイン思考」を身に付けさせ，教育課程内外の活動において繰り返し活用・実践することを促し，自由な発想で社会に貢献する人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

＜未来デザイン力＞　「デザイン思考」について学び，自分の得意や個性を生かして，社会に貢献し，よりよい未来社会を創造する力を育成します。
＜自己教育力＞　社会の変化にいち早く対応し，自ら学びに向かう力，正解のない問題に対して，他者との対話を繰り返しながら，粘り強く立ち向かう力を育成します。
＜共生と奉仕の精神＞　他者を尊重しながら，自他を「しあわせ」にする企画力を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○自らの進路を切り拓く確かな学力と知的探究心の育成を重視します。
　→　大学等への進学を視野に入れた授業においても，ICT の活用や探究的な学びなど，時代に求められる新たな学びのあり方を模索・追求していきます。
○個性を生かして社会へ貢献する力を身に付ける探究活動を実践します。
　→　「デザイン思考」や「探究スキル」を身に付けるとともに，多様な探究手法の中から，自らの得意や個性に応じたものを選んで行う探究活動を推進します。
○美術専門科目における表現と鑑賞を充実させ，美術の学びを深化することで，芸術と社会の関わりなどから考察し，未来デザイン力を養います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校の校風に共感し，高い目標を掲げ，自主的・自律的に学び，学業と創作活動の両立に努めることができる生徒
○本校美術科の教育課程に適応しうる確かな学力を備えている生徒
○創作活動に粘り強く取り組むことができ，絵画・彫刻・工芸・デザイン等に優れた創造的能力を有する生徒
○現代社会の様々な課題に対して興味・関心をもち，その本質を追究しようとする好奇心と，発想や構想力で課題を解決しようとする意欲を有する生徒
○他者との対話や芸術的体験をとおして多様な価値観を見出し，新しい視点を得ようとする生徒

学校名	宮城県宮城野高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	美術科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科

共通選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％　）
学力検査：調査書	7　：　3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％　）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

3　実技　100 点

合計　795　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び実技の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の１２０％の範囲に含まれる者（２８人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び実技の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	実技 ※２日目に実施	1　形態：デッサン 2　時間：１８０分 3　内容：鉛筆デッサン 4　観点：(1) 造形的な要素　６０点　(2) 制作過程等　４０点

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　実技　50 点
1　形態：デッサン
2　時間：５０分
3　内容：鉛筆デッサン
4　観点：(1) 造形的な要素　３０点　(2) 制作過程等　２０点

合計　575　点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

仙台市立仙台高等学校［全日制課程（普通科）］のスクールポリシー

◎仙台市立仙台高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針:（「仙台市教育構想 2026」より）

生徒の学力向上と進学目標の達成に向け、学年に応じた進学重視型単位制のカリキュラム充実を図り、少人数による普通科教育を展開します。

校是（教育理念）：自主自立

学校教育目標：「より良い未来社会の構築を牽引する人間を育成する」

（１）地球規模の視野と社会の一員としての自覚を持ち、的確な判断力と課題を解決する能力を備えた自立できる人間を育成する。

（２）一人ひとりの才能や能力を伸ばすとともに、自他を尊重し社会に貢献できる自主的で実行力のある人間を育成する。

重点目標：

（１）心身の健康と安心安全な環境の整備

未来を創造する青年を育成するため、心身ともに健康で安心して学校生活を送れるよう、個々の生徒に応じた支援を行い、自己肯力感を育む環境を実現する。また、安全を第一にした施設管理・整備を進めるとともに、大規模改修工事やそれに伴う引越等による学習環境への影響を最小限に留める。

（２）主体的に学ぶ学習活動の推進

「主体的・対話的で深い学び」の観点から、全ての教科で協働的な学びやＩＣＴ機器を活用した学び等を通して授業改善を進め、他者と協働しながら課題解決をする力、社会的変化が速く、複雑多様で予測困難な未来を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていく力を育む。

（３）生徒諸活動の支援

仙台高校版キャリア教育（フェニックス・プラン）や特別活動、部活動等を通し、集団の合意形成や意思決定を経験することで、自他を尊重し豊かな人間関係を構築する力を育む。

（４）好循環を生む教育環境の創造

本校の特色を活かした教育課程の編成・実施を通して、本校のあるべき教育活動を検証するとともに、絶えず評価と改善をくり返し行う「カリキュラム・マネジメント」に全職員が関わることで諸活動や各教科の学びを有機的に結びつけながら、仙高力を高める実践に努める。

１　グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

地球規模で物事を考える視点と地域・社会の担い手として自己のあり方を考える視点を併せ持ち、本校の教育活動で培った資質・能力をもとに進んで他者と協働しながら、より良い未来社会の構築に貢献する人物の輩出を目指す。

〈仙高力〉～育てたい７つの力（資質・能力）

①幅広く学ぶ力　②情報を処理する力　③探究する力
④表現する力　⑤他者と協働する力　⑥自ら考え行動する力
⑦自他を尊重する力

２　カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

グラデュエーション・ポリシーの〈仙高力〉を育む手立てとなる学びの特長

１．「35人学級」で個に応じた指導を行います。
２．「進学重視型単位制」の特徴である豊富な選択科目の中から、目指す進路や興味関心に応じて自ら学びをデザインする力を育てます。
３．ＩＣＴ機器の効果的な使用や協働型学習の積極的導入を通して、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業を行います。また、生徒の学習状況の把握と、質の高い授業を提供するため、７つの「仙高力」を盛り込んだ授業評価を積極的に活用します。
４．全教員による個に応じた進路指導を行い、４年制大学等の入学試験に対応する力を養成するとともに、生涯学び続ける土台となる力を育てます。
５．「総合的な探究の時間」では、体系化した独自のキャリアプラン「フェニックス・プラン」において、探究学習に取り組み、より良い社会の担い手として何ができるかを具体的かつ積極的に考える力を育てます。
　①１年：SDGｓ（持続可能な開発目標）の17の目標に基づいたテーマ別ゼミ
　②２年：ホームルーム研修旅行の事前探究学習と研修先におけるSDGs研修
　③３年：進路に応じた研究レポート作成
６．生徒会活動や学校行事等の企画・運営・実施に主体的に取り組むことにより、課題解決能力や他者と協働して物事を成し遂げる力を育てます。
７．活発な部活動（運動部16・文化部16）により、ルールやマナー、礼儀や節度を重んじる心、スポーツや文化を生涯にわたって楽しむ力などを育てます。
８．校内外におけるボランティア活動を推奨し、他者への温かい眼差しや、自身の力を広く社会に還元する力を育てます。
９．海外の高校（オーストラリア：ケリービルハイスクール等）や在仙の外国人の方々との交流を通して国際的な視野を養うとともに、多文化共生の精神を育てます。
１０．近隣の大学やホームルーム研修旅行先の大学・関係機関等と連携して学校外にも学びの場を創出し、生徒の知的好奇心や進路意識を高めます。

３　アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

未来を見据えて、感受性あふれる高校生の時期になすべきことを誠実に実行する生徒

１．自他を尊重した責任ある言動をとる生徒
２．自己の特長・特性への理解を深めながら進路を設定し、４年制大学進学等の進路目標に向かって挑戦する生徒
３．積極的な授業参加を通して学習成果の伸長を強く心がける生徒
４．部活動などの自主的な諸活動に意欲的に取り組むことを通して、心身の成長を強く心がける生徒

学校名	仙台市立仙台高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	280人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	224 人（募集定員の　80　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	56 人（募集定員の　20　％　）	
配点	1　調査書　220 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　1、2年の評定を1．0倍にし、3年の評定を2．0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を2．0倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を　1．0倍にする	合計 720　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する５６人の２００％の範囲に含まれる者（１１２人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を1．0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を2．0倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

仙台市立仙台商業高等学校「全日制課程（商業科）」のスクール・ポリシー

◎仙台市立仙台商業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針：（「仙台市教育構想 2026」より）

基礎学力の向上と商業教育の基礎的・基本的知識の習得に重点を置き、資格取得を奨励します。また、組織の一員として社会の変化に柔軟に対応する創造性やコミュニケーション能力を身に付けた人材を育成するビジネス教育を推進します。

校　　訓：「自律」、「友愛」、「創造」

学校教育目標：

1　基礎的な学力向上を図るとともに、主体的に学習に取り組み、自己実現を図る態度を育成する。

2　人権尊重の理念のもと、民主的な社会及び国家の形成発展に寄与する態度を育成する。

3　専門的な知識・技術を習得させ、社会の変化に柔軟に対応できる創造性豊かな人材を育成する。

4　遵法精神を養い、望ましい勤労観・職業観を確立させ、我が国及び国際社会の発展に貢献する職業人を育成する。

重点目標：

1　魅力と特色ある学校づくり

①あいさつの励行　②部活動の充実　③地域連携・地域貢献
④外部連携による教育活動　⑤コミュニティ・スクールの充実
⑥ＤＸハイスクール　⑦小中学校、保護者へのＰＲ

2　新学習指導要領の着実な実施

①ＩＣＴとＡＩを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの推進
②観点別評価の実施　③生徒の困り感の把握、生徒の立場に立った教材研究
④教材や資料のデジタル共有化　⑤校内研究、公開授業の実施

3　社会人基礎力の育成

①ルールの徹底　②非認知能力と社会情動的スキルの育成
③情報モラル教育の推進　④３年間を見通したキャリア教育
⑤高度な資格取得への挑戦　⑥環境美化

＜学校運営協議会で目指す重点目標＞

4　挨拶と対話を通したコミュニケーション能力の育成

【学校】①コミュニケーション能力の向上を意識した学校生活
②相手を思いやる行動、言動　③モラル教育の推進
【家庭】④家庭内での日常的な挨拶　⑤こどもとの対話
⑥こどもの話を最後まで聞く
⑦スマートフォンを見ながら話をしない
【地域】⑧高校生への声掛けと情報提供
⑨ボランティア活動等の地域連携

１　グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います）

（１）高い志を持ち、人と積極的に関わり、社会に貢献しようとする生徒を育成します。

（２）主体的に問題を解決する能力を身に付け、自己の進路達成に向け、果敢に挑戦する生徒を育成します。

（３）生き抜く強い意志と粘り強さを持ち、震災からの復興を力強く担っていける生徒を育成します。

（４）心豊かで心身ともに逞しく、自ら学ぼうとする意欲溢れる生徒を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います）

（１）仙台商業高校は、基礎学力の定着と主体的で探究的な学びとなる授業を推進し、深い学びを実践していきます。

（２）教科科目で身に付けた知識を教科横断的に活用する探究的な学びを通して、実社会の様々な場面で活用できる汎用的な能力を育成します。

（３）実社会で活用できるビジネススキルの習得を目指し、地域や企業との連携による実践的な学びを通して、商業の高い専門性を追求します。さらに高度資格取得に向けた学習を通して、主体的かつ積極的に取り組む姿勢を育みます。

（４）特別活動・部活動を通じ、人間関係形成、社会参画、自己実現を目指します。また、主体的で協働的な生徒の諸活動、ボランティア活動や商品開発による地域貢献活動等、多様な学びを教育課程と連携させるとともに、合理的かつ効率的、効果的な取り組みになるよう支援します。

（５）探究的な学習活動を通して、家庭・地域・企業・他校種との連携を深め、地域社会と協働し、活性化できる人材を育成します。

３　アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています）

失敗を恐れず、何事にも挑戦できる生徒を求めます。

（１）仙台商業高校への志望動機が明確であり、学習活動及び部活動ともに意欲的に取り組む生徒を求めます。

（２）基本的な生活習慣が身に付いており、学習成績及び人物ともに優れ、活力ある生徒を求めます。

（３）商業に関して強い関心を持ち、日常の学習や商業系の部活動をとおして高度の資格取得を目指す生徒を求めます。

（４）部活動・校外でのスポーツ活動で顕著な実績や優れた能力を有し、入学後も本校の部活動で活動する意志のある生徒を求めます。

（５）自分の将来に夢を持ち、その達成のために、日々努力できる生徒を求めます。

学校名	仙台市立仙台商業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	商業科	募集定員	320人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	192 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	128 人（募集定員の　40　％　）

配点

1　調査書　97.5 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を０．５倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

3　面接　100 点

合計　447.5 点

選抜方法
- 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２８人の１５０％の範囲に含まれる者（１９２人）を対象として行う。
- 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：集団面接 2　時間：２０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況 (3) 将来の進路志望　(4) その他 4　観点：(1) 態度　１０点　(2)表現力等　９０点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１０分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　625 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県塩釜高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県塩釜高等学校は，「志，伸，和，創」を校訓とし，「地域の発展を担う人材」及び「持続可能な未来を創造する人材」を育成することを目標とした学びを通して，今後社会人として生きる生徒にとって，社会の変化に対応していく力，進路を切り開いていく力を育成します。また，地域との協働を一層充実させ，地域を支える人づくりを行うとともに地域活性化の拠点となる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

「志」：遠大な志をもち，素直に勉励する
「伸」：個性を伸長し，特色ある人物となる
「和」：和らぎの心を旨とし，自他の人格を尊重する
「創」：物事に意欲を燃やし，知性の開発と創意工夫に心がける
という校訓に基づいた教育計画において，以下に掲げる要件の育成を目指します。
（１）自己実現を目指し，自ら意欲的に学ぶことができる
（２）豊かな人間性と互いを尊重する心をはぐくむことができる
（３）礼儀を重んじ，自覚と誇りを持って自己を律することができる
（４）公共心を育て，社会や地域の発展に貢献することができる

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

大学・短期大学・専門学校などへの進学，そして公務員や民間就職など，多様な進路に対応した教育課程（カリキュラム）を編成しています。
また，進路目標に合わせた選択科目の設置や具体的な学習目標を明示した「学習の手引き（シラバス）」を作成し，明確な目標に基づいた指導と事後の評価を繰り返すことにより，生徒の学力を正確に把握し，授業改善と生徒の学力向上を図るなど，特色ある教育活動を行っています。
１学年では基礎学力の定着を重視し，全員同じカリキュラムで学習を進めます。２学年からは大きく理系か文系に分かれます。進路希望に合わせた科目を選択し履修していきます。３学年では多くの選択科目の中から，自分の進路希望に応じた科目を選び，自己実現を目指した学習を深めていきます。
さらに，「総合的な探究の時間」を活用し，「地域貢献に係る活動」などを行うことで学校と地域が連携・協働する取組を発展させます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

基礎基本の学びを重視し，幅広い進路希望の実現を可能にする学力を養います。将来，社会や地域の発展に貢献できる人材を育てることを目標としています。
そのため，自ら意欲的に学び，他者を尊重することができる，次の１～４に当てはまる生徒を求めます。
（１）基礎学力が身に付いており，本校入学後も明確な進路目標をもって学業に励む意志のある生徒
（２）基本的生活習慣が身に付いており，生徒会活動や部活動に意欲的かつ主体的に取り組む生徒
（３）本校の一員として自己の責任を果たすとともに，礼儀正しく，他者を尊重することのできる生徒
（４）部活動や校外での諸活動で優れた能力や実績を有し，入学後も継続して活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県塩釜高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	200人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	180 人（募集定員の　90　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　10　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の１５０％の範囲に含まれる者（３６人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県塩釜高等学校［全日制課程（ビジネス科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県塩釜高等学校は，「志，伸，和，創」を校訓とし，「地域の発展を担う人材」及び「持続可能な未来を創造する人材」を育成することを目標とした学びを通して，今後社会人として生きる生徒にとって，社会の変化に対応していく力，進路を切り開いていく力を育成します。また，地域との協働を一層充実させ，地域を支える人づくりを行うとともに地域活性化の拠点となる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

「志」：遠大な志をもち，素直に勉励する
「伸」：個性を伸長し，特色ある人物となる
「和」：和らぎの心を旨とし，自他の人格を尊重する
「創」：物事に意欲を燃やし，知性の開発と創意工夫に心がける
という校訓に基づいた教育計画において，以下に掲げる要件の育成を目指します。
（１）自己実現を目指し，自ら意欲的に学ぶことができる
（２）豊かな人間性と互いを尊重する心をはぐくむことができる
（３）礼儀を重んじ，自覚と誇りを持って自己を律することができる
（４）公共心を育て，社会や地域の発展に貢献することができる

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

大学・短期大学・専門学校などへの進学，そして公務員や民間就職など，多様な進路に対応した教育課程（カリキュラム）を編成しています。
また，進路目標に合わせた選択科目の設置や具体的な学習目標を明示した「学習の手引き（シラバス）」を作成し，明確な目標に基づいた指導と事後の評価を繰り返すことにより，生徒の学力を正確に把握し，授業改善と生徒の学力向上を図るなど，特色ある教育活動を行っています。
１学年では，商業科目のビジネス基礎，簿記，情報処理の基礎基本について学習します。
２学年では，財務会計Ⅰ，ビジネス情報，マーケティングなどの応用力をつけます。特に，マーケティングでは，前期にマーケティングの基礎・基本について学習し，後期はアクティブラーニングを取り入れた市場調査を実施します。
３学年では，総合実践，課題研究などのビジネスに関する総合的な学習を行います。総合実践では，簿記，情報処理，マーケティングの授業で学習した内容を総合的に取り入れ，ビジネス活動に必要な実践的な学習を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

商業という専門分野において基礎的・基本的な知識や技術の定着を図る一方，実践的・体験的学習をとおして課題を探求し解決する力，仲間と意見を出し合い協調する力を養い，社会が抱える課題に立ち向かうことのできる実践力を育成します。
よって，将来の地域産業を担う人材の育成という観点から，次の１～４に当てはまる生徒を求めます。
（１）基本的生活習慣が身に付いている生徒
（２）明確な目標をもって学校生活に臨むことのできる生徒
（３）進路実現に向けた継続的努力を惜しまない生徒
（４）校内外での諸活動で優れた能力や実績を有し，入学後も継続して活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県塩釜高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	ビジネス科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	72 人（募集定員の　90　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	8 人（募集定員の　10　％　）

配点

1　調査書　390 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする

音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する８人の１５０％の範囲に含まれる者（１２人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点

国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする

社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点

国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県多賀城高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県多賀城高等学校は，「さとく，ゆたかに，たくましく」を教育目標とし，21世紀を担う人材の育成という観点に立って，高い知性，豊かな情操，すぐれた徳性，強い意志と強健な身体をもち，広い視野をもって社会，国家に貢献できる人材を育成します。また，生徒に「命を守る」ための防災・減災についての学びと積極的な発信の機会を提供し，校内外の活動を通じて地域へ貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

本校は教育目標として以下を掲げ，将来の社会の建設者としてふさわしい人間性の育成を目指しています。

○「知性の伸長（さとく）」
　自己のもつ可能性を見いだしてその伸長と実現を図るとともに，真・善・美を追求し，常に広く調和のとれた教養を身に付けるよう努める。

○「人格の尊重（ゆたかに）」
　正しく自己を愛し，他をも愛する豊かな愛情を育て，社会に奉仕する精神を養い，互いに信頼しあえる誠実な人となるよう努める。

○「心身の健康（たくましく）」
　清潔で健康な生活を送ることを心がけるとともに進んで心身を鍛え，明るく清くどんな困難にあってもくじけない強固な意志力と強靭な体力を身に付けるよう努める。

この教育目標を踏まえ，身に付けてほしい資質・能力として以下の７項目を重点として掲げています。

①問題発見・解決能力　②聞く力・発表する力　③知識・技能の習得
④礼節と人間力　⑤キャリア発達　⑥防災・減災の担い手　⑦積極性

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎学力を養成するとともに，本校独自の学校設定教科・科目により防災・減災についての学びを深めます。

○教科・科目で学んだことを応用し，防災・減災を主なテーマとした課題の発見と解決について，探究的・協働的に学び，科学的リテラシーを育成します。

○国内外の高校や地域との交流を通して，研究成果の発表や防災・減災についての発信を行い，表現力やコミュニケーション力を磨きます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○挨拶や言葉遣い，身だしなみなどの基本的な生活習慣が身に付いている生徒

○中学校での学習への取り組みが良好で，その成果が優秀である生徒

○自己の進路実現のために学習に真剣に取り組み，継続的に努力できる生徒

○部活動や特別活動，生徒会活動等でリーダーシップを発揮し，積極的に活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県多賀城高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	災害科学科

共通選抜

募集人数	144 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	96 人（募集定員の　40　％　）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　695　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する９６人の１５０％の範囲に含まれる者（１４４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525　点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県多賀城高等学校［全日制課程（災害科学科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県多賀城高等学校は，「さとく，ゆたかに，たくましく」を教育目標とし，21世紀を担う人材の育成という観点に立って，高い知性，豊かな情操，すぐれた徳性，強い意志と強健な身体をもち，広い視野をもって社会，国家に貢献できる人材を育成します。また，生徒に「命を守る」ための防災・減災についての学びと積極的な発信の機会を提供し，校内外の活動を通じて地域へ貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

1　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

本校は教育目標として以下を掲げ，将来の社会の建設者としてふさわしい人間性の育成を目指しています。

○「知性の伸長（さとく）」
　自己のもつ可能性を見いだしてその伸長と実現を図るとともに，真・善・美を追求し，常に広く調和のとれた教養を身に付けるよう努める。

○「人格の尊重（ゆたかに）」
　正しく自己を愛し，他をも愛する豊かな愛情を育て，社会に奉仕する精神を養い，互いに信頼しあえる誠実な人となるよう努める。

○「心身の健康（たくましく）」
　清潔で健康な生活を送ることを心がけるとともに進んで心身を鍛え，明るく清くどんな困難にあってもくじけない強固な意志力と強靭な体力を身に付けるよう努める。

この教育目標を踏まえ，身に付けてほしい資質・能力として以下の７項目を重点として掲げています。

①問題発見・解決能力　②聞く力・発表する力　③知識・技能の習得
④礼節と人間力　⑤キャリア発達　⑥防災・減災の担い手　⑦積極性

2　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎学力を養うとともに，本校独自の学校設定教科・科目により，科学的な視点から自然災害や自然環境及び防災・減災，災害に強い社会づくり（持続可能な社会づくり）についての学びを深めます。

○教科・科目で学んだことを応用し，防災・減災を主なテーマとした課題の発見と解決について，探究的・協働的に学び，科学的リテラシーを育成します。

○国内外の高校や地域との交流を通して，研究成果の発表や防災・減災に関する発信を行い，表現力やコミュニケーション力を磨きます。

3　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○挨拶や言葉遣い，身だしなみなどの基本的な生活習慣が身に付いている生徒

○中学校での学習への取り組みが良好かつ成果が優秀であり，特に数学・理科の成績に秀でている生徒

○本学科への志望動機が明確であり，入学後も上級学校への進学を視野に入れつつ，継続的に努力できる生徒

○部活動や特別活動等でリーダーシップを発揮するとともに，互いの立場を考え，他者とのコミュニケーションを取ることができる生徒

学校名	宮城県多賀城高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	災害科学科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％ ）
学力検査：調査書	6 ： 4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％ ）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　600 点
- 国語、社会、英語　：　得点を１．０倍にする
- 数学、理科　：　得点を１．５倍にする

合計　795 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１５０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県松島高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県松島高等学校は，「自律，友愛，創造」を校訓とし，人間的な成長と品格の涵養に努めるとともに，地域や大学等と連携した主体的な学習活動により，社会に有為な人材を育成します。また，家庭との連携を大切にし，学習，進路活動，学校生活に手厚い支援や指導を行うほか，教育課程内外での活動を通じて地域との繋がりを大切にする学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○　自他を敬愛し，高めあう共感力を育成します。
○　豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力を育成します。
○　高い見識と品性を併せ持った人間力を育成します。
○　郷土を愛し，地域社会に貢献する精神を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○　多様な進路（進学及び就職）に対応した教育課程を編成しています。入学後，生徒一人一人が自分の未来に向かって新たに挑戦できます。
→２年時に興味・関心や進路希望に応じて理系，文系の２類型から選択します。
→３年時に理系大学・看護・文系大学への進学，就職等，進路希望に対応するための多様な選択科目を設定しています。
○　本校でしか学べない科目（学校設定科目）で，２年文系に「世界遺産」，３年の「Advanced English」があります。
○　数学・英語では基礎学力を高めるために習熟度別学習を導入するなど，少人数による授業を行っています。
○　地域や社会とともに歩みながら自己の在り方，生き方について考え，成長することを目的に３年間通した系統的なプログラムと本校独自の課題研究型体験学習で，生徒の進路実現を支えています。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○　将来について目的意識をもち，学習や部活動・学校行事等に積極的に参加する意欲，能力，適性を有する生徒
○　基本的な生活習慣が身に付いており，日々の授業を大事にし，ルールを守り，充実した学校生活を送る意思がある生徒
○　上級学校へ進学を希望し，進路実現に向かって継続的に努力し，進路活動に積極的に取り組む意欲のある生徒
○　部活動や校外でのスポーツ活動で優れた能力を有し，顕著な実績をあげている活動を入学後も本校の部活動に３年間所属し，継続して活動する意欲のある生徒
○　部活動や特別活動等でリーダーシップを発揮し，積極的に活動できる意欲のある生徒

学校名	宮城県松島高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	観光科

共通選抜

募集人数	56 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　30　％　）

配点

1　調査書　97.5 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を０．５倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

3　面接　100 点

合計　447.5 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の１５０％の範囲に含まれる者（３６人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの

面接（※２日目に実施）

1　形態：集団面接
2　時間：２５分程度
3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校時代の活動状況
(3) 高校での部活動希望　(4) 将来の進路希望
(5) 自分の性格・長所等　(6) 面接態度
4　観点：(1) 目的意識・表現力　６０点　(2) 意欲・態度等　４０点

社会人特別選抜

無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　135 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：第一次募集と同じ
4　観点：第一次募集と同じ

合計　535 点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県松島高等学校［全日制課程（観光科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県松島高等学校は，「自律，友愛，創造」を校訓とし，人間的な成長と品格の涵養に努めるとともに，地域や大学等と連携した主体的な学習活動により，社会に有為な人材を育成します。また，家庭との連携を大切にし，学習，進路活動，学校生活に手厚い支援や指導を行うほか，教育課程内外での活動を通じて地域との繋がりを大切にする学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○　自他を敬愛し，高めあう共感力を育成します。
○　豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力を育成します。
○　高い見識と品性を併せ持った人間力を育成します。
○　郷土を愛し，地域社会に貢献する精神を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○　多様な進路（進学及び就職）に対応した教育課程を編成しています。入学後，生徒一人一人が自分の未来に向かって新たに挑戦できます。
○　本校でしか学べない科目（学校設定科目）で，１年時に「観光基礎」「地元学」，２年時に「Dream Skyward」「旅行業務」「観光地理」，３年時に「Global Good」「観光実践」があります。
○　職業教育の一環として，「ビジネス基礎」「観光ビジネス」「情報処理」「ソフトウェア活用」を行っています。
○　日本三景「松島」をはじめ県内の観光資源を学習素材として，１年時では「地域理解」，２年時では「地域に貢献」，３年時では「地域と共創」と段階的な目標をたて，社会で即戦力として活躍し，地域に貢献できる人材の育成（ふるさと宮城の再生・発展を支える人材の育成）を目指しています。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○　将来について目的意識をもち，学習や部活動・学校行事等に積極的に参加する意欲，能力，適性を有する生徒
○　基本的な生活習慣が身に付いており，日々の授業を大事にし，ルールを守り，充実した学校生活を送る意思のある生徒
○　観光・サービスに強い関心を抱き，将来，地域社会の担い手として貢献する意思のある生徒
○　部活動や郊外でのスポーツ活動で優れた能力を有し，顕著な実績をあげている活動を入学後も本校の部活動に３年間所属し，継続して活動する意欲のある生徒
○　部活動や特別活動等でリーダーシップを発揮し，積極的に活動できる意欲のある生徒

学校名	宮城県松島高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	観光科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科

共通選抜

募集人数	56 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　97.5 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を０．５倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする 2　学力検査　250 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする 3　面接　100 点	合計 447.5　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の１５０％の範囲に含まれる者（３６人）を対象として行う。 ・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：集団面接 2　時間：２５分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校時代の活動状況 (3) 高校での部活動希望　(4) 将来の進路希望 (5) 自分の性格・長所等　(6) 面接態度 4　観点：(1) 目的意識・表現力　６０点　(2) 意欲・態度等　４０点

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　135 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　100 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 535　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県利府高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県利府高等学校は，「心身の健康，徳性の涵養，知性の啓発」を校訓とし，生徒の無限の可能性を引き出し，社会に貢献できる人材を育成します。また，地元である利府町の「町はひとつの学校」の理念の下に，本校と利府支援学校や町内小・中学校，幼稚園，保育所と連携しながら様々な活動に取り組むことで，地域との繋がりや絆を大切にする学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○一人一人が文武両道を実践し，心身を鍛え，主体的に取り組む姿勢をもった生徒を育成します。

○自ら課題を見直し，解決する意欲をもって新たに挑む生徒を育成します。

○将来，地域や社会に働きかける力をもった人間を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○多様な進路に対応できる教科・科目を必履修科目及び選択科目として設定します。

○各教科・科目等において，基礎・基本を徹底するとともに体験的な活動を重視します。

○国語，数学，英語では少人数授業や習熟度別授業を実施します。

○心身を錬える「部活動」を通して，人間力を育成します。

○利府高生に必要な９つの力（Ｒｅ９ｅｓｔ　りくえすと）を育成します。

※Ｒｅ９ｅｓｔ：①傾聴力　②分析力・課題解決力　③思考力　④創造力
⑤判断力　⑥表現力　⑦自己管理力　⑧行動力　⑨協働力

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

部活動が非常に盛んである本校では，文武両道の理念の下，入学後も学習や部活動に積極的に取り組むことができる，次のいずれかに当てはまる生徒を求めます。

○学習成績が優秀であり，学業と部活動の両立を目指す生徒

○部活動または，文化活動，スポーツ活動等において，優れた資質を有する生徒や顕著な実績をもつ生徒

○地域社会との連携に根ざした学習活動や探究活動に意欲的に取り組む生徒

学校名	宮城県利府高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	200人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	スポーツ科学科

共通選抜

募集人数	140 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	６　：　４

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	60 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 695　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する６０人の１５０％の範囲に含まれる者（９０人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	※スポーツ科学科を第２志望とする受験生はスポーツ科学科の実技のとおり実施する。

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 495　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県利府高等学校［全日制課程（スポーツ科学科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県利府高等学校は，「心身の健康，徳性の涵養，知性の啓発」を校訓とし，生徒の無限の可能性を引き出し，社会に貢献できる人材を育成します。また，地元である利府町の「町はひとつの学校」の理念の下に，本校と利府支援学校や町内小・中学校，幼稚園，保育所と連携しながら様々な活動に取り組むことで，地域との繋がりや絆を大切にする学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○一人一人が文武両道を実践し，心身を鍛え，主体的に取り組む姿勢をもった生徒を育成します。
○自ら課題を見直し，解決する意欲をもって新たに挑む生徒を育成します。
○将来，地域や社会に働きかける力をもった人間を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○多様な進路に対応できる教科・科目を必履修科目及び選択科目として設定します。
○各教科・科目等において，基礎・基本を徹底するとともに体験的な活動を重視します。
○国語，数学，英語では少人数授業や習熟度別授業を実施します。
○心身を錬える「部活動」を通して，人間力を育成します。
○利府高生に必要な９つの力（Ｒｅ９ｅｓｔ　りくえすと）を育成します。
※Ｒｅ９ｅｓｔ：①傾聴力　②分析力・課題解決力　③思考力　④創造力
⑤判断力　⑥表現力　⑦自己管理力　⑧行動力　⑨協働力
○スポーツを科学的に分析するための科目「スポーツ科学」や「専攻実技」を学校設定科目として開設します。
○スポーツ交流や部活動クリニックによる小中学校との交流をとおして，地域との交流を図ります。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

体育・スポーツの分野に強い関心があり，入学後は学習に励みながら，運動部の中核として３年間同一の運動部で積極的に活動することができる，次のいずれかに当てはまる生徒を求めます。
○本校の校風を理解し，意欲的に学校生活を送る生徒
○体育・スポーツの分野における科学的な理解に関心があり，その分野への進学や就職等，将来について明確な目標をもつ生徒
○運動部活動やスポーツ活動について，優れた資質を有する生徒や顕著な実績をもつ生徒
○基礎学力が身についており，部活動と学業の両立を目指す生徒
○地域社会との連携に根ざした学習活動や探究活動に意欲的に取り組む生徒

学校名	宮城県利府高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	スポーツ科学科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科

共通選抜

募集人数	8 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査：調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	72 人（募集定員の　90　％ ）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 保健体育　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

3　実技　250 点

合計　725 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び実技の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する７２人の１５０％の範囲に含まれる者（１０８人）を対象として行う。
・学力検査点、調査書点及び実技の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	実技 ※２日目に実施	1　形態：体育実技 2　時間：９０分程度 3　内容：専門的技能検査 4　観点：技能・体力、関心・意欲・態度を総合的に評価する

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　実技　250 点
- 1　形態：体育実技
- 2　時間：６０分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　745 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県黒川高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県黒川高等学校は，「公正，友愛，開拓」を校訓とし，勤労を重んじる自主的な実践力と誠実に責任を果たす態度を養い，健康で健全な判断力と社会性を兼ね備えた情緒豊かな人材を育成します。また，教育課程内外の活動を通じて地域社会と連携し，卒業後も地域で活躍できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○基礎的な学力の確実な定着と豊かな表現力の育成を図ります。
○自ら学び考え続ける力と発信力の育成を図ります。
○社会の進展に柔軟に対応できる創造力あふれる人間を育成します。
○進路に応じた発展的な学習に力を入れ，受験と進学後の学習に対応できる応用力を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎・基本の定着を図り，学力の向上を図ります。
○幅広い知識・技能や判断力を身につけることを目指します。
○総合的な探究の時間を中心に，自ら主体的に探究する態度を養います。
○互いの考えを共有し，全体で発表する機会を設けるなど発信力の育成を図ります。
○進学や就職など多様な進路に合わせた選択科目を設定し，個に適した学びを実現します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○幅広い知識・技能や判断力を身につけるために，主体的に取り組み努力する生徒
○学習に意欲的に取り組み努力する生徒
○基本的な生活習慣が身についており，情緒豊かな人間性を磨くために努力できる生徒
○自らの責任を果たすとともに，互いの立場を考え，コミュニケーションをとることができる生徒
○生徒会活動や部活動，学校行事に熱心に取り組むことができる生徒
○部活動，特別活動，校外活動，ボランティア活動で優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県黒川高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電子工学科、環境技術科

共通選抜

募集人数	56 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　270 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　375 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．７５倍にする	合計 645　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の１５０％の範囲に含まれる者（３６人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　50 点 1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路志望　(4)その他 4　観点：(1)態度　２０点　(2)表現力等　３０点	合計 545　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県黒川高等学校［全日制課程（機械科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県黒川高等学校は，「公正，友愛，開拓」を校訓とし，勤労を重んじる自主的な実践力と誠実に責任を果たす態度を養い，健康で健全な判断力と社会性を兼ね備えた情緒豊かな人材を育成します。また，教育課程内外の活動を通じて地域社会と連携し，卒業後も地域で活躍できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○機械に関する基本的な知識や技術を習得させ，高度に情報化された機械技術やものづくり技能についても体得させます。
○社会の進展や技術革新に柔軟に対応できる技術者を育成します。
○自ら学び考え続ける力と発信力の育成を図ります。
○基礎的な学力の確実な定着を図ります。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○専門教科の学習を重視し，様々な専門科目を設定して，専門教科の知識・技能・技術力を養います。
○普通教科では基礎力の定着を図ります。
○課題研究や実習を中心に，自ら主体的に探究する態度を養います。
○互いの考えを共有し，全体で発表する機会を設けるなど発信力の育成を図ります。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○機械系の分野に興味関心を持ち，専門知識や技術・技能を習得し，専門分野への就職や進学を目指す生徒
○学習に意欲的に取り組み努力する生徒
○基本的な生活習慣が身についており，情緒豊かな人間性を磨くために努力できる生徒
○自らの責任を果たすとともに，互いの立場を考え，コミュニケーションをとることができる生徒
○生徒会活動や部活動，学校行事に熱心に取り組むことができる生徒
○部活動，特別活動，校外活動，ボランティア活動で優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県黒川高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	機械科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科、電子工学科、環境技術科

共通選抜

募集人数	28 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	12 人（募集定員の　30　％　）

配点

1　調査書　243.75 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．２５倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．５倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

合計　493.75 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２人の１５０％の範囲に含まれる者（１８人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　50 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１５分程度
- 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)将来の進路志望　(4)その他
- 4　観点：(1)態度　２０点　(2)表現力等　３０点

合計　545 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県黒川高等学校［全日制課程（電子工学科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県黒川高等学校は，「公正，友愛，開拓」を校訓とし，勤労を重んじる自主的な実践力と誠実に責任を果たす態度を養い，健康で健全な判断力と社会性を兼ね備えた情緒豊かな人材を育成します。また，教育課程内外の活動を通じて地域社会と連携し，卒業後も地域で活躍できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○電子・電気・情報・制御に関連する業務に従事するため，必要となる基本的な技術や技能を習得させます。
○社会の進展や技術革新に柔軟に対応できる技術者を育成します。
○自ら学び考え続ける力と発信力の育成を図ります。
○基礎的な学力の確実な定着を図ります。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○専門教科の学習を重視し，様々な専門科目を設定して，専門教科の知識・技能・技術力を養います。
○普通教科では基礎力の定着を図ります。
○課題研究や実習を中心に，自ら主体的に探究する態度を養います。
○互いの考えを共有し，全体で発表する機会を設けるなど発信力の育成を図ります。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○電子・電気・情報系の分野に興味関心を持ち，専門知識や技術・技能を習得し，専門分野への就職や進学を目指す生徒
○学習に意欲的に取り組み努力する生徒
○基本的な生活習慣が身についており，情緒豊かな人間性を磨くために努力できる生徒
○自らの責任を果たすとともに，互いの立場を考え，コミュニケーションをとることができる生徒
○生徒会活動や部活動，学校行事に熱心に取り組むことができる生徒
○部活動，特別活動，校外活動，ボランティア活動で優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県黒川高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	電子工学科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科、機械科、環境技術科

共通選抜

募集人数	28 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	12 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　243.75 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．２５倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．５倍にする 2　学力検査　250 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする	合計 493.75 点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２人の１５０％の範囲に含まれる者（１８人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　50 点 1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路志望　(4)その他 4　観点：(1)態度　２０点　(2)表現力等　３０点	合計 545 点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県黒川高等学校［全日制課程（環境技術科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県黒川高等学校は，「公正，友愛，開拓」を校訓とし，勤労を重んじる自主的な実践力と誠実に責任を果たす態度を養い，健康で健全な判断力と社会性を兼ね備えた情緒豊かな人材を育成します。また，教育課程内外の活動を通じて地域社会と連携し，卒業後も地域で活躍できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○土木・環境に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，建設関連業務に従事する技術者として必要な能力と態度を育てます。
○環境問題を考慮して社会の進展に対応できる技術者（グリーンエンジニア）を育成します。
○自ら学び考え続ける力と発信力の育成を図ります。
○基礎的な学力の確実な定着を図ります。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○専門教科の学習を重視し，様々な専門科目を設定して，専門教科の知識・技能・技術力を養います。
○普通教科では基礎力の定着を図ります。
○課題研究や実習を中心に，自ら主体的に探究する態度を養います。
○互いの考えを共有し，全体で発表する機会を設けるなど発信力の育成を図ります。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○建設系の土木分野と，環境の分野に興味関心を持ち，専門知識や技術・技能を習得し，専門分野への就職や進学を目指す生徒
○学習に意欲的に取り組み努力する生徒
○基本的な生活習慣が身についており，情緒豊かな人間性を磨くために努力できる生徒
○自らの責任を果たすとともに，互いの立場を考え，コミュニケーションをとることができる生徒
○生徒会活動や部活動，学校行事に熱心に取り組むことができる生徒
○部活動，特別活動，校外活動，ボランティア活動で優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県黒川高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	環境技術科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	普通科、機械科、電子工学科

共通選抜

募集人数	28 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	12 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　243.75 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．２５倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．５倍にする 2　学力検査　250 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする	合計 493.75 点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１２人の１５０％の範囲に含まれる者（１８人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　50 点 1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路志望　(4)その他 4　観点：(1)態度　２０点　(2)表現力等　３０点	合計 545 点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県富谷高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県富谷高等学校は，「進取，明知，自律，協同」を校訓とし，上級学校や社会に通用する学習習慣と基礎学力の育成，主体的判断に基づく創造的諸活動，探究的活動を推進し，地域と世界をつなぎ広く社会の発展と文化の創造に貢献する個性豊かな個人の成長を支援します。またユネスコスクールとして，ＥＳＤ（持続可能な発展のための教育），及びSDGｓ（持続可能な開発目標）に基づいて地域社会の課題の発見と解決に寄与し，発展に貢献することのできる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

〈 知性の錬磨 〉　自ら学ぶ意欲と態度を育み，高い学識と豊かな教養を身に付けて，国際的な視野に立ち高度情報化社会に適切に対応する人材を育成します。
→知識・技能とその活用能力，課題に集中して取り組む力

〈 情操の陶冶 〉　相互に信頼し敬愛する精神を養い，自分を律する心を培って真理と正義を愛する心身ともに健全な人材を育成します。
→聞く力，対話する力，基本的な礼節

〈 個性の尊重 〉　一人ひとりの能力・適性に応じた教育を行い，個性を生かし想像力を伸ばして，自らすすんで事に処する気力あふれる人材を育成します。
→積極的・主体的な行動力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○学ぶ意欲の育成に努め，希望する進路を達成するのに必要な学習力と学力を養成します。
→各教科・科目において，主体的・自立的な学習態度を身に付けるとともに，基礎的・基本的な知識・教養を確実に育成し，将来に活かせる力を育てます。

○地球規模の課題について生徒自らがすすんで研究し，自分のこととして捉え，持続可能な社会の創り手となる自覚と態度を育成します。
→ＳＤＧｓ・大学訪問・模擬授業・課題研究などの体験や交流の機会を与え，多様な人々との関わりから様々な価値観を共有し，自らの課題を見つけ，主体的に解決していく態度を養います。

○生徒の将来を見通した長期的視点に立って「自律的に生きる力」を育成します。
→ＬＨＲや特別活動などを通じ社会に貢献する態度を身に付けます。また生徒会，部活動の一員として，各種活動に積極的に参加し，集団生活の中で役割を果たすことで，知育・徳育・体育のバランスのとれた「生きる力」を育成します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校で学ぼうとする理由が明確で，学校生活に意欲的に臨む生徒
○基本的な生活習慣が身に付いており，他者と協働的に活動することができる生徒
○向上心をもって勉学に励み，進路実現に向かって継続的に努力できる生徒
○さまざまな物事への知的好奇心に満ち，自らすすんで学ぼうとする意欲をもつ生徒
○ボランティア活動や地域交流に関心をもち，地域社会に貢献する意欲をもつ生徒
○部活動や校内・校外の活動等において優れた能力を発揮し，顕著な実績をあげ，本校入学後も継続して活動する意欲をもつ生徒

学校名	宮城県富谷高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	216 人（募集定員の　90　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　10　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　250 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする	合計 445　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の２００％の範囲に含まれる者（４８人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、求める総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県古川高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県古川高等学校は，「質実剛健，学問尊重，自主自律」を校訓とし，地域が抱える諸課題を学ぶことを通して地域を支える人材を育成します。生徒の志を醸成し，高い志を持ち実現に向けて努力する生徒を支え，社会の発展に貢献する人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○郷土と学問を愛し，他者と協力し，課題解決のために努力を惜しまない社会のリーダーとなる人材を育成します。

○目標実現のために自己研鑽・自己鍛錬を惜しまない質実剛健な生徒を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○総合的な探究の時間では地域社会に関する対話的で深い学びをとおして，郷土と学問を愛する心を育成します。

○進路目標に沿った最適な選択科目を設定すると共に，諦めさせない指導を通して人間的な成長を促します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○知的好奇心に富み，他者を尊重しながら，様々な活動に主体的に取り組む生徒を求めます。

学校名	宮城県古川高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	192 人（募集定員の　80　％　）
学力検査：調査書	7　：　3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	48 人（募集定員の　20　％　）

配点

1　調査書　135 点
- 国語、数学、英語、社会、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　800 点
- 国語、数学、英語　：　得点を２．０倍にする
- 社会、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　935　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４８人の１３０％の範囲に含まれる者（６２人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜

	選抜方法	

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525　点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県古川黎明高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県古川黎明高等学校は，「尚志，至誠，精励」を校訓とし，確かな知性，旺盛な自立心，広い共生の心をもって自己の使命を見出し，国際社会に貢献する人材を育成します。また，地域との連携を深め，地域から信頼され支持される開かれた学校づくりを推進するとともに，持てる力を積極的に外部に発信，還元するなど，地域に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

〇学んだことをもとに，進んで課題を見つけ，解決していくために必要な創造力と探究力を育成します。

〇自己を確立し，未来に立ち向かっていくために必要な自主・自立の精神を育成します。

〇地球に生きる一員として，互いを理解し共に生きようとする心を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

〇１年次は共通履修科目の学習をとおして，どのような進路希望にも対応しうる基礎力を養成します。

〇２年次からは文系・理系に分かれてより専門的・実践的な力を身に付ける学習を展開できるよう，多様な選択科目を設定します。

〇探究活動の一連の流れを学ぶ授業をとおして，課題設定・解決等の手法を身に付けさせ，各教科の学習内容を教科等横断的に関連付けながら理解を深められるような授業展開を目指します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

〇将来，社会に貢献するという明確な意志をもち，進路を見据えて学習に取り組む生徒

〇学習，部活動，生徒会活動等において，目標に向かって努力を惜しまない生徒

〇学校生活を豊かなものにするために仲間とともに協力し合う生徒

〇互いの立場を理解して，認め合い，共に生きようとする意欲のある生徒

学校名	宮城県古川黎明高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	108 人（募集定員の　80　％）
学力検査：調査書	6 ： 4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	27 人（募集定員の　20　％）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 890　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２７人の１５０％の範囲に含まれる者（４０人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

※募集定員には、併設型中学校（古川黎明中学校）からの入学予定者105人を含む。

宮城県岩出山高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県岩出山高等学校は，「志（自ら努力する姿勢が自信を生み出すこと）」，「和（思いやりの気持ちをもつこと）」，「道（人としてあるべき道を自分らしく歩くこと）」を校訓とし，それを体現する人材を育成します。また，「地域に学び，地域に育ち，地域を担う」を合言葉に，地域協働の学習活動を推進し，社会で幅広く活躍できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○創造力に富み，情操豊かにして道義感の強い人間を育成します。
○自主的・積極的な精神の涵養と，健康で明るい人格を育成します。
○広く社会の発展に貢献できる人材を育成します。

＜道徳的判断力＞道徳的かつ自律的に，善悪や行動の判断をする力
＜能動的行動力＞自己実現に向けて，目標を見据え，積極的に行動する力
＜勤労・奉仕の精神＞他者の尊さや社会の意義を理解し，貢献しようとする心

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎基本の確実な定着を図り，社会で生きる学力を養います。
→少人数学習や習熟度別学習で，個に適した学びを実現します。また，自己表現や集団での学び合いを重視した生徒主役型の授業を行います。
○多様な進路選択に対応できる学びを実現します。
→進学理系・進学文系・教養系の３系列から選択できる教育課程を編成するとともに，生徒の進路希望を実現するため多様な選択科目を設定します。
○地域を支える人材の育成を目指し，地域と協働した学びを進めます。
→地域のニーズを踏まえながら，地域資源を生かした体験的な学びや，地域の諸課題や改善策についての探究的な学びを推進します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○目的意識をもって学校生活を送り，授業・部活動・行事等に主体的に取り組む，次の１～４の全てに当てはまる生徒
１　本校を志望する意志が強く，入学後も進路実現に向けて努力する生徒
２　日々の授業を大切にし，積極的に学習に取り組む生徒
３　基本的生活習慣が身に付いており，集団の和を大切に学校生活を送る生徒
４　本校入学後も部活動，生徒会，ボランティア活動などの文化的・体育的活動に主体的に取り組む生徒

学校名	宮城県岩出山高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	56 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	4　：　6

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は４：６とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　375 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．７５倍にする	合計 765　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の１２０％の範囲に含まれる者（２８人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜

無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　225 点 国語、数学、英語　：　各教科７５点満点 3　面接　50 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：中学校での活動状況等 4　観点：(1) 態度　１０点　(2) 表現力　４０点	合計 500　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県中新田高等学校［全日制課程（(仮称)未来創造科)］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

本校は「自主・誠実・協和」を校訓とし，キャリア教育をとおして生徒の地域への理解と関心を深め，地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指しています。また，教育課程内外の様々な場面で地域との関わりを設定し，積極的に参画することで，地域に貢献し信頼される学校として歩みます。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○「自主」：心身ともに健康を保持し，自ら学ぶ姿勢を持って目標に向かって努力を重ねる自己研鑽力を育成します。

○「誠実」：基礎的な学力やコミュニケーション能力を身に付け，仲間や労働を大切にし，真摯な態度で社会に貢献しようとする人間性を育みます。

○「協和」：地域や社会の変化に目を向け，その中で自らの役割を理解し，行動できる実践力を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○生徒が十二分に探究活動を深められるように学校設定科目を設け、論理的思考力と実践力を養います。

→探究活動で得た知識とスキルを進路活動に活かし、生徒の多様な進路希望の実現に向けた指導を行います。

○習熟度別の授業や選択科目を設定し，個々に適した学習を進めます。

→生徒の理解度の幅が大きい教科では習熟度別に授業を行うとともに，生徒の進路希望や学力の特性に応じた選択科目の設定を行います。

○地域と協働し，体験的・実践的な学びを進めます。

→地域の特徴や関わり方について学習を進めるとともに，地域の発展に向けた課題の調査や解決策の模索を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○学習意欲があり，明確な目的意識をもって本校に入学を望んでいる生徒

○基本的生活習慣が身に付いており，社会的なきまりを守り，他を思いやる心をもち，周囲と協働しながら課題解決に向けて努力する生徒

○中学校において，「学級活動」「生徒会活動」「学校行事」「部活動」のいずれかで積極的に活動した実績をもち，入学後も継続して活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県中新田高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	未来創造科　※予定	募集定員	120人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	72 人（募集定員の　60　％）
学力検査：調査書	6 ： 4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	48 人（募集定員の　40　％）

配点

1　調査書　390 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする

音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４８人の１２０％の範囲に含まれる者（５７人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点

国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする

社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点

国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　75 点

1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：アドミッション・ポリシーについて
4　観点：(1) 関心・意欲　３５点　(2) 表現力　２０点
　　(3) 判断力　２０点

合計　600 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県加美農業高等学校［全日制課程（農業科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県加美農業高等学校は，「耕心」を校訓とし，資源の維持持続に向けたグローバルな視点での学びや，現場実習による地元密着型の課題研究の実践を行うとともに，先進農業技術を利用した地域課題解消に向けた研究等の農業経営者育成教育を通して自立した有為な人材を育成します。また，地域との協働による交流活動により，伝統と未来を広い視野で見据えて，地域に根ざし地域を支えていくことができる「農尊人」を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

（１）農業の知識・技術を身につけ，農業および農業関連に従事する技術者の育成。
（２）地域と協働し地域の農業と環境を守り，創造する力を身につけた技術者の育成。
（３）持続可能な循環型農業を推進する知識や技能の育成。
（４）地域や社会の課題を自分のこととしてとらえ，積極的に貢献しようとする社会性の育成。
（５）色麻・加美・大崎地区の多様な人々と協働し，新たな価値の創造に向かう姿勢の育成。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

（１）地域事業等や先進技術を取り入れた事業等との連携による知識と技術の習得。
（２）地域産業を支える農業従事者育成のための授業の実践。
（３）「大崎耕土」を題材とした学びによる農業の魅力発見や SDGs に積極的に関わり，関係機関と連携した活動の実践。
（４）「課題研究」，「総合実習」の実施により，地域に根ざした専門的な深い学びの実践。
（５）学級活動，生徒会活動，学校行事，農業クラブ・家庭クラブ活動等を通して，自主的・自律的な態度と社会性を養う教育の実践。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

（１）動植物の飼育・栽培，農業経営などに強い興味・関心がある生徒。
（２）安全・安心の農業生産に関心があり，体験学習に意欲的な生徒。
（３）将来の農業の担い手または農業による地域への貢献を目指す生徒。
（４）実技，実験，実習などの学習に意欲的に取り組むことができる生徒。
（５）学級活動，生徒会活動，学校行事，部活動，農業クラブ・家庭クラブ活動等で主体的に活動できる生徒。

学校名	宮城県加美農業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	農業科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業機械科、生活技術科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする 3　面接　75 点	合計 770　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１２０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。 ・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 高校生活への抱負 (4) その他 4　観点：(1) 関心・意欲　２０点　(2) 態度　１５点　(3) 表現力　２０点 (4) 判断力　２０点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　75 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 600　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県加美農業高等学校［全日制課程（農業機械科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県加美農業高等学校は，「耕心」を校訓とし，資源の維持持続に向けたグローバルな視点での学びや，現場実習による地元密着型の課題研究の実践を行うとともに，先進農業技術を利用した地域課題解消に向けた研究等の農業経営者育成教育を通して自立した有為な人材を育成します。また，地域との協働による交流活動により，伝統と未来を広い視野で見据えて，地域に根ざし地域を支えていくことができる「農尊人」を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

（１）地域社会に貢献する実践的な技術者の育成。
（２）技術の進展に主体的に対応できる創造力の育成。
（３）持続可能な循環型農業を推進する知識や技能の育成。
（４）地域や社会の課題を自分のこととしてとらえ，積極的に貢献しようとする社会性の育成。
（５）色麻・加美・大崎地区の多様な人々と協働し，新たな価値の創造に向かう姿勢の育成。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

（１）地域産業と連携した最新技術の導入による知識と技能の習得。
（２）地域産業を支える技術者育成のための授業の実践。
（３）「大崎耕土」を題材とした学びによる農業の魅力発見や SDGs に積極的に関わり，関係機関と連携した活動の実践。
（４）「課題研究」，「総合実習」の実施により，地域に根ざした専門的な深い学びの実践。
（５）学級活動，生徒会活動，学校行事，農業クラブ・家庭クラブ活動等を通して，自主的・自律的な態度と社会性を養う教育の実践。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

（１）農業機械，自動車整備，機械工作などに強い興味・関心がある生徒。
（２）先進農業技術を利用した農業に関心があり，体験学習に意欲的な生徒。
（３）将来の農業の担い手または農業による地域への貢献を目指す生徒。
（４）実技，実験，実習などの学習に意欲的に取り組むことができる生徒。
（５）学級活動，生徒会活動，学校行事，部活動，農業クラブ・家庭クラブ活動等で主体的に活動できる生徒。

学校名	宮城県加美農業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	農業機械科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業科、生活技術科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする 3　面接　75 点	合計 770　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１２０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。 ・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 高校生活への抱負 (4) その他 4　観点：(1) 関心・意欲　２０点　(2) 態度　１５点　(3) 表現力　２０点 (4) 判断力　２０点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　75 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 600　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県加美農業高等学校［全日制課程（生活技術科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県加美農業高等学校は，「耕心」を校訓とし，資源の維持持続に向けたグローバルな視点での学びや，現場実習による地元密着型の課題研究の実践を行うとともに，先進農業技術を利用した地域課題解消に向けた研究等の農業経営者育成教育を通して自立した有為な人材を育成します。また，地域との協働による交流活動により，伝統と未来を広い視野で見据えて，地域に根ざし地域を支えていくことができる「農尊人」を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

1　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

（1）農業生産及び生産物の加工や福祉，家庭生活の改善に興味・関心を持ち実践する能力の育成。
（2）心豊かな家庭生活を実践し，地域で活躍できる能力・態度の育成。
（3）持続可能な循環型農業を推進する知識や技能の育成。
（4）地域や社会の課題を自分のこととしてとらえ，積極的に貢献しようとする社会性の育成。
（5）色麻・加美・大崎地区の多様な人々と協働し，新たな価値の創造に向かう姿勢の育成。

2　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

（1）農業生産および生産物の活用についての知識と技能の習得。
（2）衣食住，ヒューマンサービスなど生活産業のスペシャリスト育成のための授業の実践。
（3）「大崎耕土」を題材とした学びによる農業の魅力発見や SDGs に積極的に関わり，関係機関と連携した活動の実践。
（4）「課題研究」，「総合実習」の実施により，地域に根ざした専門的な深い学びの実践。
（5）学級活動，生徒会活動，学校行事，農業クラブ・家庭クラブ活動等を通して，自主的・自律的な態度と社会性を養う教育の実践。

3　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

（1）農業や食物，被服，保育などに強い興味・関心がある生徒。
（2）農業生産物の加工や福祉に関心があり，体験学習に意欲的な生徒。
（3）将来の農業の担い手または農業による地域への貢献を目指す生徒。
（4）実技，実験，実習などの学習に意欲的に取り組むことができる生徒。
（5）学級活動，生徒会活動，学校行事，部活動，農業クラブ・家庭クラブ活動等で主体的に活動できる生徒。

学校名	宮城県加美農業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	生活技術科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業科、農業機械科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする 3　面接　75 点	合計 770　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１２０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。 ・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 高校生活への抱負 (4) その他 4　観点：(1) 関心・意欲　２０点　(2) 態度　１５点　(3) 表現力　２０点 (4) 判断力　２０点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　75 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 600　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県古川工業高等学校［全日制課程（土木情報科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県古川工業高等学校全日制課程は，「友愛，誠実，勇気・健康」を校訓とし，各学科の専門的な学びを展開することで，自立した社会人になるための基本的な学力やコミュニケーション力を着実に身に付け，地域を理解し地域の発展のために貢献しようとする，地域愛に溢れた人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○自発的に学び，かつ考え，行動できる個性豊かな人間を育てます。
○協働精神を重んじ，平和的な社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てます。
○社会生活に必要な知識を身につけるとともに，工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し，工業技術の諸問題を主体的・合理的にかつ倫理観をもって判断できる思考態度を育てます。
○工業教育全般をとおして，環境問題や安全意識の高揚を図り，望ましい職業観や勤労観を育てます。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○共通教科では，基礎的・基本的知識を習得し，社会生活で生かすことのできる力を養います。
○土木情報科では，土木に関する基礎的・基本的知識と技術を習得するとともに，主体的・能動的な態度を養います。
○土木技術者として技術や倫理を学習するために，就業体験活動を実施し，技術者としてのコミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上を図ります。
○地域社会，自然に興味・関心を持ち，実社会や実生活における諸問題を探究し，その解決に向けて主体的・協働的に取り組み，よりよい社会を実現するための学習活動を行います。
○多岐にわたる生徒の進路希望を実現できるように多様な選択科目の設定を行い，個に応じた学びを実現します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校への志望動機が明確であり，誠実で意欲的な学校生活を送ることができる生徒
○基本的な生活習慣と規範意識が身についており，豊かな人間性と創造性を磨くことができる生徒
○常に自己研鑽に励み，将来への夢と高い志をもち，自己の進路実現に向けて継続的に努力する生徒
○土木に関する興味・関心が強く，専門的知識の習得や資格取得に積極的である生徒
○部活動，特別活動，校外活動において，優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	土木情報科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	建築科、電気電子科、機械科、化学技術科

共通選抜

募集人数	26 人（募集定員の　65　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	14 人（募集定員の　35　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１４人の２００％の範囲に含まれる者（２８人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県古川工業高等学校［全日制課程（建築科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県古川工業高等学校全日制課程は，「友愛，誠実，勇気・健康」を校訓とし，各学科の専門的な学びを展開することで，自立した社会人になるための基本的な学力やコミュニケーション力を着実に身に付け，地域を理解し地域の発展のために貢献しようとする，地域愛に溢れた人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○自発的に学び，かつ考え，行動できる個性豊かな人間を育てます。
○協働精神を重んじ，平和的な社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てます。
○社会生活に必要な知識を身につけるとともに，工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し，工業技術の諸問題を主体的・合理的にかつ倫理観をもって判断できる思考態度を育てます。
○工業教育全般をとおして，環境問題や安全意識の高揚を図り，望ましい職業観や勤労観を育てます。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○共通教科では，基礎的・基本的知識を習得し，社会生活で生かすことのできる力を養います。
○建築科では，建築に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，現代社会における建築の意義や役割を理解させるとともに地域や産業界との連携を図り，就業体験活動を通し職業観や倫理観を養い，建築と社会の発展を図る創造的な能力・実践的な態度を養います。
○地域社会，自然に興味・関心を持ち，実社会や実生活における諸問題を探究し，その解決に向けて主体的・協働的に取り組み，よりよい社会を実現するための学習活動を行います。
○多岐にわたる生徒の進路希望を実現できるように多様な選択科目の設定を行い，個に応じた学びを実現します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校への志望動機が明確であり，誠実で意欲的な学校生活を送ることができる生徒
○基本的な生活習慣と規範意識が身についており，豊かな人間性と創造性を磨くことができる生徒
○常に自己研鑽に励み，将来への夢と高い志をもち，自己の進路実現に向けて継続的に努力する生徒
○建築に関する興味・関心が強く，専門的知識の習得や資格取得に積極的である生徒
○部活動，特別活動，校外活動において，優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	建築科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	土木情報科、電気電子科、機械科、化学技術科

共通選抜

募集人数	26 人（募集定員の　65　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	14 人（募集定員の　35　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１４人の２００％の範囲に含まれる者（２８人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県古川工業高等学校［全日制課程（電気電子科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県古川工業高等学校全日制課程は，「友愛，誠実，勇気・健康」を校訓とし，各学科の専門的な学びを展開することで，自立した社会人になるための基本的な学力やコミュニケーション力を着実に身に付け，地域を理解し地域の発展のために貢献しようとする，地域愛に溢れた人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○自発的に学び，かつ考え，行動できる個性豊かな人間を育てます。
○協働精神を重んじ，平和的な社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てます。
○社会生活に必要な知識を身につけるとともに，工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し，工業技術の諸問題を主体的・合理的にかつ倫理観をもって判断できる思考態度を育てます。
○工業教育全般をとおして，環境問題や安全意識の高揚を図り，望ましい職業観や勤労観を育てます。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○共通教科では，基礎的・基本的知識を習得し，社会生活で生かすことのできる力を養います。
○電気電子科では，電気・電子・通信・情報に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，種々の資格取得を奨励し，技術革新や産業構造等の多様化に対応出来る能力を養い，産業界で幅広く活躍できる技術者を養います。
○地域社会，自然に興味・関心を持ち，実社会や実生活における諸問題を探究し，その解決に向けて主体的・協働的に取り組み，よりよい社会を実現するための学習活動を行います。
○多岐にわたる生徒の進路希望を実現できるように多様な選択科目の設定を行い，個に応じた学びを実現します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校への志望動機が明確であり，誠実で意欲的な学校生活を送ることができる生徒
○基本的な生活習慣と規範意識が身についており，豊かな人間性と創造性を磨くことができる生徒
○常に自己研鑽に励み，将来への夢と高い志をもち，自己の進路実現に向けて継続的に努力する生徒
○電気電子に関する興味・関心が強く，専門的知識の習得や資格取得に積極的である生徒
○部活動，特別活動，校外活動において，優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	電気電子科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	土木情報科、建築科、機械科、化学技術科

共通選抜

募集人数	26 人（募集定員の　65　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	14 人（募集定員の　35　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１４人の２００％の範囲に含まれる者（２８人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県古川工業高等学校［全日制課程（機械科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県古川工業高等学校全日制課程は，「友愛，誠実，勇気・健康」を校訓とし，各学科の専門的な学びを展開することで，自立した社会人になるための基本的な学力やコミュニケーション力を着実に身に付け，地域を理解し地域の発展のために貢献しようとする，地域愛に溢れた人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

1　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○自発的に学び，かつ考え，行動できる個性豊かな人間を育てます。
○協働精神を重んじ，平和的な社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てます。
○社会生活に必要な知識を身につけるとともに，工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し，工業技術の諸問題を主体的・合理的にかつ倫理観をもって判断できる思考態度を育てます。
○工業教育全般をとおして，環境問題や安全意識の高揚を図り，望ましい職業観や勤労観を育てます。

2　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○共通教科では，基礎的・基本的知識を習得し，社会生活で生かすことのできる力を養います。
○機械科では機械に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し，技術革新に対応できる柔軟な能力と実践的な態度を育み，機械工業およびこれに関連する諸分野の業務に従事できる幅広い機械技術者の育成に対応した学習を行います。
○就業体験活動や職業資格の取得などを通して，職業感や勤労観さらに倫理観を育てます。
○地域社会，自然に興味・関心を持ち，実社会や実生活における諸問題を探究し，その解決に向けて主体的・協働的に取り組み，よりよい社会を実現するための学習活動を行います。
○多岐にわたる生徒の進路希望を実現できるように多様な選択科目の設定を行い，個に応じた学びを実現します。

3　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校への志望動機が明確であり，誠実で意欲的な学校生活を送ることができる生徒
○基本的な生活習慣と規範意識が身についており，豊かな人間性と創造性を磨くことができる生徒
○常に自己研鑽に励み，将来への夢と高い志をもち，自己の進路実現に向けて継続的に努力する生徒
○機械に関する興味・関心が強く，専門的知識の習得や資格取得に積極的である生徒
○部活動，特別活動，校外活動において，優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	機械科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	土木情報科、建築科、電気電子科、化学技術科

共通選抜

募集人数	52 人（募集定員の　65　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	28 人（募集定員の　35　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２８人の２００％の範囲に含まれる者（５６人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県古川工業高等学校［全日制課程（化学技術科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県古川工業高等学校全日制課程は，「友愛，誠実，勇気・健康」を校訓とし，各学科の専門的な学びを展開することで，自立した社会人になるための基本的な学力やコミュニケーション力を着実に身に付け，地域を理解し地域の発展のために貢献しようとする，地域愛に溢れた人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○自発的に学び，かつ考え，行動できる個性豊かな人間を育てます。
○協働精神を重んじ，平和的な社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てます。
○社会生活に必要な知識を身につけるとともに，工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し，工業技術の諸問題を主体的・合理的にかつ倫理観をもって判断できる思考態度を育てます。
○工業教育全般をとおして，環境問題や安全意識の高揚を図り，望ましい職業観や勤労観を育てます。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○共通教科では，基礎的・基本的知識を習得し，社会生活で生かすことのできる力を養います。
○化学技術科では，化学工業およびこれに関する諸分野の基礎的・基本的な知識と技術を習得させるとともに，材料・バイオテクノロジー・情報技術等に関する知識と技術を積極的に取り入れ，最新の化学技術に幅広い視点で柔軟に対応できる能力と主体的・実践的態度を養います。
○地域社会，自然に興味・関心を持ち，実社会や実生活における諸問題を探究し，その解決に向けて主体的・協働的に取り組み，よりよい社会を実現するための学習活動を行います。
○多岐にわたる生徒の進路希望を実現できるように多様な選択科目の設定を行い，個に応じた学びを実現します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校への志望動機が明確であり，誠実で意欲的な学校生活を送ることができる生徒
○基本的な生活習慣と規範意識が身についており，豊かな人間性と創造性を磨くことができる生徒
○常に自己研鑽に励み，将来への夢と高い志をもち，自己の進路実現に向けて継続的に努力する生徒
○化学に関する興味・関心が強く，専門的知識の習得や資格取得に積極的である生徒
○部活動，特別活動，校外活動において，優れた能力や顕著な実績がある生徒

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	化学技術科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	土木情報科、建築科、電気電子科、機械科

共通選抜

募集人数	26 人（募集定員の　65　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	14 人（募集定員の　35　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１４人の２００％の範囲に含まれる者（２８人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県大崎創成高等学校［全日制課程（(仮称）アグリ・フード・ビジネス科)］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県大崎創成高等学校は、食をテーマとする専門教育や各教科間の連携・協働による、地域資源を利活用した地域ブランドの創出や魅力化などの特色ある取組をとおして、課題設定から解決まで主体的に取り組む力を身に付け、社会的・職業的自立に必要な能力を養うとともに、生徒の多様な個性の伸長を図り、地域の活性化に貢献する人材を育成します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○専門性を活かし、各分野でよりよい社会の創造に貢献する人材を育成します。
○多様性を受容し、様々な人と協働して新たな価値を創造する人材を育成します。
○自ら考え行動し、課題の解決に向けて意欲的に取り組む人材を育成します。
○地域との連携・協働をとおして郷土に対する誇りを持ち、地域の発展に貢献できる人材を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○個別最適な学びの推進
多様な生徒の進路実現に向けて、単位制による多彩な学校設定教科・科目により、少人数指導にも対応したカリキュラムを実践します。
○協働的な学びの推進
「農業」「家庭」「商業」の教科等横断的な学びや、地域との連携により、６次産業化による地域ブランドの創出に向けた学びの実現を図ります。
また、「高校生カフェ」の企画・運営により、コミュニケーション能力の育成を図るとともに、産学官連携をとおした探究学習を実践します。
○体験的な学びの推進
大崎地域をフィールドとして、世界農業遺産に関する学習や、学校間連携、世代間交流等により、生きた学びを実践します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○入学後の目標が明確であり、学校生活に意欲的に取り組む生徒
○専門的な知識や技術の習得に努めるなど、学習に意欲的に取り組む生徒
○地域や他者と協働して、地域社会の発展に貢献することへの意欲がある生徒
○高校生カフェ、ボランティア活動、探究活動に前向きに取り組む生徒

学校名	宮城県大崎創成高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	アグリ・フード・ビジネス科　※予定	募集定員	160人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	96 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	64 人（募集定員の　40　％　）	
配点	1　調査書　97.5 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を０．５倍にする。 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする。 2　学力検査　250 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする。 3　面接　200 点	合計 547.5　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する６４人の１５０％に含まれる者（９６人）を対象として行う。 ・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1)自分自身について　(2)志望動機　(3)高校での学習について (4)高校生カフェ等で取り組みたいこと　(5)将来の進路希望 4　観点：(1)表現力等　(2)態度

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　112.5 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を０．５倍にする。 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする。 2　学力検査　150 点 国語、数学、英語　：　各教科５０点満点 3　面接　150 点 1　形態：個人面接 2　時間：15分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 412.5　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県涌谷高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県涌谷高等学校は，「質実・勤敏，謙譲・優雅，自律・協同（自己実現のために自分には厳しく　社会貢献のために他人には優しく）」を校訓とし，３年間の教育を通して豊かな情操及び健やかな身体を備えた均衡のとれた人材を育成します。また，特別活動やボランティア活動等への積極的な参加を促し，自他の敬愛と協力及び公共の精神に基づき主体的に社会参加し，その発展に貢献できる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○課題の発見・課題の研究・課題の解決の過程を経て探究型キャリア教育を充実させ，自己の興味・関心を様々な視点から考え，自己を表現し，地域社会の課題やニーズを自ら発見して未来を切り開くことができる＜探究力＞を育成します。
○主体的・対話的で深い学びを重視した充実した授業をとおして積極的に社会に参画し，生涯にわたり主体的に学び続ける＜人間力＞を育成します。

＜探究力＞課題解決のために自ら考え，表現・実行し，その結果を振り返ってより良い方向に改善していく力
＜人間力＞他者との協働・調和をとおして自己を顧みることで，新たに得た見方・考え方を生かして学びを広げようとする力

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科と実技教科の両方を重視します。
→普通教科では実社会で通用する基礎的な学力を，実技教科では豊かな情操を養います。
○観点別学習を重視します。
→「知識・技能」偏重の教育からの転換を図り，「思考力・判断力・表現力」を大切にしつつ「主体的に学習に取り組む態度」を養います。
○習熟度別の授業や多様な選択科目を設定し，個々の生徒に適した学びを実現します。
→生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に習熟度別授業を実施するとともに，多岐にわたる生徒の進路実現のために多様な選択科目の設定を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○主体的に学習に取り組み，進路希望実現に向けて継続的に努力する生徒。
○生徒会活動等の特別活動において，リーダーシップを発揮して中心的な役割を果たし，入学後も意欲的に活動しようとする意思のある生徒。
○部活動において熱心に活動し，入学後も意欲的に活動しようとする意思のある生徒。
○ボランティア活動，ジュニアリーダー活動等，文化的・社会的活動に積極的に取り組み，入学後も意欲的に活動しようとする意思のある生徒。

学校名	宮城県涌谷高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	120人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	72 人（募集定員の　60　％）
学力検査：調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	48 人（募集定員の　40　％）	
配点	1　調査書　315 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 815　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４８人の１５０％の範囲に含まれる者（７２人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県小牛田農林高等学校［全日制課程（農業技術科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県小牛田農林高等学校は，「自律，進取，至誠」を校訓とし，系統的なキャリア教育の推進と個々の生徒に応じた支援の充実を通して，健全な社会の建設に創造的に貢献する人材を育成します。また，スポーツや文化活動，ボランティア活動等により，地域との交流を推進し，互いに顔の見える連携を深め，地域社会に信頼され，必要とされる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○栽培・飼育・農業土木に関する時代に即した知識と技術を習得させ，主体的な研究活動をとおして科学的思考力・表現力と課題解決力を養い，持続可能な農業の発展を図り，創造的で実践的な資質・能力を育成します。

〈農業科学コース〉農作物の栽培や家畜の飼育に関する知識や技術を習得し，職業人として必要な能力と態度を育成します。

〈農業土木コース〉土地改良，農地の保全，農村計画に関する知識や技術を習得し，農業土木に関わる業務に従事するために必要な能力と態度を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通科目と専門科目の双方をバランスよく学びます。

→普通科目では，基礎的学力を養い，専門科目ではそれぞれの分野に必要な能力や態度を育成します。

○少人数指導の授業を設定し，個々人のつまずきに対応した学びを実現します。

→理解度の差が大きい教科を中心に少人数指導を実施しています。

○本校の伝統をもとに，地域と連携しながらプロジェクト学習の充実を図ります。

→科学的思考力・表現力と課題解決力の向上に努めます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

〈農業科学コース〉

○将来農業に関する職業に就くことを希望し，就業に必要な基礎的学力とその実現に向けた計画を有する生徒

○基本的生活習慣が身に付いており，豊かな人間性を磨くために努力する生徒

○ボランティアや部活動等，校内外での活動で優れた能力を発揮し，入学後も継続して活動する意欲ある生徒

〈農業土木コース〉

○将来農業土木の分野に従事しようとする意欲と，ものづくりに対する興味・関心を持ち，その実現に必要な基礎的学力を有する生徒

○基本的生活習慣が身に付いており，豊かな人間性を磨くために努力する生徒

○部活動，校外での活動で優れた能力を発揮し，入学後も継続して活動する意欲ある生徒

学校名	宮城県小牛田農林高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	農業技術科（農業科学コース）	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業技術科（農業土木コース）、総合学科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１５０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　75 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１０分程度
- 3　内容：(1) 志望動機　(2) 高校生活への抱負　(3) その他
- 4　観点：(1) 態度　２０点　(2) 表現力等　５５点

合計　600 点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

学校名	宮城県小牛田農林高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	農業技術科（農業土木コース）	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業技術科（農業科学コース）、総合学科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１５０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　75 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１０分程度
- 3　内容：(1) 志望動機　(2) 高校生活への抱負　(3) その他
- 4　観点：(1) 態度　２０点　(2) 表現力等　５５点

合計　600 点

選抜方法

上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県小牛田農林高等学校［全日制課程（総合学科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県小牛田農林高等学校は，「自律，進取，至誠」を校訓とし，系統的なキャリア教育の推進と個々の生徒に応じた支援の充実を通して，健全な社会の建設に創造的に貢献する人材を育成します。また，スポーツや文化活動，ボランティア活動等により，地域との交流を推進し，互いに顔の見える連携を深め，地域社会に信頼され，必要とされる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○現代の世界や社会で起きている諸問題を的確に捉え，それらを解決するのに必要な知識・技能を身に付けさせます。

○実社会や実生活と自己の在り方・生き方との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができる力を育成します。

○互いの良さを認め合いながら新たな価値を創造し，より良い社会の担い手として必要な知識，技能及び態度を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○専門教科も含めた多様な選択科目を設定し，個々人に適する学びを実現します。

→個々の進路や興味・関心をもとに学習を進め，多様な個性・能力の伸長を図り，希望する進路の実現を目指します。

○各教科の学びを現代社会で起きている諸問題と結びつける等，主体的に課題を探り，その解決に進んで取り組む人材を育成します。

→SDGｓの視点から各教科の学びを現代の諸問題と結びつけ，世界的な広い視野から捉える力を養います。また，総合的な探究の時間等において，教科等横断的な学びを進め，問いを立て解決策を構想します。

○本校の伝統や地域資源を生かすことで，特色ある学びを進めます。

→創立 130 年を超える伝統と，学校周辺に広がる世界農業遺産等の豊かな地域資源を生かし，地域に根ざした体験的な学びを推進します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○基本的な生活習慣を身に付け，何事にも真剣に取り組み，日々の授業を大切にする生徒

○本校入学後も，自己の進路実現に向けて，諸活動に積極的に取り組む生徒

○部活動や特別活動等で優れた能力や顕著な実績を残し，入学後も継続して活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県小牛田農林高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	総合学科	募集定員	120人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業技術科（農業科学コース）、農業技術科（農業土木コース）

共通選抜

募集人数	84 人（募集定員の　70　％）
学力検査：調査書	６　：　４

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　30　％）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 890　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の１５０％の範囲に含まれる者（５４人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　75 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 高校生活への抱負　(3) その他 4　観点：(1) 態度　２０点　(2) 表現力等　５５点	合計 600　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県佐沼高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県佐沼高等学校全日制課程は，校訓を「至誠，献身・窮理・力行」（献身・窮理・力行の三徳を至誠をもって貫く），校是を「文武両道」とし，21世紀の国際社会を生き抜くことができる英知，健全な心身を持った徳性の高い人材を育成します。創立から百年以上の歴史ある学校として地域からの期待に応え，生徒には各教科の授業のほか，教科外活動にも主体的・積極的に取り組むよう指導・支援することで，進学から就職まで多岐にわたる一人一人の進路を実現できる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

本校の教育目標に掲げる人間像は，

〇豊かな人間性と高い志をもち，社会に貢献できる人間

〇知性を磨き，礼節をわきまえた品性の高い人間

〇真理を求め，正義を愛し，何事にも真摯に取り組む人間

であり，創立以来，人格の形成と学問の探究を校風とした伝統校であるという自負を持ち，文武両道の精神のもと，常により高い学力の獲得と，部活動等を通して豊かな人間性と創造性を備えた生徒の育成に努めてきました。今後も教育方針として，次のような生徒を育成します。

〇基本的な生活習慣を確立し，規律ある学校生活を送る生徒

〇文武両道を実践し，主体的に集団や社会に参画する生徒

〇授業を重視する学習を徹底し，自ら学び続ける生徒

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

〇主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図るため，研究授業，教科を超えた互見授業，ＩＣＴ機器活用，中高連携等を通してすべての教員の授業力向上を目指します。

〇各種調査や定期考査・外部模擬試験，授業評価・学校評価の結果に基づき，主体的に学ぶ意欲を高める指導を行い，学習習慣の形成と家庭学習時間の確保を図ります。

〇総合的な探究の時間等の探究学習を推進させるため，地域人材・地域資源をはじめ，国内外との連携を積極的に構築し，図書館やタブレット端末等の情報機器の活用・充実を図ります。

〇指導と評価の一体化に基づく学習評価を一層進めるため，授業時数の確保とともに，観点別学習状況の評価方法を研究・構築し，学習指導と学習評価の工夫改善に努めます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

〇自分の将来について明確な目標をもち，その実現に向けて学校生活に主体的に取り組むことができる生徒

〇学校の授業と教科以外の活動（例えば，生徒会活動，委員会活動，部活動，語学，資格，地域活動，ボランティア，研究，発表など）を両立させる意欲のある生徒

〇基本的な生活習慣が身に付いており，豊かな人間性を磨くために努力できる生徒

〇中学校における学習への取り組みが優れている生徒

学校名	宮城県佐沼高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	168 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	72 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　270 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 770　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する７２人の１２０％の範囲に含まれる者（８６人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　3段階評価（A～C） 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 将来の進路希望 (4) その他 4　観点：(1) 理解力　(2) 表現力等	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県登米高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県登米高等学校は，「誠実・勤勉・進取」を校訓とし，高い志と協働的な実践力を備え，将来にわたって地域を支え活躍する人材を育成します。また，教育課程内外の活動を通して，確かな学力と自他を尊重する態度を育み，地域とともに歩み，信頼される学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

1　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○　志（夢）を抱き，挑戦し続けようとする力を育成します。
○　志（夢）を実現するための基礎学力を育成します。
○　コミュニケーション力，多様な人々と協働することができる力を育成します。
○　社会への帰属意識と貢献意欲を育成します。

2　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○ 確かな学力を身に付け，生徒の志望を達成させる教育を実践します。
→授業改善による「分かる授業」の展開と，学習意欲の喚起を図る学習指導の工夫に取り組みます。
○ 多様な希望進路，適性，興味・関心などに応じた多様な選択科目を設定し，個に応じた学びを実現します。
→基礎・基本を重視する普通科目と特徴的な科目をバランスよく学習し，学力の定着を目指します。
○ 社会人として自立できる資質・能力，地域や社会が抱える課題を主体的に解決していく実践力を養います。
→教育活動全体を通した話し合い活動により自己理解と他者理解を深め，実践的コミュニケーション能力を育成します。

3　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○ 将来の夢の実現に向けて，学校生活に積極的・自主的に取り組み，自己を向上させようとする意欲のある生徒
○ 基本的な生活習慣が身に付いており，思いやりの心をもつ生徒
○ 基礎的な学力があり，努力を惜しまず，授業を第一に真剣に取り組む生徒
○ 体育的活動・文化的活動・社会的活動において優れた成績を収め，今後も活躍が期待できる生徒
○ 学級活動，生徒会活動，学校行事，部活動，校外活動（運動･ボランティア活動等）などでリーダーシップを発揮した実績があり，多方面にわたる活躍が期待できる生徒

学校名	宮城県登米高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	56 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	24 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　270 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 770　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２４人の１５０％の範囲に含まれる者（３６人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県登米総合産業高等学校［全日制課程（農業科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県登米総合産業高等学校は，「高志，挑戦，創造」を校訓とし，高い志をもって何事にも果敢に挑戦し，専門的な技術，技能と豊かな人間性を身に付け，独創的な発想力で産業界をリードする人材を育成します。また，本校独自の教育課程を通して地域連携や学科間連携での取組を実践し，地域を愛し，郷土の発展を願い，課題解決への探究心を追い続ける学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○学科横断的な幅広い視野で産業界を捉え，高度化・多様化する社会に果敢に挑戦する高い創造性を育成します。

○専門分野で身に付けた確かな知識・技術・技能を的確に活用し，主体的，創造的に学んで行ける実践力を育成します。

○職業人に必要な倫理観や規範意識，自己実現を成し遂げていく自律と寛容の心を兼ね備えた豊かな人間性を育成します。

○健やかな心身を育み，地域社会と積極的に関わり，郷土の発展に寄与していく逞しい郷土愛を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎学力の定着を重視し，基礎・基本の学習に力を入れます。

→　授業を中心に中学校までの内容を振り返り，本校で学ぶための基礎の定着や日常生活で活用する基礎力を養います。

○ＩＣＴを積極的に活用した授業を行います。

→　情報リテラシーを身に付け，社会の変化に対応できる力を養うとともに，個々の学習状況に応じた学びを実施します。

○各学科の専門的な深い学びを実現していきます。

→　確実な知識・技能を養い，それらを相互に関連付けてより深く理解したり，課題の解決策を考えたり，学んだことを基に創造したりする力を身に付けられるような学習を実施します。

○学科や地域と連携した授業を行い，自ら考え，心を豊かにし，地域の新しい未来に必要とされる人材育成を行います。

→　学校設定科目「産業基礎」や各科の課題研究等を通して，地域産業に興味や関心を持ち，自己の進路実現と結び付け，産業界をリードする人材になれる学びを進めていきます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○基本的生活習慣が身に付いており，何事にも高い志をもって，主体的・創造的に根気強く取り組むことができる生徒

○学習成績が良好で，入学後も日々の授業を大事にできる生徒

○部活動や校外活動等に全力で取り組み，入学後も粘り強く活動できる生徒

○農業の分野に興味・関心があり，専門教科の学習を通して身に付けた知識や技術・技能を生かして，将来，農業分野の担い手や関連産業への就職，上級学校への進学を希望する生徒

学校名	宮城県登米総合産業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	農業科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電気科、情報技術科、商業科、福祉科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１５０％の範囲に含まれる者（３０人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況
　　(3)将来の進路希望　(4)その他
4　観点：(1)態度　２０点　(2)表現力等　８０点

合計　625 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県登米総合産業高等学校［全日制課程（機械科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県登米総合産業高等学校は，「高志，挑戦，創造」を校訓とし，高い志をもって何事にも果敢に挑戦し，専門的な技術，技能と豊かな人間性を身に付け，独創的な発想力で産業界をリードする人材を育成します。また，本校独自の教育課程を通して地域連携や学科間連携での取組を実践し，地域を愛し，郷土の発展を願い，課題解決への探究心を追い続ける学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○学科横断的な幅広い視野で産業界を捉え，高度化・多様化する社会に果敢に挑戦する高い創造性を育成します。

○専門分野で身に付けた確かな知識・技術・技能を適確に活用し，主体的，創造的に学んで行ける実践力を育成します。

○職業人に必要な倫理観や規範意識，自己実現を成し遂げていく自律と寛容の心を兼ね備えた豊かな人間性を育成します。

○健やかな心身を育み，地域社会と積極的に関わり，郷土の発展に寄与していく逞しい郷土愛を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎学力の定着を重視し，基礎・基本の学習に力を入れます。

→　授業を中心に中学校までの内容を振り返り，本校で学ぶための基礎の定着や日常生活で活用する基礎力を養います。

○ＩＣＴを積極的に活用した授業を行います。

→　情報リテラシーを身に付け，社会の変化に対応できる力を養うとともに，個々の学習状況に応じた学びを実施します。

○各学科の専門的な深い学びを実現していきます。

→　確実な知識・技能を養い，それらを相互に関連付けてより深く理解したり，課題の解決策を考えたり，学んだことを基に創造したりする力を身に付けられるような学習を実施します。

○学科や地域と連携した授業を行い，自ら考え，心を豊かにし，地域の新しい未来に必要とされる人材育成を行います。

→　学校設定科目「産業基礎」や各科の課題研究等を通して，地域産業に興味や関心を持ち，自己の進路実現と結び付け，産業界をリードする人材になれる学びを進めていきます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○基本的生活習慣が身に付いており，何事にも高い志をもって，主体的・創造的に根気強く取り組むことができる生徒

○学習成績が良好で，入学後も日々の授業を大事にできる生徒

○部活動や校外活動等に全力で取り組み，入学後も粘り強く活動できる生徒

○機械の分野に興味・関心があり，専門教科の学習を通して身に付けた知識や技術・技能を生かして，将来，機械の分野の担い手や関連産業への就職，上級学校への進学を希望する生徒

学校名	宮城県登米総合産業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	機械科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業科、電気科、情報技術科、商業科、福祉科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％ ）
学力検査：調査書	６ ： ４

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％ ）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１５０％の範囲に含まれる者（３０人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点

1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況
　　(3)将来の進路希望　(4)その他
4　観点：(1)態度　２０点　(2)表現力等　８０点

合計　625 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県登米総合産業高等学校［全日制課程（電気科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県登米総合産業高等学校は，「高志，挑戦，創造」を校訓とし，高い志をもって何事にも果敢に挑戦し，専門的な技術，技能と豊かな人間性を身に付け，独創的な発想力で産業界をリードする人材を育成します。また，本校独自の教育課程を通して地域連携や学科間連携での取組を実践し，地域を愛し，郷土の発展を願い，課題解決への探究心を追い続ける学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○学科横断的な幅広い視野で産業界を捉え，高度化・多様化する社会に果敢に挑戦する高い創造性を育成します。

○専門分野で身に付けた確かな知識・技術・技能を適確に活用し，主体的，創造的に学んで行ける実践力を育成します。

○職業人に必要な倫理観や規範意識，自己実現を成し遂げていく自律と寛容の心を兼ね備えた豊かな人間性を育成します。

○健やかな心身を育み，地域社会と積極的に関わり，郷土の発展に寄与していく逞しい郷土愛を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎学力の定着を重視し，基礎・基本の学習に力を入れます。

→　授業を中心に中学校までの内容を振り返り，本校で学ぶための基礎の定着や日常生活で活用する基礎力を養います。

○ＩＣＴを積極的に活用した授業を行います。

→　情報リテラシーを身に付け，社会の変化に対応できる力を養うとともに，個々の学習状況に応じた学びを実施します。

○各学科の専門的な深い学びを実現していきます。

→　確実な知識・技能を養い，それらを相互に関連付けてより深く理解したり，課題の解決策を考えたり，学んだことを基に創造したりする力を身に付けられるような学習を実施します。

○学科や地域と連携した授業を行い，自ら考え，心を豊かにし，地域の新しい未来に必要とされる人材育成を行います。

→　学校設定科目「産業基礎」や各科の課題研究等を通して，地域産業に興味や関心を持ち，自己の進路実現と結び付け，産業界をリードする人材になれる学びを進めていきます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○基本的生活習慣が身に付いており，何事にも高い志をもって，主体的・創造的に根気強く取り組むことができる生徒

○学習成績が良好で，入学後も日々の授業を大事にできる生徒

○部活動や校外活動等に全力で取り組み，入学後も粘り強く活動できる生徒

○電気の分野に興味・関心があり，専門教科の学習を通して身に付けた知識や技術・技能を生かして，将来，電気分野の担い手や関連産業への就職，上級学校への進学を希望する生徒

学校名	宮城県登米総合産業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	電気科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業科、機械科、情報技術科、商業科、福祉科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％ ）
学力検査：調査書	6 ： 4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％ ）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１５０％の範囲に含まれる者（３０人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況
　　(3)将来の進路希望　(4)その他
4　観点：(1)態度　２０点　(2)表現力等　８０点

合計　625 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県登米総合産業高等学校［全日制課程（情報技術科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県登米総合産業高等学校は，「高志，挑戦，創造」を校訓とし，高い志をもって何事にも果敢に挑戦し，専門的な技術，技能と豊かな人間性を身に付け，独創的な発想力で産業界をリードする人材を育成します。また，本校独自の教育課程を通して地域連携や学科間連携での取組を実践し，地域を愛し，郷土の発展を願い，課題解決への探究心を追い続ける学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○学科横断的な幅広い視野で産業界を捉え，高度化・多様化する社会に果敢に挑戦する高い創造性を育成します。

○専門分野で身に付けた確かな知識・技術・技能を適確に活用し，主体的，創造的に学んで行ける実践力を育成します。

○職業人に必要な倫理観や規範意識，自己実現を成し遂げていく自律と寛容の心を兼ね備えた豊かな人間性を育成します。

○健やかな心身を育み，地域社会と積極的に関わり，郷土の発展に寄与していく逞しい郷土愛を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎学力の定着を重視し，基礎・基本の学習に力を入れます。

→　授業を中心に中学校までの内容を振り返り，本校で学ぶための基礎の定着や日常生活で活用する基礎力を養います。

○ＩＣＴを積極的に活用した授業を行います。

→　情報リテラシーを身に付け，社会の変化に対応できる力を養うとともに，個々の学習状況に応じた学びを実施します。

○各学科の専門的な深い学びを実現していきます。

→　確実な知識・技能を養い，それらを相互に関連付けてより深く理解したり，課題の解決策を考えたり，学んだことを基に創造したりする力を身に付けられるような学習を実施します。

○学科や地域と連携した授業を行い，自ら考え，心を豊かにし，地域の新しい未来に必要とされる人材育成を行います。

→　学校設定科目「産業基礎」や各科の課題研究等を通して，地域産業に興味や関心を持ち，自己の進路実現と結び付け，産業界をリードする人材になれる学びを進めていきます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○基本的生活習慣が身に付いており，何事にも高い志をもって，主体的・創造的に根気強く取り組むことができる生徒

○学習成績が良好で，入学後も日々の授業を大事にできる生徒

○部活動や校外活動等に全力で取り組み，入学後も粘り強く活動できる生徒

○情報・電子技術の分野に興味・関心があり，専門教科の学習を通して身に付けた知識や技術・技能を生かして，将来，情報・電子技術の分野の担い手や関連産業への就職，上級学校への進学を希望する生徒

学校名	宮城県登米総合産業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	情報技術科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業科、機械科、電気科、商業科、福祉科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 890　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１５０％の範囲に含まれる者（３０人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　100 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路希望　(4)その他 4　観点：(1)態度　２０点　(2)表現力等　８０点	合計 625　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県登米総合産業高等学校［全日制課程（商業科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県登米総合産業高等学校は，「高志，挑戦，創造」を校訓とし，高い志をもって何事にも果敢に挑戦し，専門的な技術，技能と豊かな人間性を身に付け，独創的な発想力で産業界をリードする人材を育成します。また，本校独自の教育課程を通して地域連携や学科間連携での取組を実践し，地域を愛し，郷土の発展を願い，課題解決への探究心を追い続ける学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○学科横断的な幅広い視野で産業界を捉え，高度化・多様化する社会に果敢に挑戦する高い創造性を育成します。

○専門分野で身に付けた確かな知識・技術・技能を適確に活用し，主体的，創造的に学んで行ける実践力を育成します。

○職業人に必要な倫理観や規範意識，自己実現を成し遂げていく自律と寛容の心を兼ね備えた豊かな人間性を育成します。

○健やかな心身を育み，地域社会と積極的に関わり，郷土の発展に寄与していく逞しい郷土愛を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎学力の定着を重視し，基礎・基本の学習に力を入れます。

→　授業を中心に中学校までの内容を振り返り，本校で学ぶための基礎の定着や日常生活で活用する基礎力を養います。

○ＩＣＴを積極的に活用した授業を行います。

→　情報リテラシーを身に付け，社会の変化に対応できる力を養うとともに，個々の学習状況に応じた学びを実施します。

○各学科の専門的な深い学びを実現していきます。

→　確実な知識・技能を養い，それらを相互に関連付けてより深く理解したり，課題の解決策を考えたり，学んだことを基に創造したりする力を身に付けられるような学習を実施します。

○学科や地域と連携した授業を行い，自ら考え，心を豊かにし，地域の新しい未来に必要とされる人材育成を行います。

→　学校設定科目「産業基礎」や各科の課題研究等を通して，地域産業に興味や関心を持ち，自己の進路実現と結び付け，産業界をリードする人材になれる学びを進めていきます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○基本的生活習慣が身に付いており，何事にも高い志をもって，主体的・創造的に根気強く取り組むことができる生徒

○学習成績が良好で，入学後も日々の授業を大事にできる生徒

○部活動や校外活動等に全力で取り組み，入学後も粘り強く活動できる生徒

○商業の分野に興味・関心があり，専門教科の学習を通して身に付けた知識や技術・技能を生かして，将来，商業分野の担い手や関連産業への就職，上級学校への進学を希望する生徒

学校名	宮城県登米総合産業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	商業科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業科、機械科、電気科、情報技術科、福祉科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１５０％の範囲に含まれる者（３０人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１０分程度
- 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況　(3)将来の進路希望　(4)その他
- 4　観点：(1)態度　２０点　(2)表現力等　８０点

合計　625 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県登米総合産業高等学校［全日制課程（福祉科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県登米総合産業高等学校は，「高志，挑戦，創造」を校訓とし，高い志をもって何事にも果敢に挑戦し，専門的な技術，技能と豊かな人間性を身に付け，独創的な発想力で産業界をリードする人材を育成します。また，本校独自の教育課程を通して地域連携や学科間連携での取組を実践し，地域を愛し，郷土の発展を願い，課題解決への探究心を追い続ける学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○学科横断的な幅広い視野で産業界を捉え，高度化・多様化する社会に果敢に挑戦する高い創造性を育成します。

○専門分野で身に付けた確かな知識・技術・技能を適確に活用し，主体的，創造的に学んで行ける実践力を育成します。

○職業人に必要な倫理観や規範意識，自己実現を成し遂げていく自律と寛容の心を兼ね備えた豊かな人間性を育成します。

○健やかな心身を育み，地域社会と積極的に関わり，郷土の発展に寄与していく逞しい郷土愛を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎学力の定着を重視し，基礎・基本の学習に力を入れます。

→　授業を中心に中学校までの内容を振り返り，本校で学ぶための基礎の定着や日常生活で活用する基礎力を養います。

○ＩＣＴを積極的に活用した授業を行います。

→　情報リテラシーを身に付け，社会の変化に対応できる力を養うとともに，個々の学習状況に応じた学びを実施します。

○各学科の専門的な深い学びを実現していきます。

→　確実な知識・技能を養い，それらを相互に関連付けてより深く理解したり，課題の解決策を考えたり，学んだことを基に創造したりする力を身に付けられるような学習を実施します。

○学科や地域と連携した授業を行い，自ら考え，心を豊かにし，地域の新しい未来に必要とされる人材育成を行います。

→　学校設定科目「産業基礎」や各科の課題研究等を通して，地域産業に興味や関心を持ち，自己の進路実現と結び付け，産業界をリードする人材になれる学びを進めていきます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○基本的生活習慣が身に付いており，何事にも高い志をもって，主体的・創造的に根気強く取り組むことができる生徒

○学習成績が良好で，入学後も日々の授業を大事にできる生徒

○部活動や校外活動等に全力で取り組み，入学後も粘り強く活動できる生徒

○介護・福祉の分野に興味・関心があり，専門教科の学習を通して身に付けた知識や技術・技能を生かして，将来，介護・福祉分野の担い手や関連産業への就職，上級学校への進学を希望する生徒

学校名	宮城県登米総合産業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	福祉科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	農業科、機械科、電気科、情報技術科、商業科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	６　：　４

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１５０％の範囲に含まれる者（３０人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点

1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況
　　(3)将来の進路希望　(4)その他
4　観点：(1)態度　２０点　(2)表現力等　８０点

合計　625 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県築館高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県築館高等学校は，「共助・研鑽・進取」を校訓とし，「３年後，なりたい自分がそこにいる。」をキャッチフレーズに掲げ，社会の有為な形成者として，一人一人が他者への共感をもち，自ら研鑽を積み，創造性と進取の精神を養う，心身ともに健康な人材を育成します。さらに，地域社会の発展に寄与する心情と態度を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○　様々な活動をとおして，協調性や忍耐力，公共性を培うとともにボランティア活動等により社会の一員として自覚を持った豊かな人間性を涵養します。
○　質の高い授業により基礎基本の定着を図り，習熟度別授業や課外講習などさまざまな方策をとおして全体として学力向上を図ります。
○　きめ細かな進路指導をとおして明確な職業意識を育成し，主体的な学習計画の作成を支援することにより一人一人の進路目標の達成を図ります。
○　国際化・情報化に対応するための能力を養成しながらよりよい社会の形成に積極的に貢献できるグローバル人材の育成をします。
○　危機管理の徹底及び安全教育の充実を図ります。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○　１学年では，全員が同じ教科を共通して学び，各教科の基礎的・基本的事項を確実に身に付け，学力の向上を図ります。
○　国語・英語・数学では，習熟度別授業を導入して，少人数制のわかりやすい授業を工夫するとともに，習熟度に応じて基本から応用まで確実に身に付けられるようにします。
○　２学年より，進学志望者，専修各種学校志望者，公務員・就職志望者など，それぞれの進路希望にあわせきめ細やかな系統的指導を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

１　中学校の学習成績が優秀で，基本的な生活習慣が身に付いている生徒
２　将来についての明確な目標をもち，その実現のために学習に努力できる生徒
３　部活動や生徒会活動，学校行事等に積極的に取り組んでおり，入学後も継続して活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県築館高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	160人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	128 人（募集定員の　80　％）
学力検査：調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	32 人（募集定員の　20　％）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３２人の１２０％の範囲に含まれる者（３８人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県築館高等学校　一迫商業キャンパス［全日制課程（情報ビジネス科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県築館高等学校一迫商業キャンパスは、「誠実、自律、奉仕」をキャンパス校訓とし、地域社会の発展を担う職業人を育成します。また、地域の経済・産業界等と積極的に連携・協働しながら教育活動を行うことにより、地域社会の発展に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○社会で活躍できる資質・能力を身に付けさせることにより、地域社会の成長につながる価値を生み出せる職業人を育成します。
○様々な課題に、主体的に粘り強く取り組ませることにより、課題解決能力を育成します。
○地域の経済・産業界等と積極的に連携・協働することにより、貢献力を育成します。

＜職業人＞礼儀作法、専門性、実践力、豊かな人間性
＜課題解決能力＞課題設定力、計画立案力、継続力、主体性、チャレンジ精神
＜貢献力＞他者との協働、コミュニケーション能力、多様性

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎学力を定着させ、専門性を高め、実践的な学びを充実させます。
　→基礎学力を生かして、発展的な専門知識や技術を積み重ね、実践力を養います。
○地域の経済・産業界等との連携・協働する学習を通して実践的な学びを実現します。
　→実践的な学びを充実させるために、教科等横断的な学習の充実を図ります。
○個に応じた指導の充実を図ります。
　→生徒の多様な課題や目標に対して、きめ細かな指導を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○目的意識をもち、何事にも主体的に取り組む生徒
○ビジネス情報分野に興味関心をもち、資格取得を目指す生徒
○地域社会に貢献しようとする意欲のある生徒
○運動や文化活動、委員会活動、ボランティア活動に積極的に取り組んでいる生徒

学校名	宮城県築館高等学校一迫商業キャンパス	課程	全日制
学科（コース・部）	情報ビジネス科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１２０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1) 志望動機　(2) 進路意識　(3) 自己理解
　　(4) 部活動、生徒会活動等　(5) その他
4　観点：(1) 態度　２０点　(2) 表現力等　８０点

合計　625 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県岩ヶ崎高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県岩ヶ崎高等学校は，「尚志育英」を建学の精神とし，探究的な学びを通じて，多様な人々との対話により情報を共有し，考えを伝え合いながら合意形成しようとする態度や，正解のない課題や新たな課題について，主体性を持って深く考え，他者と深め合いながら課題解決しようとする姿勢を育成します。地域社会に積極的に参画し，将来的に貢献できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

建学の精神「尚志育英」（志の高い，秀でた才能を育てる）に則り，調和のある人間形成を目指し，「心身の健康」「知性の伸長」「人格の尊重」に努めます。

〇進んで心身を鍛え，清潔で健康な生活を心がけ，明るく清く，どんな困難に出会っても，くじけない意思力と体力を育成します。

〇自身の持つ無限の可能性を引き出し，伸ばしていく向上心と，常に広く調和のとれた教養及び知性を育成します。

〇正しく自己を認識し，他をも愛する豊かな愛情を持ち続け，お互い信頼し合える誠実な頼もしい人となるよう，豊かな人間性とコミュニケーション能力を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

〇多様な進路目標に対応し，生徒一人ひとりの目標達成に必要な科目を設定します。
→全教科にて確かな知識を，加えて実技教科では確実な技能を養います。

〇習熟度別の授業やコース内で選択科目を設定し，個に適した学びを実現します。
→生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に習熟度別授業を実施するとともに，多岐にわたる生徒の進路希望を実現する選択科目の設定を行います。

〇地域と協働した学びにより，探究的な学びを進めます。
→地域や現代社会が抱える諸課題等について教科等横断的に取り組み，正解のない課題や新たな課題について，課題解決しようとする態度を育てます。

〇ホームルーム活動や生徒会活動，学校行事，地域連携活動等を通して，自己の有用感を体験させ，生徒の主体性や豊かな人間性を育成します。
→様々な活動を通し，視野を広げ，主体性と協働意識，他者尊重と社会貢献の精神を養います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

上記，本校の目指すものとグラデュエーション・ポリシーを理解し，以下の１～３について，いずれかに該当する生徒を求める。

１　基本的な生活習慣が身に付いている生徒

２　基礎学力が身に付いており，学業成績が良好な生徒

３　生徒会活動や学校行事，部活動やボランティア活動等に積極的に取り組んだ生徒

※１～３については，中学校まではもとより高校生活でも発揮することが望ましい。

学校名	宮城県岩ヶ崎高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	48 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	32 人（募集定員の　40　％　）

配点

1　調査書　135 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする

音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　500 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　635 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３２人の１５０％の範囲に含まれる者（４８人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点

国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする

社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点

国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　75 点

1　形態：個人面接
2　時間：１５分程度
3　内容：(1) 高校生活への意欲　(2) 中学校での活動状況
　　(3) 将来の進路希望　(4) その他
4　観点：(1) 態度　１５点　(2) 表現力等　６０点

合計　600 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県迫桜高等学校［全日制課程（総合学科)］（令和７年度入学生～）

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県迫桜高等学校は，「敬愛，創造，至誠」を校訓とし，夢のある未来社会を目指し創造的に自己練磨に励む人材を育成します。また，地域社会，関係機関等との連携を深め，理解と協力を得てボランティア活動等を含めた教育活動を推進すると共に，教育課程内外での活動を通じて積極的に地域社会・関係機関と連携をし，生徒に明確な目的意識をもたせることで，将来の地域社会での生活を見据えた人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

１　進路

すべての生徒が，自分は何をするべきか，どのように生きるべきか，将来就きたい職業は何か，高校卒業後どのような進路選択をするのか，高校では何をすべきかについてよく考え，しっかりとした明確な目的意識をもち，学習計画を立て，主体的，創造的に学び，進路希望を達成できる人材を育成します。

２　学力

学校は知徳体すべての面で学習する場であることを生徒に自覚させながら，基礎・基本を定着させ，個に応じた進路希望達成のための学力を向上させ，社会で求められる人材の育成に努めます。

３　自己実現

地域社会での生活を見据えながら，社会常識を踏まえ，協調性，忍耐力，規範意識，公共心を養い，心ゆたかで主体的に生きる人間を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

１　総合学科においては，一人一人の進路に応じて科目選択が異なることから，科目選択設定で人文社会，福祉教養，情報ビジネス，エンジニアリング，アグリビジネスの５つの系列を設定し，学びを実現します。

２　生徒が自ら考え判断し，自らの道を切り開いていく力（生きる力）を身に付けさせるために探究的な学びを実践します。

３　多様な進路に対応するための個に応じた系列選択・科目選択ができるよう，的確なアドバイスをします。

４　ボランティア活動や各種検定により取得した資格等の学修については，単位認定をします。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

本校は，多様な進路希望の生徒が集まる総合学科の高校です。「進路希望の達成」「学力保障」「集団の中での自己実現」の３つの教育方針のもと，命あるものを尊び，豊かな人間性と進取の精神を養い，「夢」のある未来社会を目指し創造的に自己練磨に励む，心身ともに健全な生徒の育成を目指しています。

そこで，次の１～５に当てはまる生徒を求めます。

１　自分の将来についての明確な目標をもち，その実現に向けて本校の科目選択制度を活かして主体的に学ぶ意志のある生徒

２　基本的な生活習慣が身に付いており，社会の秩序やマナーを守って学校生活を送る意志のある生徒

３　自主的に勉強する意欲をもち，継続して学習する生徒

４　何事にも真剣に取り組み，日々の授業を大事にする生徒

５　部活動，校外での文化・スポーツ活動に積極的に取り組む生徒

学校名	宮城県迫桜高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	総合学科	募集定員	160人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	80 人（募集定員の　50　％ ）
学力検査：調査書	６ ： ４

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	80 人（募集定員の　50　％ ）

配点

1　調査書　390 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする

音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する８０人の１５０％の範囲に含まれる者（１２０人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　450 点

国語、数学、英語　：　全学年の評定を２．０倍にする

社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　300 点

国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　3段階評価（A～C）

1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況
　　(3) 将来の希望進路　(4) その他
4　観点：応対の内容、態度、表現等から総合的に評価する。

合計　750 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県石巻高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県石巻高等学校は，「真実，自律，友愛」を校訓とし，生徒心得に謳われた「質実剛健，進取独創，自ら進運を開拓すべし」を教育の礎に置き，高い志をもって社会貢献する，心豊かな生徒を育成します。また，知性を尊び，将来の夢や目標に向かって主体的かつ仲間と切磋琢磨しながら学ぶとともに，学習活動，特別活動，部活動，その他の活動に積極的に関わり，地域社会に積極的に参画する，自他ともに成長しようとする意欲と実行力がある生徒を育てる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○石巻高校生としての自覚と自律の精神を有し，品性と自尊心を兼ね備えた健全な生徒を育成します。

○主体的に学びに向かい，自ら知識を深めて個性や能力を伸ばし，人生を切り拓いていくことができる生徒を育成します。

○生徒が高い志を持ち，将来社会の一員として活躍することを自覚することで，主体的に進路を選択する能力を育成します。

○人間としての在り方生き方に関する指導を，ホームルーム活動，学校行事を始め教育活動全体で行い，豊かな心を持ち，主体性のある生徒を育成します。

○「文武両道」を実現するため，学習とのバランスを考えた部活動等を行い，強い精神力や協調性を育むなど健全な心身を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○知識の理解の質を高め，新しい時代に必要となる資質・能力を育成します。

→基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し，知性を尊び目標に向かって主体的に学ぶ生徒を育成します。

○多様な選択科目を設定し，生徒の進路希望に対応した学びを実現します。

→生徒の進路目標の実現に向けて，三年間を見通した系統性のある教育課程を編成し，教育の質的向上を目指した教育活動を行います。

○発信型英語教育拠点校事業の活用や総合的な探究の時間等の充実により，教科等横断的な視点に立った学習を推進します。

→オールイングリッシュによる英語の授業を通してものを考え発信したり，石巻地域の抱える課題を考えたりする活動を通して，グローバルな視点と豊かな人間性を育み，将来国際社会で活躍し今後の日本を支える人材を育成します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○学業・人物がともに優れ，今後も向上しようとする意欲が旺盛な生徒

○社会への関心を深め自己の将来像を描き，課題解決に向け思考力・判断力・表現力を培おうとする生徒

○望ましい集団生活のあり方を考え，自他尊重の精神を人間関係の中で確立できる生徒

○高校生活のあらゆる場面で，誠実かつ主体的に活動できる生徒

○特別活動，部活動等でリーダーシップを発揮し，積極的に活動できる生徒

学校名	宮城県石巻高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	200人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	180 人（募集定員の　90　％）
学力検査：調査書	7 ： 3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　10　％）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

合計　445 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１２０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　15 点
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：志望動機等
4　観点：(1) 態度　５点　(2) 表現力等　１０点

合計　540 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県石巻好文館高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県石巻好文館高等学校は，「自発能動，一事貫行，醇朴成徳」を校訓とし，学習指導と生活指導を通して学習と部活動等を両立させ，校是「甲斐ある人と言われなむ」を体現できるような人材を育成します。総合的な探究の時間（甲斐たいむ）で教科等横断的な学習に取り組めるようにしたり，多様な選択科目を設け，生徒が自分に適した学習ができるようにしたりすることで，広い視野と豊かな知性を養い，信頼と友愛で結ばれた人間関係を育み，社会に貢献できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

1　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

1　学習指導の徹底と自主的な活動によって広い視野と豊かな知性を養います。
2　規律ある日常生活のもとに，信頼と友愛に富む人間関係を育みます。
3　社会における自己のなすべき使命を自覚させ，社会に貢献する人材を育成します。
＜知性＞実社会や生活で生かせる知識・技能，自律的に考えて自己を管理する力，柔軟な発想ができる力
＜人間関係＞自分の考えたことを自分の言葉で発表する力，多様な他者を理解する力，他者と協力しながら，ものごとをすすめる協働力
＜社会貢献＞課題を見つけ，解決する力，自ら目標を設定し，行動する力

2　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○　１年次では，広い視野と豊かな知性を養い，実社会や生活で生かせる知識・技能を身に付けるための必履修科目を中心に設けます。英語と数学については，習熟度別・少人数指導を実施することで，他者の考えを理解し，協働する力を養うことを目指すなど，生徒一人一人に目の行き届いた指導を行います。
○　２年次では，広い視野と豊かな知性に加え，人間関係を育み，社会に貢献できる力を育成するため，１年次で学習した内容を発展させた科目を中心に設けます。英語と数学については１年次同様，習熟度別・少人数指導を実施することで，他者と協働し，言語活動を通じて社会に参加したり，課題を解決したりする力を養うことを目指します。選択科目も文系と理系の選択群に分けます。
○　３年次では，生徒が自分自身に適した学習ができる多様な選択科目を設けます。１年次，２年次で学習したことを，さらに深く，幅広く学習させることで，広い視野と豊かな知性，人間関係，社会に貢献する力を育成します。
○　総合的な探究の時間（甲斐たいむ）では，教科等横断的に学習に取り組み，自己の在り方生き方について考え，主体的に取り組む態度を育て，論理的に表現する活動を行い，社会に貢献できる人間となることを目指します。

3　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○　自律的に高校生活を送るとともに，状況に応じて柔軟に対応できる知性を身に付けようと努力する生徒
○　コミュニケーションを取りながら，他者と協働して活動しようとする生徒
○　国際社会に関心を持ち，課題を発見し，その解決のため，地域社会に貢献しようとする生徒
○　基本的な生活習慣が身に付いており，日々の授業を大事にして，継続的に努力ができる生徒
○　リーダー性が高く，部活動，特別活動，校外活動で優れた能力を発揮するとともに顕著な成績をあげ，入学後も勉学と並行して継続して活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県石巻好文館高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	200人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	160 人（募集定員の　80　％）
学力検査：調査書	7 ： 3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	40 人（募集定員の　20　％）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　375 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．７５倍にする

合計　765　点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４０人の２００％の範囲に含まれる者（８０人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

合計　525　点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県石巻西高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県石巻西高等学校は，「敬愛，探求，進取」を校訓とし，教育方針「敬愛と協調心の育成」,「学力の充実と探求心の育成」及び「公正な判断力と進取の精神の育成」並びにスローガン「自由と創造」を基盤に，石巻地域に根ざした教育活動を積極的に展開することで，新しい社会や未来を創造する市民の育成に取り組む学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

1. 主体的・自立的に行動する場面を積極的に設け，自ら判断し行動する力を育てます
2. 協働的かつ個に応じた学びを提供し，生涯にわたって学び続ける力を育てます
3. 敬愛と相互信頼に基づいた人間関係を構築し，他者と関わる力を育てます

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

1. 協働を生む多様性の土壌を整え，基本知識の習得に加え個別最適化された学びを提供します
2. 挑戦の連鎖を生む安全・安心の土壌を整え，失敗を恐れずに意欲的に学ぶ環境を提供します
3. 問い・問われる対話の土壌を整え，本音で他者と関わり関係性を作る機会を提供します
4. 地域や社会に開かれた土壌を整え，主体的・対話的で深い学びを実践する機会を提供します

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

1. 基本的な生活習慣が身についており，他者と良好な関係を作ろうとする生徒
2. 学習習慣が身についており，向学心や探究心をもって学び続けようとする生徒
3. 特別活動，部活動や社会貢献活動にも意欲的に取り組もうとする生徒
4. 国際理解・異文化理解に関心があり，地域社会へ貢献したいと考えている生徒

学校名	宮城県石巻西高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	160人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	112 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	48 人（募集定員の　30　％　）

配点

1　調査書　240 点

国語、数学、英語、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

社会、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　250 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

合計　490 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４８人の１２０％の範囲に含まれる者（５７人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点

国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする

社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点

国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　50 点

1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：志望動機、中学校での活動、将来の進路希望
4　観点：(1) 態度　８点　(2) 表現力　１８点
　　(3) 関心・意欲　２４点

合計　575 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県石巻北高等学校［全日制課程（総合学科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県石巻北高等学校は，「進取，自愛，和協」を校訓とし，「地域のスペシャリストとしての担い手の育成」，「大学または上級学校への進学」及び「地域との連携教育の推進」という使命のもと，生徒一人一人の可能性を伸ばし，地域を支え，地域の人々と共に生きることができる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

生徒一人一人が高い「志」を持って主体的に学校生活を送ることで，自らの未来を切り拓いていくたくましい力を身に付けることができる生徒の育成を目指します。

＜知　識＞自ら考え，学び続けることのできる生徒
＜情　操＞心豊かで，明るく楽しく，節度ある態度で学校生活を送ることのできる生徒
＜寛　容＞相手の立場を理解し，思いやりの気持ちをもつことのできる生徒
＜社会性＞社会の中で自ら正しく判断し，行動できる自立心のある生徒
＜根　気＞問題解決に前向きに取り組み，努力し続けることのできる生徒
＜勤　労＞社会で通用する知識や技能を身につけ，望ましい勤労観や職業観を持つことができる生徒
＜健　康＞心身の鍛錬に努め，健康でたくましく生活ができる生徒

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

１年次で「産業社会と人間」をはじめとする授業を通して，「社会の現状や職業に対する考え方」，「自分自身が本当にやりたい仕事」についてじっくりと学び考えます。
その上で，２年次以降は自らの目指す進路を達成するために，「５つの系列」から学習する場を選択し，学習を進めます。

＜食農系列＞各教室で学んだ知識を生かして，農場や各種実習での体験的学習を通じて，栽培や食品加工の知識と技能を身につけます。
＜家庭系列＞衣食住や保育，福祉などの家庭生活に必要な知識と技術について学習します。
＜経情系列＞パソコン操作はもとより，商業や経営，会計について学習します。
＜教養系列＞普通教科の重点的な学習活動，農業および商業関連の授業および３年間を通じた芸術科目の学習など，幅広い教養を身につけます。
＜進学系列＞受験に向けた学習を進め，大学や高等看護学校への進学や公務員合格を目指します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校の特徴や取り組みを理解し，自分の目標に向かって意欲的に活動する場所を選択できる生徒
○規則正しい学校生活を送っており，今後も継続しようとする意志をもつ生徒
○自己の適性や社会でのあり方を探求し，進路を選択する努力ができる生徒
○進路達成および将来に向けて，日々の学習を大切にする生徒
○部活動や学校行事等で，仲間と協力し，目標を達成するために努力する生徒
○自己の視野を広げることに積極的な意欲をもつ生徒

学校名	宮城県石巻北高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	総合学科	募集定員	160人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	112 人（募集定員の　70　％）
学力検査：調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	48 人（募集定員の　30　％）

配点

1　調査書　390 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする

音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　250 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

合計　640 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４８人の１５０％の範囲に含まれる者（７２人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点

国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする

社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点

国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　75 点

1　形態：個人面接
2　時間：１５分程度
3　内容：(1) 志望の動機　(2) 将来の進路　(3) 中学校での生活
　　(4) 人物・生活全般　(5) 自己ＰＲ
4　観点：各１５点
　(1) 意欲 (2) 態度 (3) 表現力 (4) 協調性・社会性 (5) 責任感・役割意識

合計　600 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

☆ スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県水産高等学校は「貴禮節、 順師長（礼節を貴び、師長に順うべし）」、「本至誠、 重廉恥（至誠をもととし、廉恥を重んずべし）」、「旨忍耐、 励業務（忍耐を旨とし、業務を励むべし）」を校訓とし、学校だけでなく海や地域産業を学びの場とした３年間の志教育を通じて、地域産業に貢献できる新しい時代の水産・海洋産業のスペシャリストの育成を目指します。

★ スクール・ポリシー（三つの方針）

１グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、社会の課題解決に取り組むための基盤となる専門的な知識を身に付けるとともに、確かな技術力を育成します。

○水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、自らの考えを活用し、あらたな社会を創造していくための思考力、判断力、表現力等を育成します。

○人間性とたくましさを伸長し、水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、主体的・対話的に社会の課題解決に向かうことができる人間力を育成します。

２カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科と専門教科の両方を重視します。

→普通教科では社会で生きる基礎力を、専門教科では水産・海洋産業で活用できる確かな技術力を養います。

○教科横断的な学びや地域と協働した学びにより、探究的な学びを進めます。

→総合実習や課題研究を中核として、教科横断的な学びを深め、地域社会が抱える諸課題の中から自ら課題を設定し、その解決に向けた探究的な学習を行います。

○特色ある専門科目や習熟度別の授業を設定し、個に適した学びを実現します。

→生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に習熟度別授業を実施し、基礎学力の確実な定着をはかるとともに、生徒の専門分野への進路希望実現に資する多様な専門科目を設定します。

３アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

豊かな人間性とたくましさをもち、自ら学び、自ら創意工夫し、自らの考えを活用して活動する、次のすべてに当てはまる生徒を求めます。

○海が好きで、釣り、船、エンジンに興味があり、入学後は船を動かすための様々な知識や技術・技能の習得と専門および関連分野への就職や専攻科・大学等の進学を目指す生徒

○中学校での部活動をはじめとした諸活動において積極的な取組があり、入学後も継続し努力できる生徒

○宮城丸の航海を通して魚のとり方や、ものの輸送等を学び、国際感覚や国の産業を支える有用な人材として海や港を中心に活躍する事を目標の一つとして考える生徒

○何事にも諦めず粘り強く取り組み、ルールをよく守り、日々の授業を大事にする生徒

○一級小型船舶操縦士から海技士（大型船の資格）、フォークリフトなど、その他あらゆる資格に積極的にチャレンジし自身の成長や能力発展に向き合える生徒

学校名	宮城県水産高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	船舶運航科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	生物環境科・食品科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　125 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．２５倍にする 3　面接　180 点	合計 695　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１２０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。 ・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：集団面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 将来の進路希望 (4) その他 4　観点：(1) 態度　３０点　(2) 表現力等　１５０点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

☆ スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県水産高等学校は「貴禮節、 順師長（礼節を貴び、師長に順うべし）」、「本至誠、 重廉恥（至誠をもととし、廉恥を重んずべし）」、「旨忍耐、 励業務（忍耐を旨とし、業務を励むべし）」を校訓とし、学校だけでなく海や地域産業を学びの場とした３年間の志教育を通じて、地域産業に貢献できる新しい時代の水産・海洋産業のスペシャリストの育成を目指します。

★ スクール・ポリシー（三つの方針）

１グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、社会の課題解決に取り組むための基盤となる専門的な知識を身に付けるとともに、確かな技術力を育成します。

○水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、自らの考えを活用し、あらたな社会を創造していくための思考力、判断力、表現力等を育成します。

○人間性とたくましさを伸長し、水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、主体的・対話的に社会の課題解決に向かうことができる人間力を育成します。

２カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科と専門教科の両方を重視します。

→普通教科では社会で生きる基礎力を、専門教科では水産・海洋産業で活用できる確かな技術力を養います。

○教科横断的な学びや地域と協働した学びにより、探究的な学びを進めます。

→総合実習や課題研究を中核として、教科横断的な学びを深め、地域社会が抱える諸課題の中から自ら課題を設定し、その解決に向けた探究的な学習を行います。

○特色ある専門選択科目や習熟度別の授業を設定し、個に適した学びを実現します。

→生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に習熟度別授業を実施し、基礎学力の確実な定着をはかるとともに、生徒の専門分野への進路希望実現に資する多様な専門科目を設定します。

３アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

豊かな人間性とたくましさをもち、自ら学び、自ら創意工夫し、自らの考えを活用して活動する、次のすべてに当てはまる生徒を求めます。

○海洋生物や海洋環境に関する学習やマリンスポーツに強い興味・関心があり、本校入学後は専門知識や技術・技能の習得と専門分野での就職や大学等への進学を目指す生徒

○中学校での部活動をはじめとした諸活動において積極的な取組があり、入学後も継続し努力できる生徒

○早寝早起きに努め、朝ご飯を食べる習慣があり、自分をよくコントロールできる生徒

○何事にも諦めず粘り強く取り組み、ルールをよく守り、日々の授業を大事にする生徒

○一級小型船舶操縦士、ダイビング、フォークリフト、英検、その他あらゆる資格に積極的にチャレンジし自身の成長や能力発展に向き合える生徒

学校名	宮城県水産高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	生物環境科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	船舶運航科・食品科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　125 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．２５倍にする 3　面接　180 点	合計 695　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１２０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。 ・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：集団面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 将来の進路希望 (4) その他 4　観点：(1) 態度　３０点　(2) 表現力等　１５０点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

☆ スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県水産高等学校は「貴禮節、 順師長（礼節を貴び、師長に順うべし）」、「本至誠、 重廉恥（至誠をもととし、廉恥を重んずべし）」、「旨忍耐、 励業務（忍耐を旨とし、業務を励むべし）」を校訓とし、学校だけでなく海や地域産業を学びの場とした３年間の志教育を通じて、地域産業に貢献できる新しい時代の水産・海洋産業のスペシャリストの育成を目指します。

★ スクール・ポリシー（三つの方針）

１グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、社会の課題解決に取り組むための基盤となる専門的な知識を身に付けるとともに、確かな技術力を育成します。

○水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、自らの考えを活用し、あらたな社会を創造していくための思考力、判断力、表現力等を育成します。

○人間性とたくましさを伸長し、水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、主体的・対話的に社会の課題解決に向かうことができる人間力を育成します。

２カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科と専門教科の両方を重視します。

→普通教科では社会で生きる基礎力を、専門教科では水産・海洋産業で活用できる確かな技術力を養います。

○教科横断的な学びや地域と協働した学びにより、探究的な学びを進めます。

→総合実習や課題研究を中核として、教科横断的な学びを深め、地域社会が抱える諸課題の中から自ら課題を設定し、その解決に向けた探究的な学習を行います。

○特色ある専門選択科目や習熟度別の授業を設定し、個に適した学びを実現します。

→生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に習熟度別授業を実施し、基礎学力の確実な定着をはかるとともに、生徒の専門分野への進路希望実現に資する多様な専門科目を設定します。

３アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

豊かな人間性とたくましさをもち、自ら学び、自ら創意工夫し、自らの考えを活用して活動する、次のすべてに当てはまる生徒を求めます。

○魚介類を中心とした食品や科学（化学・生物）の分野に強い興味・関心があり、本校入学後は専門知識や技術・技能の習得に努力し、調理師や船舶料理士、その他食関連産業への就職や大学や短大、専門学校等（水産系、食品系、栄養・調理系）への進学を目指す生徒

○中学校での部活動をはじめとした諸活動において積極的な取組があり、入学後も継続し努力できる生徒

○早寝早起きに努め、朝ご飯を食べる習慣があり、自分をよくコントロールできる生徒

○何事にも諦めず粘り強く取り組み、ルールをよく守り、日々の授業を大事にする生徒

○調理師免許、簿記検定、ビジネス文書検定、その他あらゆる資格に積極的にチャレンジし自身の成長や能力発展に向き合える生徒

学校名	宮城県水産高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	食品科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	船舶運航科・生物環境科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　125 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．２５倍にする 3　面接　180 点	合計 695　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１２０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。 ・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：集団面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 将来の進路希望 (4) その他 4　観点：(1) 態度　３０点　(2) 表現力等　１５０点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県石巻工業高等学校［全日制課程（機械科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県石巻工業高等学校は，「堅忍不撓」を校訓とし，芯の強い人間性，強い責任感，真面目な生活態度に徹した人材を育成します。また，生徒には特別活動や部活動，資格取得等に積極的に取り組むことを促し，確かな知識を持ち，自ら考え意欲的に行動する誠実で思いやりのある人材を育成するとともに，教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画することにより，地域に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○職業人として工業の発展を担い，実学すなわち物事を実証的かつ真実を解明し，問題を解決していく科学的な姿勢を育成します。
○持続可能で新たな社会を創造するための，斬新なアイディアを生み出すことのできるイノベーティブな生徒を育成します。
○工業のもつ社会的な意義や役割をよく理解し，関連する資格や技術を身に付け職業人としての倫理観や使命感を醸成し社会の発展に貢献できる生徒を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○機械に働く力や材料および機械装置を理解するとともに，原動機に関わるエネルギーや環境保全に主体的に取り組む態度を養います。
○シーケンス制御や産業用ロボットなどの機械，電気，電子及び情報に関する各分野の構成を理解し関連する技術を身に付けます。
○生産技術の自動化やネットワーク化を理解し人と機械が協調して生産性を向上，改善することを自ら学び，また各学年の実習を通して実践・経験した問題点や課題について対応して解決する力を養います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○機械系のものづくりに関わる分野，またはそれを支える技術に興味・関心をもち，専門分野での就職や進学を目指す生徒。
○専門的な知識や技術の習得，資格取得などに意欲的にチャレンジする生徒。
○基本的な生活習慣が身に付いており，学校生活において他の模範となる生徒。
○部活動や生徒会活動，校外活動などに積極的に取り組む意欲を持つ生徒。

学校名	宮城県石巻工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	機械科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	電気情報科・土木システム科・化学技術科・建築科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　375 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．７５倍にする

合計　765　点

選抜方法

・審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１２０％の範囲に含まれる者（１９人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況
　　(3)将来の進路志望　(4)志望学科に関する質問
4　観点：(1)態度　３０点　(2)意欲　４０点　(3)表現力等　３０点

合計　625　点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県石巻工業高等学校［全日制課程（電気情報科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県石巻工業高等学校は，「堅忍不撓」を校訓とし，芯の強い人間性，強い責任感，真面目な生活態度に徹した人材を育成します。また，生徒には特別活動や部活動，資格取得等に積極的に取り組むことを促し，確かな知識を持ち，自ら考え意欲的に行動する誠実で思いやりのある人材を育成するとともに，教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画することにより，地域に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○物事を本質的に捉え，仕組みや構造，成り立ちについて常に探究心を持ち，あらゆる事態にも対処できる思考力と技術力，行動力を育成します。

○現在の社会生活で最も欠かすことのできないライフラインである電気に対して，正しい知識と責任感をもち，世の中を支える一員としての誇りをもつ心を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○経済産業省の定める「第三種電気主任技術者認定」の基準を満たすことを最重要要件とし，教育課程を編成します。
電気基礎・電力技術・電気機器といった将来電気を扱う人材として最も基本的で重要な電気分野の学習を行います。

○機器の制御に必要な情報技術の習得と，一般的な情報分野の習得を目指します。
Ｃ言語をベースとしてプログラミングを学習します。また，ＩＣＴ機器の取扱い，また，文書の作成，プレゼンテーション，画像処理など，当たり前に社会で取り扱われている情報の分野について学習します。

○豊富な実習テーマを設け，幅広く技術を習得します。
毎週１テーマを原則として，電気工事，電子回路製作，機器の制御，保守点検，プログラミング，自動制御などの学習を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○電気・情報系のものづくりに関わる分野，またはそれを支える技術に興味・関心をもち，専門分野での就職や進学を目指す生徒。

○専門的な知識や技術の習得，資格取得などに意欲的にチャレンジする生徒。

○基本的な生活習慣が身に付いており，学校生活において他の模範となる生徒。

○部活動や生徒会活動，校外活動などに積極的に取り組む意欲を持つ生徒。

学校名	宮城県石巻工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	電気情報科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科・土木システム科・化学技術科・建築科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％　）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　375 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．７５倍にする	合計 765　点
選抜方法	・審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１２０％の範囲に含まれる者（１９人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　100 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)将来の進路志望　(4)志望学科に関する質問 4　観点：(1)態度　３０点　(2)意欲　４０点　(3)表現力等　３０点	合計 625　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県石巻工業高等学校［全日制課程（化学技術科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県石巻工業高等学校は，「堅忍不撓」を校訓とし，芯の強い人間性，強い責任感，真面目な生活態度に徹した人材を育成します。また，生徒には特別活動や部活動，資格取得等に積極的に取り組むことを促し，確かな知識を持ち，自ら考え意欲的に行動する誠実で思いやりのある人材を育成するとともに，教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画することにより，地域に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○工業技術の進歩に主体的に対応できる創造性豊かで，地域に貢献できる実践的な技術者を育成します。

○工業のもつ社会的な意義や役割を理解して，関連する資格や技術を身につけて，職業人としての倫理観や使命感を醸成し，社会の発展に貢献できる生徒を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎・基本を重視した教育課程を編成します。

「工業情報数理」で，化学工業に必要となる基礎的な知識や技術を学習します。

「工業化学」「化学工学」を通し，化学工業に関する基礎的な知識を習得します。

「地球環境化学」「セラミック化学」を通じて発展的な知識を習得します。

○豊富な実習テーマを設け，幅広く技能を習得します。

専門的な知識・技能について，「工業技術基礎」「化学技術実習」を通じて体験的に習得します。各学年とも１年間を通じてテーマを設定しています。１年次は主に分析や基礎的な化学実験などに取り組みます。２年次は主に有機合成や単位操作などに取り組みます。３年次は主にコンピュータによる制御や生物化学，材料化学について取り組みます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○化学系のものづくりに関わる分野，またはそれを支える技術に興味・関心をもち，専門分野での就職や進学を目指す生徒。

○専門的な知識や技術の習得，資格取得などに意欲的にチャレンジする生徒。

○基本的な生活習慣が身に付いており，学校生活において他の模範となる生徒。

○部活動や生徒会活動，校外活動などに積極的に取り組む意欲を持つ生徒。

学校名	宮城県石巻工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	化学技術科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科・電気情報科・土木システム科・建築科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％）
学力検査：調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　375 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．７５倍にする

合計　765 点

選抜方法

・審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１２０％の範囲に含まれる者（１９人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況
　　(3)将来の進路志望　(4)志望学科に関する質問
4　観点：(1)態度　３０点　(2)意欲　４０点　(3)表現力等　３０点

合計　625 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県石巻工業高等学校［全日制課程（土木システム科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県石巻工業高等学校は，「堅忍不撓」を校訓とし，芯の強い人間性，強い責任感，真面目な生活態度に徹した人材を育成します。また，生徒には特別活動や部活動，資格取得等に積極的に取り組むことを促し，確かな知識を持ち，自ら考え意欲的に行動する誠実で思いやりのある人材を育成するとともに，教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画することにより，地域に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○わたしたちが普段生活していく上で必要な，社会基盤と呼ばれる道路，河川，鉄道，上下水道等の整備や，自然災害から人々の生命財産を守る施設の整備などに，使命感を持って当たる生徒を育成します。

○社会基盤の重要性をよく理解し，関連する資格や技術を身に付け，環境に配慮した街づくり，そして地域の文化や歴史を尊重した持続可能な生活空間の実現を目指す生徒を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎基本を重視した教育課程を編成します。

工業技術基礎・工業数理基礎・情報技術基礎において，工業に必要な基礎的な知識技術を学習します。

○社会の要請に柔軟に対応できる創造性豊かな土木技術者を育成するための教育課程を編成します。

課題研究・土木実習・土木製図において，産学官連携によるＩＣＴ情報化施工（ドローン・３Ｄスキャナーによる起工測量）や，国道維持作業・地域貢献等を通して学習します。

○資格取得にも対応できる教育課程を編成します。

土木施工・社会基盤工学・土木基礎力学・測量において，２級土木施工管理技術検定測量士補取得に対応できるよう学習します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○土木系のものづくりに関わる分野，またはそれを支える技術に興味・関心をもち，専門分野での就職や進学を目指す生徒。

○専門的な知識や技術の習得，資格取得などに意欲的にチャレンジする生徒。

○基本的な生活習慣が身に付いており，学校生活において他の模範となる生徒。

○部活動や生徒会活動，校外活動などに積極的に取り組む意欲を持つ生徒。

学校名	宮城県石巻工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	土木システム科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科・電気情報科・化学技術科・建築科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　375 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．７５倍にする

合計　765　点

選抜方法

・審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１２０％の範囲に含まれる者（１９人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況
　　(3)将来の進路志望　(4)志望学科に関する質問
4　観点：(1)態度　３０点　(2)意欲　４０点　(3)表現力等　３０点

合計　625　点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県石巻工業高等学校［全日制課程（建築科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県石巻工業高等学校は，「堅忍不撓」を校訓とし，芯の強い人間性，強い責任感，真面目な生活態度に徹した人材を育成します。また，生徒には特別活動や部活動，資格取得等に積極的に取り組むことを促し，確かな知識を持ち，自ら考え意欲的に行動する誠実で思いやりのある人材を育成するとともに，教育課程内外の活動を通じて地域社会に積極的に参画することにより，地域に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○本校での建築の専門科目の基礎・基本を重視した系統的な履修を通して，建築系はもとより，インテリア，デザイン系といった分野にも対応できる人材を育成します。

○建築設計製図，建築実習，課題研究などの実習科目，インターンシップなどの体験を通して学校での学習内容と実社会との関連性についての理解と職業観や勤労観の育成並びに学習意欲の向上をはかります。

○企業での現場実習や教育界と産業界が連携したものづくり人材育成プログラム「クラフトマン２１」に積極的に取り組み，地域産業を担う専門的職業人を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○科目「建築設計製図」「建築計画」「建築構造」「建築構造設計」を通し，建築に関する基礎的な知識と技術を習得させ，住宅をはじめとする建築物の豊かな建築空間を合理的に企画・計画・設計できる能力を育てます。また，建築物の構造及び建築材料に関する基礎的な知識と技術を習得させ，実際に建築設計に活用する能力と態度を育てることを目標とします。さらに建築構造設計に関する知識と技術を習得させ，構造物を安全で合理的に設計する能力と態度を育てることを目標とします。そして建築生産における最終過程である施工については，着工から竣工までの各工事の概要を学習し，いろいろな業種の人達が協力し合って，一つの建築物を建てていることを理解することをねらいとします。これらの教科で学ぶことを「建築実習」を通して，さらに体験的に習得します。

○卒業の年に取得可能となった建築士に向け，その基準を満たすことのできるよう，教育課程を編成します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○建築系のものづくりに関わる分野，またはそれを支える技術に興味・関心をもち，専門分野での就職や進学を目指す生徒。

○専門的な知識や技術の習得，資格取得などに意欲的にチャレンジする生徒。

○基本的な生活習慣が身に付いており，学校生活において他の模範となる生徒。

○部活動や生徒会活動，校外活動などに積極的に取り組む意欲を持つ生徒。

学校名	宮城県石巻工業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	建築科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科・電気情報科・土木システム科・化学技術科

共通選抜

募集人数	24 人（募集定員の　60　％）
学力検査：調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　40　％）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　375 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．７５倍にする

合計　765 点

選抜方法

・審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１２０％の範囲に含まれる者（１９人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況
　　(3)将来の進路志望　(4)志望学科に関する質問
4　観点：(1)態度　３０点　(2)意欲　４０点　(3)表現力等　３０点

合計　625 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県石巻商業高等学校は，校是を「独立自尊」，校訓を「誠実，勤勉，協同，友愛，自律，創造」とし，商業の専門高校として商業に関する知識や技術を修得させ，新たな時代の地域や社会に貢献できる人材を育成します。また，実践的・体験的な学習活動を通して地域社会と積極的に関わりを持つなど，地域から期待される学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

1　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○商業教育をとおして，人との関わりを大切にできるコミュニケーション力を育成します。
○社会のルールやマナーを守ることの大切さを理解させ，倫理観や道徳心を醸成します。
○社会における諸課題を理解するとともに自身に関わる課題を主体的に解決する力を育成します。

＜コミュニケーション力＞　人間性，相手を敬う心，思いやり，誠実な対応，協働の精神
＜公共心＞　社会性，遵法のこころ，社会的慣習の尊重，命の尊さ
＜課題解決力＞　自主性，主体的な取組，創意工夫，実行し改善する力，継続する力

2　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○商業に関する基礎的な知識や技術の確実な修得及びより専門的な学びをとおして上級の資格取得を実現します。
→　基礎・基本となる普通教科の知識の定着をもとに，商業の学びの基礎となるビジネスに係る知識や技術を確実に身に付けさせ，より専門的な学びに繋げ上級の資格取得を目指します。
○商業の学びをとおして勤労観や職業観を涵養するとともに社会の変化に対応できる人材育成を目指したキャリア教育を推進します。
→　実習等の実践的・体験的な学習を積極的に取り入れ，主体的な学びの中で，将来，スペシャリストとして社会に貢献できる人材育成を目指します。
○生徒の進路希望や興味・関心等を踏まえ，多様な選択科目群や専門性を高めるための選択科目群を設定します。
→　確実な資格取得や進路実現のために多様な選択科目を設定するとともに，習熟度別やチームティーチングなどの授業形態を取り入れながら社会の要請に応えられる教育課程の編成に努めます。

3　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○商業の専門性を身に付け，自律した生活を営み，社会貢献を志す生徒
○商業の専門性を生かした資格取得のために，学習活動に真面目に取り組む生徒
○学習と部活動の両立に励み，文武両道を実践し，高い志をもって学校生活を送ることができる生徒
○本校の一員として自己の責任を果たすとともに，他者の立場を考慮し，円滑な人間関係を築きあげることができる生徒

学校名	宮城県石巻商業高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	総合ビジネス科	募集定員	160人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	112 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	5　：　5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	48 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　250 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする	合計 640　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４８人の１５０％の範囲に含まれる者（７２人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

石巻市立桜坂高等学校［全日制課程普通科］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

本校は「英知・精励・和敬」を校訓とし，地域の自然・歴史・文化を愛し，地域社会に貢献する人材の育成を目指しています。未来を生きる基盤となる資質・能力を身に付け，豊かな人間性や品格を持ち，地域の力になる人材を育成する県内唯一の公立女子高校として歩みます。

1　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

〇基盤となる知識や技能を習得し，主体的に学び，考え，行動し，多様な人々と協働して新たな価値を創造できる「未来創造力」を育成します。
〇積極的に心身の健康保持促進を図り，自らの夢や目標の達成のためにあきらめない「自己実現力」を育成します。
〇多様な個性を認め合い，他者を思いやる心と品格をもち，地域社会を支えていく人材となる「人間力」を育成します。

「未来創造力」とは，基礎学力，発想力，行動力，課題発見・解決力，主体性
「自己実現力」とは，自主性，自己有用感，自己研鑽力，レジリエンス
「人間力」とは，思いやり，礼儀・マナー，コミュニケーション力，地域貢献

2　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

〇「わかる」「できる」を実感し自信を得る学びと，変化の激しいこれからの時代を生きる生徒が未来を創造できる学びを実現します。
・少人数授業等，習熟に応じた細かな指導により，基盤となる基礎学力の定着を図ります。
・【学励探求コース】地域社会の担い手となるため，大学進学など進路希望の実現に適応する学力を養成します。
・【キャリア探求コース】地域社会の担い手となるため，地元への就職や進学など進路希望の実現に適応する学力を養成します。
・一人に１台のタブレット端末を活用し，地域と連携しながら探究的な学びや主体的・対話的で深い学びを実現し，高度に情報化していく社会に対応できるよう情報活用能力を育成します。
〇「高校生から素敵な女性へ」をテーマに，「桜坂タイム」と名付けたキャリア教育を通して，未来を切り拓く学びを実現します。
・地域を学びの場として捉え，地域と協働した探究的な学びを進め，地域との関わりや自分の果たすべき役割について考えを深めるとともに，コミュニケーション力やプレゼンテーション能力を育成します。
・様々な講習などを通して，女性としての品格を養成します。
〇自らの可能性に挑戦し困難から立ち直るしなやかさを獲得できる機会と，他者との関わりを通して自分を磨く機会を大事にした学びを実現します。
・生徒を中心とした学校行事の企画・運営により，自主性や主体性を育成します。
・部活動を通してスポーツや文化等に親しませ，学ぶ意欲の向上や責任感・連帯感等を育成します。

3　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

〇本校が掲げる「品格教育」「キャリア教育」「学力保証」の教育の三本柱に共感し，意欲的に学び取ろうとする生徒
〇好奇心や探究心が旺盛で，探究活動に能動的に取り組む生徒
〇部活動，委員会活動，学校行事等の活動において積極的に取り組む意欲のある生徒
〇【学励探求コース】本校での学習を踏まえ，さらに上級学校で専門的な知識や技能を習得し，地域を担う人材になる志を持つ生徒
【キャリア探求コース】本校での学習を通して社会人に必要な幅広い教養を身に付け，各種検定取得に積極的に取り組み，地域を支える人材になる志を持つ生徒

学校名	石巻市立桜坂高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科（学励探求コース）	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	キャリア探求コース

共通選抜

募集人数	40 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	40 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　270 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 770　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４０人の１２０％の範囲に含まれる者（４８人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

学校名	石巻市立桜坂高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科（キャリア探求コース）	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	学励探求コース

共通選抜

募集人数	40 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	40 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　270 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 770　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する４０人の１２０％の範囲に含まれる者（４８人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県気仙沼高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県気仙沼高等学校全日制課程は，「究理創造，和親協同，至誠励業」を校訓とし，「文武両道」の精神を尊重し，健全な心身と地域愛・国際的視野をもって，新しい時代に対応できる学力と創造的能力を発揮し，志の実現に向けて積極的に行動できる自立した生徒を育成します。教科の協働型学習，課題研究活動，志教育に力を入れ，予測困難な時代にあっても，社会を豊かにたくましく生きる基礎力として「グローバル・リテラシー」を養う学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

地域の自然や文化を尊び，地域への愛着をもって世界に直接アクセスし，対話によって合意を形成し行動できるグローバルリーダーの育成を目指すため，以下の資質・能力を有する人材を育成します。

○地域が抱える課題を理解し，グローバルに思考するため，課題を「つきつめる」科学的・批判的・総合的思考力を育成します。
○世界の人々を「つなげる」多様性を理解し，協調性を有する人材を育成します。
○持続可能な社会の実現のため，基礎・基本的な知識・技能を粘り強く，主体的に「つみあげる」人材を育成します。
○グローバルリーダーとして不可欠な，「つたえる」コミュニケーション力や語学力を育成します。
○震災の経験を活かして社会に貢献し，豊かな未来を創造する「つきぬける」行動力や未来思考力を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○２年次より２類型を設定します。
→１年次は，共通科目で基礎力重視の授業を展開します。２年次からは「創造人文類型」「創造理数類型」にわかれ，自ら考える力を養う課題探究型の授業を展開していきます。
○学校設定科目「地域社会研究」「課題研究」で科学的探究活動の習熟を目指します。
→地域あるいは世界に共通するグローバルな課題を理解し，科学的な手法を用いながら「グローバル・リテラシー」を育成します。
○震災・防災学習，地方創生につながる学びを展開します。
→大震災の経験を素材とする学びを，各教科・生徒会活動・委員会活動などにおいて教科等横断的に展開し，グローバルな観点から未来を創造し，その実現に向けて協働的に行動するスケールの大きな復興の担い手を育成します。
○多様な進路希望への対応と難関大学への進路実現を目指します。
→選択科目と学校設定科目を設置し，目標に至るまでの過程（模試や課外講習など）で確実に成果を出せるようなカリキュラムを編成するとともに，生徒の進路志望を実現するための質の高い授業を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

自己の志の実現に向けて，学び続ける強い意思をもち，次に当てはまる生徒を求めます。

○本校で学ぼうとする理由が明確で，大学進学など将来への目的意識をもち，自らの可能性に挑戦する生徒
○本校での学習活動に適応できる学力を有し，継続的に学習に取り組む強い意思のある生徒
○地域社会を理解し，グローバルな視点で未来社会を考えようとする生徒
○次の（１），（２）のいずれかに当てはまる生徒
（１）体育的活動，文化的活動，社会的活動等で顕著な実績を収めた生徒
（２）中学校の学習やその他の活動において，集団の核となって活動した生徒

学校名	宮城県気仙沼高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	240人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	168 人（募集定員の　70　％　）
学力検査：調査書	7　：　3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	72 人（募集定員の　30　％　）	
配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 695　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する７２人の１２０％の範囲に含まれる者（８６人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜

無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　50 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 将来の進路希望 (4) その他 4　観点：(1) 表現力等４０点　(2) 態度１０点	合計 575　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県南三陸高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県南三陸高等学校は，「真，和，敬」を校訓とし，県内唯一の地域連携型中高一貫教育校であることを生かし，中学校から高校までの６年間で，「たしかな学力」「かがやく個性」「ゆたかな社会性」を培い，広い視野で２１世紀を主体的に生きる，誠実で愛情豊かな人財を育成します。また，県内高校初となるコミュニティスクールとして地域の教育力を生かし，起業家的資質を高める教育活動を実践する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○中学校における教育の成果を更に発展拡充し，国際社会の優位な形成者として必要な資質を養います。

○社会において果たさなければならない使命を自覚し，個性に応じて自らの進路を選択できる高い志と生きる力を養います。

○社会の変化にも対応できる起業家的資質を持ち，豊かな感性と思いやりの心を持った，情操豊かな人格の形成に努めます。

○南三陸町高校魅力化協議会と連携し地域に貢献できる人財づくりに努めます。

→地域の復興や創生に，地域の状況を理解し，グローバルな視点を持って主体的に参画します。社会の様々な課題に対して，それぞれの立場から，他と協働しながら解決に当たろうとする人財を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○就職から大学進学まで，生徒一人一人の幅広い進路目標に対応しています。

○２年生から地域創造系と文理系に分かれます。

→地域創造系：学校設定科目を効果的に活用し，教育や医療福祉，一次産業・六次産業のつなぎ手や地域起業家人財の育成に努めます。

→文理系：大学進学希望者を対象としたカリキュラムで，進路希望に応じて必要な科目を選択することが可能です。

○地域課題を解決する探究活動を通して，社会人として必要な一般的な教養を身に付けます。

○習熟度別の授業や多様な選択科目を設定し，個に適した学びを実現します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校への志望理由が明確で，入学後も進路実現に向けて努力できる生徒。

○中学校において，部活動，生徒会活動，ボランティア活動等に意欲的に取り組み，入学後も継続して活動する意欲のある生徒。

○自覚を持って日々の諸活動に主体的に取り組もうとする生徒。

○これからの地域の担い手を目指し，地域社会に貢献できる生徒を全国から募集。

学校名	宮城県南三陸高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜/連携型選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	16 人（募集定員の　20　％ ）
学力検査:調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	16 人（募集定員の　20　％ ）	
配点	1　調査書　135 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする 3　面接　3段階評価（A～C）	合計 635　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１６人の１２０％の範囲に含まれる者（１９人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：集団面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況 (3) 高校生活への意欲　(4) その他 4　観点：(1) 態度　(2) 表現力等

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　3段階評価（A～C） 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

※募集定員には、連携型選抜の募集人数48人を含む。

学校名	宮城県南三陸高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	80人

連携型選抜（選抜方法等）

対象	令和９年３月に連携型中学校を卒業見込みの者
募集人数	**48** 人（募集定員の **60** ％）

配点

1　調査書　135 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする

音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　500 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

3　面接　3段階評価（A～C）

合計

635 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、連携型選抜で選抜する４８人の１２０％の範囲に含まれる者（５７人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

※ 第一次募集の特色選抜による合格者の数が、第一次募集の特色選抜の募集人数１６人に満たない場合、当該募集人数から当該合格者の数を減じた人数を連携型選抜の募集人数に加えることができる。

※ 連携型選抜によって選抜されなかった者は、第一次募集出願者と併せて、共通選抜でさらに１６人を選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：集団面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)高校生活への意欲　(4)その他 4　観点：(1)態度　(2)表現力等

宮城県南三陸高等学校［全日制課程（情報ビジネス科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県南三陸高等学校は，「真，和，敬」を校訓とし，県内唯一の地域連携型中高一貫教育校であることを生かし，中学校から高校までの６年間で，「たしかな学力」「かがやく個性」「ゆたかな社会性」を培い，広い視野で２１世紀を主体的に生きる，誠実で愛情豊かな人財を育成します。また，県内高校初となるコミュニティスクールとして地域の教育力を生かし，起業家的資質を高める教育活動を実践する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○中学校における教育の成果を更に発展拡充し，国際社会の優位な形成者として必要な資質を養います。

○社会において果たさなければならない使命を自覚し，個性に応じて自らの進路を選択できる高い志と生きる力を養います。

○社会の変化にも対応できる起業家的資質を持ち，豊かな感性と思いやりの心を持った，情操豊かな人格の形成に努めます。

○南三陸町高校魅力化協議会と連携し地域に貢献できる人財づくりに努めます。

→地域の復興や創生に，地域の状況を理解し，グローバルな視点を持って主体的に参画します。社会の様々な課題に対して，それぞれの立場から，他と協働しながら解決に当たろうとする人財を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○Society5.0 を見据え，AI が発展する次世代の社会に対応できる人財の育成を目指しています。

○専門科目の学習を通して，AI では作り出せない新しい価値を見いだす力を育む時間が充実しています。

→１年生では普通教科だけでなく商業に関する基礎科目をしっかりと学習します。

→２年生からは高度情報社会に対応するため，「プログラミング」など情報系の科目を中心に学びます。また，自ら課題を見つけて設定し研究する時間も充実しています。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○ビジネスや情報処理に強く関心をもち，本校への志望理由が明確で，入学後も進路実現に向けて努力できる生徒。

○中学校において，部活動，生徒会活動，ボランティア活動等に意欲的に取り組み，入学後も継続して活動する意欲のある生徒。

○自覚を持って日々の諸活動に主体的に取り組もうとする生徒。

○これからの地域の担い手を目指し，地域社会に貢献できる生徒を全国から募集。

学校名	宮城県南三陸高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	情報ビジネス科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜/連携型選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	8 人（募集定員の　20　％ ）
学力検査:調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	8 人（募集定員の　20　％ ）	
配点	1　調査書　135 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする 3　面接　3段階評価（A～C）	合計 635　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する８人の１２０％の範囲に含まれる者（１０人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：集団面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況 (3) 高校生活への意欲　(4) その他 4　観点：(1) 態度　(2) 表現力等

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　3段階評価（A～C） 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

※募集定員には、連携型選抜の募集人数24人を含む。

学校名	宮城県南三陸高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	情報ビジネス科	募集定員	40人

連携型選抜（選抜方法等）

対象	令和９年３月に連携型中学校を卒業見込みの者
募集人数	**24** 人（募集定員の **60** ％）

配点

1　調査書　135 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする

音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　500 点

国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

3　面接　3段階評価（A～C）

合計

635 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、連携型選抜で選抜する２４人の１２０％の範囲に含まれる者（２８人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

※ 第一次募集の特色選抜による合格者の数が、第一次募集の特色選抜の募集人数８人に満たない場合、当該募集人数から当該合格者の数を減じた人数を連携型選抜の募集人数に加えることができる。

※ 連携型選抜によって選抜されなかった者は、第一次募集出願者と併せて、共通選抜でさらに８人を選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：集団面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)高校生活への意欲　(4)その他 4　観点：(1)態度　(2)表現力等

宮城県本吉響高等学校［全日制課程（総合学科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県本吉響高等学校は，「響生，知性，至誠」を校訓とし，基礎的・基本的な学力の定着と向上，更に自ら学ぶ意欲の育成を図るとともに，社会性を身に付け，社会の一員としての自覚を持って地域に積極的に貢献する人材を育成します。また，生徒の多様な進路希望の自己実現を可能にする学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○自然や人と響き合い，環境と調和して生きていくことができる感性豊かな人間を育成します。
○ＩＣＴ教育を推進し，知的で且つ創造的に生きていくことができる人間を育成します。
○生徒一人一人の個性を生かすとともに，誠の心を持った人間形成や将来の自己実現に向け，志が高い生徒を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

１年次の「産業社会と人間」では，地域の会社訪問や社会人講話などをとおして職業観を養います。また，本校の活動に加え，専門学校との単位互換も行うことで，より専門的な知識・技術を習得できます。

２年次からは，必修科目に加え，自分で選択した「系列」で授業を受けます。

○「進学教養」系列では，普通科目を重点的に学習し，基本的な知識を身に付けます。
○「産業情報」系列では，商業・工業の科目を中心に学習し，専門知識・技術を身に付けます。
○「生活表現」系列では，芸術科目を中心に学習し，専門知識や技能を身に付けるだけでなく，幅広い表現力を磨き，人間性を養います。
○「人間環境」系列では，理科・農業・家庭科の科目を中心に学習し，自然環境と人間活動との関わりを学びます。また，福祉の科目では社会福祉に関する知識や技術を体験的に学び，介護職員初任者研修の資格取得が可能です。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校で学ぼうとする明確な目標を持ち，学校生活に自主的・創造的に臨む生徒
○基本的な生活習慣が身に付いており，互いの立場を考え，他者とのコミュニケーションを取ることができる生徒
○進路実現に向かって継続的に努力し，進学教養・産業情報・生活表現・人間環境のいずれかの分野に強い興味・関心のある生徒
○部活動や特別活動等に熱心に取り組み，入学後も諸活動に意欲的に取り組むことができる生徒

学校名	宮城県本吉響高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	総合学科	募集定員	120人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	60 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	6　：　4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	60 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 890　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する６０人の１２０％の範囲に含まれる者（７２人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点	合計 525　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県気仙沼向洋高等学校［全日制（情報海洋科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県気仙沼向洋高等学校は，「尚志，創造，力行」を校訓とし，３年間の専門教育を通して，高い専門的な知識・技能を身に付け，多様な人々と協働できる社会性のある人材を育成するとともに，時代の変化に伴う諸問題の解決に向けて粘り強く挑戦し，地域社会の発展に寄与できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

〇確実な基礎学力に支えられた高い専門的知識・技能の定着
〇さまざまな考えを持った人々と共に働ける協調性・コミュニケーション力の育成
〇時代の変化に伴う地域社会の諸問題に主体的に挑戦する行動力と，その解決に向けて粘り強く取り組む強固な意志力の育成

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

（１）電子・電気通信及び海洋に関する基本的な知識と専門分野の教育を体系的に組み合わせる。
（２）地域社会の発展に寄与できる人材を育成するため，類型別に専門的知識や技術を体系的に身に付ける。
（３）【海洋類型】
地域の海洋環境を生かし，海または水産動植物等の自然に親しみ，海洋資源を持続的に活用できる人材を育成する。
【情報電子類型】
地域の産業構造の変化や情報化，技術革新の進展に対応できる職業人を育成する。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

（１）電子・情報・通信または海洋に関する学習に強い興味・関心があり，本校入学後は専門知識や技術・技能の習得と専門分野での就職や大学等への進学を目指す生徒
（２）教科以外の活動（部活動，生徒会活動，課外活動，その他校内外での諸活動）にも積極的かつ意欲的に取り組もうとする生徒
（３）基本的生活習慣が身に付いており，他者と望ましい人間関係を築こうとする生徒
（４）日々の授業を大事にし，基礎的・基本的な知識をしっかり身に付けようと努力する生徒
（５）基礎学力が定着しており，専門知識を学びたい生徒

学校名	宮城県気仙沼向洋高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	情報海洋科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	産業経済科、機械技術科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 890　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１２０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　3段階評価（A～C） 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 社会的関心 (4) 自己理解 4　観点：(1) 態度　(2) 表現力等	合計 495　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県気仙沼向洋高等学校［全日制（産業経済科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県気仙沼向洋高等学校は，「尚志，創造，力行」を校訓とし，３年間の専門教育を通して，高い専門的な知識・技能を身に付け，多様な人々と協働できる社会性のある人材を育成するとともに，時代の変化に伴う諸問題の解決に向けて粘り強く挑戦し，地域社会の発展に寄与できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

〇確実な基礎学力に支えられた高い専門的知識・技能の定着
〇さまざまな考えを持った人々と共に働ける協調性・コミュニケーション力の育成
〇時代の変化に伴う地域社会の諸問題に主体的に挑戦する行動力と，その解決に向けて粘り強く取り組む強固な意志力の育成

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

（１）時代の変化に対応可能な人材育成を目指して，生徒一人一人が主体的にキャリア形成できるように，就職・進学に広く対応できる基礎学力を養う。
（２）普通教科との単位数のバランスを取り，水産科目と商業科目で生産から消費に到るプロセスを多角的に学習し，幅広い社会感覚を養う。
（３）地域産業との関わりに注目した広い視野を持ち，食を科学的に捉える力を養うために１年次より基礎的な知識技術を身に付ける。その上でアウトプット能力を高めることにより地域社会に貢献できる力を養う。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

（１）食品や流通に関する学習に強い興味・関心があり，本校入学後は専門知識や技術・技能の習得と専門分野での就職や大学等への進学を目指す生徒
（２）教科以外の活動（部活動，生徒会活動，課外活動，その他校内外での諸活動）にも積極的かつ意欲的に取り組もうとする生徒
（３）基本的生活習慣が身に付いており，他者と望ましい人間関係を築こうとする生徒
（４）日々の授業を大事にし，基礎的・基本的な知識をしっかり身に付けようと努力する生徒
（５）基礎学力が定着しており，専門知識を学びたい生徒

学校名	宮城県気仙沼向洋高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	産業経済科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	情報海洋科、機械技術科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

合計　890 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１２０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
- 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　3段階評価（A～C）
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 社会的関心
　　(4) 自己理解
4　観点：(1) 態度　(2) 表現力等

合計　495 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県気仙沼向洋高等学校［全日制（機械技術科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県気仙沼向洋高等学校は，「尚志，創造，力行」を校訓とし，３年間の専門教育を通して，高い専門的な知識・技能を身に付け，多様な人々と協働できる社会性のある人材を育成するとともに，時代の変化に伴う諸問題の解決に向けて粘り強く挑戦し，地域社会の発展に寄与できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

〇確実な基礎学力に支えられた高い専門的知識・技能の定着
〇さまざまな考えを持った人々と共に働ける協調性・コミュニケーション力の育成
〇時代の変化に伴う地域社会の諸問題に主体的に挑戦する行動力と，その解決に向けて粘り強く取り組む強固な意志力の育成

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

（１）地域内外で活躍する工業人を育てるために，実技や体験を通して深い学びを目指す。
（２）２年次から類型選択により，探究的な学習を進め，地域連携・長期インターンシップ等を通して職業観を醸成し，課題解決能力の向上を目指す。
（３）「共通専門科目」:“基幹技術と先端技術の融合”をテーマにメカトロニクスを通して，様々な技術を体系的に学び，洞察し応用する力を養う。

【生産技術類型】
材料の成り立ちや加工技術，管理技術の学習によって，物理的・化学的な視点でものづくりを捉え，生産に対する技術・思考の深化を目指す。

【情報技術類型】
情報処理に欠かせないプログラミングやＩｏＴ，ＡＩ等の学習によって，コンピュータをハード・ソフト両面で捉え，情報処理に対する技術・思考の深化を目指す。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

（１）ロボット・機械・プログラミングなどのものづくりに強い興味・関心があり，本校入学後は専門知識や技術・技能の習得と専門分野での就職や大学等への進学を目指す生徒
（２）教科以外の活動（部活動，生徒会活動，課外活動，その他校内外での諸活動）にも積極的かつ意欲的に取り組もうとする生徒
（３）基本的生活習慣が身に付いており，他者と望ましい人間関係を築こうとする生徒
（４）日々の授業を大事にし，基礎的・基本的な知識をしっかり身に付けようと努力する生徒
（５）基礎学力が定着しており，専門知識を学びたい生徒

学校名	宮城県気仙沼向洋高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	機械技術科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	情報海洋科、産業経済科

共通選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）
学力検査：調査書	５　：　５

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	20 人（募集定員の　50　％　）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする	合計 890　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する２０人の１２０％の範囲に含まれる者（２４人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし	

社会人特別選抜	無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　195 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　3段階評価（A～C） 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 社会的関心 (4) 自己理解 4　観点：(1) 態度　(2) 表現力等	合計 495　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県白石高等学校七ヶ宿校［定時制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県白石高等学校七ヶ宿校は，心身ともに健全で，社会に貢献するとともに，社会をリードできる有為な人材を育成します。３修制（３ヶ年で卒業できる制度）を取り入れた昼間定時制高校として，小規模校の特色を生かして基礎学力の向上を目指します。また，学校行事や地域社会との交流を通じて豊かな人間性や社会性を養うとともに，地域社会に貢献できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

1　主体的・対話的な学びを通して，「基礎知識・スキル」と「思考力・表現力」を育成する。
2　ICT（Google Workspace for Education 等）活用を推進し，生徒の主体的な学習習慣を育成する。
3　個に応じた学習指導により基礎学力の向上を目指し，豊かな人間性・社会性を養う。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

1　「学び直し」学習の支援ならびに国語・数学・英語の習熟度別学習による学力向上
2　地域の自然・人的資源を活用した，「総合的な探究の時間」の実践
3　言語による自己表現能力を育てる，学習活動の実践
4　生徒の主体的な活動・取組の推進および望ましい人間関係の確立
5　生徒会活動等の一層の活性化によるリーダーシップ力の育成
6　学校生活におけるルールとマナーの徹底とコミュニケーションスキルの向上
7　生徒の希望・適性に応じたインターンシップの充実と就労意識の醸成
8　模擬面接・作文指導の充実ならびに社会人としてのマナーの習得
9　町内各種行事やボランティア活動への参加を通して地域社会の一員としての自覚を深める

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

1　本校を志望する理由が明確で，本校及び社会のルールを守り，他者と協力して高校生活を送ろうと考えている生徒
2　基本的な生活習慣が身に付いており，社会人として自立した人間になろうと努力する生徒
3　自分の将来について明確な目標を持ち，その実現のために高校での学習活動等に積極的に取り組む生徒
4　中学校において，学習活動，特別活動や部活動に真剣に取り組んだ生徒
5　地域社会へ貢献しようと考えている生徒

学校名	宮城県白石高等学校七ヶ宿校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	8 人（募集定員の　20　％ ）
学力検査：調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	32 人（募集定員の　80　％ ）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

3　面接　100 点

合計　795 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３２人の１２０％の範囲に含まれる者（３８人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接（※１日目に実施）	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 高校生活への展望 (4) 将来の進路志望　(5) その他 4　観点：(1) 意欲・目的意識　５０点　(2) 態度　１０点 (3) 表現力等　４０点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　200 点
- 国語、数学　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１５分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　495 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県名取高等学校［定時制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県名取高等学校定時制課程は，夜間に学ぶ４年制の普通科です。もう一度学び直したいと思う生徒，小さな集団の中であれば学校生活を送ることができる生徒，家庭の経済状況などの理由でアルバイトをしながら勉強をして進路実現を果たしたい生徒等の多様なニーズに応えていく学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○自ら学び自ら考える力を育成します。

○自らの行動や生活を律する力を育成します。

○思いやりをもって多様な人たちと協力する力を育成します。

○地域とつながり仕事をして生きていく力を育成します。

○生涯にわたりたくましく生きるための健やかな身体と心を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○基礎基本の定着と学力向上のための教育課程の編成を重視します。

○学校行事による体験的な学びと地域と連携した活動による学びを実現します。

○個に応じた支援のための充実した組織的教育相談を実施します。

○多様な生徒に応じたキャリア教育を実施します。

○完全給食制による食育の充実を図ります。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○集団の一員としてルールを遵守し，思いやりや協調性をもって，よりよい日常生活を送ることができる生徒

○社会的自立を目指し，基礎学力や基本的生活習慣を身に付けようと努力し続ける生徒

○夜間定時制課程の特長を活かして，卒業に向けて努力しながら，学校生活を送ることができる生徒

学校名	宮城県名取高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査：調査書	6 ： 4

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は６：４とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）

配点

1　調査書　135 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５０倍にする

3　面接　200 点

合計　585 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の１２０％の範囲に含まれる者（４３人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校までの活動状況　(3) 高校生活への抱負 (4) 本校への理解　(5) 将来の夢・希望　(6) その他 4　観点：(1) 理解力　１００点　(2) 継続力　５０点 (3) 関心・意欲・態度　５０点

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　135 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　200 点
- 国語、数学　：　各教科１００点満点

3　面接　200 点
1　形態：個人面接
2　時間：１５分程度
3　内容：第一次募集と同じ
4　観点：第一次募集と同じ

合計　535 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

仙台市立仙台工業高等学校［定時制課程］の建築土木科　スクール・ポリシー

◎仙台市立仙台工業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針：（「仙台市教育構想 2026」より）

○工業教育の基礎・基本の充実や資格取得の推進を図る。

○地域や産業界と連携し，実践的な技能・技術の獲得と確かな職業観の醸成に取り組む。

学校教育目標（4 年間のイメージ）：

「自分を変えたい」「ものづくりが好き」という思いを大切にし、本校での４年間でゆっくりステップアップしながら、地域社会に貢献できる人材を育成します。

〈４年間のイメージ〉

１年目　　：　無理せず学校に通う習慣を作る期間。

２・３年目：　アルバイトや資格取得に挑戦し、社会での自信をつける期間。

４年目　　：　自分の決めた進路を叶えるための期間。

勉強と仕事を両立しながら自立を目指し、先生や仲間と一緒に成長していける学校です。

１　グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

◆育てたい５つの資質

○たくましく生きる力と思いやるこころ　　○基本的な生活習慣の確立

○社会とかかわる力　○学び続ける姿勢　　○強い精神力と豊かな創造力

２　カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

○１年次は建築及び土木に共通する基礎的な内容を学び，２年次より建築または土木を選択し，それぞれの技術者として必要な専門分野を学びます。

○建築では木構造に関する内容を中心に学び，さらに鉄筋コンクリート構造，鋼構造などに関する内容も学びます。また，建築工事に必要な設計製図や木材加工をはじめ，施工や法規などを基礎から応用まで幅広く学びます。

○土木では土木工事の基礎となる測量や土木施工を中心に学び，関連する測量実習や各種実習の他，製図・ＣＡＤ等を通し基礎から応用まで幅広く知識と技能を身に着けます。また建設業に必要な２級土木施工管理技士補の合格を目指します。

３　アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

○「今の自分を変えたい、新たなことにチャレンジしたい」と思う生徒

○「できた！」「分かった！」を積み重ねて、自信を育てたい生徒

○朝は苦手だけど、夕方からなら頑張れる生徒

○ものづくりに興味・関心がある生徒

○周りの人を大切にしながら、温かい関係を築きたい生徒

学校名	仙台市立仙台工業高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	建築土木科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械システム科

共通選抜

募集人数	8 人（募集定員の　20　％ ）
学力検査：調査書	7 ： 3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	32 人（募集定員の　80　％ ）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

3　面接　4段階評価（A～D）

合計　445 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から，特色選抜で選抜する３２人の１２０％の範囲に含まれる者（３８人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 将来の進路希望　(4) その他 4　観点：(1) 態度　(2) 意欲　(3) 表現力等

社会人特別選抜	有	選抜方法	国語と数学の学力検査及び面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　200 点
- 国語、数学　：　各教科１００点満点

3　面接　4段階評価（A～D）
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１５分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　395 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

仙台市立仙台工業高等学校［定時制課程］の機械システム科　スクール・ポリシー

◎仙台市立仙台工業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針:（「仙台市教育構想 2026」より）

○工業教育の基礎・基本の充実や資格取得の推進を図る。

○地域や産業界と連携し、実践的な技能・技術の獲得と確かな職業観の醸成に取り組む。

学校教育目標（4 年間のイメージ）:

「自分を変えたい」「ものづくりが好き」という思いを大切にし、本校での４年間でゆっくりステップアップしながら、地域社会に貢献できる人材を育成します。

〈４年間のイメージ〉

１年目　　：　無理せず学校に通う習慣を作る期間。

２・３年目：　アルバイトや資格取得に挑戦し、社会での自信をつける期間。

４年目　　：　自分の決めた進路を叶えるための期間。

勉強と仕事を両立しながら自立を目指し、先生や仲間と一緒に成長していける学校です。

１　グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

◆育てたい５つの資質

○たくましく生きる力と思いやるこころ　　○基本的な生活習慣の確立

○社会とかかわる力　○学び続ける姿勢　　○強い精神力と豊かな創造力

２　カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

○はじめは機械や電気に関する基礎的な内容から学び、徐々に応用的な内容を学習していくとともに、実技を通じ機械分野への興味関心を高めます。

○機械の学習では、図面の読み方や測定方法から始まり、金属加工作業や設計、溶接作業、内燃機関、制御に関する内容など幅広く学びます。

○電気の学習では、電気の基礎について学び、発電や屋内配線などについて学びます。

○技能検定や電気工事士などの資格取得に対応できる知識と技術力を身につけます。

３　アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

○「今の自分を変えたい、新たなことにチャレンジしたい」と思う生徒

○「できた！」「分かった！」を積み重ねて、自信を育てたい生徒

○朝は苦手だけど、夕方からなら頑張れる生徒

○ものづくりに興味・関心がある生徒

○周りの人を大切にしながら、温かい関係を築きたい生徒

学校名	仙台市立仙台工業高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	機械システム科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	建築土木科

共通選抜

募集人数	8 人（募集定員の　20　％ ）
学力検査:調査書	7 ： 3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	32 人（募集定員の　80　％ ）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

3　面接　4段階評価（A～D）

合計　445 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から，特色選抜で選抜する３２人の１２０％の範囲に含まれる者（３８人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 将来の進路希望　(4) その他 4　観点：(1) 態度　(2) 意欲　(3) 表現力等

社会人特別選抜	有	選抜方法	国語と数学の学力検査及び面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　200 点
- 国語、数学　：　各教科１００点満点

3　面接　4段階評価（A～D）
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１５分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　395 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県古川工業高等学校［定時制課程（機械科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県古川工業高等学校定時制課程は，「友愛，誠実，勇気・健康」を校訓とし，各学科の専門的な学びを展開することで，自立した社会人になるための基本的な学力やコミュニケーション力を着実に身に付け，地域を理解し地域の発展のために貢献しようとする，地域愛に溢れた人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○自発的に学び，かつ考え，行動できる個性豊かな人間を育成します。
○協同精神を重んじ，平和的な社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育成します。
○一般教養を高めるとともに，工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，工業技術の諸問題を主体的・合理的かつ倫理観をもって判断できる思考態度を育成します。
○工業教育全般を通して，環境問題や安全意識の高揚を図り，望ましい職業観や勤労観を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○共通科目４７単位，専門科目２９単位，特別活動４単位の合計８０単位を４年間で習得します。
○各種工作機械，溶接等の実習を通して機械の基本的な技術を学び，更にコンピュータ，ＣＡＤ，ワープロ等，社会の情報化にも対応できるような様々な技術を習得します。
○４年生では，自分達が決めたテーマで１年間課題研究に取り組み，研究成果を発表しています。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○機械の原理やしくみに対する興味・関心があり，自ら製作実習や実験の作業に安全かつ積極的に取り組むことができる生徒。
○定時制課程（夜間）において，卒業に向けて前向きに学業に励む生徒。
○基本的生活習慣が確立していて，道徳やルールを守ることができる生徒。
○中学校で学習や生活に意欲的に取り組んだ生徒。
○資格取得に挑戦するなど，将来は機械系の専門分野への就職を目指す生徒。

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	電気科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	機械科

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査：調査書	3 ： 7

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は３：７とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　125 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．２５倍にする

3　面接　515 点

合計　1030 点

選抜方法
- 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の１２０％の範囲に含まれる者（４３人）を対象として行う。
- 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望動機・学習意欲　(2) 基本的生活習慣・中学校生活 (3) 生活・行動　(4) 興味関心　(5) その他 4　観点：(1) 態度　８０点　(2) 表現力等　４３５点

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　200 点
- 国語、数学　：　各教科１００点満点

3　面接　4段階評価（A～D）
1　形態：個人面接
2　時間：１５分程度
3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校生活　(3) 入学後の生活
(4) その他
4　観点：(1) 態度　(2) 表現力等

合計　590 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県古川工業高等学校［定時制課程（電気科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県古川工業高等学校定時制課程は，「友愛，誠実，勇気・健康」を校訓とし，各学科の専門的な学びを展開することで，自立した社会人になるための基本的な学力やコミュニケーション力を着実に身に付け，地域を理解し地域の発展のために貢献しようとする，地域愛に溢れた人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○自発的に学び，かつ考え，行動できる個性豊かな人間を育成します。
○協同精神を重んじ，平和的な社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育成します。
○一般教養を高めるとともに，工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，工業技術の諸問題を主体的・合理的かつ倫理観をもって判断できる思考態度を育成します。
○工業教育全般を通して，環境問題や安全意識の高揚を図り，望ましい職業観や勤労観を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○共通科目４７単位，専門科目２９単位，特別活動４単位の合計８０単位を４年間で習得します。
○電気に関する一般知識を学習し，コンピュータや電気工事などの実習を通して将来の仕事に役立つ技術を習得します。
○４年生では，自分達が決めたテーマで１年間課題研究に取り組み，研究成果を発表しています。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○電気・電子・情報に対する興味・関心があり，自ら電気実習や実験の作業に安全かつ積極的に取り組むことができる生徒。
○定時制課程（夜間）において，卒業に向けて前向きに学業に励む生徒。
○基本的生活習慣が確立していて，道徳やルールを守ることができる生徒。
○中学校で学習や生活に意欲的に取り組んだ生徒。
○資格取得に挑戦するなど，将来は電気系の専門分野への就職を目指す生徒。

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	機械科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	電気科

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査:調査書	3 ： 7

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は３：７とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　125 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．２５倍にする

3　面接　515 点

合計　1030 点

選抜方法
- 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の１２０％の範囲に含まれる者（４３人）を対象として行う。
- 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望動機・学習意欲　(2) 基本的生活習慣・中学校生活 (3) 生活・行動　(4) 興味関心　(5) その他 4　観点：(1) 態度　８０点　(2) 表現力等　４３５点

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　200 点
- 国語、数学　：　各教科１００点満点

3　面接　4段階評価（A～D）
1　形態：個人面接
2　時間：１５分程度
3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校生活　(3) 入学後の生活
(4) その他
4　観点：(1) 態度　(2) 表現力等

合計　590 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県佐沼高等学校［定時制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県佐沼高等学校定時制課程は，「至誠，献身・窮理・力行」（献身・窮理・力行の三徳を至誠をもって貫く）を校訓とし，21世紀の国際社会を生き抜くことができる英知，健全な心身を持った徳性の高い人材を育成します。生徒の学習への興味・関心を高め，基礎的・基本的事項の確実な定着を図るとともに，多様な生徒に対してもきめ細やかな対応に努め，生徒一人一人の個性や適性を最大限生かし，充実した学校生活が送れるよう指導・支援することにより，地域で重要な役割を果たす学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

本校の教育目標に掲げる人間像は，

〇豊かな人間性と高い志をもち，社会に貢献できる人間

〇知性を磨き，礼節をわきまえた品性の高い人間

〇真理を求め，正義を愛し，何事にも真摯に取り組む人間

であり，これまで就業しながら学業に熱心に励む「働きながら学ぶ定時制」として，地域に役立つ人間の育成に努めてきました。今後も教育方針として，次のような生徒を育成します。

〇自立した人間として地域社会に貢献できる生徒

〇主体的に学ぶ意欲と態度を大切にし，学力向上に努める生徒

〇心身の健康保持増進を図り，礼節と勤労を重んじ，責任感と協調性を持つ実践力のある生徒

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

〇規律ある授業づくりに努めるとともに，個に応じた指導を通して，生徒の学ぶ意欲を引き出し，基礎学力の定着を図ります。

〇主体的・対話的な深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むため，教員が互いに授業を見合う場や協働して学び合う場を設定するとともに，ＩＣＴ機器の活用の充実に努めます。

〇総合的な探究の時間の充実と，指導と評価の一体化に基づく学習評価を進めます。

〇基本的な礼儀を身に付けさせ，社会に適応できる能力や態度を養います。

〇自分の生き方を主体的に考え，進路選択できるような情報を提供し，適切な指導・助言に努めます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

〇基本的な生活習慣の確立と個性の伸長に努力できる生徒

〇夢や目標，進路の実現に向けて継続的に努力し，日々の授業を大切にする生徒

〇積極的に社会と関わり，就業体験等の活動に主体的に取り組もうとする生徒

〇本校で学ぼうとする意志が明確で，学校生活に意欲的に取り組む生徒

学校名	宮城県佐沼高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査：調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）

配点

1　調査書　195 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　500 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

3　面接　50 点

合計　745 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の１２０％の範囲に含まれる者（４３人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 将来の進路希望　(4) その他 4　観点：(1) 態度　２０点　(2) 理解と反応　１０点　(3) 意欲　等　２０点

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　240 点
- 国語、数学　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、英語、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　200 点
- 国語、数学　：　各教科１００点満点

3　面接　50 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１０分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　490 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県石巻北高等学校飯野川校［定時制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県石巻北高等学校飯野川校は，「進取，自愛，和協」を校訓とし，各年次１クラス，計４クラスの小規模校のメリットを活かし，基礎基本からの学びをモットーに教育活動を展開します。そして，生徒一人一人の可能性を伸ばし，地域を支え，地域の人々と共に生きることができる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

生徒一人一人が高い「志」を持って主体的に学校生活を送ることで，自らの未来を切り拓いていくたくましい力を身につけることができる生徒の育成を目指します。

＜知　識＞自ら考え，学び続けることのできる生徒
＜情　操＞心豊かで，明るく楽しく，節度ある態度で学校生活を送ることのできる生徒
＜寛　容＞相手の立場を理解し，思いやりの気持ちをもつことのできる生徒
＜社会性＞社会の中で自ら正しく判断し，行動できる自立心のある生徒
＜根　気＞問題解決に前向きに取り組み，努力し続けることのできる生徒
＜勤　労＞社会で通用する知識や技能を身に付け，望ましい勤労観や職業観を持つことができる生徒
＜健　康＞心身の鍛錬に努め，健康でたくましく生活ができる生徒

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

４年間で教科・科目７２単位，総合的な探究の時間４単位，特別活動４単位，計８０単位を学びます。各教科では基礎・基本から学習し，生徒全員が理解を深められるよう，熱意を持って指導しています。国語・数学・英語の３教科では「習熟度別授業」を実施しています。さらに，これらの３教科では学び直し担当の教員が配置されています。

学校外での学修成果を学校長が教育上有益と認めたときは，自校の科目の履修とみなし，自校の単位として認定します。認定された単位は卒業要件に繰り入れることができます。３年次終了時に修得単位が７４単位以上である生徒は３年間で卒業をすることができます。

主な学校外での学修

①定通併修合格科目の単位認定
②高大接続による石巻専修大学での聴講
③石巻高等技術専門校での体験学習
④長期休業中のボランティア活動
⑤長期休業中のインターンシップ
⑥各種資格取得（技能審査）
⑦高卒程度認定試験合格科目の単位認定

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校志望の意志が強く，将来の展望をもって努力できる生徒
○基本的生活習慣が身に付いており，校則など基本的な約束事を主体的に守る生徒
○社会で必要とする知識を身に付けるため，基礎・基本から着実に学び，学習に意欲的に取り組む生徒
○インターンシップやボランティア活動など，学校外における学修等の活動に関心を持ち，活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県石巻北高等学校飯野川校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査：調査書	7 ： 3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）	
配点	1　調査書　48.75 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を０．２５倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を０．５倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする 3　面接　250 点	合計 798.75 点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の１２０％の範囲に含まれる者（４３人）を対象として行う。 ・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) 将来の進路希望 (4) その他 4　観点：(1) 態度　８０点　(2) 表現力等　１７０点

社会人特別選抜　無

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　250 点 1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 775 点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県気仙沼高等学校［定時制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県気仙沼高等学校定時制課程は，「究理創造，和親協同，至誠励業」を校訓とし，「勤労以進学」の精神を尊重し，社会的自立を果たすための土台をつくり，社会に貢献できる人材を育成します。また，勤労しながら学ぼうとする生徒や様々な事情を抱えている生徒，あるいは人生の様々な段階で学びの必要な人に学びの場を届け，充実した生活の実現を支援します。そして，震災の経験を生かしながら，地域の自然や文化を尊び，地域社会に参画することで自らの果たすべき役割を探求し，志の実現を目指して学び続ける人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○生徒一人一人が将来について深く考え，自己を理解し，目標の実現に向けて自身を探求し学び続ける力を育成します。

○生徒一人一人が学校活動の中で主役になれる場をつくり，集団活動の良さを実感させ，地域社会の一員として貢献できる力を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導により，生徒の目標と適性に合わせて，「三年修業制」や「定通併修制」など多様な学びの機会を用意します。

○「学び直し」を取り入れた「分かる授業」づくりを進め，基礎学力の向上を図るとともに，言語活動やＩＣＴ機器を活用した授業により「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進します。

○学校設定科目「校外学修」を実施し，インターンシップやボランティア活動など体験的・実践的な活動を通して望ましい職業観・勤労観を身に付けさせます。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

本校では，入学者の「これまでがどうだったか」より，「これからどうするのか」を大切にしていきます。これまでの学校生活において自己の能力や適性を十分に生かし切れなかった人も，本校で日々の授業を大切にすることにより，自らの目標の実現に挑戦していくことを強く望みます。

よって本校では，次の全てに当てはまる生徒を求めます。

○働きながら学ぶことを強く望み，気仙沼高校定時制で学びたいと思う生徒

○社会で自立するために，基礎・基本となる学力の習得に取り組み，毎日の授業を大切にする生徒

○他者の立場を尊重し，思いやりの心と協調性をもつ人，かつ，粘り強く物事に取り組み，最後まであきらめずに成し遂げることを目指す生徒

学校名	宮城県気仙沼高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査：調査書	3 ： 7

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は３：７とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）

配点

1　調査書　48.75 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を０．２５倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を０．５倍にする

2　学力検査　125 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．２５倍にする

3　面接　100 点

合計　273.75 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の１２０％の範囲に含まれる者（４３人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校（職場、前籍校）での活動・生活状況 (3) 入学後に取り組みたいこと　(4) その他 4　観点：(1) 学校生活に対する意欲　６０点 (2) コミュニケーション能力　４０点

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　48.75 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を０．２５倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を０．５倍にする

2　学力検査　50 点
- 国語、数学　：　各教科２５点満点

3　面接　100 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１５分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　198.75 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県第二工業高等学校［定時制課程（電子機械科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県第二工業高等学校は，「明朗闊達（かったつ），勤労愛好」を校訓とし，４年間の夜間定時制課程において，昼間に働きながら学ぶことで，地域社会における健全で持続的な発展を担う社会人を育成します。また，電子機械科と電気科の２学科において，地域企業の技能者による実技指導や社会人講話をはじめとしたキャリア教育などの様々な取組を実践し，地域と共に未来の担い手を育てる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○民主的で教養豊かな社会人を育成します。
○基本的な生活習慣と社会性を身に付け，自立できる力を育成します。
○高い「倫理観」と「責任感」を養い，「判断力」「行動力」に富む社会人を育成します。
○進展する科学技術に対応できる工業人として必要な力を基礎学力の定着から育成します。
○電子機械技術の諸課題を発見し，主体的，協働的に解決する能力と態度を育成します。
○資格取得などをとおして，関連する知識や技術の習得につなげます。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科では，基礎・基本の学びを重視します。
　→社会生活で必要となる教養，社会性を養います。
○専門教科では，実践的・体験的な科目による学びを重視します。
　→地域と連携し，工業人として必要な知識，技術・技能を養います。
　→ガス溶接技能講習登録教習機関として，関連する知識や技術の基礎力を養います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○少人数で個に応じたきめ細かい指導により，基礎から学び，豊かな高校生活を送りたい生徒
○ものづくりや電子機械技術に興味がある生徒
○資格取得や様々な取組により優れた技術者を目指そうとする生徒
○働きながら工業技術を学ぼうとする意欲のある生徒
○仲間と助け合いながら高校生活に取り組もうとする生徒

学校名	宮城県第二工業高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	電子機械科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	電気科

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査:調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）

配点

1　調査書　97.5 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を０．５倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査　250 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

3　面接　100 点

合計　447.5 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の１２０％の範囲に含まれる者（４３人）を対象として行う。

・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 高校生活への抱負　(3) 中学時代の活動状況　(4) その他 4　観点：(1) 態度　２０点　(2) 表現力等　８０点

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接及び作文を実施する（面接・作文については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　180 点
- 国語、数学　：　全学年の評定を０．７５倍にする
- 社会、英語、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．５倍にする

2　学力検査　150 点
- 国語、数学　：　各教科７５点満点

3　面接　100 点
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１０分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　430 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県第二工業高等学校［定時制課程（電気科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県第二工業高等学校は，「明朗闊達（かったつ），勤労愛好」を校訓とし，４年間の夜間定時制課程において，昼間に働きながら学ぶことで，地域社会における健全で持続的な発展を担う社会人を育成します。また，電子機械科と電気科の２学科において，地域企業の技能者による実技指導や社会人講話をはじめとしたキャリア教育などの様々な取組を実践し，地域と共に未来の担い手を育てる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○民主的で教養豊かな社会人を育成します。
○基本的な生活習慣と社会性を身に付け，自立できる力を育成します。
○高い「倫理観」と「責任感」を養い，「判断力」「行動力」に富む社会人を育成します。
○進展する科学技術に対応できる工業人として必要な力を基礎学力の定着から育成します。
○電気技術の諸課題を発見し，主体的，協働的に解決する能力と態度を育成します。
○電気工事士や電気主任技術者として活躍できる技術者を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科では，基礎・基本の学びを重視します。
　→社会生活で必要となる教養，社会性を養います。
○専門教科では，実践的・体験的な科目による学びを重視します。
　→地域と連携し，工業人として必要な知識，技術・技能を養います。
　→「第三種電気主任技術者認定校」として，電気工作物の電気保安を担う電気主任技術者を育成します。（卒業後に実務経験が３年必要）

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○少人数で個に応じたきめ細かい指導により，基礎から学び，豊かな高校生活を送りたい生徒
○電気技術に興味がある生徒
○国家資格の取得や様々な取組により優れた技術者を目指そうとする生徒
○働きながら工業技術を学ぼうとする意欲のある生徒
○仲間と助け合いながら高校生活に取り組もうとする生徒

学校名	宮城県第二工業高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	電気科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜　→　共通選抜
第2志望とすることができる学科・コース	電子機械科

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査:調査書	5 ： 5

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は５：５とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）	
配点	1　調査書　97.5 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を０．５倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする 2　学力検査　250 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする 3　面接　100 点	合計 447.5　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の１２０％の範囲に含まれる者（４３人）を対象として行う。 ・学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 高校生活への抱負　(3) 中学時代の活動状況 (4) その他 4　観点：(1) 態度　２０点　(2) 表現力等　８０点

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接及び作文を実施する（面接・作文については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　180 点 国語、数学　：　全学年の評定を０．７５倍にする 社会、英語、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．５倍にする 2　学力検査　150 点 国語、数学　：　各教科７５点満点 3　面接　100 点 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 430　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県貞山高等学校［定時制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県貞山高等学校は，「自立，友愛，創造」を校訓とし，昼夜間二部制・単位制の定時制高等学校として，多様な生徒の個性の伸長を図り，勤労を尊び，特別活動やボランティア活動等の校外学修等への積極的参加を促し，社会の向上・発展に寄与できる人材を育成します。また，科目履修生として一般の方を受け入れ，地域の生涯学習の場としても，積極的に貢献する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○自主・自立の精神を尊び，自由と責任を重んじ，創造性豊かな人間を育成します。
○勤労を尊び，強健な身体と豊かな情操を兼ね備えた人間を育成します。
○社会の向上・発展に寄与できる人間を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○昼間部と夜間部との間に設けた併修課程の科目を履修すること等により，３年間での卒業を可能とします。
○単位制の特徴をいかし，２年次以降は，在籍年次にとらわれない多様な選択科目を設定し，自由に選択履修できる中で，個に適した学びを実現します。
○ユニバーサルデザインによる教育を推進し，全ての生徒が「わかる・できる」を実感できる教育を推進します。
○基礎的・基本的な学力の確実な育成を目指し，義務教育段階での学習内容の理解や定着を図るための学校設定科目を設定します。
○生徒の特性や進路を考慮し，地域や社会の発展を担うために必要な資質・能力を，実践的・体験的な学習を通じて育成します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○自ら学ぼうとする意志をもち，単位制の特色を生かし，計画的に学習しようとする生徒を求めます。
○ルールやマナーを守り，自他の人格を尊重しようとする誠実な生徒を求めます。
○夢や目標をもち，その実現に向けて意欲的に取り組む生徒を求めます。

学校名	宮城県貞山高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科（昼間部）	募集定員	120人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	12 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査：調査書	３ ： ７

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は３：７とする。

特色選抜

募集人数	108 人（募集定員の　90　％ ）	
配点	1　調査書　162.5 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　1､2年の評定を0.25倍し、3年の評定を2.0倍にする。 音楽、美術、保健体育、技術・家庭　：　1､2年の評定を0.5倍し、3年の評定を4.0倍にする。 2　学力検査　125 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．２５倍にする 3　面接　4段階評価（A～D）	合計 287.5 点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１０８人の１２０％の範囲に含まれる者（１２９人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校等での活動状況　(3) 将来の進路希望　(4) その他 4　観点：(1) 志望動機、高校生活への意欲　(2) 規範意識、態度等

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　162.5 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　1､2年の評定を0.25倍し、3年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術・家庭　：　1､2年の評定を0.5倍し、3年の評定を4.0倍にする。 2　学力検査　50 点 国語、数学　：　各教科２５点満点 3　面接　4段階評価（A～D） 1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 212.5 点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

学校名	宮城県貞山高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科（夜間部）	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査：調査書	3 ： 7

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は３：７とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）

配点

1　調査書　162.5 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　1､2年の評定を0.25倍し、3年の評定を2.0倍にする。
- 音楽、美術、保健体育、技術・家庭　：　1､2年の評定を0.5倍し、3年の評定を4.0倍にする。

2　学力検査　125 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．２５倍にする

3　面接　4段階評価（A～D）

合計　287.5 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の１２０％の範囲に含まれる者（４３人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校等での活動状況　(3) 将来の進路希望 (4) その他 4　観点：(1) 志望動機、高校生活への意欲　(2) 規範意識、態度等

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　162.5 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　1､2年の評定を0.25倍し、3年の評定を2.0倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術・家庭　：　1､2年の評定を0.5倍し、3年の評定を4.0倍にする。

2　学力検査　50 点
- 国語、数学　：　各教科２５点満点

3　面接　4段階評価（A～D）
1　形態：個人面接
2　時間：１０分程度
3　内容：第一次募集と同じ
4　観点：第一次募集と同じ

合計　212.5 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県田尻さくら高等学校［定時制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県田尻さくら高等学校は，「自律，進取，誠実」を校訓とし，単位制の多部制定時制高校として，一人ひとりの生活スタイルに応じることができる柔軟な学びのシステムを生かしながら，地域の方々との交流の場を設けたり，近隣施設へのボランティアや合同避難訓練を行ったりするなど，学校内外のあらゆる生活場面を通じて豊かな個性の伸長に努め，真理を追究し，自発的学習意欲を高め，社会で有用な人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○　自主自律の精神を育成し，自己実現をめざした「最後までやり抜く力」を育成します。

○　心身ともに健康な人間の育成を目指し，自主的・協同的な態度と良識ある実践力を養い「社会へ旅立てる力」と「コミュニケーション力」を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○　大学進学から就職まで幅広い進路希望に対応します。

○　きめ細かなガイダンスのもと「自分の時間割」をつくります。

○　本校独自の学校設定科目も含め，多様な選択科目を用意します。

○　少人数授業できめ細かな支援，指導を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○　本校で新たな一歩を踏み出し，自分の可能性を引き出したい，伸ばしたいという意欲をもっている生徒

○　進路目標の達成に向け，本校の選択履修制度を生かして積極的に学ぶ意志をもっている生徒

○　基礎・基本から一歩一歩取り組み，継続して学習する意欲をもっている生徒

○　社会の秩序や集団のマナーを守り，他者を尊重しながら，より良い学校生活を送る意志をもっている生徒

○　体験的な学習や地域での活動などを通して，公共心やボランティア精神を身に付けようとする生徒

学校名	宮城県田尻さくら高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科Ⅰ部	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	8 人（募集定員の　10　％）
学力検査：調査書	3 ： 7

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は３：７とする。

特色選抜

募集人数	72 人（募集定員の　90　％）	
配点	1　調査書 評定は用いない 2　学力検査　250 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする 3　面接　150 点	合計 400　点
選抜方法	・審査は、学力検査点と面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する７２人の２００%の範囲に含まれる者（１４４人）を対象として行う。 ・学力検査点と面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望理由・意志　(2) 高校生活の抱負　(3) 将来の進路希望 (4)アドミッション・ポリシーについて　(5) その他 4　観点：(1) 態度　４５点　(2) 表現力等　１０５点

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　225 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする 2　学力検査　300 点 国語、数学、英語　：　各教科１００点満点 3　面接　150 点 1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 675　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

学校名	宮城県田尻さくら高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科Ⅱ部	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査：調査書	3 ： 7

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は３：７とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）

配点

1　調査書
評定は用いない

2　学力検査　250 点
国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．５倍にする

3　面接　150 点

合計　400 点

選抜方法

・審査は、学力検査点と面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の２００％の範囲に含まれる者（７２人）を対象として行う。

・学力検査点と面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望理由・意志　(2) 高校生活の抱負　(3) 将来の進路希望 (4)アドミッション・ポリシーについて　(5) その他 4　観点：(1) 態度　４５点　(2) 表現力等　１０５点

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　150 点
1　形態：個人面接
2　時間：１５分程度
3　内容：第一次募集と同じ
4　観点：第一次募集と同じ

合計　675 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県東松島高等学校［定時制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県東松島高等学校は，三部制・単位制の定時制高校の特色を生かした「人に優しい人づくり」を推進することにより，生徒一人一人の可能性を広げ，自他を尊重し，進んで社会に貢献できる人材を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○　多様な選択肢のある教育課程を生かした指導の推進により，自己実現や進路実現を支援します。
○　生涯にわたって学び続け，他者を思いやり，行動する態度を育成します。
○　多様な他者と関わりながら自己理解を深め，豊かに表現する能力を育成します。
○　探究的な学習活動や生徒会活動などを通じて，自己有用感の涵養を図り，社会に貢献する態度を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○　２００を超える授業講座を開設し，生徒の強みを生かした学習活動を展開します。
○　習熟度別学習と少人数授業を取り入れ，きめ細やかな指導を実践します。
○　生徒一人一人の主体性を尊重し，多様な学習形態に対応します。
○　芸術科目をはじめとする情操教育やボランティア活動，福祉科目を重視します。
○　ユニバーサルデザインの考え方に基づく授業づくりやＩＣＴ活用を推進します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○以下の①～③の全てに当てはまり，④～⑦のいずれか１つ以上に当てはまる生徒を求めます。
①三部制・単位制である本校のシステムを活用し，自己を伸長させようと努力できる生徒
②学習に取り組む姿勢や日常生活が良好な生徒
③社会のルールやマナーを遵守し，他者を思いやって行動することができる生徒
④将来への明確な目標があり，主体的に学習に取り組む意欲がある生徒
⑤芸術や福祉に関心を持っており，入学後は積極的に取り組む意志がある生徒
⑥地域の活動やボランティアに積極的に参加しており，入学後も継続して取り組む意志がある生徒
⑦働きながら学ぶことに対して強い意欲を有している生徒

学校名	宮城県東松島高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科Ⅰ部	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	Ⅱ部、Ⅲ部

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査:調査書	3 ： 7

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は３：７とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　375 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．７５倍にする 3　面接　4段階評価（A～D）	合計 765　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の２００％の範囲に含まれる者（７２人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望理由・学校理解　(2) 学習意欲・活動意欲　(3) 進路設計 (4) 積極性　(5) 規範意識　(6) 口頭試問(国・数・英) 4　観点：(1) 態度　(2) 表現力等

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　135 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする 2　学力検査 学力検査は実施しない 3　面接　4段階評価（A～D） 1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 135　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

学校名	宮城県東松島高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科Ⅱ部	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	Ⅰ部、Ⅲ部

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査:調査書	3 ： 7

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は３：７とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）	
配点	1　調査書　390 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする 2　学力検査　375 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．７５倍にする 3　面接　4段階評価（A～D）	合計 765　点
選抜方法	・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の２００％の範囲に含まれる者（７２人）を対象として行う。 ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望理由・学校理解　(2) 学習意欲・活動意欲　(3) 進路設計 (4) 積極性　(5) 規範意識　(6) 口頭試問(国・数・英) 4　観点：(1) 態度　(2) 表現力等

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点	1　調査書　135 点 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする 2　学力検査 学力検査は実施しない 3　面接　4段階評価（A～D） 1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：第一次募集と同じ 4　観点：第一次募集と同じ	合計 135　点
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

学校名	宮城県東松島高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科Ⅲ部	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	Ⅰ部、Ⅱ部

共通選抜

募集人数	4 人（募集定員の　10　％ ）
学力検査：調査書	3 ： 7

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は３：７とする。

特色選抜

募集人数	36 人（募集定員の　90　％ ）

配点

1　調査書　390 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を２．０倍にする
- 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を４．０倍にする

2　学力検査　375 点
- 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を０．７５倍にする

3　面接　4段階評価（A～D）

合計　765 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する３６人の２００％の範囲に含まれる者（７２人）を対象として行う。

・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※２日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１５分程度 3　内容：(1) 志望理由・学校理解　(2) 学習意欲・活動意欲　(3) 進路設計 (4) 積極性　(5) 規範意識　(6) 口頭試問(国・数・英) 4　観点：(1) 態度　(2) 表現力等

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接を実施する（面接については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　135 点
- 国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
- 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする

2　学力検査
- 学力検査は実施しない

3　面接　4段階評価（A～D）
- 1　形態：個人面接
- 2　時間：１５分程度
- 3　内容：第一次募集と同じ
- 4　観点：第一次募集と同じ

合計　135 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

仙台市立仙台大志高等学校［定時制課程（普通科）］のスクール・ポリシー

◎仙台市立仙台大志高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針（仙台市教育構想 2026 より）

生徒一人ひとりの様々な個性や学習ニーズに応えるため、主体的に学ぶことができる時間の保障と多様な履修を可能とするカリキュラムを提供します。

校　　訓：

拓く：未来を見据えた大きな志を持ち、自らの特性を活かして自分の進むべき道を切り拓く。

磨く：自ら切り拓いた道に自信を持ち、大きな志を実現するために日々努力し続ける。

結ぶ：社会や人々に目を向け、互いに尊重し協力しあいながら大きな志を実現する輪を広げる。

学校教育目標：

(1) 自ら求めて学び、自ら考え、自ら行動できる人間の育成
(2) 豊かな教養と知識を身に付けた人間の育成
(3) 社会に貢献できる人間の育成
(4) 規範意識を身に付けた人間の育成
(5) 他者と協働し、学び続ける力を身に付けた人間の育成

重 点 目 標：

情報の共有と組織的な取組
ICT を効果的に活用した分かりやすい授業の実践
配慮を要する生徒の支援

１　グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

○自ら学び、自ら考え、主体的に行動することのできる、幅広く社会に貢献できる人材を育成します。

○豊かな教養と知識を身に付け、目標に向かって努力し、社会規範に則って節度ある行動ができる、望ましい職業観と勤労観を持つ人材を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

○多様な学習活動を生徒が選択することで、興味関心を高めるとともに幅広く教養を身に付けます。

→進路目標や生活スタイルをもとにして生徒自らが学習計画を立て、時間割を作成することで自ら求めて学ぶ態度を育成します。

○習熟度別の授業を設定し、個に適した学びを実現します。

→生徒間の理解度の差が大きい授業に関しては習熟度別の授業を実施するとともに、それぞれの授業においては具体的な指示をもとにした分かりやすい授業を徹底し、生徒個々の取組を支援します。

３　アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）
１　自分の将来について具体的な夢と目標を持つ生徒 ２　基本的な生活習慣が身に付いている生徒 ３　自制心をもって自律的に行動するとともに、根気強く努力し続ける生徒 ４　社会のルールやマナーを守ることができる生徒

学校名	仙台市立仙台大志高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科Ⅰ部	募集定員	90人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	Ⅱ部

共通選抜

募集人数	36 人（募集定員の　40　％ ）
学力検査：調査書	7 ： 3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	54 人（募集定員の　60　％ ）

配点

1　調査書
評定は用いない。

2　学力検査　500 点
国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

3　面接　100 点

合計　600 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する５４人の１２０％の範囲に含まれる者（６４名）を対象として行う。

・学力検査点と面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの

面接
※１日目に実施

1　形態：集団面接
2　時間：２０分程度
3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) その他
4　観点：　(1) 動機・意欲　６０点　(2) 表現力等　４０点

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接及び作文を実施する（面接・作文については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
1　形態：個人面接
2　時間：１５分程度
3　内容：第一次募集と同じ
4　観点：第一次募集と同じ

合計　625 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

学校名	仙台市立仙台大志高等学校	課程	定時制
学科（コース・部）	普通科Ⅱ部	募集定員	30人

第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜　→　特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	Ⅰ部

共通選抜

募集人数	12 人（募集定員の　40　％　）
学力検査：調査書	7　：　3

学力検査点（５００点満点）と調査書点（１９５点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は７：３とする。

特色選抜

募集人数	18 人（募集定員の　60　％　）

配点

1　調査書
評定は用いない。

2　学力検査　500 点
国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする

3　面接　100 点

合計　600 点

選抜方法

・審査は、学力検査点、面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する１８人の１２０％の範囲に含まれる者（２１名）を対象として行う。

・学力検査点と面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：集団面接 2　時間：２０分程度 3　内容：(1) 志望動機　(2) 中学校での活動状況　(3) その他 4　観点：　(1) 動機・意欲　６０点　(2) 表現力等　４０点

社会人特別選抜	有	選抜方法	学力検査を免除し、面接及び作文を実施する（面接・作文については学校へ問い合わせること）。

第二次募集（選抜方法等）

配点

1　調査書　225 点
国語、数学、英語　：　全学年の評定を１．０倍にする
社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を２．０倍にする

2　学力検査　300 点
国語、数学、英語　：　各教科１００点満点

3　面接　100 点
1　形態：個人面接
2　時間：１５分程度
3　内容：第一次募集と同じ
4　観点：第一次募集と同じ

合計　625 点

選抜方法　上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。

宮城県中新田高等学校［全日制課程（(仮称)未来創造科)］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

本校は「自主・誠実・協和」を校訓とし，キャリア教育をとおして生徒の地域への理解と関心を深め，地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指しています。また，教育課程内外の様々な場面で地域との関わりを設定し，積極的に参画することで，地域に貢献し信頼される学校として歩みます。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○「自主」：心身ともに健康を保持し，自ら学ぶ姿勢を持って目標に向かって努力を重ねる自己研鑽力を育成します。

○「誠実」：基礎的な学力やコミュニケーション能力を身に付け，仲間や労働を大切にし，真摯な態度で社会に貢献しようとする人間性を育みます。

○「協和」：地域や社会の変化に目を向け，その中で自らの役割を理解し，行動できる実践力を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○生徒が十二分に探究活動を深められるように学校設定科目を設け、論理的思考力と実践力を養います。

→探究活動で得た知識とスキルを進路活動に活かし、生徒の多様な進路希望の実現に向けた指導を行います。

○習熟度別の授業や選択科目を設定し，個々に適した学習を進めます。

→生徒の理解度の幅が大きい教科では習熟度別に授業を行うとともに，生徒の進路希望や学力の特性に応じた選択科目の設定を行います。

○地域と協働し，体験的・実践的な学びを進めます。

→地域の特徴や関わり方について学習を進めるとともに，地域の発展に向けた課題の調査や解決策の模索を行います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○学習意欲があり，明確な目的意識をもって本校に入学を望んでいる生徒

○基本的生活習慣が身に付いており，社会的なきまりを守り，他を思いやる心をもち，周囲と協働しながら課題解決に向けて努力する生徒

○中学校において，「学級活動」「生徒会活動」「学校行事」「部活動」のいずれかで積極的に活動した実績をもち，入学後も継続して活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県中新田高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	未来創造科　※予定	募集定員	５人程度

全国募集（選抜方法等）

対象	志願者及び保護者が宮城県外に居住しており、志願者が入学期日までに宮城県内に居住する予定である者

配点

		合計
1　調査書	390 点	
国語、数学、社会、英語、理科	： 全学年の評定を２．０倍にする	
音楽、美術、保健体育、技術家庭	： 全学年の評定を４．０倍にする	
2　学力検査	500 点	965 点
国語、数学、社会、英語、理科	： 得点を１．０倍にする	
3　面接	75 点	

選抜方法

・ 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接 ※１日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：アドミッション・ポリシー及び志願理由書の内容について 4　観点：(1)意欲　３５点 (2)表現力　２０点 (3)判断力　２０点

宮城県南三陸高等学校［全日制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県南三陸高等学校は，「真，和，敬」を校訓とし，県内唯一の地域連携型中高一貫教育校であることを生かし，中学校から高校までの６年間で，「たしかな学力」「かがやく個性」「ゆたかな社会性」を培い，広い視野で２１世紀を主体的に生きる，誠実で愛情豊かな人財を育成します。また，県内高校初となるコミュニティスクールとして地域の教育力を生かし，起業家的資質を高める教育活動を実践する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○中学校における教育の成果を更に発展拡充し，国際社会の優位な形成者として必要な資質を養います。

○社会において果たさなければならない使命を自覚し，個性に応じて自らの進路を選択できる高い志と生きる力を養います。

○社会の変化にも対応できる起業家的資質を持ち，豊かな感性と思いやりの心を持った，情操豊かな人格の形成に努めます。

○南三陸町高校魅力化協議会と連携し地域に貢献できる人財づくりに努めます。

→地域の復興や創生に，地域の状況を理解し，グローバルな視点を持って主体的に参画します。社会の様々な課題に対して，それぞれの立場から，他と協働しながら解決に当たろうとする人財を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○就職から大学進学まで，生徒一人一人の幅広い進路目標に対応しています。

○２年生から地域創造系と文理系に分かれます。

→地域創造系：学校設定科目を効果的に活用し，教育や医療福祉，一次産業・六次産業のつなぎ手や地域起業家人財の育成に努めます。

→文理系：大学進学希望者を対象としたカリキュラムで，進路希望に応じて必要な科目を選択することが可能です。

○地域課題を解決する探究活動を通して，社会人として必要な一般的な教養を身に付けます。

○習熟度別の授業や多様な選択科目を設定し，個に適した学びを実現します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○本校への志望理由が明確で，入学後も進路実現に向けて努力できる生徒。

○中学校において，部活動，生徒会活動，ボランティア活動等に意欲的に取り組み，入学後も継続して活動する意欲のある生徒。

○自覚を持って日々の諸活動に主体的に取り組もうとする生徒。

○これからの地域の担い手を目指し，地域社会に貢献できる生徒を全国から募集。

学校名	宮城県南三陸高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	８人程度

全国募集（選抜方法等）

対象	志願者及び保護者が宮城県外に居住しており、志願者が入学期日までに宮城県内に居住する予定である者

配点		合計
	1　調査書　135 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする 3　面接　3段階評価（A～C）	635　点
選抜方法	・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの		
	面接 ※１日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)高校生活への意欲　(4)志願理由書の内容について (5)その他 4　観点：(1)態度　(2)表現力等

宮城県南三陸高等学校［全日制課程（情報ビジネス科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県南三陸高等学校は，「真，和，敬」を校訓とし，県内唯一の地域連携型中高一貫教育校であることを生かし，中学校から高校までの６年間で，「たしかな学力」「かがやく個性」「ゆたかな社会性」を培い，広い視野で２１世紀を主体的に生きる，誠実で愛情豊かな人財を育成します。また，県内高校初となるコミュニティスクールとして地域の教育力を生かし，起業家的資質を高める教育活動を実践する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○中学校における教育の成果を更に発展拡充し，国際社会の優位な形成者として必要な資質を養います。

○社会において果たさなければならない使命を自覚し，個性に応じて自らの進路を選択できる高い志と生きる力を養います。

○社会の変化にも対応できる起業家的資質を持ち，豊かな感性と思いやりの心を持った，情操豊かな人格の形成に努めます。

○南三陸町高校魅力化協議会と連携し地域に貢献できる人財づくりに努めます。

→地域の復興や創生に，地域の状況を理解し，グローバルな視点を持って主体的に参画します。社会の様々な課題に対して，それぞれの立場から，他と協働しながら解決に当たろうとする人財を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○Society5.0 を見据え，AI が発展する次世代の社会に対応できる人財の育成を目指しています。

○専門科目の学習を通して，AI では作り出せない新しい価値を見いだす力を育む時間が充実しています。

→１年生では普通教科だけでなく商業に関する基礎科目をしっかりと学習します。

→２年生からは高度情報社会に対応するため，「プログラミング」など情報系の科目を中心に学びます。また，自ら課題を見つけて設定し研究する時間も充実しています。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○ビジネスや情報処理に強く関心をもち，本校への志望理由が明確で，入学後も進路実現に向けて努力できる生徒。

○中学校において，部活動，生徒会活動，ボランティア活動等に意欲的に取り組み，入学後も継続して活動する意欲のある生徒。

○自覚を持って日々の諸活動に主体的に取り組もうとする生徒。

○これからの地域の担い手を目指し，地域社会に貢献できる生徒を全国から募集。

学校名	宮城県南三陸高等学校	課程	全日制
学科（コース・部）	情報ビジネス科	募集定員	４人程度

全国募集（選抜方法等）

対象	志願者及び保護者が宮城県外に居住しており、志願者が入学期日までに宮城県内に居住する予定である者

配点		合計
	1　調査書　135 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　全学年の評定を１．０倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭　：　全学年の評定を１．０倍にする 2　学力検査　500 点 国語、数学、社会、英語、理科　：　得点を１．０倍にする 3　面接　3段階評価（A～C）	635　点
選抜方法	・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。	

面接・実技・作文のうち実施するもの		
	面接 ※１日目に実施	1　形態：個人面接 2　時間：１０分程度 3　内容：(1)志望動機　(2)中学校での活動状況 (3)高校生活への意欲　(4)志願理由書の内容について (5)その他 4　観点：(1)態度　(2)表現力等

宮城県美田園高等学校［通信制課程（普通科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県美田園高等学校は，「能動，発見，創造」を校訓とし，県内唯一の公立通信制高校として，多様な学習歴を持つ生徒に対し，学習上・生活上の困難を改善・克服するための配慮を行うとともに，生徒一人一人の事情や特性に応じたきめ細やかな教育支援を行うことで，自己を社会に位置づける資質・能力と態度を育成する学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○個に応じた学習指導を実践し，生きる力を支える確かな学力を育みます。
　→　充実したｅラーニング，学習支援員による個別指導，学び直し科目の設定
○学習や体験をとおして，多様なものの見方や考え方を身につけた豊かな人間性を育みます。
　→　特別活動，進路行事，キャリア科目の設定
○自主的に学ぶ通信制高校の特性を生かし，主体的に問題を解決していく姿勢を育みます。
　→　レポートの作成，ｅポートフォリオによる自己管理

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○年二回の入学機会があります（一期入学，二期入学）。
　→　入学時期を選択できることで，学びたい気持ちを後押しします。
○単位の半期認定により，スモールステップで学んでいく生徒を支援します。
　→　こまめな単位認定が，学習のつまずきや自学自習への不安を抱える生徒にとって成功体験となり，自信を持って能動的に学びに向かう力になります。
○学びを深めたり広げたりすることが可能です。
　→　必履修科目や基礎科目を学んだあとに上位科目を学べる科目配置や，自分と社会をつなげて学ぶキャリア科目の設置など，多様な学びに対応します。
○学び直しを支援します。
　→　義務教育段階の学力未定着に対応した科目の設定や，習熟度別科目の配置など，生徒の特性を踏まえた学習環境を整備します。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

自宅で教科書・学習書をもとにして報告課題を作成するなど，自分の力で学びを進めていくことが中心となる通信制課程の特色を踏まえ，次のような生徒を求めます。

○「通信制課程での学び」により高校卒業を目指そうとする生徒
○「自学自習」の姿勢で努力するとともに，「自己管理」しながら学校生活を送ろうとする生徒

学校名	宮城県美田園高等学校	課程	通信制
学科（コース・部）	普通科	募集定員	500人

一期入学者選抜（令和９年春募集）

募集人数　450 人（募集定員の　90　％　）

出願等

１ 出願期間

令和９年３月９日（火）から１７日（水）午前１１時まで

２ 選抜

書類及び面接の結果に基づく総合的な審査により行う。

３ 出願資格

出願時点で、高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部及び高等学園のいずれにも在学していない者とする。

※　一期入学者選抜の募集人数には、編入学・転入学による人数を含みます。

二期入学者選抜（令和９年秋募集）

募集人数　50 人（募集定員の　10　％　）

出願等

１ 出願期間

令和９年９月上旬を予定（詳細は、令和８年９月に令和９年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項で公表）

２ 選抜

書類及び面接の結果に基づく総合的な審査により行う。

３ 出願資格

出願時点で、高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部及び高等学園のいずれにも在学していない者とする。

※　二期入学者選抜の募集人数については、一期入学者選抜の募集人数から一期入学者選抜の合格者数を引いた数が追加されます。

※　二期入学者選抜の募集人数には、編入学・転入学による人数を含みます。

選抜方法等一覧

令和9年度宮城県公立高等学校入学者選抜方法等一覧

1　第一次募集

《全日制課程》　※選抜順序の「共通」は選抜の順番が、「共通選抜→特色選抜」であることを表し、「特色」は、「特色選抜→共通選抜」であることを表す。

学校名	学科・コース	募集定員	選抜順序	選抜人数等				共通選抜（比重）		特色選抜(配点)				
				共通選抜		特色選抜								
				割合	人数	割合	人数	学力検査	調査書	調査書	学力検査	学校独自検査		
												面接	実技	作文
1 白　石	普通科	240	共通	80%	192	20%	48	7	3	270	500	—	—	—
	看護科	40	共通	70%	28	30%	12	7	3	270	500	段階	—	—
2 白石蔵王	普通科	40	共通	50%	20	50%	20	4	6	270	500	100	—	—
3 白石工	機械科	80	共通	60%	48	40%	32	6	4	390	500	—	—	—
	電気科	40	共通	60%	24	40%	16	6	4	390	500	—	—	—
	工業化学科	40	共通	60%	24	40%	16	6	4	390	500	—	—	—
	建築科	40	共通	60%	24	40%	16	6	4	390	500	—	—	—
	設備工業科	40	共通	60%	24	40%	16	6	4	390	500	—	—	—
4 村　田	総合学科	120	共通	50%	60	50%	60	5	5	390	500	—	—	—
5 大河原産業	農業科学科	80	共通	60%	48	40%	32	5	5	390	500	—	—	—
	企画デザイン科	40	共通	60%	24	40%	16	5	5	390	500	—	—	—
	総合ビジネス科	120	共通	60%	72	40%	48	5	5	390	500	—	—	—
6 大河原産川崎	普通科	40	共通	50%	20	50%	20	5	5	225	500	75	—	—
7 柴　田	普通科	120	共通	80%	96	20%	24	5	5	195	500	—	—	—
	体育科	40	特色	10%	4	90%	36	5	5	195	125	—	320	—
8 角　田	普通科	160	共通	90%	144	10%	16	6	4	270	500	—	—	—
9 伊　具	総合学科	120	共通	50%	60	50%	60	5	5	195	500	105	—	—
10 名　取	普通科	240	共通	80%	192	20%	48	5	5	330	500	—	—	—
	家政科	40	共通	70%	28	30%	12	5	5	345	500	—	—	—
11 名取北	普通科	240	特色	90%	216	10%	24	6	4	180	500	—	—	—
12 亘　理	普通科	80	共通	50%	40	50%	40	5	5	195	500	段階	—	—
	食品科学科	40	共通	50%	20	50%	20	5	5	195	500	段階	—	—
	家政科	40	共通	50%	20	50%	20	5	5	195	500	段階	—	—
13 宮城農	農業科・園芸科	120	共通	80%	96	20%	24	5	5	195	250	225	—	—
	農業機械科	40	共通	80%	32	20%	8	5	5	195	250	225	—	—
	食品化学科	40	共通	80%	32	20%	8	5	5	195	250	225	—	—
	生活科	40	共通	80%	32	20%	8	5	5	195	250	225	—	—
14 仙台一	普通科	320	共通	90%	288	10%	32	7	3	195	500	—	—	—
15 仙台二華	普通科	240	共通	75%	101	25%	34	6	4	270	500	—	—	—
16 仙台三桜	普通科	280	共通	80%	224	20%	56	6	4	270	800	—	—	—
17 仙台向山	普通科	160	共通	70%	112	30%	48	6	4	195	500	—	—	—
	理数科	40	共通	70%	28	30%	12	6	4	225	700	—	—	—
18 仙台南	普通科	280	共通	80%	224	20%	56	6	4	135	500	—	—	—
19 仙台西	普通科	240	共通	90%	216	10%	24	6	4	195	500	—	—	—
20 仙台東	普通科	200	特色	50%	100	50%	100	7	3	195	700	—	—	—
	英語科	40	特色	50%	20	50%	20	7	3	195	700	—	—	—
21 宮城工	機械科	80	共通	70%	56	30%	24	5	5	195	500	—	—	—
	電子機械科	40	共通	70%	28	30%	12	5	5	195	500	—	—	—
	電気科	40	共通	70%	28	30%	12	5	5	195	500	—	—	—
	情報技術科	40	共通	70%	28	30%	12	5	5	195	500	—	—	—
	化学工業科	40	共通	70%	28	30%	12	5	5	195	500	—	—	—
	インテリア科	40	共通	70%	28	30%	12	5	5	195	500	—	—	—

※仙台二華の募集定員には、併設型中学校（仙台二華中学校）からの入学予定者105名を含む。

〈調査書　の換算点〉 評定「5」を何点に変換するか

学校名	国語			社会			数学			理科			英語			音楽			美術			保健体育			技術家庭			合計
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
1 白　石	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270
2 白石蔵王	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270
3 白石工	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
4 村　田	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
5 大河原産業	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
6 大河原産川崎	5	5	5	10	10	10	5	5	5	10	10	10	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	225
7 柴　田	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
8 角　田	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270
9 伊　具	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
10 名　取	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	330
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	15	15	15	15	15	15	15	15	15	20	20	20	345
11 名取北	10	10	10	5	5	5	10	10	10	5	5	5	10	10	10	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	180
12 亘　理	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
13 宮城農	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
14 仙台一	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
15 仙台二華	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270
16 仙台三桜	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270
17 仙台向山	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	225
18 仙台南	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	135
19 仙台西	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
20 仙台東	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
21 宮城工	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195

〈学力検査の換算点〉
満点「100点」を何点に変換するか

学校名	国語	数学	社会	英語	理科	合計
1 白　石	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
2 白石蔵王	100	100	100	100	100	500
3 白石工	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
4 村　田	100	100	100	100	100	500
5 大河原産業	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
6 大河原産川崎	100	100	100	100	100	500
7 柴　田	100	100	100	100	100	500
	25	25	25	25	25	125
8 角　田	100	100	100	100	100	500
9 伊　具	100	100	100	100	100	500
10 名　取	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
11 名取北	100	100	100	100	100	500
12 亘　理	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
13 宮城農	50	50	50	50	50	250
	50	50	50	50	50	250
	50	50	50	50	50	250
	50	50	50	50	50	250
14 仙台一	100	100	100	100	100	500
15 仙台二華	100	100	100	100	100	500
16 仙台三桜	200	200	100	200	100	800
17 仙台向山	100	100	100	100	100	500
	100	200	100	100	200	700
18 仙台南	100	100	100	100	100	500
19 仙台西	100	100	100	100	100	500
20 仙台東	150	150	125	150	125	700
	125	125	125	200	125	700
21 宮城工	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500
	100	100	100	100	100	500

学校名	学科・コース	募集定員	選抜順序	選抜人数等				共通選抜（比重）		特色選抜(配点)					
				共通選抜		特色選抜									
				割合	人数	割合	人数	学力検査	調査書	調査書	学力検査	学校独自検査			
												面接	実技	作文	
22 仙台工	建築科	30	共通	60%	18	40%	12	6	4	292.5	250	—	—	—	
	機械科	60	共通	60%	36	40%	24	6	4	292.5	250	—	—	—	
	電気科	40	共通	60%	24	40%	16	6	4	292.5	250	—	—	—	
	土木科	30	共通	60%	18	40%	12	6	4	292.5	250	—	—	—	
	情報科	40	共通	60%	24	40%	16	6	4	292.5	250	—	—	—	
23 仙台二	普通科	320	共通	90%	288	10%	32	7	3	195	500	—	—	—	
24 仙台三	普通科	240	共通	80%	192	20%	48	7	3	195	750	—	—	—	
	理数科	80	共通	70%	56	30%	24	7	3	195	850	—	—	—	
25 宮城一	普通科	200	共通	90%	180	10%	20	7	3	270	500	—	—	—	
	国際探究科・理数探究科	80	共通	90%	72	10%	8	7	3	180	1000	—	—	—	
27 泉	普通科	200	共通	90%	180	10%	20	7	3	270	650	—	—	—	
	英語科	40	特色	80%	32	20%	8	7	3	270	700	—	—	—	
28 泉松陵	普通科	240	共通	75%	180	25%	60	6	4	390	500	—	—	—	
29 泉館山	普通科	240	共通	90%	216	10%	24	7	3	195	500	—	—	—	
30 宮城野	普通科	200	共通	70%	140	30%	60	7	3	232.5	750	—	—	—	
	美術科	40	特色	40%	16	60%	24	7	3	195	500	—	100	—	
31 仙台	普通科	280	共通	80%	224	20%	56	6	4	220	500	—	—	—	
32 仙台商	商業科	320	共通	60%	192	40%	128	6	4	97.5	250	100	—	—	
33 塩釜	普通科	200	共通	90%	180	10%	20	6	4	390	500	—	—	—	
	ビジネス科	80	共通	90%	72	10%	8	6	4	390	500	—	—	—	
34 多賀城	普通科	240	特色	60%	144	40%	96	6	4	195	500	—	—	—	
	災害科学科	40	特色	60%	24	40%	16	6	4	195	600	—	—	—	
35 松島	普通科	80	共通	70%	56	30%	24	5	5	97.5	250	100	—	—	
	観光科	80	共通	70%	56	30%	24	5	5	97.5	250	100	—	—	
36 利府	普通科	200	共通	70%	140	30%	60	6	4	195	500	—	—	—	
	スポーツ科学科	80	共通	10%	8	90%	72	5	5	225	250	—	250	—	
37 黒川	普通科	80	共通	70%	56	30%	24	6	4	270	375	—	—	—	
	機械科	40	共通	70%	28	30%	12	6	4	243.75	250	—	—	—	
	電子工学科	40	共通	70%	28	30%	12	6	4	243.75	250	—	—	—	
	環境技術科	40	共通	70%	28	30%	12	6	4	243.75	250	—	—	—	
38 富谷	普通科	240	共通	90%	216	10%	24	6	4	195	250	—	—	—	
39 古川	普通科	240	共通	80%	192	20%	48	7	3	135	800	—	—	—	
40 古川黎明	普通科	240	共通	80%	108	20%	27	6	4	390	500	—	—	—	
41 岩出山	普通科	80	共通	70%	56	30%	24	4	6	390	375	—	—	—	
42 中新田	未来創造科　※予定	120	共通	60%	72	40%	48	6	4	390	500	—	—	—	
43 加美農	農業科	40	共通	50%	20	50%	20	5	5	195	500	75	—	—	
	農業機械科	40	共通	50%	20	50%	20	5	5	195	500	75	—	—	
	生活技術科	40	共通	50%	20	50%	20	5	5	195	500	75	—	—	
44 古川工	土木情報科	40	共通	65%	26	35%	14	5	5	390	500	—	—	—	
	建築科	40	共通	65%	26	35%	14	5	5	390	500	—	—	—	
	電気電子科	40	共通	65%	26	35%	14	5	5	390	500	—	—	—	
	機械科	80	共通	65%	52	35%	28	5	5	390	500	—	—	—	
	化学技術科	40	共通	65%	26	35%	14	5	5	390	500	—	—	—	

※古川黎明の募集定員には、併設型中学校（古川黎明中学校）からの入学予定者105名を含む。

〈調査書　の換算点〉 評定「5」を何点に変換するか

国語			社会			数学			理科			英語			音楽			美術			保健体育			技術家庭			合計
1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	292.5
7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	292.5
7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	292.5
7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	292.5
7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	292.5
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270
10	10	10	5	5	5	10	10	10	5	5	5	10	10	10	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	180
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	232.5
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	220
2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	97.5
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	97.5
2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	97.5
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	20	20	20	10	10	10	225
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270
6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	243.75
6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	243.75
6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	6.25	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	243.75
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	135
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390

〈学力検査の換算点〉
満点「100点」を何点に変換するか

国語	数学	社会	英語	理科	合計
50	50	50	50	50	250
50	50	50	50	50	250
50	50	50	50	50	250
50	50	50	50	50	250
50	50	50	50	50	250
100	100	100	100	100	500
150	150	150	150	150	750
150	200	150	150	200	850
100	100	100	100	100	500
200	200	200	200	200	1000
150	150	100	150	100	650
150	150	100	200	100	700
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
150	150	150	150	150	750
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
50	50	50	50	50	250
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	150	100	100	150	600
50	50	50	50	50	250
50	50	50	50	50	250
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
75	75	75	75	75	375
50	50	50	50	50	250
50	50	50	50	50	250
50	50	50	50	50	250
50	50	50	50	50	250
200	200	100	200	100	800
100	100	100	100	100	500
75	75	75	75	75	375
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500

学校名	学科・コース	募集定員	選抜順序	選抜人数等				共通選抜（比重）		特色選抜(配点)				
				共通選抜		特色選抜								
				割合	人数	割合	人数	学力検査	調査書	調査書	学力検査	学校独自検査		
												面接	実技	作文
45 大崎創成	アグリ・フード・ビジネス科　※予定	160	共通	60%	96	40%	64	5	5	97.5	250	200	—	—
46 涌谷	普通科	120	共通	60%	72	40%	48	5	5	315	500	—	—	—
47 小牛田農林	農業技術科・農業科学ｺｰｽ	40	共通	60%	24	40%	16	5	5	390	500	—	—	—
	農業技術科・農業土木ｺｰｽ	40	共通	60%	24	40%	16	5	5	390	500	—	—	—
	総合学科	120	共通	70%	84	30%	36	6	4	390	500	—	—	—
48 佐沼	普通科	240	共通	70%	168	30%	72	6	4	270	500	—	—	—
49 登米	普通科	80	共通	70%	56	30%	24	5	5	270	500	—	—	—
50 登米総合産業	農業科	40	共通	50%	20	50%	20	6	4	390	500	—	—	—
	機械科	40	共通	50%	20	50%	20	6	4	390	500	—	—	—
	電気科	40	共通	50%	20	50%	20	6	4	390	500	—	—	—
	情報技術科	40	共通	50%	20	50%	20	6	4	390	500	—	—	—
	商業科	40	共通	50%	20	50%	20	6	4	390	500	—	—	—
	福祉科	40	共通	50%	20	50%	20	6	4	390	500	—	—	—
51 築館	普通科	160	共通	80%	128	20%	32	5	5	390	500	—	—	—
52 築館一迫商業	情報ビジネス科	40	特色	50%	20	50%	20	5	5	390	500	—	—	—
53 岩ヶ崎	普通科	80	特色	60%	48	40%	32	5	5	135	500	—	—	—
54 迫桜	総合学科	160	共通	50%	80	50%	80	6	4	390	500	—	—	—
55 石巻	普通科	200	共通	90%	180	10%	20	7	3	195	250	—	—	—
56 石巻好文館	普通科	200	共通	80%	160	20%	40	7	3	390	375	—	—	—
57 石巻西	普通科	160	共通	70%	112	30%	48	6	4	240	250	—	—	—
58 石巻北	総合学科	160	共通	70%	112	30%	48	5	5	390	250	—	—	—
59 宮城水産	船舶運航科	40	共通	50%	20	50%	20	6	4	390	125	180	—	—
	生物環境科	40	共通	50%	20	50%	20	6	4	390	125	180	—	—
	食品科	40	共通	50%	20	50%	20	6	4	390	125	180	—	—
60 石巻工	機械科	40	共通	60%	24	40%	16	5	5	390	375	—	—	—
	電気情報科	40	共通	60%	24	40%	16	5	5	390	375	—	—	—
	化学技術科	40	共通	60%	24	40%	16	5	5	390	375	—	—	—
	土木システム科	40	共通	60%	24	40%	16	5	5	390	375	—	—	—
	建築科	40	共通	60%	24	40%	16	5	5	390	375	—	—	—
61 石巻商	総合ビジネス科	160	共通	70%	112	30%	48	5	5	390	250	—	—	—
62 桜坂	普通科・学励探求ｺｰｽ	80	共通	50%	40	50%	40	6	4	270	500	—	—	—
	普通科・ｷｬﾘｱ探求ｺｰｽ	80	共通	50%	40	50%	40	6	4	270	500	—	—	—
63 気仙沼	普通科	240	共通	70%	168	30%	72	7	3	195	500	—	—	—
64 南三陸	普通科	32	特色	50%	16	50%	16	5	5	135	500	段階	—	—
	情報ビジネス科	16	特色	50%	8	50%	8	5	5	135	500	段階	—	—
65 本吉響	総合学科	120	共通	50%	60	50%	60	6	4	390	500	—	—	—
66 気仙沼向洋	情報海洋科	40	特色	50%	20	50%	20	5	5	390	500	—	—	—
	産業経済科	40	特色	50%	20	50%	20	5	5	390	500	—	—	—
	機械技術科	40	特色	50%	20	50%	20	5	5	390	500	—	—	—

※南三陸の募集定員は、連携型選抜の募集定員を除く。

〈調査書　の換算点〉 評定「5」を何点に変換するか

国語			社会			数学			理科			英語			音楽			美術			保健体育			技術家庭			合計
1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	97.5
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	315
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	270
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	135
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	5	5	5	10	10	10	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	240
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390

〈学力検査の換算点〉
満点「100点」を何点に変換するか

国語	数学	社会	英語	理科	合計
50	50	50	50	50	250
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
50	50	50	50	50	250
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
50	50	50	50	50	250
25	25	25	25	25	125
25	25	25	25	25	125
25	25	25	25	25	125
75	75	75	75	75	375
75	75	75	75	75	375
75	75	75	75	75	375
75	75	75	75	75	375
75	75	75	75	75	375
50	50	50	50	50	250
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500

《定時制課程》

※選抜順序の「共通」は選抜の順番が、「共通選抜→特色選抜」であることを表し、「特色」は、「特色選抜→共通選抜」であることを表す。

学校名	学科・コース	募集定員	選抜順序	選抜人数等				共通選抜（比重）		特色選抜(配点)					特社別会選人抜
				共通選抜		特色選抜									
				割合	人数	割合	人数	学力検査	調査書	調査書	学力検査	学校独自検査			
												面接	実技	作文	
1 白石七ヶ宿(定)	普通科／昼	40	特色	20%	8	80%	32	5	5	195	500	100	—	—	無
2 名　　取(定)	普通科／夜	40	共通	10%	4	90%	36	6	4	135	250	200	—	—	有
3 仙 台 工(定)	建築土木科／夜	40	共通	20%	8	80%	32	7	3	195	250	段階	—	—	有
	機械システム科／夜	40	共通	20%	8	80%	32	7	3	195	250	段階	—	—	有
4 古 川 工(定)	電気科／夜	40	共通	10%	4	90%	36	3	7	390	125	515	—	—	有
	機械科／夜	40	共通	10%	4	90%	36	3	7	390	125	515	—	—	有
5 佐　　沼(定)	普通科／夜	40	共通	10%	4	90%	36	5	5	195	500	50	—	—	有
6 石巻北飯野川(定)	普通科／昼	40	特色	10%	4	90%	36	7	3	48.75	500	250	—	—	無
7 気 仙 沼(定)	普通科／夜	40	共通	10%	4	90%	36	3	7	48.75	125	100	—	—	有
8 宮城二工(定)	電子機械科／夜	40	特色	10%	4	90%	36	5	5	97.5	250	100	—	—	有
	電気科／夜	40	特色	10%	4	90%	36	5	5	97.5	250	100	—	—	有
9 貞　　山(定)	普通科／昼	120	共通	10%	12	90%	108	3	7	162.5	125	段階	—	—	有
	普通科／夜	40	共通	10%	4	90%	36	3	7	162.5	125	段階	—	—	有
10 田尻さくら(定)	普通科／Ⅰ部（午前）	80	共通	10%	8	90%	72	3	7	0	250	150	—	—	有
	普通科／Ⅱ部（午後夕間）	40	共通	10%	4	90%	36	3	7	0	250	150	—	—	有
11 東 松 島(定)	普通科／Ⅰ部（午前）	40	共通	10%	4	90%	36	3	7	390	375	段階	—	—	有
	普通科／Ⅱ部（午後）	40	共通	10%	4	90%	36	3	7	390	375	段階	—	—	有
	普通科／Ⅲ部（夜間）	40	共通	10%	4	90%	36	3	7	390	375	段階	—	—	有
12 仙台大志(定)	普通科／Ⅰ部（午前午後）	90	共通	40%	36	60%	54	7	3	0	500	100	—	—	有
	普通科／Ⅱ部（午後夜間）	30	共通	40%	12	60%	18	7	3	0	500	100	—	—	有

〈調査書　の換算点〉 評定「5」を何点に変換するか

国語			社会			数学			理科			英語			音楽			美術			保健体育			技術家庭			合計
1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	135
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	195
1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	48.75
1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	48.75
2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	97.5
2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	97.5
1.25	1.25	10	1.25	1.25	10	1.25	1.25	10	1.25	1.25	10	1.25	1.25	10	2.5	2.5	20	2.5	2.5	20	2.5	2.5	20	2.5	2.5	20	162.5
1.25	1.25	10	1.25	1.25	10	1.25	1.25	10	1.25	1.25	10	1.25	1.25	10	2.5	2.5	20	2.5	2.5	20	2.5	2.5	20	2.5	2.5	20	162.5
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

〈学力検査の換算点〉
満点「100点」を何点に変換するか

国語	数学	社会	英語	理科	合計
100	100	100	100	100	500
50	50	50	50	50	250
50	50	50	50	50	250
50	50	50	50	50	250
25	25	25	25	25	125
25	25	25	25	25	125
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
25	25	25	25	25	125
50	50	50	50	50	250
50	50	50	50	50	250
25	25	25	25	25	125
25	25	25	25	25	125
50	50	50	50	50	250
50	50	50	50	50	250
75	75	75	75	75	375
75	75	75	75	75	375
75	75	75	75	75	375
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500

2　idealスクールにおける選抜

※選抜順序の「共通」は選抜の順番が、「共通選抜→ideal選抜」であることを表し、「ideal」は、「ideal選抜→共通選抜」であることを表す。

学校名	学科・コース	募集定員	選抜順序	選抜人数等				共通選抜（比重）		ideal選抜(配点)				
				共通選抜		ideal選抜								
				割合	人数	割合	人数	学力検査	調査書	方式	面接	調査書	学力検査	合計
26 広瀬ideal	普通科	200	ideal	10%	20	90%	180	5	5	面接重視	100	—	—	100
										調査書重視	27	135	—	162
										学力検査重視	100	—	500	600

〈調査書　の換算点〉 評定「5」を何点に変換するか

国語			社会			数学			理科			英語			音楽			美術			保健体育			技術家庭			合計
1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	135
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

〈学力検査の換算点〉
満点「100点」を何点に変換するか

国語	数学	社会	英語	理科	合計
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
100	100	100	100	100	500

3　連携型選抜

学校名	学科・コース	募集定員	連携型選抜(配点)				
			調査書	学力検査	学校独自検査		
					面接	実技	作文
66 南 三 陸	普通科	48	135	500	段階	—	—
	情報ビジネス科	24	135	500	段階	—	—

〈調査書　の換算点〉 評定「5」を何点に変換するか

国語			社会			数学			理科			英語			音楽			美術			保健体育			技術家庭			合計
1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	135
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	135

〈学力検査の換算点〉
満点「100点」を何点に変換するか

国語	数学	社会	英語	理科	合計
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500

4　全国募集選抜

学校名	学科・コース	募集人数	全国募集(配点)				
			調査書	学力検査	学校独自検査		
					面接	実技	作文
42 中新田	未来創造科　※予定	5人程度	390	500	75	—	—
66 南三陸	普通科	8人程度	135	500	段階	—	—
	情報ビジネス科	4人程度	135	500	段階	—	—

〈調査書　の換算点〉 評定「5」を何点に変換するか

国語			社会			数学			理科			英語			音楽			美術			保健体育			技術家庭			合計
1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	390
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	135
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	135

〈学力検査の換算点〉
満点「100点」を何点に変換するか

国語	数学	社会	英語	理科	合計
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500
100	100	100	100	100	500

5　通信制課程

学校名	学科・コース	募集定員	一期入学者選抜（令和9年春募集）			二期入学者選抜（令和9年秋募集）		
			募集割合	募集人数	出願等	募集割合	募集人数	出願等
1 美田園（通）	普通科	500	90%	450	・出願時期・・・令和9年3月中旬予定 ・選　　抜・・・書類及び面接の結果に基づく総合的な審査により行う。 ・出願資格・・・出願時点で、高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部及び高等学園のいずれにも在学していない者とする。	10%	50（予定）	・出願時期・・・令和9年9月上旬を予定 ・選　　抜・・・書類及び面接の結果に基づく総合的な審査により行う。 ・出願資格・・・出願時点で、高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部及び高等学園のいずれにも在学していない者とする。

※一期入学者選抜の募集人数には、編入学・転入学による人数を含む。

※二期入学者選抜の募集人数については、一期入学者選抜の募集人数から一期入学者選抜の合格者数を引いた数が追加される。
※二期入学者選抜の募集人数には、編入学・転入学による人数を含む。